

オーナーズマニュアル

**MONSTER 1200**

**MONSTER 1200s**



オーナーズマニュアル

日本語

**MONSTER 1200**  
**MONSTER 1200s**

本取扱説明書はモーターサイクルを構成する一部であり、使用期間中はモーターサイクルと併せて保管してください。

所有者が変更される場合は、本取扱説明書も併せて新しい所有者に譲渡してください。

本取扱説明書は大切に保管してください。損傷や紛失した場合は、速やかに Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターに新しい取扱説明書をご請求ください。

ドゥカティモーターサイクルの品質と安全性は、デザイン、装備、アクセサリーの開発に伴い絶えず進化しています。本取扱説明書には印刷の時点での最新情報が記載されていますが、Ducati モーターホールディング社は本書内容を予告なしにいつでも変更する権利を有します。そのため、お客様がお持ちのモーターサイクルは本書に記載する参照図と異なる場合があります。

本マニュアルの全部または一部を複製、配布することは禁じられています。すべての権利は Ducati モーターホールディング社に帰属しており、理由を明記したうえで(書面による)許可の申請をしなければなりません。

楽しいライディングを！

# 目次

## 概要 7

安全性ガイドライン 7

本マニュアルで使用されている警告シンボル 8

用途 9

ライダーの義務 10

ライダーの教育 12

服装 12

安全のための"ベストプラクティス" 13

燃料の補給 15

最大積載時の運転 16

危険物 - 警告 17

車両識別番号 19

エンジン識別番号 20

インストルメントパネル(ダッシュボード) 21

インストルメントパネル 21

取扱説明書内で使用される頭字語および略語 26

技術用語集 26

機能ボタン 29

パラメーターの設定および表示 30

主な機能 44

エンジン回転数表示 RPM 46

車両スピード 49

ギア 51

ライディングモード (RIDING MODE) 52

DTC 58

ABS 64

DWC 71

DQS 78

メニュー機能 82

オドメーター (TOT) 84

トリップメーター 1 (TRIP 1) 85

トリップメーター 2 (TRIP 2) 86

航続可能距離 (RANGE) 87

ラップタイム (LAP TIME) 88

エンジンクーラント温度 91

瞬間燃費 93

平均燃費 94

平均スピード 95

走行時間 96

外気温 97

時計 98  
サブ機能 99  
インフォテインメント 100  
メンテナンス表示 (SERVICE) 111  
OIL SERVICE ゼロの表示 112  
OIL SERVICE、ANNUAL SERVICE、DESMO SERVICE 力  
ウントダウン表示 113  
OIL SERVICE、ANNUAL SERVICE、DESMO SERVICE 表  
示 114  
注意 / 警告 (WARNING) 115  
エラー表示 120  
サイドスタンドの状態の表示 122  
設定メニュー 123  
ライディングモードのパーソナライズ (RIDING  
MODE) 126  
ライディングモードのパーソナライズ : ABS の調  
整 129  
ライディングモードのパーソナライズ : DTC レベルの  
設定 132  
ライディングモードのパーソナライズ : DWC レベル  
の設定 135  
ライディングモードのパーソナライズ : エンジンの調  
整 138  
ライディングモードのパーソナライズ : DQS の起動/  
解除 141

ライディングモードのパーソナライズ : デフォルト設  
定の回復 144  
表示モードの設定 146  
ディスプレイ背景の設定 148  
PIN CODE 151  
PIN CODE の変更 155  
DRL モード設定 159  
LAP 161  
単位の設定 167  
日付の設定 174  
時計の調整 180  
Bluetooth デバイス設定 184  
サービス情報 196  
インフォメーション (INFO) 197  
タイヤ設定 198  
ディスプレイ背景の色 204  
ライトコントロール 205  
イモビライザーシステム 213  
キー 214  
動作値 215  
キーの複製 216  
PIN CODE による車両の解除 217  
  
運転時に必要なコマンド 220  
コマンド類の配置 220

|                         |     |
|-------------------------|-----|
| イグニッションスイッチ / ステアリングロック | 221 |
| ハンドルレバー左側スイッチ           | 222 |
| クラッチレバー                 | 223 |
| ハンドルレバー右側スイッチ           | 224 |
| スロットルグリップ               | 225 |
| フロントブレーキレバー             | 226 |
| リアブレーキペダル               | 227 |
| ギアチェンジペダル               | 228 |
| ギアチェンジペダルとリアブレーキペダルの調整  | 229 |

## 主要構成部品 / 装備 232

|                      |     |
|----------------------|-----|
| 車両上の配置               | 232 |
| 燃料フィラー プラグ           | 233 |
| シートロック               | 234 |
| シート高の調整              | 235 |
| ヘルメットキャリーケーブル        | 239 |
| サイドスタンド              | 240 |
| Bluetooth コントロールユニット | 242 |
| USB コネクター            | 244 |
| フロントフォーク調整アジャスター     | 245 |
| フロントフォーク調整アジャスター     | 245 |
| リアショックアブソーバー調整アジャスター | 249 |
| リアショックアブソーバー調整アジャスター | 249 |

|          |     |
|----------|-----|
| 運転の方法    | 254 |
| 慣らし運転の方法 | 254 |
| 走行前の点検事項 | 256 |
| エンジンの始動  | 259 |
| 車両の発進    | 261 |
| ブレーキ操作   | 262 |
| 車両の停止    | 264 |
| 燃料の補給    | 265 |
| 燃料の補給    | 265 |
| パーキング    | 267 |
| 付属アクセサリー | 268 |

## 主な整備作業とメンテナンス 269

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| クーラントレベルの点検および補充      | 269 |
| エアフィルターの交換            | 270 |
| クラッチ / ブレーキフルードレベルの点検 | 271 |
| ブレーキパッドの摩耗点検          | 273 |
| バッテリーの充電              | 274 |
| 冬季のバッテリー充電およびメンテナンス   | 277 |
| バッテリーの取り外し            | 279 |
| バッテリーの取り付け            | 286 |
| トランスマッisionチェーン張力の点検  | 292 |
| チェーンの潤滑               | 294 |
| 電球の交換                 | 299 |
| ヘッドライトの光軸調整           | 300 |

タイヤ 302  
エンジンオイルレベルの点検 305  
スパークプラグの清掃と交換 308  
車両の清掃 309  
長期間の保管 311  
重要注意事項 311

メンテナンスプログラム 312  
メンテナンスプログラム：ディーラーでおこなうメンテナンス 312  
メンテナンスプログラム：お客様がおこなうメンテナ  
ンス 316

テクニカル仕様 317  
重量 317  
サイズ 318  
補給 319  
エンジン 321  
タイミングシステム 322  
性能データ 323  
スパークプラグ 323  
燃料供給 323  
ブレーキ 324  
トランスミッション 325

フレーム 326  
ホイール 326  
タイヤ 326  
サスペンション 326  
エキゾーストシステム 327  
カラーバリエーション 327  
エレクトリカルシステム 328

定期点検メモ 334  
定期点検メモ 334

# 概要

## 安全性ガイドライン

この度は Ducati 製品をご購入いただきありがとうございます。お客様を ドゥカティストの仲間としてお迎えできることは、私達にとって何よりの喜びです。この新しいバイクを日常的に利用されるだけではなく、ロングツーリングも楽しめることと思います。

Ducati モーター・ホールディング社は、そのライディングが常に快適で楽しいものであるよう願っております。

お客様のモーターサイクルは、Ducati モーター・ホールディング社の絶え間ない研究と開発から得られたものです。定期点検を必ず実施し、純正スペアパーツを使用することで品質を維持することが大切です。本取扱説明書には簡単なメンテナンス作業の実施方法が記載されています。より重要なメンテナンス作業は、

Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターでご覧いただけるワークショップマニュアルに記載されております。

お客様ご自身の安全のため、また製品の安全性、信頼性を保証するために、メンテナンスプログラムのすべ

ての作業を Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施していただくことを強くお薦めしますページ 312 参照。

Ducati の熟練したスタッフが、どのような整備作業にも対応できる専用器具と適切な工具を備え、最適な互換性、円滑な作動、ロングライフを保証する Ducati 純正パーツのみを使用し、最善のサービスを提供いたします。

すべての Ducati モーターサイクルには保証書が付属しております。

車両を競技やそれに類する目的に使用する場合は保証の対象外となります。

車両や部品の一部であっても改造または変更した場合、保証は適用されません。メンテナンスが正しく行われなかつたり不十分であった場合、また純正ではないスペアパーツや Ducati が承認していないスペアパーツが使用されている場合、車両に損傷を招いたり、期待される性能が得られないばかりでなく、保証が適用されなくなることがあります。

お客様とその他の人の安全を守ることは非常に重要です。お客様が責任を持ってモーターサイクルをご使用になられますようお願いいたします。

モーターサイクルを初めてご使用になる前に、本取扱説明書を最初から最後までよくお読みになり、記載されているガイドラインに正しく従ってください。正し

い使用方法とメンテナンスに関するすべての情報を得ることができます。車両について不明な点、さらに詳しくお知りになりたい点がある場合は、ご購入先の正規ディーラーにお問い合わせください。

## 本マニュアルで使用されている警告シンボル

お客様または他の人に負わせる可能性のある危険について、以下のような異なる形式で記載されています。

- モーターサイクルの安全性に関するラベル
- 注意シンボル、および警告または重要シンボルのうちの一つで表わされる安全性に関するメッセージ

### **警告**

これらの注意事項が守られない場合、ライダーまたは他の人の重大なけがや死亡事故を招くおそれがあります。

### **重要**

車両や車両構成部品に損傷を与える可能性があります。

### **参考**

作業上の追加注意事項。

文中的「右」、「左」の表記は、車両の進行方向に向かっての左右を意味します。

## 用途

本モーターサイクルはアスファルト舗装、または平らで整備された路面状態の道路においてのみ使用してください。  
未舗装道路やオフロードでは本モーターサイクルを使用することはできません。



### 警告

オフロード走行に使用すると車両のコントロールを失い、車両の損傷、身体の傷害または死亡事故にいたるおそれがあります。



### 警告

本モーターサイクルでのトレーラーのけん引やサイドカーの取り付けは行わないでください。車両のコントロールを失い、事故を招くおそれがあります。

本モーターサイクルにはライダーが搭乗し、パッセンジャーを一人乗せることができます。



### 警告

ライダー、パッセンジャー、荷物、オプションパーツを含む車両総重量が 390kg / 859lb を超えないようにしてください。



### 重要

ぬかるみや乾燥したほこりっぽい環境など過酷な状況でモーターサイクルを使用すると、トランスミッション、ブレーキシステム、エアフィルター等の部品の摩耗を早める可能性があります。エアフィルターが汚れていると、エンジンが損傷するおそれがあります。そのため規定されている定期点検の間隔より早く、定期点検や摩耗しやすい部品の交換が必要な場合があります。

## ライダーの義務

運転者は運転免許証を受けていなければなりません。

### !**警告**

無免許運転は違法です。こうした行為は法律で罰せられます。モーターサイクルを運転する前に、運転免許証を携帯していることを必ず確認してください。経験の浅い運転者や運転免許証を有しない人に運転をさせないようにしてください。

アルコールまたは薬物の影響を受けている状態で運転しないでください。

### !**警告**

アルコールや薬物の影響が残っている状態で運転するのは違法です。こうした行為は法律で罰せられます。

医師から副作用についての説明を受けずに、運転前に薬を服用しないようにしてください。

### !**警告**

薬によっては眠気やその他の症状を引き起こすことがあります。運転者が思うようにモーターサイクルを操縦できず、制御不能に陥り事故を招くおそれがあります。

一部の国では保険への加入が義務付けられています。

### !**警告**

現地の法律をご確認ください。保険に加入し、保険証明書はモーターサイクルの他の書類と一緒に大切に保管してください。

運転者および同乗者の安全を守るため、一部の国では基準適合ヘルメットの着用が法律で義務付けられています。

### !**警告**

現地の法律をご確認ください。ヘルメットを着用せずに運転すると罰則が科せられることがあります。

## **⚠ 警告**

事故が起ったときヘルメットを着用していないと、重大な傷害を受ける危険性が高くなり、最悪の場合死に至ることがあります。

## **⚠ 警告**

ヘルメットが安全規格に適合していること、十分な視野が取れていること、頭に合ったサイズであること、ご使用になる国の基準適合マークが貼付されることを確認してください。道路交通法は各国で異なります。モーターサイクルを運転する前に現地の法律を確認し、必ずそれに従ってください。

## ライダーの教育

多くの事故は経験不足のために起こります。運転、操作、ブレーキは他の車両とは違う方法で行わなければなりません。

### !**警告**

ライダーの経験不足や車両の不適切な使用は、コントロールを失い、死亡事故や重大な損傷の原因になるおそれがあります。

## 服装

モーターサイクルを運転する際に着用する装備は安全を確保する上で大変重要な役割を果たします。モーターサイクルは自動車のように乗員を衝撃から守ることはできません。

適切な装備とは、ヘルメット、目を保護するもの、グローブ、ブーツ、長袖ジャケット、ロングパンツになります。

- ヘルメットはページ 10 に記載されている要件を満たしていかなければなりません。シールドが付いていないモデルの場合は、適切なゴーグルを着用してください。
- グローブは革製もしくは摩擦に強い素材を用いたもので、5 本指のものを着用してください。

- 運転する際のブーツやシューズは、アンチスリップソールとアンクルプロテクターを装備しているものを着用してください。
- ジェケットとパンツ、もしくはプロテクトスーツについては、革製のものか摩擦に強い素材を用いたもので、視認性を高めるカラーインサートが付いているものを着用してください。

### !**重要**

車両の部品に巻き込まれるおそれがあるような、ゆつたりとした衣類やアクセサリーの着用は避けてください。

### !**重要**

安全のために夏冬季節に関係なく適切な装備を着用してください。

### !**重要**

パッセンジャーも安全のため、適切な服を着用してください。

## 安全のための"ベストプラクティス"

モーターサイクルの使用前後および使用中には、人の安全を確保し、モーターサイクルを最善の状態に維持するために大切な、簡単にできる作業は必ず実行してください。

### !**重要**

慣らし運転期間中は、本冊子の "使用規定" の章に記載されている指示に従ってください。

この条件が遵守されなかった結果としてのエンジンの損傷や寿命の短縮については、Ducati モーター・ホールディング社はいかなる責任も負うものではありません。

### !**警告**

運転する上で必要なコマンド類について十分な知識がない状態で運転を行わないでください。

エンジンを始動する前に、本冊子が定める点検を必ず実施してください(ページ 256 を参照)。

### !**警告**

これらの点検を怠ると、車両に損傷を与え、ライダーやパッセンジャーに重大な傷害を招くおそれがあります。

### !**警告**

エンジンの始動は必ず換気の良い適切な場所で行ってください。閉めきった場所では絶対にエンジンを始動しないでください。

排出ガスは有毒です。短時間で意識を失ったり、さらには死に至る危険性があります。

走行中は適切な姿勢を保ち、パッセンジャーも同様に正しい姿勢で乗車していることを確認してください。

### !**重要**

ライダーはハンドルから絶対に手を離さないでください。

### !**重要**

走行中、ライダーおよびパッセンジャーは必ず足をペダルに乗せてください。

### !**重要**

パッセンジャーはシート下のフレームの所定のハンドルバーを常に両手で握ってください。

### !**重要**

私有地や駐車場からの出口、または高速道路の入口などの交差点では十分に注意してください。

## **!** 重要

相手から良く見えるように心がけ、前方車両の死角に入って走行することは避けてください。

## **!** 重要

右左折や走行車線を変更する際は、常に十分な余裕を持ってターンインジケーターで意思表示を行ってください。

## **!** 重要

モーターサイクルはサイドスタンドを使用して、他の邪魔にならないように駐車してください。路面の悪い場所や柔らかい場所には駐車しないでください。モーターサイクルが転倒する危険があります。

## **!** 重要

タイヤは定期的に点検し、特に側面に傷やヒビがないか、突起、広範囲のシミ、内部の損傷を表すような箇所がないかチェックしてください。損傷が著しい場合はタイヤを交換してください。

トレッドに入り込んだ石や異物は取り除いてください。

## **!** 警告

エンジン停止後でもエンジン、エキゾーストパイプ、サイレンサーは高温な状態が続きます。身体が触れないよう十分注意し、車両を木材や木の葉などの可燃物のそばに駐車しないようにしてください。

## **!** 警告

モーターサイクルの傍から離れる際は、必ずイグニッションキーを抜き取り、他人が勝手に使用できない場所にキーを保管してください。

## 燃料の補給

燃料の補給は屋外で、エンジンが停止している状態で行います。  
給油中は絶対に喫煙せず、火気を近付けないでください。

エンジンおよびエキゾーストパイプに燃料がかからないように注意してください。

給油の際は燃料タンクを完全に満タンにしないでください。燃料レベルは燃料タンクの給油口より低くなければなりません。

給油中は燃料の蒸気をできるだけ吸いこまないようにし、目、皮膚、服に触れないようにしてください。

## !**警告**

この車両にはエタノール含量が 10% 以下の燃料(E10)のみ使用することができます。

エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用することは禁じられています。こうした燃料を使用するとエンジンや車両の部品に重大な損傷をきたす恐れがあります。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用した場合は保証の対象外になります。

## !**警告**

燃料の蒸気を長時間吸い込み気分が悪くなった場合には、屋外にとどまり、医師に相談してください。目に入った場合は大量の水で洗い流し、皮膚に触れた場合は速やかに水と石鹼で洗ってください。

## !**警告**

燃料は非常に引火しやすいため、間違って衣服に付着した場合には着替えてください。

## **最大積載時の運転**

このバイクは最大積載時でも長距離を安全に走行できるように設計されています。

車両の重量配分は、安全基準を維持するため、また悪路走行や急な進路変更時のトラブルを避けるためにとても重要です。

### **警告**

**最大許容重量を超えないようにしてください。**  
また以下に記載されている車両への積載に関する注意事項をよくお読みください。

車両への積載に関する注意

### **重要**

**積み荷は車両の中心に近く、できる限り低い位置に配置してください。**

### **重要**

**車両が不安定になりますので、ステアリングヘッドやフロントマッドガード部に体積や重量のかさむものを固定しないでください。**

### **重要**

**バッグなどの荷物は車体にしっかりと固定してください。確実に固定されていないと、運転が不安定になる危険があります。**

### **重要**

**車両の可動部分の妨げになるおそれがありますので、フレームのすき間に絶対に物を挟まないでください。**

### **警告**

**タイヤの空気圧が適正であり、コンディションが良好であることを確認してください。**

ページ 302 の "タイヤ" の段落を参照してください。

## 危険物 - 警告

使用済みエンジンオイル



### 警告

使用済みエンジンオイルが長期間わたり繰り返し表皮に触れると、上皮がんの原因になる場合があります。日常的に使用済みエンジンオイルを使用する場合、作業後すぐに水と石鹼で手を十分に洗ってください。お子様の手の届かないところに保管してください。

## ブレーキダスト

ブレーキシステムの清掃に圧縮空気を噴射したり、乾いたブラシは絶対に使用しないでください。

## ブレーキフルード



### 警告

車両のプラスチック、ゴム製部品、塗装された部品にブレーキフルードがかかると、部品が破損する原因になる場合があります。作業をおこなう場合は、毎回システムのメンテナンスを実施する前にきれいな布をこれらの部品の上にかけてください。お子様の手の届かないところに保管してください。



### 警告

ブレーキフルードは腐食性があります。万一目に入ったり肌に触れたりした場合は、流水でしっかりと洗い流してください。

## クーラント

エンジンクーラントに含まれるエチレングリコールは特定の条件下において可燃性があり、その炎は肉眼では見えません。エチレングリコールが発火した場合、その炎が肉眼では見えないため重大な火傷につながるおそれがあります。



### 警告

エンジンクーラントがエキゾーストシステムやエンジン部品にかかるないようにしてください。

クーリングファンは自動的に起動しますので、手や衣類を近づけないでください。

## バッテリー



## 警告

バッテリーは爆発性のガスを放出します。火花や炎、タバコを近づけないでください。バッテリー充電中、作業エリアが適切に換気されていることを確認してください。

## 車両識別番号



**参考** これらの番号は車両モデルを識別するもので、部品を注文する際にも必要です。

以下の欄に自身のモーターサイクルのフレーム番号を控えておくことをお勧めします。

---

フレーム N.

---

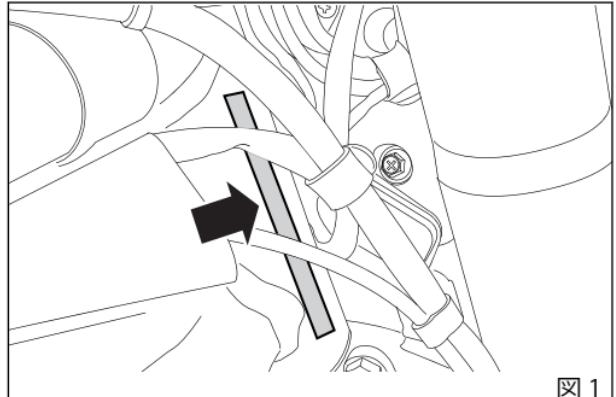


図 1

## エンジン識別番号



これらの番号は車両モデルを識別するもので、部品を注文する際にも必要です。

以下の欄に自身のモーターサイクルのエンジン番号を控えておくことをお勧めします。

---

エンジン N.

---

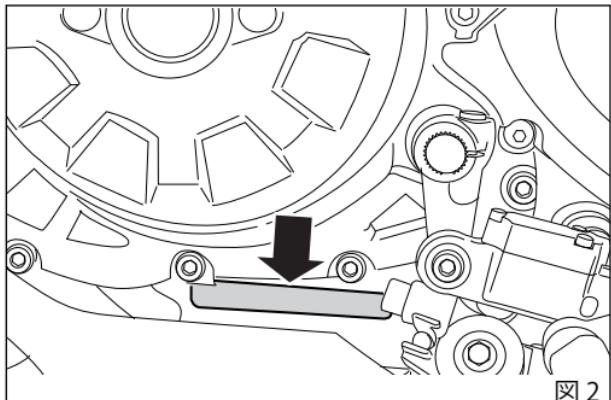


図 2

# インストルメントパネル(ダッシュボード)

## インストルメントパネル

- 1) ディスプレイ
- 2) ニュートラルランプ N (緑)  
ギアポジションがニュートラルの時に点灯します。
- 3) ハイビーム表示灯 ⚡ (青)  
ハイビーム点灯時およびフラッシュ起動時に点灯します。
- 4) エンジンオイル圧警告灯 ⚡ (赤)  
エンジンオイルの圧力が低下すると点灯します。  
"KEY-ON" 時に点灯しますが、エンジンを始動してから数秒後に消灯します。エンジン温度が高い時に、場合によって数秒間点灯することがあります、回転数が上がると消灯します。

### ⚠ 重要

エンジンオイルランプが点灯し続ける場合は、エンジンが破損するおそれがありますので車両を使用しないでください。

- 5) リザーブ燃料警告灯 ⚡ (琥珀色)  
燃料レベルがリザーブ状態になると点灯します('補給'をご覧ください)。
- 6) ターンインジケーター表示灯 ⇄ (緑)  
ターンインジケーターを ON になると点滅します。
- 7) "エンジン診断 - EOBD" ランプ ⚡ (琥珀色)  
エンジンに関連するエラーがあると点灯しますが、場合によってはエンジン停止につながることもあります。
- 8) 一般警告灯 (赤)  
警告灯はエンジン回転数が第一起点値に達すると点灯します。

9) ABS ランプ (琥珀色)

ABS 停止もしくはエラー時に点灯します。

| エンジン停止 / 速度 5 Km/h (3 mph) 以下 |                                     |                             |
|-------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------|
| ランプ OFF                       | 点滅                                  | 点灯                          |
| -                             | メニューの "ABS" 機能を使って ABS が解除されている     | ABS は起動しているが、まだ機能していない      |
| エンジン稼働 / 速度 5 Km/h (3 mph) 以下 |                                     |                             |
| ランプ OFF                       | 点滅                                  | 点灯                          |
| -                             | ABS は起動しているが、まだ機能していない              | ABS は起動しているが、問題発生のため機能していない |
| エンジン稼動 / 速度 5 Km/h (3 mph) 超過 |                                     |                             |
| ランプ OFF                       | 点滅                                  | 点灯                          |
| ABS 機能作動中                     | ABS は起動しているが、IMU に問題があるため機能が制限されている | ABS は起動しているが、問題発生のため機能していない |

10) 一般的エラー警告灯 (琥珀色)

車両に関連するエラーがあると点灯、エンジンコントロールユニットとは異なるコントロールユニットに起因するエラーに対して点灯します。

11) DTC ステータスランプ (琥珀色)

DTC システムの起動または解除を表示します。

| 走行速度 5 km/h (3 mph) 以下 |                                       |   |
|------------------------|---------------------------------------|---|
| ランプ OFF                | 点滅                                    | 点灯  |
| DTC/DWC 機能作動中          | DTC/DWC は起動しているが、まだ機能していない            | BBS コントロールユニット不具合のため、DTC/DWC は解除されているか作動していない |
| 走行速度 5 km/h (3 mph) 以上 |                                       |   |
| ランプ OFF                | 点滅                                    | 点灯  |
| DTC/DWC 機能作動中          | DTC/DWC は起動しているが、システムの異常により性能が抑制されている | BBS コントロールユニット不具合のため、DTC/DWC は解除されているか作動していない |

12) DTC 介入 (琥珀色)

|          | DTC     |
|----------|---------|
| 介入なし     | ランプ OFF |
| 点火の進角カット | ランプ ON  |
| 燃料噴射カット  | ランプ ON  |

13) OVER REV / イモビライザー停止 / 盗難防止 (赤)

|                             | Over rev  |
|-----------------------------|-----------|
| 介入なし                        | ランプ OFF   |
| 第一起点値 (リミッタ<br>ーに到達前 N RPM) | ランプ ON    |
| リミッター                       | ランプ ON 点滅 |

 参考

エンジンコントロールユニットの各キャリブレーションで起点値とリミッター値の設定が異なる場合があります。

|            | イモビライザー   |
|------------|-----------|
| 車両 KEY-ON  | ランプ OFF   |
| 車両 KEY-OFF | ランプ ON 点滅 |

|                   |         |
|-------------------|---------|
| 12 時間以上車両 KEY-OFF | ランプ OFF |
|-------------------|---------|

14) DRL ランプ (緑)  
DRL ステータスを示します。

|                     | DRL       |
|---------------------|-----------|
| 機能していない             | ランプ OFF   |
| 機能している              | ランプ ON    |
| 機能しているがエラー<br>が存在する | ランプ ON 点滅 |



**重要** ディスプレイに“TRANSPORT MODE”的文字が表示されている場合は、直ちにドゥカティ正規ディーラーにご連絡ください。正規ディーラーにてこの項目を削除し、バイクの完全な機能の保証を受けてください。

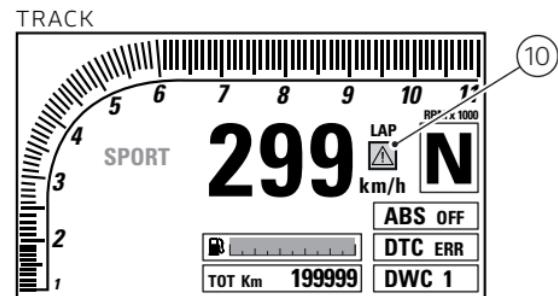
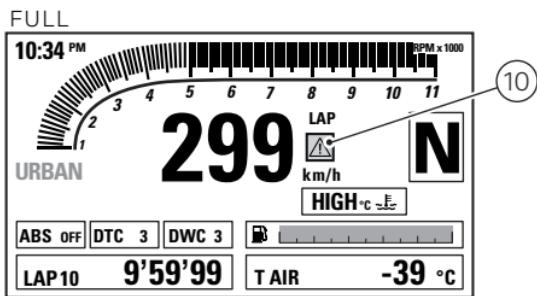
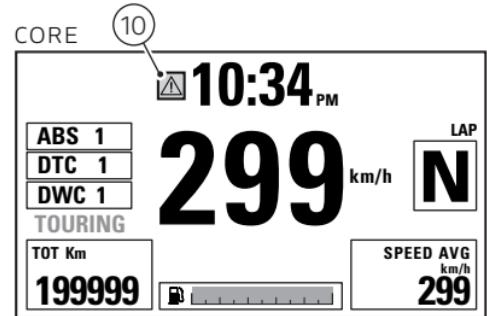
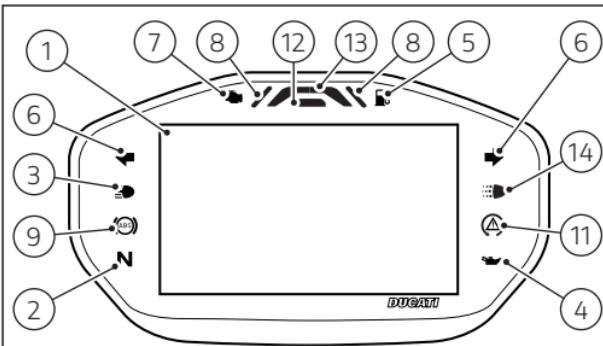


図 3

## 取扱説明書内で使用される頭字語および略語

### 頭字語

ABS

アンチロックブレーキシステム

BBS

ブラックボックスシステム

CAN

コントローラーエリアネットワーク

DDA

ドゥカティデータアナライザー

DQS

ドゥカティクイックシフト

DRL

デイタイムランニングライト

DSB

インストルメントパネル

DTC

ドゥカティトラクションコントロール

DWC

ドゥカティウィリーコントロール

EBC

ドゥカティエンジンブレーキコントロール

ECU

エンジンコントロールユニット

GPS

### グローバルポジショニングシステム

### 技術用語集

#### ライディングモード

ライダーは3つの初期設定(ライディングモード)からライディングスタイルや道路状況に最も適したモードを選択することができます。ライディングモードでエンジン出力(パワー mode)、ABS、DTCの各介入レベル、インストルメントパネルの表示を瞬時に変更することができます。

選択可能な設定は、SPORT、TOURING、URBANです。ライダーはそれぞれのライディングモードの初期設定を自由に変更することができます。

#### パワーモード

パワーモードは、ライダー自身のライディングスタイルと路面状況に合わせて出力レベルとパワーデリバリーを選択できるエンジンマッピングです。

3つのパワーモードがあり、それがライディングモードと連動しています。

- LOW、穏やかなパワーデリバリー
- MED、穏やかなパワーデリバリー
- HIGH、瞬間的なパワーデリバリー

#### ライドバイワイヤ (RbW)

ライドバイワイヤシステムはスロットル開閉をコントロールする電子制御装置です。スロットルグリップとスロットルボディが機械的に接続されておらず、エンジンコントロールユニットがスロットルの開度をコントロールし、出力を調整します。

ライドバイワイヤにより選択したライディングモード(パワーモード)に合わせて出力とパワーデリバリーを変更することが可能になります。また、エンジンブレーキ(EBC)のタイムリーな管理が可能になるため、リアホイールのスリップ制御(DTC)に貢献します。

### ドゥカティトラクションコントロール (DTC)

ドゥカティトラクションコントロール(DTC)はリアホイールのスリップ制御を行い、8つの介入レベルを基に機能します。各レベルでリアホイールのスリップに対して異なる許容値が設定されています。それぞれのライディングモードにはあらかじめ設定された介入レベルが割り当てられています。

レベル8はごくわずかなスリップを検知しただけでシステムが作動します。一方熟練ライダー向けのレベル1は許容値が高く設定されており、システムの介入が最小限に抑えられます。

### アンチロックブレーキシステム (ABS)

Monster 1200 が搭載する ABS は、バイクの直立走行中に車輪がロックするのを防止するセーフティシステ

ムです。さらに、Monsterが搭載するABSは「コーナリング」機能を備えており、バイクを倒している時に、車両と路面状況により決定される物理的限界の範囲内で車輪のロックおよびスリップを防止します。

ブレーキング時の短い制動距離に加えて、可能な限り高い安定性を確保するために、Monster 1200 の ABS は後輪のリフトアップ制御を実行します。

この機能には3通りのレベルが設定され、それぞれがひとつのライディングモードと連動しています。ABS システムは解除が可能です。

### ドゥカティウィリーコントロール (DWC)

ドゥカティウィリーコントロール(DWC)はウィリー制御を行い、8つの介入レベルを基に機能します。各レベルでウィリーの制御に対して異なる値が設定されています。それぞれのライディングモードにはあらかじめ設定された介入レベルが割り当てられています。レベル8ではウィリーの発生を防止し、ウィリーが発生するとそれを制御するために最大限の介入を行います。熟練ライダー専用のレベル1ではウィリー防止を最小限にとどめ、ウィリーが発生した場合の制御も最小限に抑えられます。

### 慣性計測ユニット (IMU)

本車両は慣性計測ユニット (IMU) を装備する Bosch 慣性センサーを搭載しています。IMU は車両の横傾斜角

および縦傾斜角を継続して監視します。ABSとのインターフェースとして機能し、バイクのポジションに關係なくこれらのシステムが最大効率で動作できるようにします。

### ドゥカティクイックシフト (DQS)

ドゥカティクイックシフト (DQS) はレースで使用されるギアシフト電子制御システムです (Monster 1200 Sのみ)。スロットルオープン状態の加速中に、クラッチを使用せずギアを挿入することができます。これにより 100 分の 1 秒を争うレースでラップタイムを縮めることができます。

## 機能ボタン

1) コントロールボタン UP "▲"

インストルメントパネルのパラメーター設定および表示に使用するボタン "▲"。

2) コントロールボタン DOWN "▼"

インストルメントパネルのパラメーター設定および表示に使用するボタン "▼"。

3) フラッシュヤーランプボタン

フラッシュヤーランプ機能ボタンは LAP 機能に使用する場合もあります。

4) ターンインジケーター解除ボタン

このボタンは通常ターンインジケーターの解除機能に使用しますが、メニュー決定、ライディングモードの選択にも使用します。

5) DRL ボタン

このボタンで DRL ライトを起動 / 解除します。

6) ハザードボタン

4つのターンインジケーターの起動 / 解除に使用するボタン (ハザード機能)。

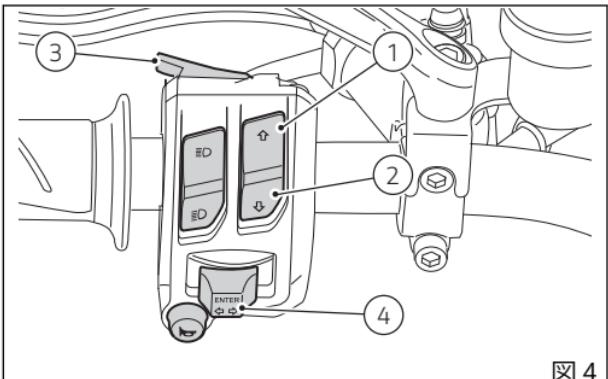


図 4

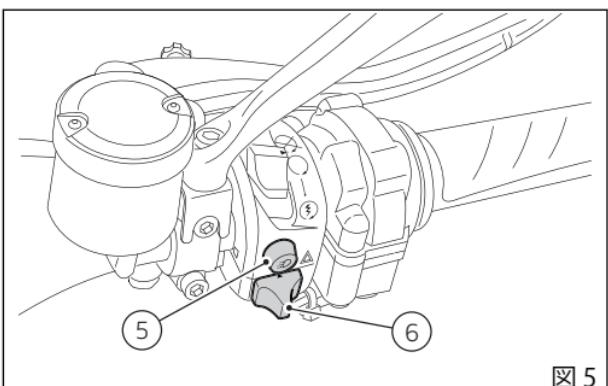


図 5

## パラメーターの設定および表示

起動時、インストルメントパネルにDUCATIのロゴが表示され、LEDランプが2ステップで点灯します（“初期点検”）。

点検終了時、インストルメントパネルにはKEY-OFF前に使用していた設定モード（CORE、FULL、TRACK）のメインスクリーンが表示されます。

点検中に車両速度が10 km/h (6 mph) (実速度)を超えると、インストルメントパネルは以下の点検を中断します。

- ディスプレイの点検。更新情報をスタンダードスクリーンに表示します。
- 警告灯の点検。その時点できつて実際に起動しているもののみ点灯します。

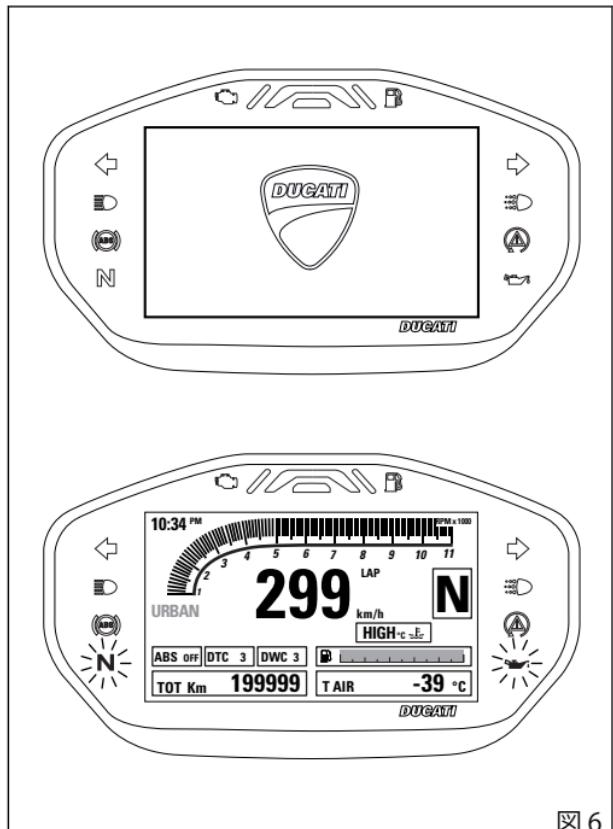
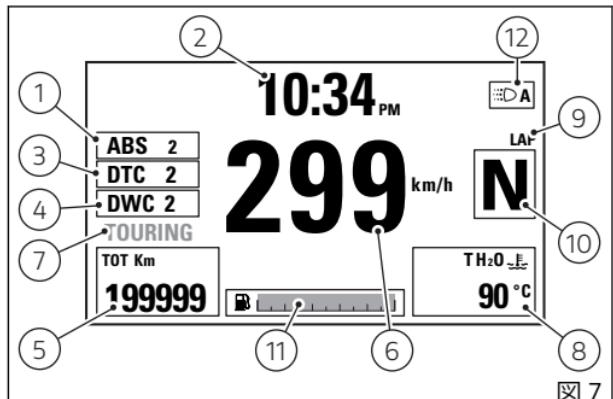


図 6

メインスクリーンのレイアウトには次の3種類があります。CORE、FULL、TRACK。  
CORE レイアウトのメインスクリーンには以下の情報が表示されます。

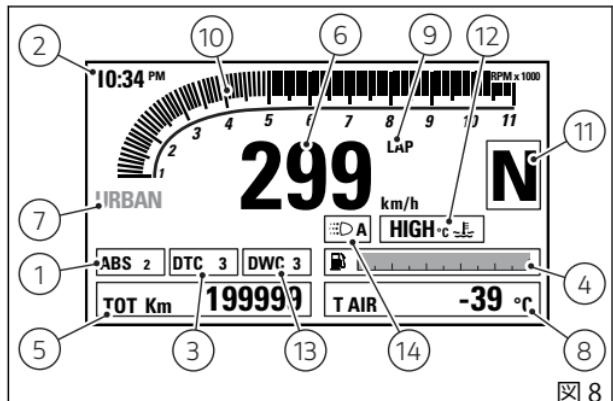
- 1) 起動している ABS レベル、または ABS 解除の表示
- 2) 時計
- 3) 起動している DTC レベル、または DTC 解除の表示
- 4) 起動している DWC レベル、または DWC 解除の表示
- 5) メニュー1(オドメーター、トリップメーター1、トリップメーター2、プレーヤーON/OFF  
(Bluetoothモジュールが搭載されており、少なくとも1台のスマートフォンが接続されている場合のみ)、航続可能距離、トリップタイム、ラップタイム(起動している場合のみ)、ヒートアップグリップ(装備している場合のみ))。
- 6) 車両スピード
- 7) 設定ライディングモード(Riding Mode)
- 8) メニュー2(外気温、エンジン温度、平均燃費、瞬間燃費、平均スピード)。
- 9) LAP 表示(起動している場合のみ)
- 10) ギア表示
- 11) 燃料レベル



12) DRLステータス(オート/マニュアル)

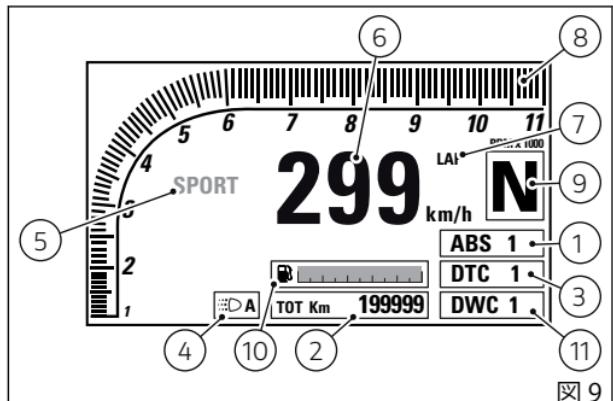
FULL レイアウトのメインスクリーンには以下の情報が表示されます。

- 1) 起動している ABS レベル、または ABS 解除の表示
- 2) 時計
- 3) 起動している DTC レベル、または DTC 解除の表示
- 4) 燃料レベル
- 5) メニュー 1(オドメーター、トリップメーター 1、トリップメーター 2、プレーヤー ON / OFF  
(Bluetooth モジュールが搭載されており、少なくとも 1 台のスマートフォンが接続されている場合のみ)、航続可能距離、トリップタイム、ラップタイム(起動している場合のみ)、ヒートードグリップ(装備している場合のみ)。
- 6) 車両スピード
- 7) 設定ライディングモード (Riding Mode)
- 8) メニュー 2(外気温、瞬間燃費、平均燃費、平均スピード)
- 9) LAP 表示(起動している場合のみ)
- 10) エンジン回転数棒グラフ
- 11) ギア表示
- 12) クーラント温度表示
- 13) 起動している DWC レベル、または DWC 解除の表示



TRACK レイアウトのメインスクリーンには以下の情報が表示されます。

- 1) 起動している ABS レベル、または ABS 解除の表示
- 2) メニュー 1(オドメーター、トリップメーター 1、トリップメーター 2、航続可能距離、平均燃費、瞬間燃費、平均スピード、トリップタイム、時計、ラップタイム(起動している場合のみ)、外気温、エンジン温度、ヒーテッドグリップ(装備している場合のみ))。
- 3) 起動している DTC レベル、または DTC 解除の表示
- 4) DRL ステータス(オート / マニュアル)
- 5) 設定ライディングモード(Riding Mode)
- 6) 車両スピード
- 7) LAP 表示(起動している場合のみ)
- 8) エンジン回転数棒グラフ
- 9) ギア表示
- 10) 燃料レベル
- 11) 起動している DWC レベル、または DWC 解除の表示



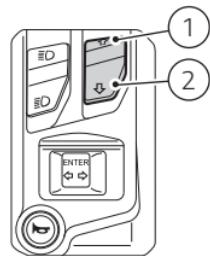
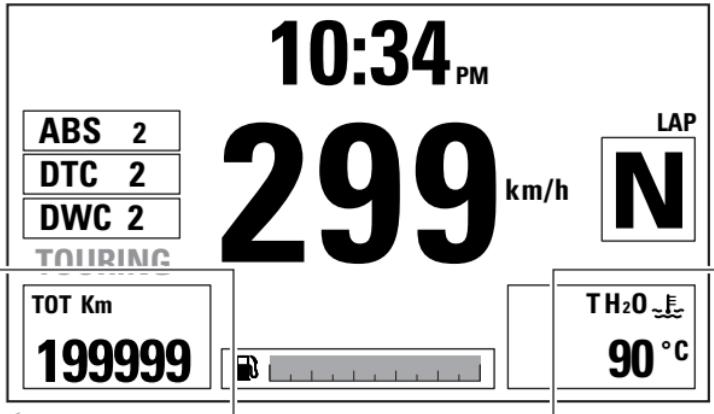
左側スイッチのボタン(1)を押すと、CORE モードの  
メインスクリーンにメニュー1の情報を表示するこ  
とができます。

- オドメーター (TOT)
- TRIP 1 (トリップメーター 1)
- TRIP 2 (トリップメーター 2)
- プレーヤー ON / OFF - Bluetooth モジュールが搭  
載されており、少なくとも1台のスマートフォン  
が接続されている場合のみ
- RANGE (航続可能距離)
- TRIP TIME - トリップタイム
- LAP time (起動時のみ) - 6 秒間表示
- ヒーテッドグリップ - 装備している場合のみ  
(H.Grips)

左側スイッチのボタン(2)を押すと、メニュー2の情報  
を表示することができます。

- 外気温
- エンジンクーラント温度
- 平均燃費 (CONS.AVG)
- 瞬間燃費 (CONS.I)
- 平均スピード (SPEED AVG)

CORE



1

TRIP 1 → TRIP 2 → RANGE → TRIP TIME → LAP

2

T AIR → T H<sub>2</sub>O → CONS. AVG → CONS. I → SPEED AVG

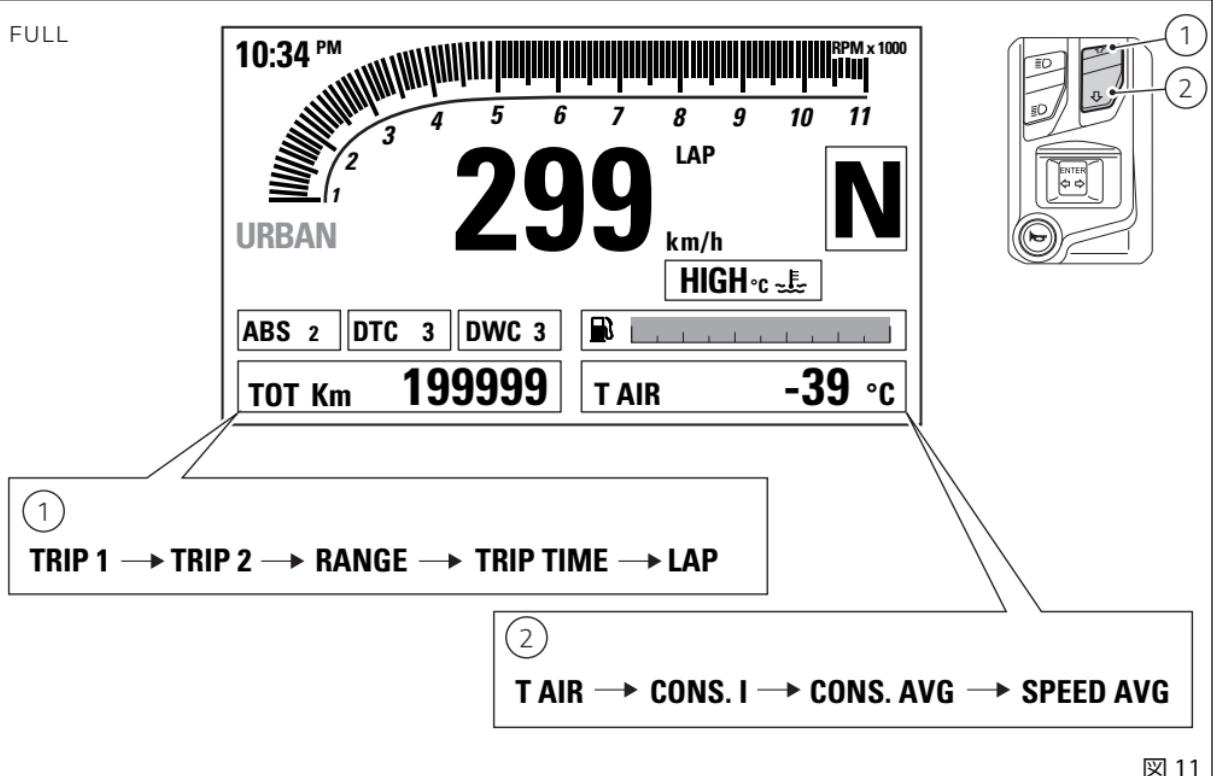
图 10

左側スイッチのボタン(1)を押すと、FULL モードのメインスクリーンにメニュー 1 の情報を表示することができます。

- オドメーター (TOT)
- TRIP 1
- TRIP 2
- プレーヤー ON / OFF - Bluetooth モジュールが搭載されており、少なくとも 1 台のスマートフォンが接続されている場合のみ
- RANGE (航続可能距離)
- TRIP TIME
- ラップタイム (LAP) (機能の起動時)
- ヒーテッドグリップ - 装備している場合のみ (H.Grips)

左側スイッチのボタン(2)を押すと、メニュー 2 の情報を表示することができます。

- 外気温
- 瞬間燃費 (CONS.I)
- 平均燃費 (CONS.AVG)
- 平均スピード (SPEED AVG)



左側スイッチのボタン(1)を押すと、TRACK モードの  
メインスクリーンにメニュー1の情報を表示すること  
ができます。

- オドメーター (TOT)
- TRIP 1
- TRIP 2
- RANGE (航続可能距離)
- 平均燃費 (CONS.AVG)
- 瞬間燃費 (CONS.I)
- 平均スピード (SPEED AVG)
- TRIP TIME
- 時計
- ラップタイム (LAP) (機能の起動時)
- 外気温
- エンジンクーラント温度
- ヒーテッドグリップ - 装備している場合のみ  
(H.Grips)

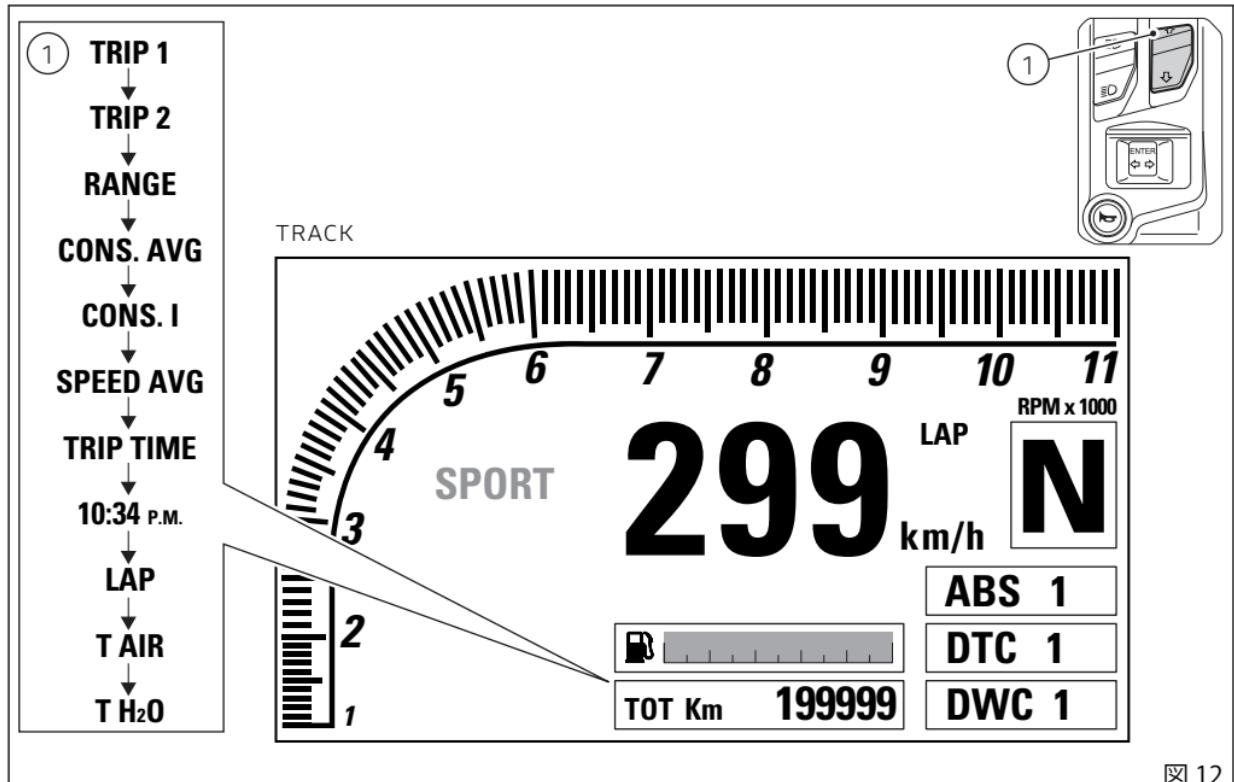


図 12

インストルメントパネルにはKEY-OFF 時に使用しているメニュー1とメニュー2の設定が記憶されます。次のKEY-ON時、前回記憶したメニュー1およびメニュー2のページが表示されます。

急なKEY-OFF(電源供給が突然途絶えた)の場合は、次のKEY-ON時にインストルメントパネルには次のメニュー1とメニュー2のデフォルト設定が表示されます。

- メニュー1 デフォルトページ = オドメーター
- メニュー2 デフォルトページ (CORE および FULL モードのみ) = 平均燃費

KEY-ON時には毎回、インストルメントパネルのメニュー1に10秒間"オドメーター"のページが表示され、その後、前回のKEY-OFF時に保存したページが表示されます。

## CORE



## FULL



## TRACK



图 13

設定モードのスタンダードスクリーンが表示されている時に、車両の実速度が 20 km/h (12 mph) 以下の状態でボタン(2)を3秒間押し続けると、機能設定を行うことができる設定メニューに入ります。

## 重要

車両の実速度が 20 km/h (12 mph) 以下の場合に限り、設定メニューに入ることができます。設定メニューが表示されているときに車両の実速度が 20 km/h (12 mph) を超えると、インストルメントパネルは自動的に設定メニューを終了し、スタンダードスクリーンを表示します。

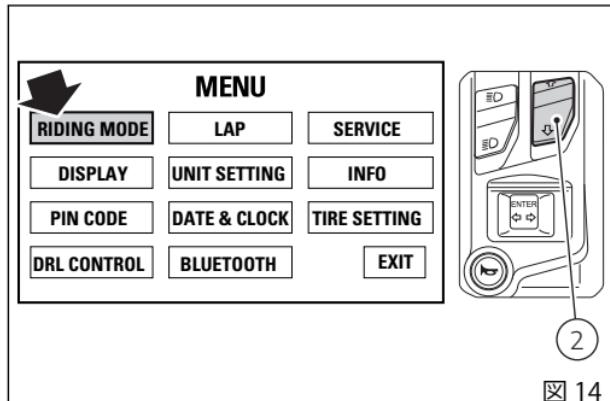


図 14

KEY-ON 時および点検終了時にキーが認識されない場合：

- PIN CODE 機能が有効でない場合、ランプの初期点検が省略され、インストルメントパネルにはスタンダードスクリーンに E-LOCK エラーが表示されます。設定メニューにはアクセスできません。
- PIN CODE 機能が有効な場合、インストルメントパネルには解除コードを入力する PIN CODE 機能画面が表示されます。

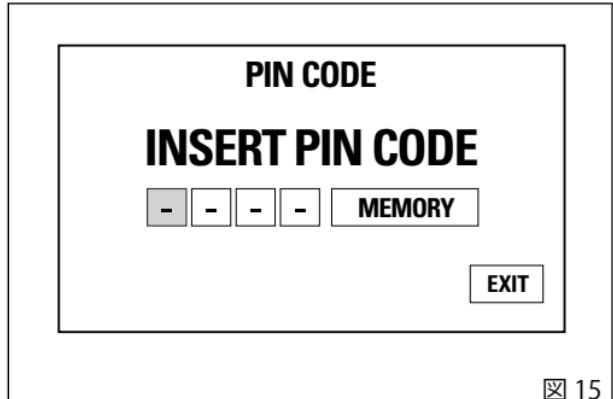


図 15

## 主な機能

選択した表示モード (CORE、FULL、TRACK) のスタンダードスクリーンに表示される機能は以下の通りです。

### メイン機能

- エンジン回転数表示 RPM
- 車両スピード
- ギア表示
- 燃料レベル
- ライディングモード (Riding Mode)
- DTC
- ABS
- DWC

- メニューには以下の機能が表示されます。

- オドメーター (TOT)
- トリップメーター 1 (TRIP1)
- トリップメーター 2 (TRIP2)
- 航続可能距離 (RANGE)
- ラップタイム (LAP time)
- エンジンクーラント温度
- 瞬間燃費 (CONS.)
- 平均燃費 (CONS.AVG)
- 平均スピード (SPEED AVG)
- トリップタイム (TRIP TIME)
- 外気温
- 時計

### サブ機能

- インフォテインメント (対応)
- LAP
- メンテナンス表示 (SERVICE)
- 注意 / 警告表示 (Warning)
- エラー表示
- サイドスタンドの状態の表示
- ライトモード表示 (DRL)

設定メニューのうち以下の機能はユーザーによる変更  
が可能です。

- ライディングモード (RIDING MODE) のパーソナライズ: パーソナライズメニューから以下の設定が  
可能です。
  - ABS 調整 (ABS)
  - DTC レベルの設定 (DTC)
  - DWC レベルの設定 (DWC)
  - エンジン調整 (ENGINE)
  - デフォルト設定の回復 (DEFAULT)
- ディスプレイ (DISPLAY) : このメニュー内では以  
下の設定が可能です。
  - 表示モードの設定
  - ディスプレイの背景の設定 (BACK LIGHT)
- PIN CODE (入力/変更)
- DRL モード設定 (DRL CONTROL)
- LAP (表示/削除/自動設定の回復)
- 単位の設定 (UNIT SETTING) : スピード - 溫度 - 燃  
費
- 日時の設定 (DATE & CLOCK)
- Bluetooth デバイス設定 (BLUETOOTH)
- サービス機能の期限設定 (SERVICE) : Oil Service -  
Desmo Service - Annual Service
- 情報 (INFO) : Battery - RPM - Bluetooth version

- タイヤおよび減速比のキャリブレーション (TIRE  
SETTING)

## エンジン回転数表示 RPM

インストルメントパネルがエンジン回転数情報を受信すると、そのデータをディスプレイに棒グラフで表示します(表示モードがFULLおよびTRACKの場合のみ)。データはエンジン回転数に相当する左から右へ点灯する棒グラフの目盛りと、千単位の数字(RPMの値が"8000"以上の場合、数字"8"が大きい文字で表示)で表示されます。

回転数が12000に達すると、数字は拡大されません。数字"12"は拡大されず、数字"11"と同じ標準の大きさに戻ります。

回転数が9500から10500の場合(予告ゾーン)、棒グラフの目盛りと数字"10"がディスプレイにオレンジ色で表示されます(オレンジゾーン)。

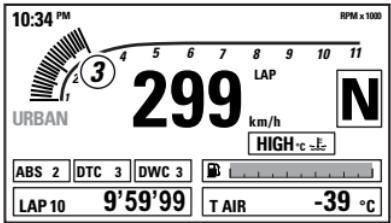
回転数が10500から11000の場合(警告ゾーン)、棒グラフの目盛りと数字"11"がディスプレイに赤色で表示されます(レッドゾーン)。



### 重要

走行距離が最初の1000 km(600 mi)までの間(慣らし運転期間)、すなわちオドメーターが1000 km(600 mi)以下の値を表示している期間は、6000 rpmに達するとディスプレイにはオレンジ色で表示される予告ゾーン(オレンジゾーン)が棒グラフの目盛りとそれに相当する数字で表示されます。慣らし運転期間中はエンジン回転数を6000 rpm以下に維持すること、すなわちインストルメントパネルに棒グラフの"オレンジゾーン"が表示されないようにすることが推奨されます。

FULL



TRACK

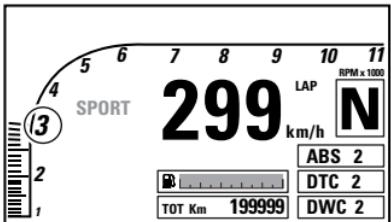


图 16

慣らし運転期間が終了すると、"オレンジゾーン"はエンジンが十分温まっていない状態でエンジン回転数を抑える指示として表示されます。"オレンジゾーン"は以下の通り、エンジン温度によって異なります。

- 7000回転以上、エンジン温度が50°C(122°F)以下のとき
- 9500回転以上、エンジン温度が50°C(122°F)より高いとき

リミッター作動の起点値は9,750 rpmです。

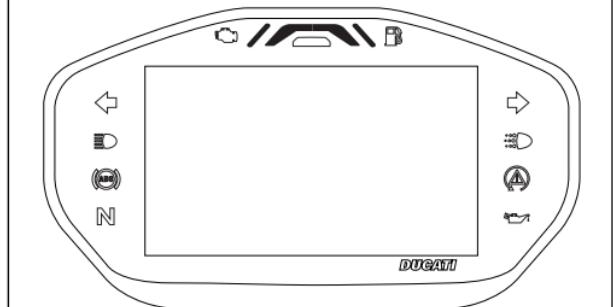
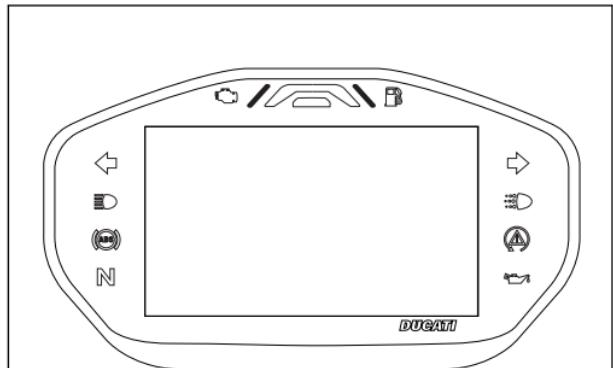


図 17

## 車両スピード

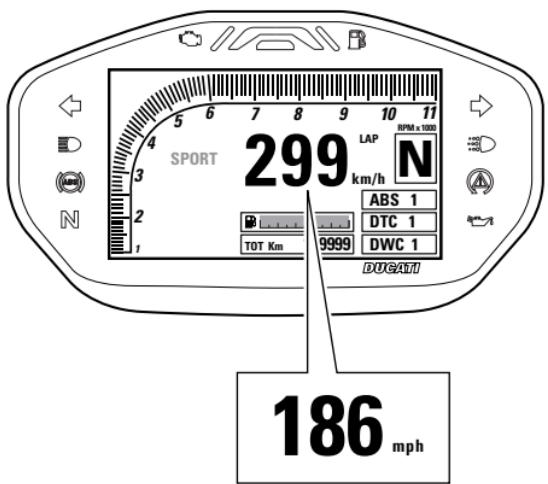
インストルメントパネルは車両の実速度 (km/h で算出) 情報を受信し、それに 5% 上乗せしたデータを設定した単位 (km/h または mph) で表示します。

以下の場合には "---" と単位が表示されます。

- スピード = 299 km/h か 186 mph の場合、または インストルメントパネルがスピード情報を受信しない場合 ("---" 点灯)
- リアスピードセンサーに異常がある場合 ("---" 点滅)

次のページには TRACK 表示モードの機能を表示しています。CORE および FULL 表示モードでは、この機能の値は TRACK モードと同じように表示されます。

TRACK



TRACK

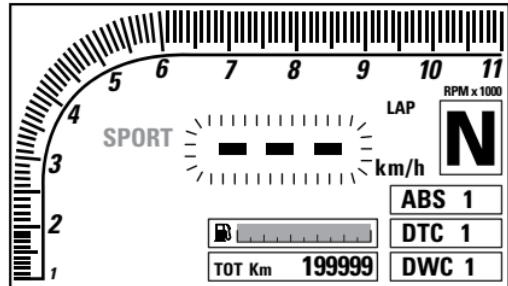
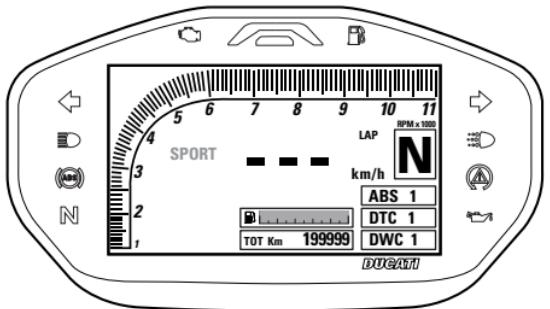


图 18

## ギア

インストルメントパネルは車両のギアに関する情報を受信し、ディスプレイにその値を表示します。

ギアが挿入されている時は1から6の値が表示され、ニュートラルの時はNの文字が表示されます。

ギアの学習が実施されていない場合は、"C"が点滅表示されます。

以下の場合、"--"が表示されます。

- ギアセンサーフault（"--"が固定表示）
- インストルメントパネルがギア情報を受信していない（"--"点滅）

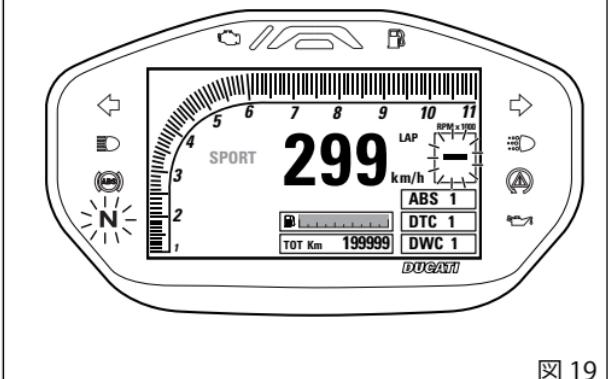
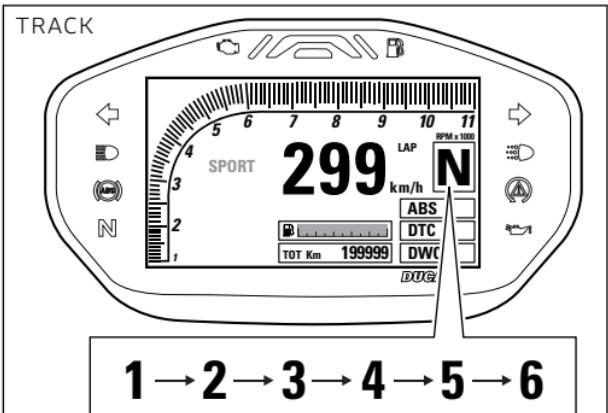


図 19

## ライディングモード (RIDING MODE)

インストルメントパネルから好みのライディングモードを選択することが可能です。あらかじめ設定された次の3通りのライディングモード SPORT、TOURING、URBAN。

選択、起動したライディングモードは CORE 表示モードではインストルメントパネルの下部に、FULL および TRACK 表示モードでは速度表示の隣に表示されます。

それぞれのライディングモードには以下のドゥカティが設定したパラメーター、またはユーザーが設定機能ページから変更したパラメーターが連動しています。

- ABS システムの許容値 (1、2、3、OFF)
- DTC ドゥカティトラクションコントロールの介入レベル (1、2、3、4、5、6、7、8、OFF)
- DWC ドゥカティウィリーコントロールの介入レベル (1、2、3、4、5、6、7、8、OFF)
- スロットル作動を変更するエンジン出力 (MAP1、MAP2、MAP3)
- DQS 機能を搭載する場合は、電子ギア "DQS" のステータス (UP、DOWN、UP/DOWN、OFF)

各ライディングモードにはドゥカティが設定した、あるいはユーザーが設定ページから変更した情報表示の

スタンダードスクリーン (CORE、FULL、TRACK) が連動しています。



### 警告

ライディングモードの変更は車両停止時に行うことをお勧めします。運転中にライディングモードの変更を行なう場合は十分にご注意ください (低速での変更をお勧めします)。

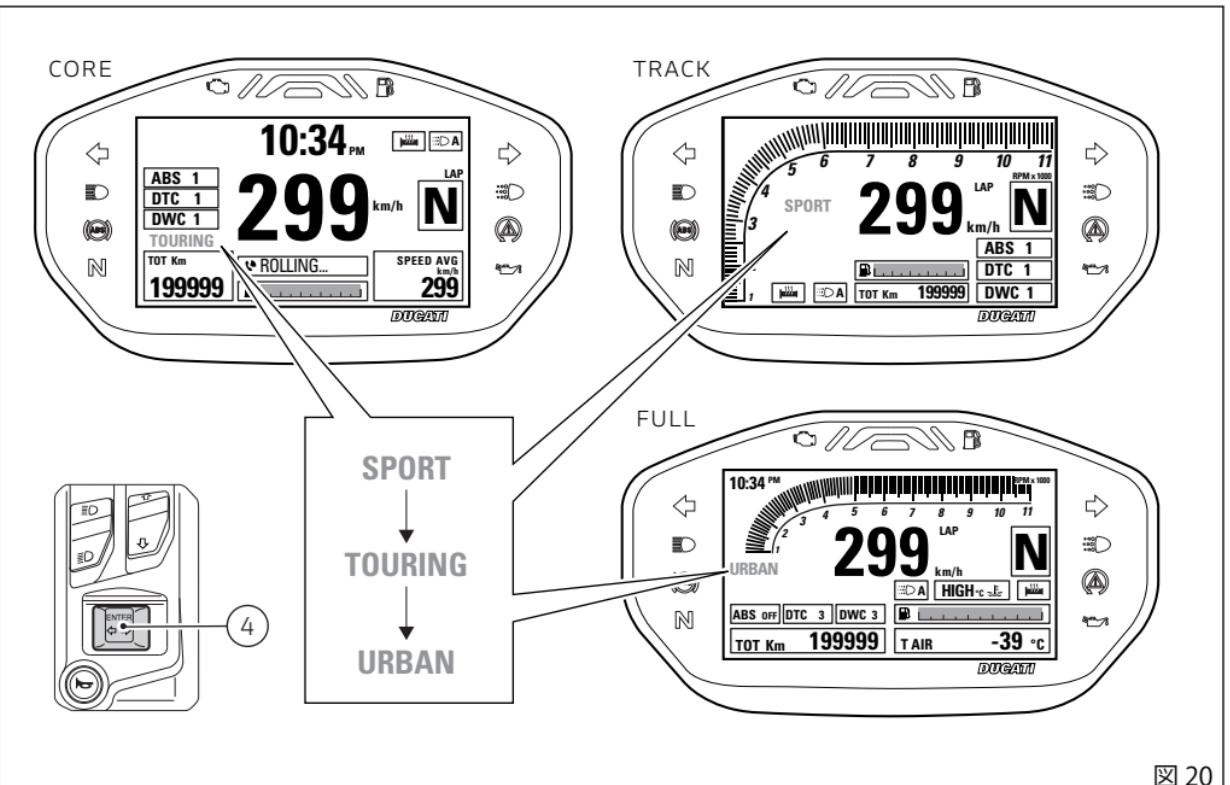


图 20

## ライディングモードの選択

メニュー決定ボタン(4)を押し、ライディングモード選択メニュー(A)に入れます。インストルメントパネルには速度が表示(ディスプレイの右側)されたまま、ライディングモード名(ディスプレイの左側)が表示されます。

- SPORT
- TOURING
- URBAN

最後に保存した現在使用中のライディングモード名が強調表示されます。



**警告**  
ボタン(4)がターンインジケーター起動の位置、右もしくは左にある場合は、ライディングモード選択メニューに入ることはできません。

強調表示されたライディングモードには、それに運動したいくつかの以下のパラメーターに関連する情報が表示されます。

- ABS システム：ABS システムが ON の場合は "ABS" の文字に続いて設定レベル(1、2、3)、ABS システムが OFF の場合は "ABS" の文字に続いて "OFF" の文字。
- DTC システム：DTC システムが ON の場合は "DTC" の文字に続いて設定介入レベル(1、2、3、4、5、6、7、8)、DTC システムが OFF の場合は "DTC" の文字に続いて "OFF" の文字。
- DWC システム：DWC システムが ON の場合は "DWC" の文字に続いて設定介入レベル(1、2、3、4、5、6、7、8)、DTC システムが OFF の場合は "DWC" の文字に続いて "OFF" の文字。
- エンジン出力(ENGINE)："ENG" の文字に続いて設定エンジン出力 "HIGH"、"MED"、"LOW"。
- DQS システムを搭載する場合："DQS" の文字に続いてキャリブレーション設定レベル ("UP"、"DOWN"、"UP/DOWN"、"OFF")。

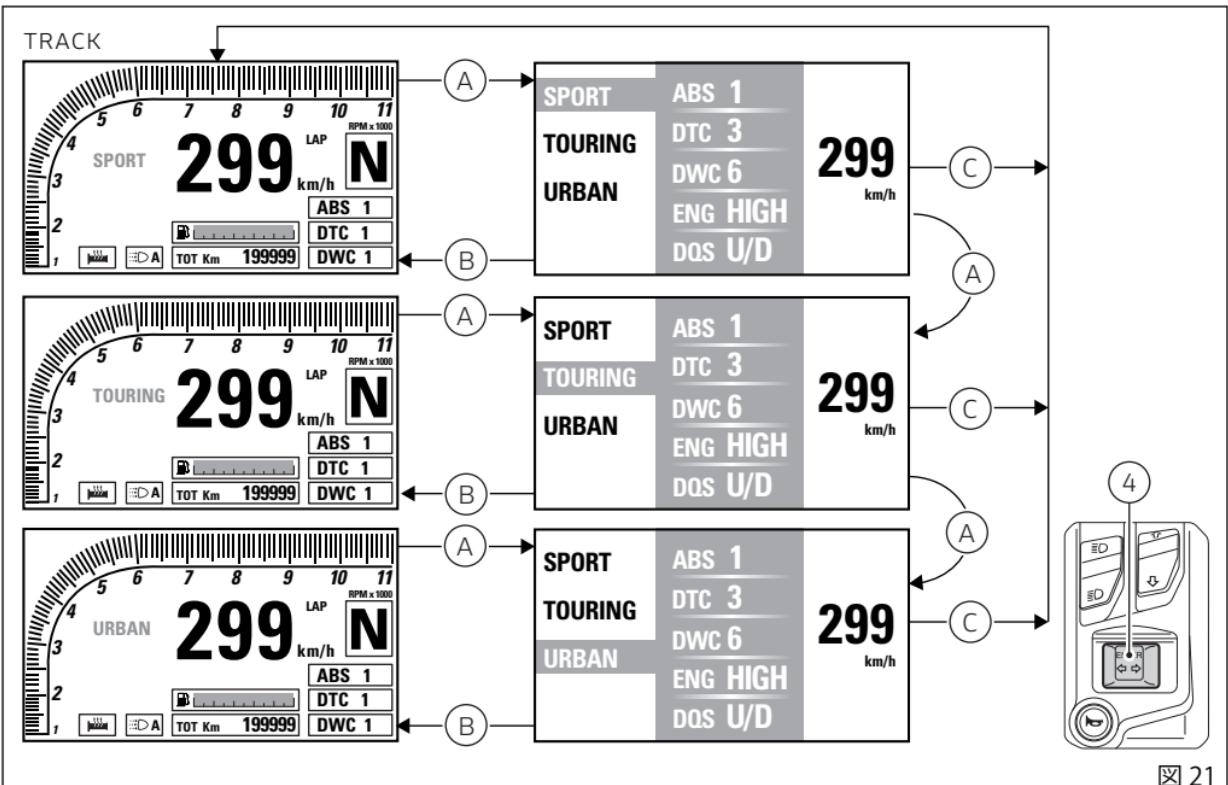
表示される情報は、各ライディングモード毎に記憶されている値です。保存されている値はドゥカティが設定した値、またはユーザーがパーソナライズした値です。メニュー決定ボタン(4)を押す度に、表示可能な関連するパラメーター(A)と一緒にライディングモードが強調表示されます。

選択したいライディングモードが強調されたら、メニュー決定ボタン(4)を 2 秒間押し続け、希望のライデ

ィングモードを決定します。ライディングモードの変更が保存され、スタンダードスクリーンの画面(B)に戻ります。

選択したいライディングモードが強調されてもメニュー決定ボタン(4)を5秒以内に押さなかつた場合は、ライディングモードは変更されず、スタンダードスクリーンの画面(C)に戻ります。

図中では、TRACK表示モードの機能を表示しています。COREおよびFULL表示モードでは、この機能の値はTRACKモードと同じように表示されます。



以下の場合は、ライディングモードの変更を決定してもエラーになります。

- スロットルコントロールを開き、ブレーキをかけた状態で車両が動いている場合：CLOSE THROTTLE AND RELEASE BRAKES (スロットルを閉じ、ブレーキを放してください) のエラーが表示され、5秒以内にスロットルコントロールが閉じられない、ブレーキが解放されない、または車両速度がゼロにならない場合、ライディングモード変更手順は完了せずにスタンダードスクリーンの表示に戻ります。



### 参考

ライディングモードの変更時に ABS システムの状態を ON (起動) から OFF (解除)、または OFF (解除) から ON (起動) に変更すると、選択したライディングモードを決定する時、インストルメントパネルは ABS システムの起動または解除の手続きも行います。

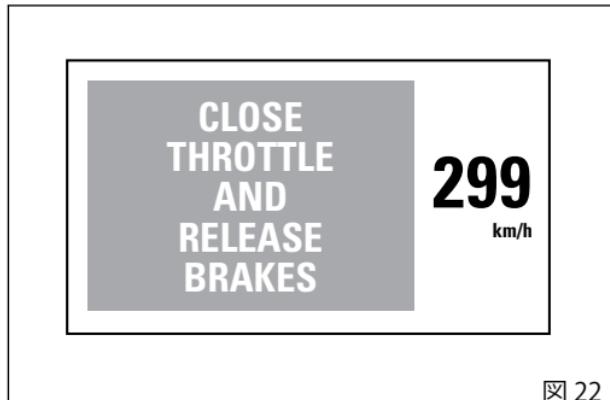


図 22

## DTC

インストルメントパネルはディスプレイにDTC機能の状態を以下のように表示します。

- DTCがONの場合、DTCの文字とトラクションコントロール介入レベル1から8までの数値
- DTCがOFFの場合は、"DTC OFF"の文字とDTCステータスランプがディスプレイに点灯します。
- DTCエラー、またはブラックボックスコントロールユニットエラーの場合、"DTC ERR"の文字。さらにDTCステータスランプがインストルメントパネルに点灯します。

TRACK表示モードの機能を表示しています。COREおよびFULL表示モードでは、この機能の値はTRACKモードと同じように表示されます。



### 警告

BBSコントロールユニットエラーの場合は、インストルメントパネルが自動的にENGINEパラメータ一値(エンジン出力調整)を"LOW"に設定します。

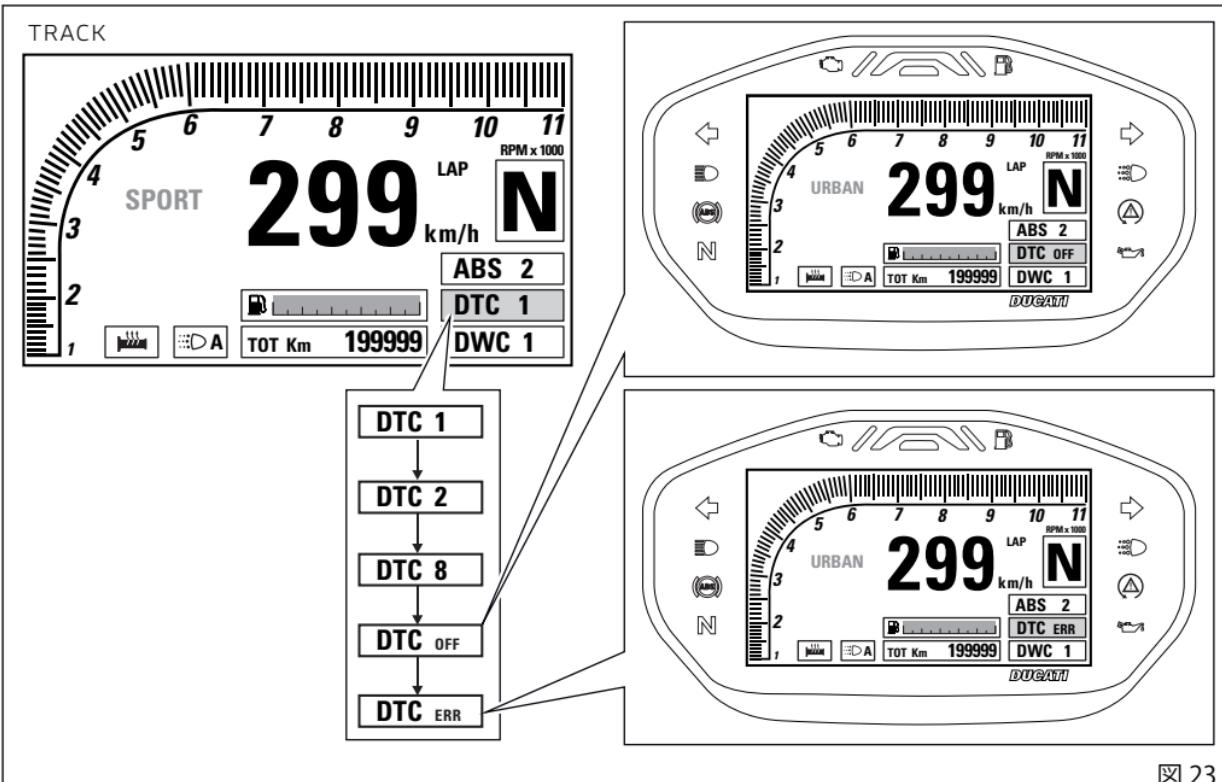


図 23



## 警告

DTCはライダーをアシストするシステムです。アシストシステムとは、より確実で安心な運転を可能にすることを目指したメカニズムであり、ライダーが運転に際し正しく払うべき注意義務に取って代わるものではありません。自身の過失だけでなく他者の過失も防止するため、道路交通法が定める緊急時の回避を可能にする慎重な運転を心がけてください。

この安全システムは事故予防のためのシステムです。これらの機能は車両の運転を助け、その制御を簡単で確実なものにします。車両が走行している路面状況や道路交通法など各種規制範囲を超えていたり、合理的に許容されるスピードを超えていたりするような運転に寄与するシステムではありません。

下記の表は、各ライディングタイプに適したDTC介入レベルと、ユーザーが選択可能な "ライディングモード" のどれにデフォルト設定されているかを示します。

| DTC | ライディングタイプ  | 用途  | DEFAULT                       |
|-----|------------|---|-------------------------------|
| 1   | SPORT      | 非常に熟練したライダー向けスポーツ走行。スキッドします。              | NO                            |
| 2   | SPORT      | 熟練したライダー向けスポーツ走行。スキッドします。                 | NO                            |
| 3   | SPORT      | 中程度に熟練したライダー向けスポーツ走行。スキッドします。             | ライディングモード "SPORT" のデフォルトレベル   |
| 4   | TOURING    | 高速ツーリングドライブ用。                             | ライディングモード "TOURING" のデフォルトレベル |
| 5   | TOURING    | ツーリングドライブ用。                               | NO                            |
| 6   | URBAN      | あらゆる種類の行程での "セーフティドライブ" 用。                | ライディングモード "URBAN" のデフォルトレベル   |
| 7   | RAIN       | 若干濡れた路面または湿った路面でのドライブ用。ENGINE LOW の使用を推奨。 | NO                            |
| 8   | HEAVY RAIN | 濡れた路面でのドライブ用。ENGINE LOW の使用を推奨。           | NO                            |

## レベルの選択に際しての注意事項



### 警告

車両に搭載されているDTCシステムの全レベルの調整は、車両の標準装備タイヤ(フロント:Pirelli Diablo Rosso III 120/70 ZR 17 M/C (58W) TL (D)、リア:Pirelli Diablo Rosso III 190/55 ZR 17 M/C (75W) TL (D))を使用して決定されています。標準装備のタイヤとサイズや特徴の異なるタイヤを使用すると、システムの機能特性に影響を及ぼす可能性があります。

標準装備のタイヤとモデルやメーカーは異なるものの、サイズクラスが同じ(フロント=120/70-17-リア=190/55-17)など違いが僅かなタイヤを使用する場合、システムの機能を最適化するには選択可能なレベルから適切なレベルを選択することでカバーできるでしょう。サイズクラスの異なるタイヤやサイズが大きく異なるタイヤを使用する場合、システムの機能が影響を受けるため、設定可能な8レベルのどれも納得いくものでなくなる可能性があります。この場合、システムを解除することをお勧めします。

レベル8を選択すると、DTCシステムはリアタイヤのわずかなスピンにも介入します。レベル8とレベル1の間には、その他に中間の介入レベルが存在します。DTCの介入度はレベル8から1に向かい減少します。

レベル1、2、3ではリアタイヤをスピンやスキッドさせることができます。これらのレベルは熟練ライダーにのみ推奨されます。

主に以下のパラメーターを考慮して正しいレベルを選択します。

- 1) タイヤ/アスファルトのグリップ(タイヤタイプ、磨耗状態、アスファルトの種類、気候など)。
- 2) レイアウト/行程(類似カーブのみ、またはカーブが全く異なる)
- 3) ライディングスタイル(より"スムーズ"に、またはより"シャープ"に)

### グリップ状態からのレベル選択

正しいレベルの選択はレイアウト/行程中のグリップ状況と密接に関係しています(後述の一般道での使用時のアドバイスを参照)。

### レイアウトタイプからのレベル選択

レイアウト/行程に同じスピードで走行できるカーブがいくつもある場合、それぞれのカーブで満足できる介入レベルを簡単に見つけることができるでしょう。一方様々なカーブがレイアウト/行程にある場合は、妥当なDTC介入レベルが必要になります。

### ライディングスタイルからのレベル選択

カーブ出口で早めに車体を起こし "シャープ" に操縦する場合よりも、バイクを深く倒して "スムーズ" に操縦する場合に DTC はより介入を行う傾向があります。

#### 乾いた一般道での使用時のアドバイス

DTC を起動した後、レベル 6 を選択し、好みのスタイルで運転します。DTC が介入しすぎると感じる場合は、レベルを 5、4 と順番に落とし、快適なレベルに達するまで調整してください。

グリップ状況や行程の種類、ライディングスタイルを変更してもまだ設定レベルでは満足できない場合は次のレベルに変更します。この方法で最も快適なレベルに調整します(例: レベル 5 では DTC が介入しすぎると感じる場合はレベル 4 に、レベル 5 では DTC の介入が全くないと感じる場合はレベル 6 に変更します)。

#### 濡れた一般道での使用時のアドバイス

若干濡れた一般道または湿った一般道ではレベル 7、濡れた一般道ではレベル 8 の使用が推奨されます。同時に ENGINE LOW レベルを選択してください。

## **ABS**

車両にはABSシステムが搭載されています。インストルメントパネルはABSランプを消灯、点滅、点灯させてABS機能のステータス(ONまたはOFF)を表示します。

インストルメントパネルの表示：

- ABSがONの場合、"ABS"の文字と設定介入レベル1から3までの数値
- ABSがOFFの場合、"ABS OFF"の文字とABSランプ点灯
- ABSエラー、またはインストルメントパネルがABSシステムから情報を受信できない場合は、"ABS ERR"の文字。さらにABSランプが点灯します。

TRACK表示モードの機能を表示しています。COREおよびFULL表示モードでは、この機能の値はTRACKモードと同じように表示されます。

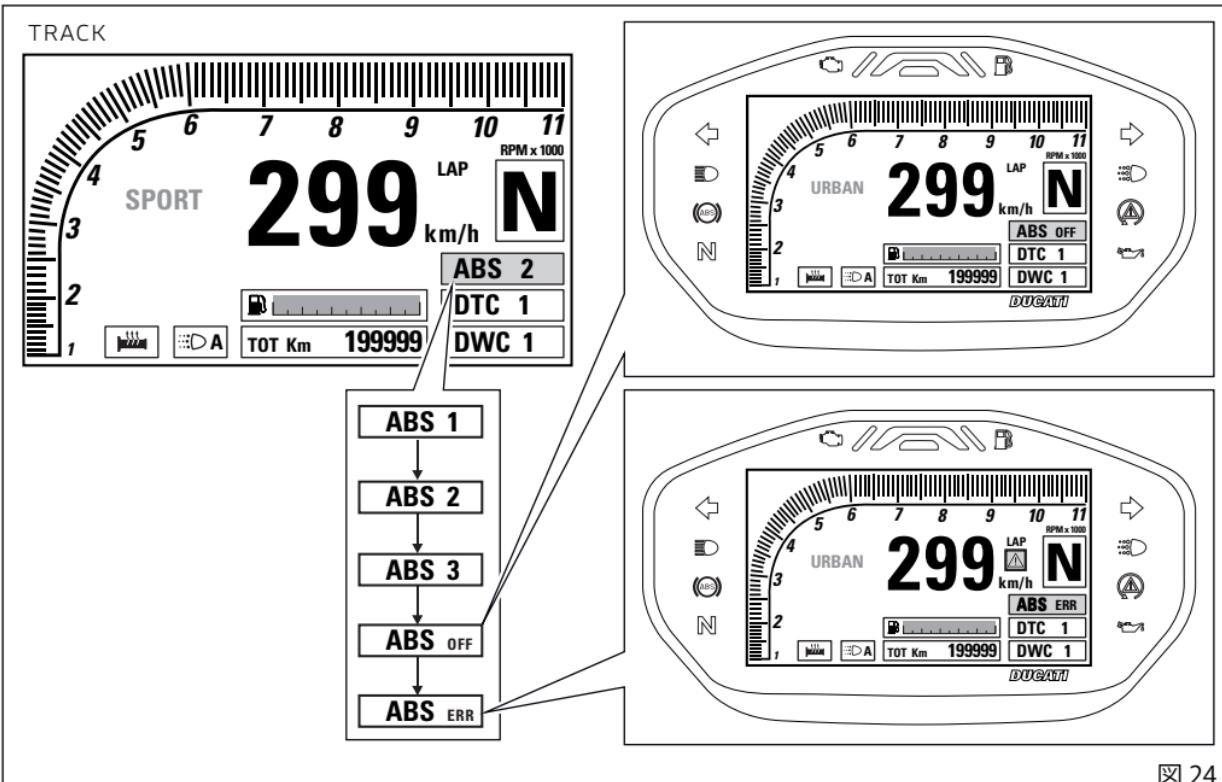


图 24

困難な条件下でのブレーキ操作は、非常に慎重に行わなければなりません。ブレーキ操作は二輪車の運転で最も難しく危険な瞬間です。ブレーキ操作中に転んだり事故を起こす可能性が統計的に最も高くなっています。フロントホイールがロックされると、グリップによるバランス力を失うため車両のコントロールを失います。

アンチロックブレーキシステム(ABS)は、緊急時や悪路、悪天候下での走行時にブレーキ性能を最も効果的に発揮するために開発されたものです。ABSは電子制御油圧システムです。ホイール上のセンサーから送られた信号をコントロールユニットが分析し、いずれかのホイールがロックしそうであることを検知すると、ブレーキ回路内の油圧を制御します。この場合には、ブレーキ回路内の油圧を低下させることでホイールを回転させ続け、路面とのグリップを最適に維持します。続いて、コントロールユニットはブレーキ回路内の油圧を戻してブレーキをかけます。問題が完全に解消されるまで、このサイクルを繰り返します。ブレーキング時ABSが作動状態に入ると、ブレーキレバーとブレーキペダルに軽く振動する抵抗を感じられます。フロントブレーキシステムとリアブレーキシステムの制御は別々に行われます。

Monsterが搭載するABSシステムは、車両を倒した状態においてもABS機能が作動する「コーナリング」機能も備えます。この機能は、車両の傾斜角度に応じて

フロントブレーキとリアブレーキに作用します。車両と路面状況により決定される物理的限界の範囲内で、車輪のロックおよびスリップを防止することを目的としています。

インストルメントパネルを操作し、システムを解除したいライディングモード内でレベルOFFを選択すれば、システムの解除が可能です。

## 警告

2つあるブレーキコマンドの片方だけを使用すると、車両のブレーキ性能が低下します。

急激に過度の力を掛けてフロントブレーキコマンドを操作しないでください。後輪が浮き上がり(リフトアップ)、車両のコントロールを失うおそれがあります(ABS搭載の場合でも)。

雨天時や滑りやすい路面の走行時はブレーキ力が著しく低下します。このようなコンディションでは慎重に優しくブレーキ操作をしてください。急ブレーキを掛けると車両のコントロールを失う危険があります。長く急な下り坂を走行する際にはシフトダウンしてエンジンブレーキを使用し、ブレーキは短く断続的に使用するようにしてください。ブレーキを長時間連続して使用すると、ブレーキパッドの過熱やベーパーロック(ブレーキフルードの過熱)を招き、ブレーキ性能の著しい低下の原因となります。

規定空気圧に満たないタイヤ、もしくは規定空気圧を超えるタイヤでの走行はブレーキ性能を低下させるだけでなく、正確な運転とカーブでの安定性を損ないます。

下記の表は、各ライディングタイプに適したABSレベルと、ユーザーが選択可能な"ライディングモード"のどれにデフォルト設定されているかを示します。

| ABS | ライディングタイプ | 特徴  | DEFAULT                     |
|-----|-----------|---|-----------------------------|
| OFF |           | ABS システム解除  | NO                          |
| 1   | SPORT     | <p>このレベルは特に熟練したライダー向けに設計されています。このレベルでは、ABSはフロントホイールにのみ作用し、リアホイールのロックは許容されます。</p> <p>このレベルでは、システムはリフトアップ制御は行わず、コーナリング機能は作動しません。</p> <p>このキャリブレーションにおいてはブレーキ力が優先されます。</p>                 |                             |
| 2   | TOURING   | <p>このレベルはグリップの良い路面での走行用に設計されています。このレベルでは、ABSは両方のホイールに作用し、コーナリング機能が作動します。</p> <p>このレベルでは、コーナリング機能およびリフトアップ制御機能が作動します。</p> <p>このキャリブレーションにおいてはブレーキ力が優先され、同時に制動時の高い安定性とリフトアップ制御を確保します。</p> | ライディングモード "SPORT" のデフォルトレベル |

| <b>ABS</b> | <b>ライディングタイプ</b> | <b>特徴</b>   | <b>DEFAULT</b>                            |
|------------|------------------|---|---|
| 3          | URBAN/WET        | <p>このレベルはあらゆる状況下での使用に適し、安全かつ安定したブレーキングを可能にするよう設定されています。</p> <p>このレベルでは、ABSは両方のホイールに作用し、コーナリング機能およびリフトアップ制御機能が作動します。</p> | ライディングモード "TOURING" および "URBAN" のデフォルトレベル |

## レベルの選択に際しての注意事項



### 警告

選択可能な全レベルにおいて、標準装備のブレーキシステムおよび標準装備タイヤまたはドゥカティ社が推奨するタイヤを装着している場合においてのみ、ABSシステムの最適な動作が保証されるものです。特にタイヤは標準装備タイヤ、PIRELLI DIABLO ROSSO III のサイズ：フロント 120/70 ZR 17 M/C (58W) TL (D)、リア 190/55 ZR 17 M/C (75W) TL (D)になります。標準装備のタイヤとサイズや特徴の異なるタイヤを使用すると、システムの機能特性に影響を与え、機能の安全性が低くなることがあります。お客様の車両に適合したタイヤとは異なるサイズのタイヤの使用は推奨されません。

レベル3を選択すると、ABSシステムは非常に安定したブレーキングとリフトアップ制御を行い、全てのブレーキングにおいて高い車体安定性を維持します。レベル3において、ABSシステムのコーナリング機能が作動します。この機能により、バイクを倒している時に、車両と路面状況により決定される物理的限界の範囲内で車輪のロックおよびスリップを防止します。レベル2を選択すると、ABSシステムはリフトアップ制御よりブレーキ力を優先します。リフトアップ制御

はレベル2では作動しません。レベル2において、ABSシステムのコーナリング機能が作動します。この機能により、バイクを倒している時に、車両と路面状況により決定される物理的限界の範囲内で車輪のロックおよびスリップを防止します。

ABSシステムのレベル1の使用は極めて熟練したライダー向けになります。パフォーマンスを重視してABSはフロントホイールにのみ作用します。このレベルではリフトアップ制御およびコーナリング機能は作動しません。

主に以下のパラメーターを考慮して正しいレベルを選択します。

- 1) タイヤ/路面のグリップ(タイヤタイプ、タイヤの磨耗状態、アスファルトの種類、気候など)。
- 2) ライダーの経験と感覚：熟練ライダーは制動距離を最小限に抑えるためリフトアップを制御することができますが、経験の少ないライダーには、急なブレーキングでも車体の安定性が維持できるようレベル3の使用が推奨されます。

## DWC

インストルメントパネルはディスプレイに DWC 機能の状態を以下のように表示します。

- DWC が ON の場合、"DWC" の文字と設定されているウィリー制御介入レベル 1 から 8 までの数値 (固定表示)
- DWC が ON の時に異常が発生したためシステムが機能制限モードである場合は、"DWC" の文字と DWC 介入レベル 1 から 8 までの数値 (点滅)、さらに DTC / DWC ランプ点滅
- DWC が OFF の場合、"DWC OFF" の文字と DTC / DWC ランプ点灯。DWC が OFF の状態では DTC 機能も OFF になります。
- DWC エラー、またはブラックボックスコントロールユニットエラーの場合、"DWC ERR" の文字。さらに DTC/DWC ランプが点灯します。



### 警告

システム異常の場合には、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。

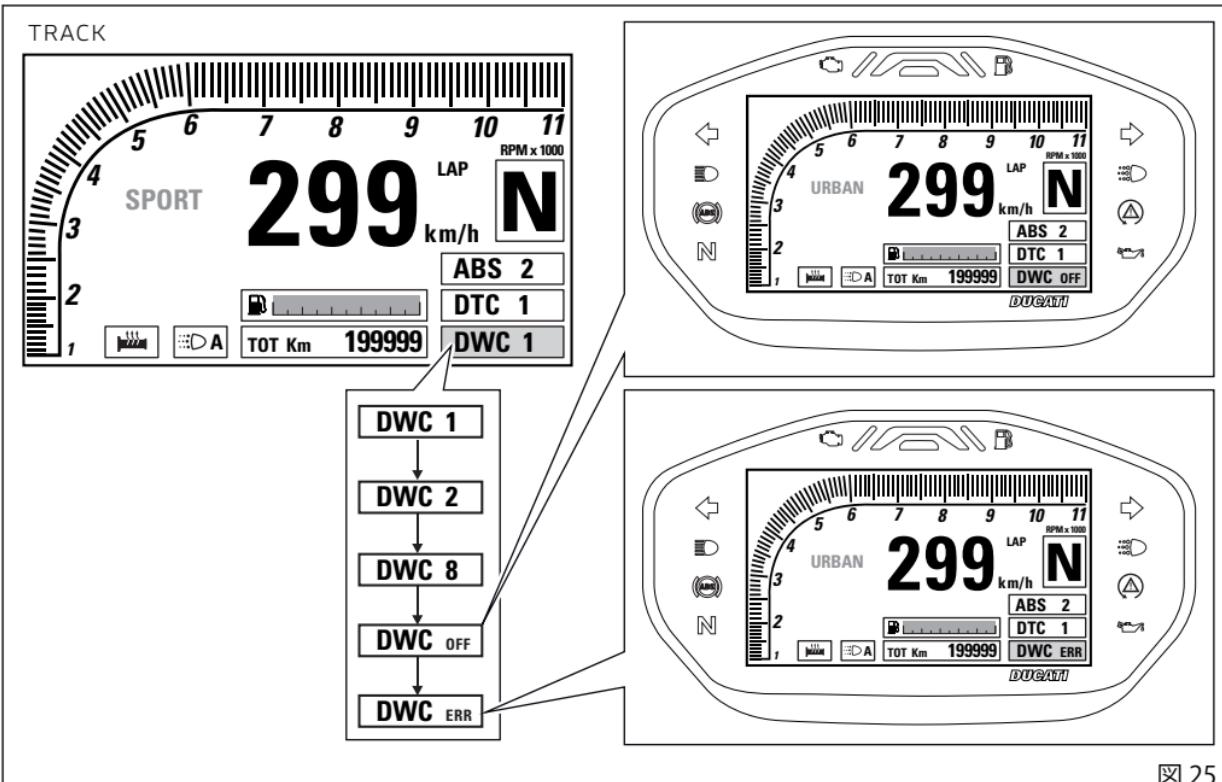


図 25

ドゥカティ ウィリーコントロール(DWC)は ウィリー制御を行い、8つの介入レベルを基に機能します。各レベルで ウィリーの制御に対して異なる値が設定されています。それぞれのライディングモードにはあらかじめ設定された介入レベルが割り当てられています。レベル8では ウィリーの発生を防止し、ウィリーが発生するとそれを制御するために最大限の介入を行います。熟練ライダー専用のレベル1では ウィリー防止を最小限にとどめ、ウィリーが発生した場合の制御も最小限に抑えられます。

## 警告

DWCはライダーをアシストするシステムです。アシストシステムとは、より確実で安心な運転を可能にすることを目指したメカニズムであり、ライダーが運転に際し正しく払うべき注意義務に取って代わるものではありません。自身の過失だけでなく他者の過失も防止するため、道路交通法が定める緊急時の回避を可能にする慎重な運転を心がけてください。

この安全システムは事故予防のためのシステムです。これらの機能は車両の運転を助け、その制御を簡単で確実なものにします。車両が走行している路面状況や道路交通法など各種規制範囲を超えていたり、合理的に許

容されるスピードを超えたいたりするような運転に寄与するシステムではありません。

下記の表は、各ライディングタイプに適したDWC介入レベルと、ユーザーが選択可能な"ライディングモード"のどれにデフォルト設定されているかを示します。

| DWC | 用途      |   | DEFAULT                       |
|-----|---------|---|-------------------------------|
| OFF |         | DWCシステム解除   | NO                            |
| 1   | SPORT   | 非常に熟練したライダー向けスポーツ走行。ウィリーは可能ですが、システムはウィリーの速度を低減します。    | NO                            |
| 2   | SPORT   | 熟練したライダー向けスポーツ走行。ウィリーは可能ですが、システムはウィリーの速度を低減します。       | NO                            |
| 3   | SPORT   | 中程度に熟練したライダー向けスポーツ走行。ウィリーは可能ですが、システムはウィリーの速度を低減します。   | ライディングモード "SPORT" のデフォルトレベル   |
| 4   | TOURING | すべてのライダー向けツーリング走行。ウィリーは可能ですが、システムはウィリーの速度を低減します。      | NO                            |
| 5   | TOURING | すべてのライダー向けレベルシステムはウィリーが発生する傾向を抑え、ウィリー発生時には大幅な介入を行います。 | ライディングモード "TOURING" のデフォルトレベル |
| 6   | TOURING | すべてのライダー向けレベルシステムはウィリーが発生する傾向を抑え、ウィリー発生時には大幅な介入を行います。 | ライディングモード "URBAN" のデフォルトレベル   |

| DWC | 用途                   |   | DEFAULT |
|-----|----------------------|---|---------|
| 7   | MEDIUM SAFE & STABLE | すべてのライダー向けレベルシステムは<br>ウィリーが発生する傾向を抑え、<br>ウィリー発生時には大幅な介入を行います。             | NO      |
| 8   | HIGH SAFE & STABLE   | すべてのライダー向けレベルシステムは<br>ウィリーが発生する傾向を最小限に抑<br>え、<br>ウィリー発生時には大幅な介入を行<br>います。 | NO      |

## レベルの選択に際しての注意事項



### 警告

選択可能な全レベルにおいて、標準装備の最終減速比および標準装備タイヤまたはドゥカティ社が推奨するタイヤを装着している場合においてのみ、DWCシステムの最適な動作が保証されるものです。特にタイヤは標準装備タイヤ、PIRELLI DIABLO ROSSO IIIのサイズ：フロント 120/70 ZR 17 M/C (58W) TL (D)、リア 190/55 ZR 17 M/C (75W) TL (D)になります。標準装備のタイヤとサイズや特徴の異なるタイヤを使用すると、システムの機能特性に影響を与え、機能の安全性が低くなることがあります。基準適合サイズと異なるサイズのタイヤの装着は推奨されません。

DWCのレベル8を選択すると、システムはウィリーが発生する傾向を最小限に抑え、ウィリー発生時には大幅な介入を行います。レベル8からレベル1の順にDWCシステムの介入レベルが小さくなります。レベル1、2、3ではウィリーをしやすくなっていますが、同時にウィリー時の減速を行います。これらのレベルの使用は、自らウィリーを制御することができる熟練ライダーが使用する場合にのみ推奨されます。その場合システムはウィリーの発生を助けるというよりも、

ウィリーが発生する速度を抑えることでライダーを補助します。

主に以下のパラメーターを考慮して正しいレベルを選択します。

- 1) ライダーの経験
- 2) レイアウト/行程(低速ギアでの立ち上がり、もしくは高速ギアでの立ち上がり)

### ライダーの経験

使用するレベルはウィリーを自ら制御するライダーの経験度と密接に関連しています。レベル1、2、3を適切に利用するためには高い能力が求められます。

### レイアウトタイプからのレベル選択

カーブを高速で立ち上がることができる行程では、高いレベルを選択する必要があります(レベル8が最高レベルになります)。その逆に、低速で立ち上がるカーブのある行程では、低いレベルの選択が可能ですが(レベル1が最低レベルになります)。

### 一般道での使用時のアドバイス

DWCを起動した後、レベル8を選択し、好みのスタイルで運転します。DWCが介入しすぎると感じる場合は、レベルを7、6と順番に落とし、快適なレベルに達するまで調整してください。

行程タイプが変化したため設定レベルでは満足できない場合は次のレベルに変更します。この方法で最も快適なレベルに調整します(例：レベル7ではDWCが介入しすぎると感じる場合はレベル6に、レベル7ではDWCの介入が全くないと感じる場合はレベル8に変更します)。

## DQS

インストルメントパネルはディスプレイにDQS機能の状態を以下のように表示します。

- DQSシステムが起動している場合、"DQS"の文字と "U"(シフトアップ)または "U/D"(シフトアップおよびシフトダウン)の文字
- DQSシステムが解除されている場合、"DQS OFF"の文字
- DQSシステムエラーまたはコントロールユニットエラーの場合、"DQS -" の文字が表示されます。
- DQSが車両に搭載されていない場合は、"DQS"の文字は一切表示されません。

CORE



FULL



DQS U → DQS U/D → DQS OFF → DQS -

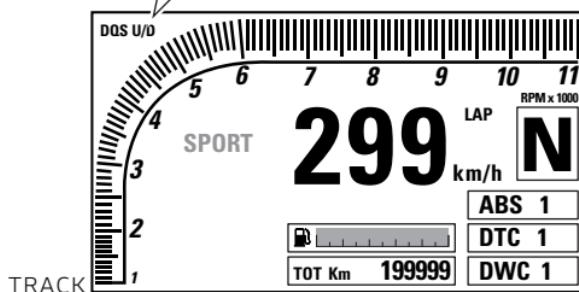


図 26

UP/DOWN 機能を備える DQS システムでは、クラッチを操作せずにシフトアップおよびシフトダウンが可能で

ペダルの作動機構に内蔵された双方向マイクロスイッチからななり、このマイクロスイッチがエンジンコントロールユニットにシフト操作に対応する信号を送信します。

システムは、ギアチェンジとシフトダウンで別々に作

用します。  
この機能を最大限に活用するためのいくつかのヒントを以下に示します。

- ドゥカティクイックシフトでは、このシステムを搭載しない車両と同様にギアチェンジペダルの操作を必要とします。ドゥカティクイックシフトはギアチェンジを自動で行うためのシステムではありません。

- ギアをチェンジする時(シフトアップまたはシフトダウン)は、ギアチェンジペダルを停止している位置からシフトしたい方向に動かしてください。その際、スプリングの反発力に抵抗してペダルを一定距離動かし、ギアが完全に締結されるまでその位置を維持してください。ギアチェンジが完了したら、ドゥカティクイックシフトで次のギアチェンジができるようにペダルを完全に放してください。ドゥカティクイックシフトのリクエスト時にギアチェンジペダルをストロークエンドまで確実に動かさないと、ギアが完全に入らない場合があります。

- クラッチレバーを操作する場合には、ドゥカティクイックシフトのアシストは作動しません。クラッチレバーを引いたとき、ドゥカティクイックシフトは起動しません。

- スロットルが完全に閉じている場合にのみ、ドゥカティクイックシフトはシフトダウンを実行します。

- 万ードゥカティクイックシフトのストラテジーが作動しない場合でも、クラッチレバーを操作してギアチェンジを完了することができます。

- ギアエンジペダルを上下いずれかの方向に 30 秒以上押し続けると(誤って操作した場合でも)、不正なエラーとしてコントロールユニットに記録され、ドゥカティクイックシフトの機能が停止することがあります。こうした場合にシステムを再起動するには、インストルメントパネルを一旦切ってからもう一度起動してください。
- ドゥカティクイックシフトは、エンジン回転数 2,500 rpm 以上で作動するように設計されています。
- ドゥカティクイックシフトを使ったシフトダウン機能は、すべてのギアにおいて定義された回転数の限界値以下でのみ作動します。これは、シフトダウンした時にエンジンの最高回転数を超えてしまうのを防ぐためです。

## メニュー機能

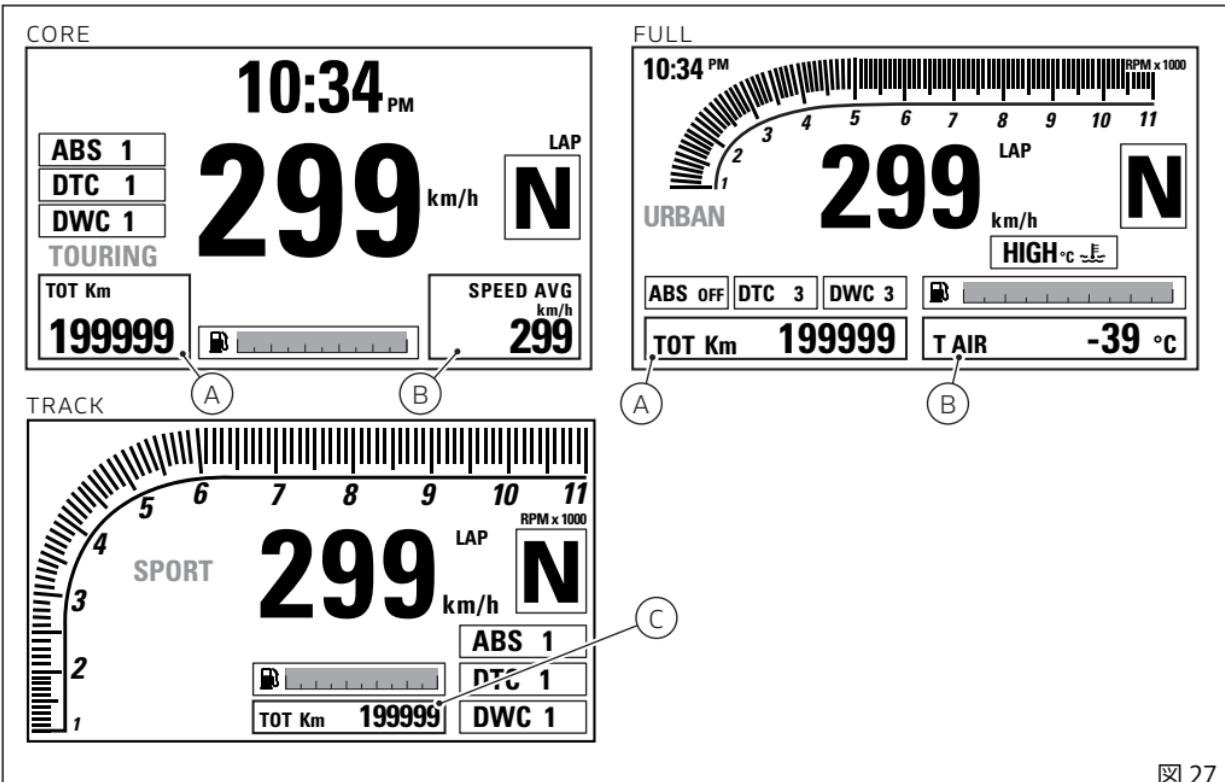
3種類のライディングモード設定 (SPORT、TOURING、URBAN) のそれぞれについて、メニュー機能が以下の3種類の表示モードのいずれかで表示されます。

- CORE
- FULL
- TRACK

機能は以下の通りです。

- オドメーター (TOT)
- トリップメーター 1 (TRIP1)
- トリップメーター 2 (TRIP2)
- 航続可能距離 (RANGE)
- ラップタイム (LAP time) (起動時のみ)
- クーラント温度
- 瞬間燃費
- 平均燃費
- 平均スピード
- トリップタイム
- 外気温
- 時計

COREおよびFULL モードでは、左側のメニュー (A) と右側のメニュー (B) に表示されます。TRACK モードでは、メニュー (C) に表示されます。



## オドメーター (TOT)

オドメーターは車両の総走行距離を設定単位(キロまたはマイル)でカウント、表示します。

オドメーターに対応する数値(キロまたはマイル)は、"TOT" の文字と単位で表示されます。最大値(199999 km または 199999 mi)に達するとインストルメントパネルにその値が表示されたままになります。

オドメーターの値は常に保存され、いかなる理由でもリセットすることはできません。

電源の供給が中断(バッテリー OFF)してもデータは消去されません。

TRACK 表示モードの機能を表示しています。CORE および FULL 表示モードでは、この機能の値は左下のメニューに表示されます。

### 参考

Key-ON 時にインストルメントパネルは 10 秒間 オドメーターを表示し、その後ユーザー設定ページの画面に移ります。

### 参考

オドメーター機能で点線 "----" が点滅表示される場合は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。

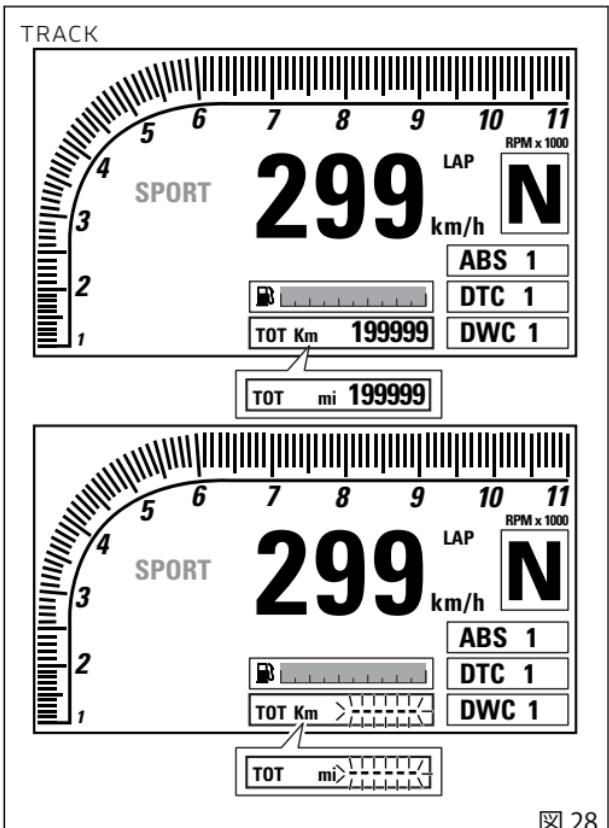


図 28

## トリップメーター 1 (TRIP 1)

トリップメーターは車両の部分走行距離を設定単位(キロまたはマイル)でカウント、表示し、平均燃費、平均スピード、トリップタイムの算出に使用されます。TRIP1に対応する数値(キロまたはマイル)は、TRIP1の文字と単位で表示されます。

データが最大値9999.9 kmまたは9999.9 miを超えると、カウンターは自動的にリセットされ、再びゼロからカウントを始めます。

トリップメーターの表示中にボタン(1)を3秒間押すと、TRIP1のデータがリセットされます。TRIP1がリセットされると、平均燃費、平均スピード、トリップタイムのデータもリセットされます。

TRIP1のカウントは、システムの単位を手動で変更した場合にも自動的にリセットされます。新しく設定した単位でゼロから再カウントされます。

TRACK表示モードの機能を表示しています。COREおよびFULL表示モードでは、この機能の値は左下のメニューに表示されます。

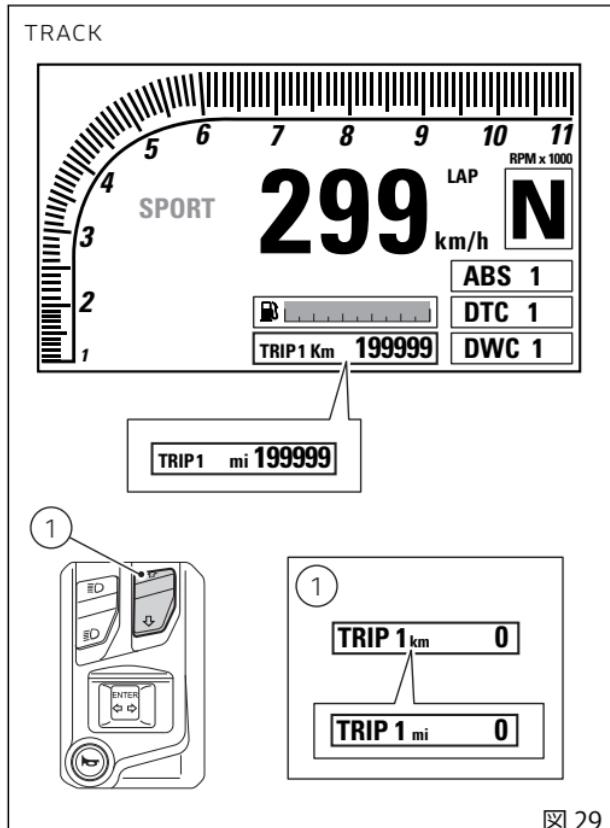


図 29

## トリップメーター 2 (TRIP 2)

トリップメーターは車両の部分走行距離を設定単位(キロまたはマイル)でカウント、表示します。

TRIP2に対応する数値(キロまたはマイル)は、TRIP2の文字と単位で表示されます。

データが最大値 9999.9 km または 9999.9 mi を超えると、カウンターは自動的にリセットされ、再びゼロからカウントを始めます。

トリップメーターの表示中にボタン(1)を3秒間押すと、TRIP 2 のデータがリセットされます。

TRIP2のカウントは、システムの単位を手動で変更した場合にも自動的にリセットされます。新しく設定した単位でゼロから再カウントされます。

TRACK 表示モードの機能を表示しています。COREおよび FULL 表示モードでは、この機能の値は左下のメニューに表示されます。

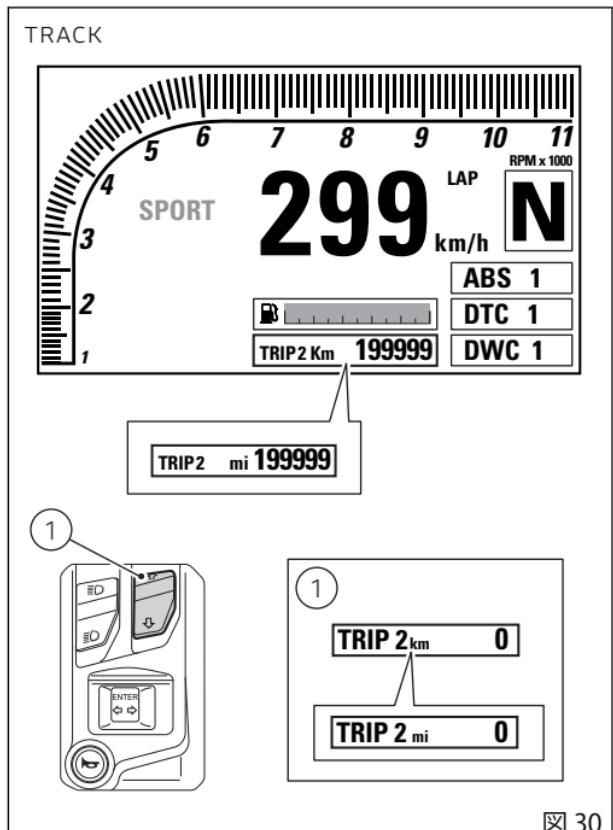


図 30

## 航続可能距離 (RANGE)

この機能はフューエルタンク内の燃料で走行できる航続可能距離を表示します。

データは "RANGE" の文字と設定単位で表示されます。この機能にエラーが検知されると、インストルメントパネルは "---" を点滅させます。

インストルメントパネルが RANGE データを受信できない場合は、単位と共に "---" が固定表示されます。



インストルメントパネルが単位情報を受信できない場合は、最後に設定した単位を点滅表示します。

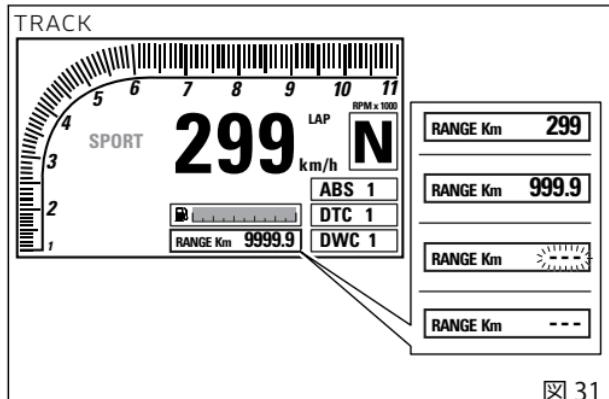


図 31

この機能の表示については CORE 表示モードを例にあげています。TRACK、FULL 表示モードでも CORE 表示モードと類似した表示になります。

## ラップタイム (LAP TIME)

LAP 機能は、CORE および FULL 表示モードでは左側のメニュー、TRACK 表示モードでは中央のメニューにあります。

LAP 機能に関する情報は機能が起動している場合に表示されます。

LAP 機能が ON の場合、FLASH ボタン (3) を押すと、最初にメニューに LAP 01 の文字と START の文字が 4 秒間点滅し (A)、次の 2 秒間は 10 分の 1 秒の単位で測定された時間 (" 0'00"0 ") が表示されます。その後 FLASH ボタン (3) を押す度に、直前周回のラップタイムが 100 分の 1 秒単位 (" 0'00"00 ") で 6 秒間一時的に表示されます。続いてストップウォッチ、進行中の新しい周回のラップ数が改めて表示されます (LAP 機能がメニューで選択された場合)。

LAP 機能がメニューで選択したものと異なる場合、表示完了時インストルメントパネルは FLASH ボタン (3) を押す前の機能を表示します。

メニューのその他の機能はいつでもスクロールすることができます。

LAP のメモリー数が 30 に達すると LAP 機能は停止し、FLASH ボタン (3) を押す度にインストルメントパネルに FULL の文字が点滅表示されます。これは、測定したラップの保存領域がなくなったことを表します。

TRACK 表示モードの機能を表示しています。CORE および FULL 表示モードでは、この機能の値は左下のメニューに表示されます。

TRACK



(A)

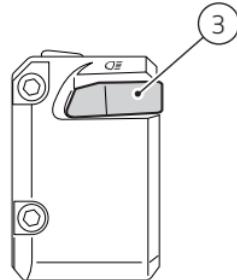


図 32

## 参考

LAP 機能が起動中、FLASH ボタンはハイビームの点滅と LAP 機能でストップウォッチのフィニッシュラインの記録操作(新しい周回の開始指示)の両方に使用します。

## 参考

TRIP FUEL 機能は常に LAP 機能より優先されます。LAP 機能が起動している状態で TRIP FUEL 機能が起動すると、自動的に LAP 機能のストップウォッチ表示が停止され、TRIP FUEL 機能に関する情報が表示されます。

## LAP の記録

LAP 機能が起動している場合、連続して 30 周回までラップタイプを記録することができます。

### 操作

- その後フィニッシュラインを通過する度に 5 秒間直前周回ラップ数およびラップタイムが 100 分の 1 秒の単位で表示されます。
- 5 秒後、インストルメントパネルは進行中の新しい周回のラップ数の表示に戻ります。

- 30 周回目およびそれ以降に FLASH ボタン(3)を押すと、走行中のラップを記録し、FULL の文字が表示されます。これは、保存領域がなくなったことを表します。

ラップタイムが最大 9 分 59 秒 99 以内に停止されない場合、ストップウォッチは再度ゼロからカウントを開始し、ラップが停止されるか記録機能が解除されるまでカウントを続けます。  
それぞれの LAP で以下の情報が記録されます。

- 30 周分のラップタイム(連続したスタートとストップ間のタイム)
- 30 周分の最大 RPM 値(各ラップの最大 RPM 値)
- 30 周分の最高スピード(各ラップの最高スピード)

## エンジンクーラント温度

インストルメントパネルはエンジン温度の情報 (° C) を受信し、設定単位 (° C または ° F) に変換したデータ、単位、エンジン温度のシンボルを表示します。エンジン温度の表示範囲は 40 ° C ~ +120 ° C (+104 ° F ~ +248 ° F) です。

データが以下の場合：

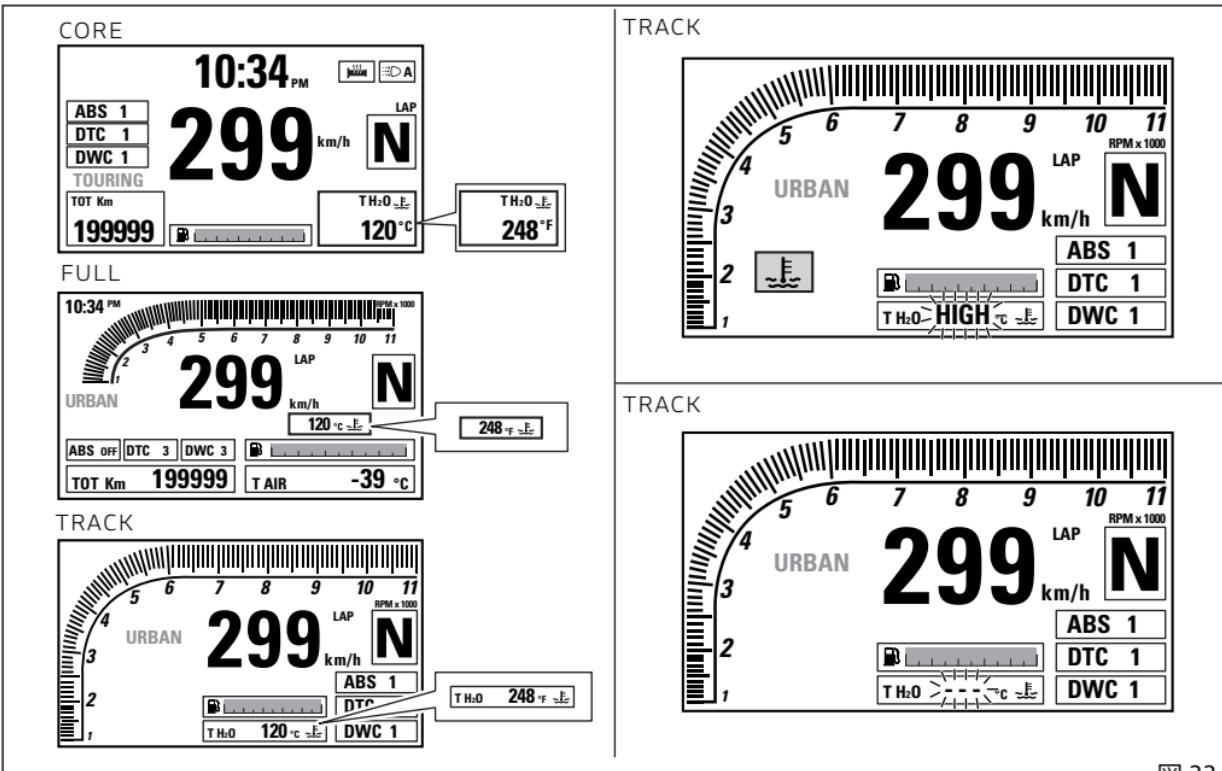
- -40 ° C (-40 ° F) 以下の場合、"---" が点滅表示されます。
- -39 ° C (-38 ° F) ~ +39 ° C (+102 ° F) の場合、"LOW" が点灯します。
- +40 ° C (+104 ° F) ~ +120 ° C (+248 ° F) の場合、データが固定表示されます。
- +121 ° C (+250 ° F) 以上の場合、"HIGH" が点滅表示されます。

クーラントが以下の温度を超えた場合：

- 100 ° C (+212 ° F) : メニューに表示されている他の機能に関係なく温度値がメニューに直ちに表示されます。メニューの他の機能も表示することができます。

- 121 ° C (+250 ° F) : メニューに表示されている他の機能に関係なく温度値がメニューに直ちに表示されます。メニューの他の機能を表示することはできません。さらに、警告アイコンが表示されます。

クーラント温度センサーエラーの場合、設定単位と共に "---" が点滅表示されます。さらに、EOBD ランプが点灯し、"ENGINE SENSOR" エラーが表示されます。インストルメントパネルがクーラント温度のデータを受信しない場合、単位と共に "---" が固定表示されます。



## 瞬間燃費

インストルメントパネルは車両の瞬間燃費、設定単位、CONS.I の文字を表示します。

数値は直前の 1 秒間の燃料消費量と走行距離から算出されます。データは設定された単位リットル/100km、mpg UK、mpg USA で表示されます。

数値はエンジンが作動しており車両が動いている場合にのみ算出されます(車両速度がゼロ、あるいはエンジン停止状態で車両が停車している間は算出されません)。算出されない場合は、ディスプレイ上に "---" が瞬間燃費として固定表示されます。



### 参考

設定メニューの UNITS SETTING 機能から、スピードの単位を km/h (km) から mph (mi) に変更することができます(走行距離を同時に変更)。

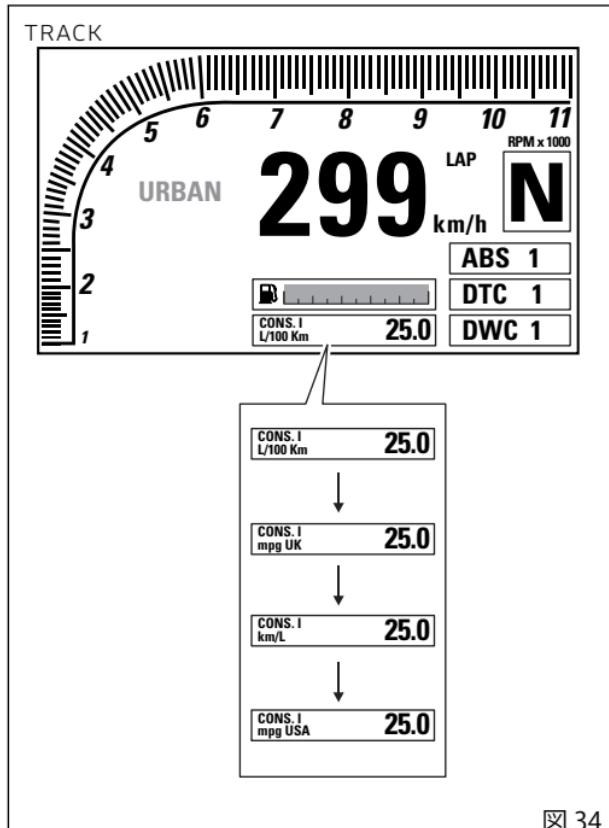


図 34

## 平均燃費

インストルメントパネルは車両の平均燃費、設定単位、"CONS.AVG" の文字を表示します。

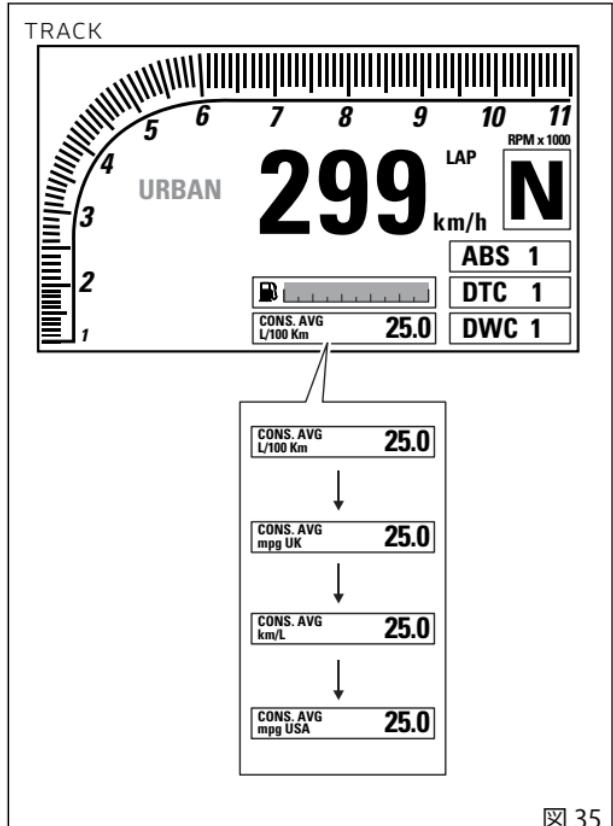
TRIP1 が最後にリセットされてからの消費燃料および走行距離から計算されます。

TRIP1 がリセットされると、データがリセットされ、次のデータはリセットから 10 秒後に表示されます。数値が表示されない最初の 10 秒間は "---" が平均燃費として固定表示されます。データは設定された単位 (リットル/100 km、mpg UK、mpg USA) で表示されます。

停車中であってもエンジンが作動している場合は時間が計算されます(車両停車中でエンジンが停止している時間は考慮されません)。



設定メニューの UNITS SETTING 機能から、スピードの単位を km/h (km) から mph (mi) に変更することができます (走行距離を同時に変更)。



## 平均スピード

インストルメントパネルは車両の平均スピード、設定単位、"SPEED AVG" の文字を表示します。

TRIP1 が最後にリセットされてからの走行距離と時間から計算されます。

TRIP1 がリセットされると、データがリセットされ、次のデータはリセットから 10 秒後に表示されます。数値が表示されない最初の 10 秒間は "---" が平均スピードとして固定表示されます。

停車中であってもエンジンが作動している場合は時間が計算されます（車両停車中でエンジンが停止している時間は考慮されません）。

平均スピードは車両スピードの表示と同様に、実速度に 5 % 上乗せした値が表示されます。

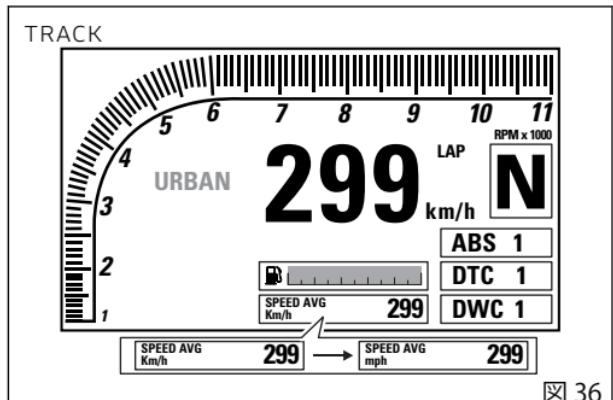


図 36



**参考**  
設定メニューの UNITS SETTING 機能から、スピードの単位を km/h (km) から mph (mi) に変更することができます（走行距離を同時に変更）。

## 走行時間

インストルメントパネルは走行時間を "hhh:mm" 形式で算出し、"TRIP TIME" の文字と共に表示します。

TRIP1 が最後にリセットされて以降の走行時間から計算されます。TRIP1 がリセットされると、データもリセットされます。車両が停止していてもエンジンが作動中であれば計算されます(車両停止中でエンジンが停止している時間は自動的に止まり、エンジンが作動すると自動的に時間測定を再開します)。

表示時間が "511:00" (511 時間 00 分) を超えると、カウンターは自動的にリセットされ、再びゼロからカウントを始めます。

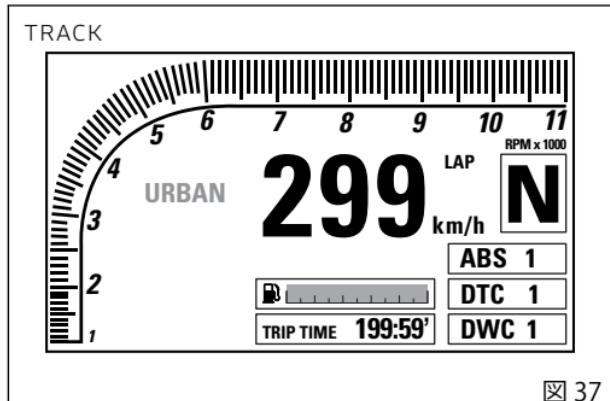


図 37

### 参考

スピード(および距離)、または燃費に関する値の単位が変更された場合、走行時間のデータは自動的にリセットされます。

## 外気温

インストルメントパネルは設定された単位(° Cまたは°F)に換算された外気温、設定単位、AIRの文字、温度計の記号を表示します。温度データは-39 ° C～+124 ° C(-38 ° F～+255 ° F)の場合に表示されます。それ以外の温度(-39 ° C(-38 ° F)未満か+124 ° C(+255 ° F)を超える場合)では"---"と単位が表示されます。

気温センサーホークの場合、インストルメントパネルには単位と共に"---"が点滅します。さらにディスプレイに一般的エラー警告灯が点灯します。インストルメントパネルが気温のデータを受信しない場合、単位と共に"---"が固定表示されます。



エンジンの熱が停車中の車両の温度表示に影響を与える場合があります。

TRACK

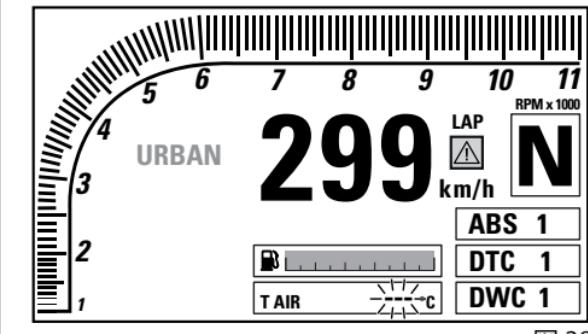
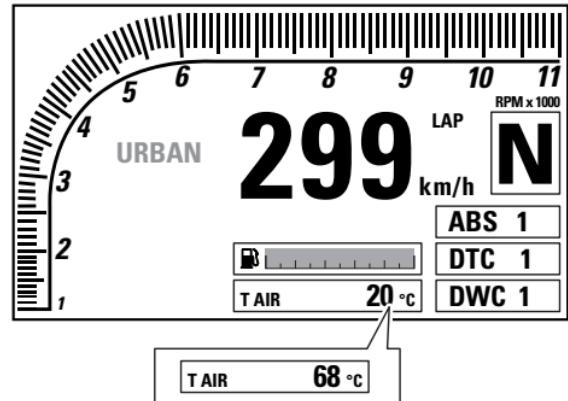


図 38

## 時計

インストルメントパネルは時間に関する情報を表示します。

時間の表示は使用している表示モード (CORE、FULL、TRACK) によって異なります。

インストルメントパネルは時間を次のように表示します。

- hh (時間) : mm (分)
- "a.m."(1:00から11:59)、または"p.m."(12:00から12:59、1:00から11:59)。

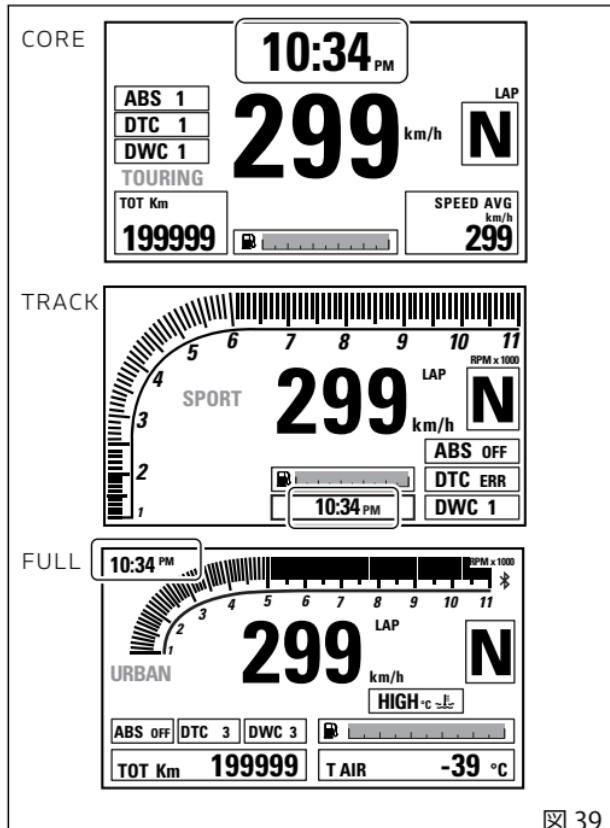


図 39

## サブ機能

### LAP

インストルメントパネルはLAP機能の状態を表示します (LAPの記録ONまたはOFF)。

LAPがONの場合、"LAP"の文字が表示され記録がおこなわれ、LAPがOFFの場合、"LAP"の文字は表示されません。

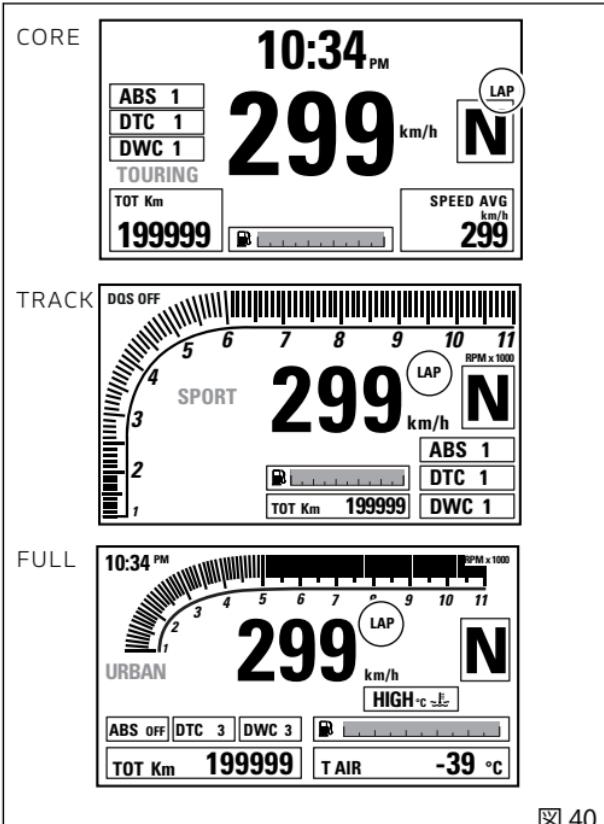


図 40

## インフォテインメント

Monster 1200 はドゥカティマルチメディアシステム(DMS)を標準装備しています。このシステムは Bluetooth テクノロジー対応ヘッドフォンを用いて着信通話のほか、音楽を聴いたり SMS 受信通知を受け取ったりすることが可能です。

インストルメントパネルにはインフォテインメント機能の状態、すなわち Bluetooth の起動および接続デバイス(スマートフォン、ヘッドセット、ナビゲーター)を表示します。

Bluetooth が起動しているときは、メインスクリーンに Bluetooth アイコン (A) が表示されます。

また FULL および CORE 表示モードでは、インフォテインメント機能を専用メニュー (B) で見ることができます。

TRACK モードでは、プレーヤーに関連するインフォテインメント機能はインストルメントパネルに表示されません。ただし各機能ボタンを使用して、電話の受信 / 拒否 / 通話終了が可能です。



### 警告

インフォテインメントに関連するすべての情報(プレーヤー、電話帳へのアクセス、デバイス名など)は英文字で表示されます。

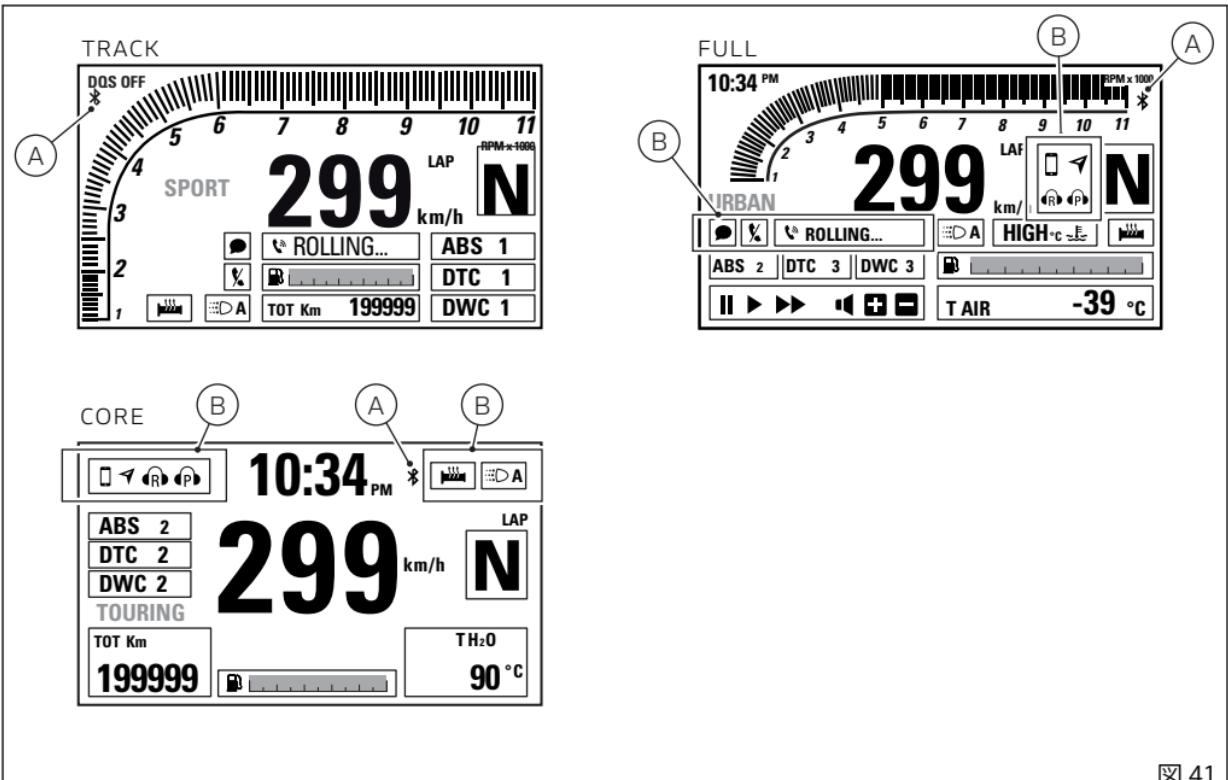


図 41

Bluetooth が起動している場合は、Bluetooth アイコンのほかにスマートフォン、ライダーヘルメットヘッドセット、パッセンジャーヘルメットヘッドセット、Ducati ナビゲーターの接続デバイスについても表示されます。

デバイスは最大 4 台まで接続が可能です。

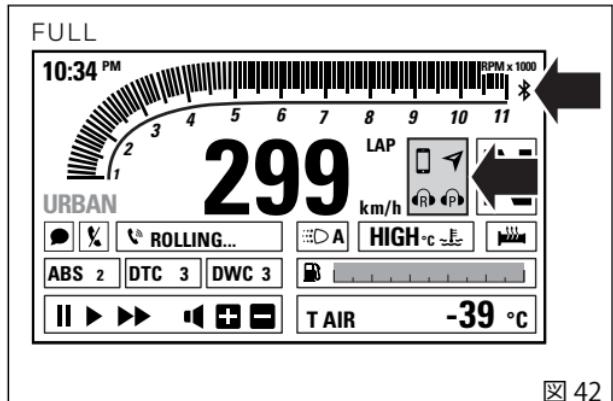


図 42

## 携帯電話

電話機能を用いて以下の操作が可能です。

- ボタン(1)およびボタン(2)を押して、着信を管理します。
- 通話の中断後5秒以内に、最後に通話していた番号へかけ直すことができます(リコール機能)。



### 参考

機能ボタンで電話帳に登録されている氏名/電話番号を選択して電話をかけることはできません。

着信があると(B)、枠内の青色が点滅します。着信を受けると枠内の青色の点滅が止まります。

着信時にプレーヤー(A)が作動している場合は、通話中はプレーヤーが一時停止になり、通話が終わると再開します。

ボタン(2)を押して着信を受けます。

通話を終了するには、ボタン(1)を2秒間押し続けます。

電話をかけ直すことができるリコール機能(C)を表す枠が通話終了後5秒間表示されます。

5秒が過ぎると、リコール機能枠は解除されます。

リコール機能を使うには5秒以内にボタン(2)を押します。

FULL

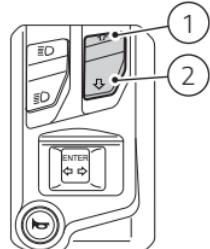
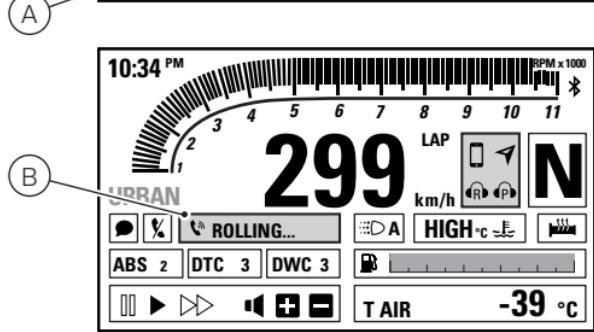


図 43

スマートフォンが車両に接続された瞬間から接続を切断する瞬間までに応答しなかった着信がある場合は、不在着信マークが表示されます(一定時間)。

スマートフォンが車両に接続された瞬間から接続を切断する瞬間までに未読のSMS/MMS/EMAILがある場合は、未読メッセージのマークが表示されます。未読メッセージ数は表示されません。

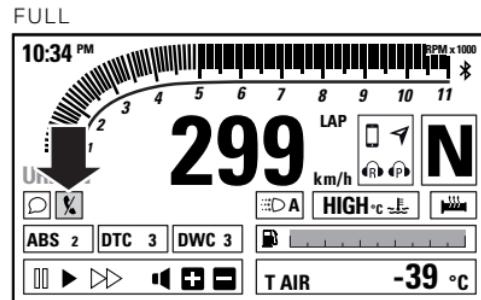


図 44

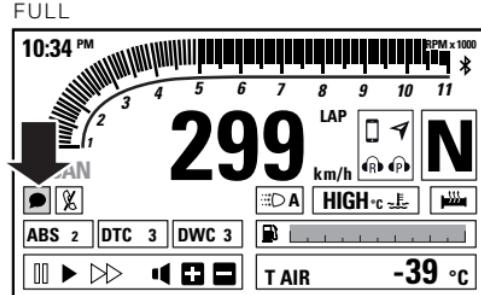


図 45

## プレーヤー

プレーヤーは FULL および CORE の表示モードでのみ起動できます。

少なくとも 1 台のスマートフォンが接続されていると(メインスクリーンの青色アイコン)、FULL および CORE 表示モードではメニュー 1 内に PLAYER OFF 機能が表示されます。

ボタン(1)を 2 秒間押すとプレーヤーが起動します。インストルメントパネルはメニュー 1 に "PLAYERON" を表示し、プレーヤーのグラフィックが起動します。プレーヤーが起動すると、ボタン(1)、ボタン(2)、ボタン(4)はプレーヤー操作専用ボタンになります。

プレーヤーが ON の時にインストルメントパネルがトラック名を受信しない場合は、曲再生が一時停止になり、曲名が表示される枠内に "NOT AVAILABLE" の文字が表示されます。

### 重要

着信中、通話中、およびリコール中はメニュー 1 からプレーヤー機能を起動することはできません。

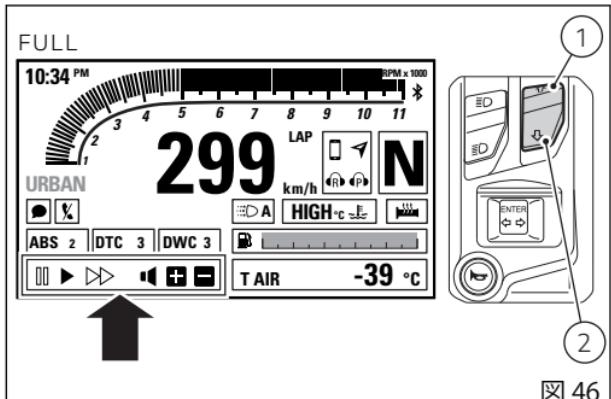


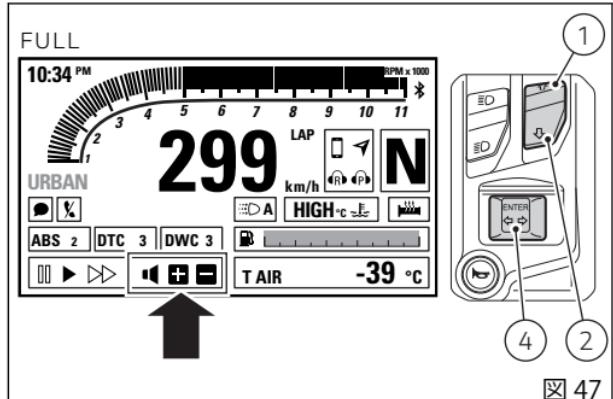
図 46

音量調節は以下の方法で行います。

- 音量を上げる：ボタン(1)を押します。
- 音量を下げる：ボタン(2)を押します。

プレーヤーを一時停止/再生するにはボタン(4)を2秒間押します。

次の曲にスキップするにはボタン(4)を押します。ボタンを押すたびに一曲ずつスキップします。



プレーヤー操作を出てから3秒以内に"PLAYER ON"の対応するボタン(1)を2秒間押すと、プレーヤーをOFFにすることができます。メニュー1には"PLAYER OFF"の文字が表示されます。

プレーヤーをONの状態にしたままで、プレーヤー操作から出るにはボタン(2)を2秒間押します。

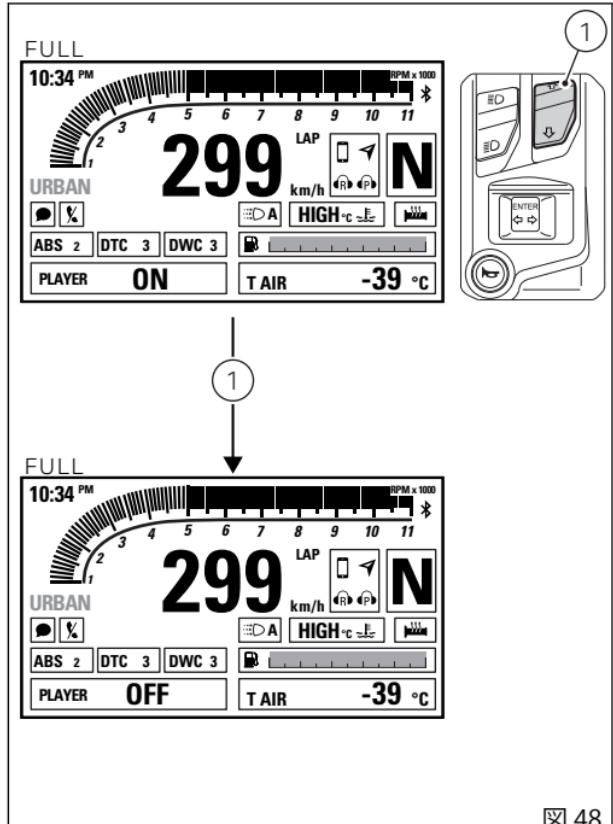


図 48

## よくある質問と回答 (FAQ)

### 1) Eメール受信通知を受け取れません。

メール受信の通知は、携帯電話のネイティブアプリケーションに設定されている場合にのみ受け取ることができます。また、携帯電話が MAP プロフィールに対応していることを確認してください。

対応している場合には、ドゥカティマルチメディアシステムは接続時にプロフィールへのアクセスリクエストを送信します。このリクエストは、メッセージ通知へのアクセス許可をリクエストするかたちで、ユーザーに明確に通知される場合があります(端末の OS により異なる)。

### 2) SMS 受信通知を受け取れません。

携帯電話が MAP プロフィールに対応していることを確認してください。

対応している場合には、ドゥカティマルチメディアシステムは接続時にプロフィールへのアクセスリクエストを送信します。このリクエストは、メッセージ通知へのアクセス許可をリクエストするかたちで、ユーザーに明確に通知される場合があります(端末の OS により異なる)。

### 3) ヘッドセットを接続できません。どうしてですか?

一回ペアリングを行っている場合は、ヘッドセットを一度リセットして再び車両とのペアリングを実施してください(ヘッドセットの取扱説明書参照)。

### 4) 着信時、インストルメントパネルには発信者の番号は表示されますが、発信者名は表示されません(電話帳に保存している場合も含む)。

携帯電話が PBAP プロフィールに対応していることを確認してください。

対応している場合には、ドゥカティマルチメディアシステムは接続時にプロフィールへのアクセスリクエストを送信します。このリクエストは、携帯電話の電話帳へのアクセス許可をリクエストするかたちで、ユーザーに明確に通知される場合があります(端末の OS により異なる)。

### 5) インストルメントパネルからプレーヤーを起動しても、音楽がスタートしません。

プレーヤーの起動は携帯電話の設定に依存します。この場合は、インストルメントパネルからプレーヤーを起動したのち、スマートフォンから音楽再生アプリを起動してください。

### 6) 音楽の音が飛ぶことがあります。

デバイスの接続が悪いと、Bluetooth コントロールユニットがまだデバイスとの接続を完了しようとしているままになる場合があります。また、PBAP プロフィールおよび MAP プロフィールが有効でなければなり

ません。iOS の場合は、項目 7) を参照してください。  
Android の場合は、項目 2)、4) を参照してください。

**7) iPhone ではメッセージ受信通知を受け取れません。  
どうしてですか？**

「設定」メニューの「Bluetooth」を選択してください。「デバイス」リスト内から「Ducati Media System」の横にある「i」を選択してください。通知の表示を有効にします。

## メンテナンス表示 (SERVICE)

この表示は、Ducati 正規サービスセンターで車両のメンテナンス(定期点検)を実施する必要があることをユーザーに通知します。

メンテナンス表示のリセットは、メンテナンスを行う Ducati 正規サービスセンターでのみ行うことができます。

アイコン表示は注意 / 警告の表示方法と同じです ("ページ 115")。



図の表示モードは FULL ですが、CORE および TRACK モードでも同じようにアイコンが表示されます。

FULL

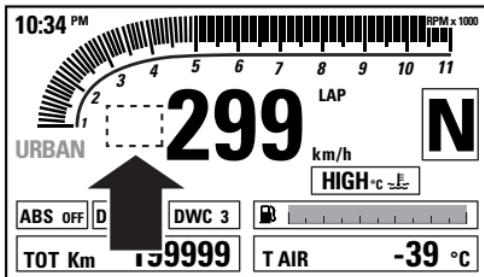
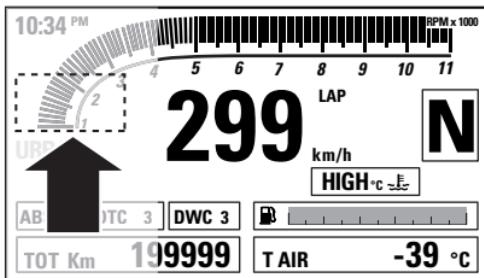


図 49

## OIL SERVICE ゼロの表示

最初のメンテナンス表示は、OIL SERVICE ゼロ(赤色アイコン)を通知します。オドメーターが最初の 1000 km (600 miles)に達すると、Key-ON 毎に 5 秒間大きく表示されます。その後 Ducati 正規サービスセンターでのメンテナンスの際に "リセット" されるまで常に小さく表示されます。

アイコン表示は注意 / 警告の表示方法と同じです ("ページ 115")。



### 参考

図の表示モードは TRACK ですが、CORE および FULL モードでも同じようにアイコンが表示されます。

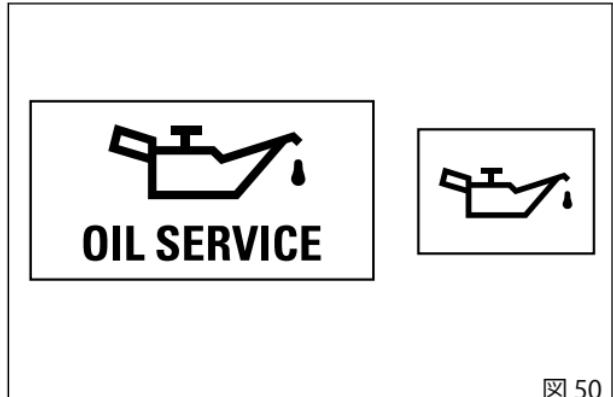


図 50

## OIL SERVICE、ANNUAL SERVICE、DESMO SERVICE カウントダウン表示

Oil Service ゼロ (1000 km - 600 mi) 表示の最初のリセットが行われた後、インストルメントパネルは Key-ON ごとに以下の表示を黄色で 5 秒間表示します。

- 次回の定期点検 OIL SERVICE (A) までの走行距離が 1000 km (600 mi) を切るまで、定期点検までの残りのキロ数 (マイル数) をカウントします。
- 次回の定期点検 ANNUAL SERVICE (B) までの日数が 30 日を切るまで、残りの日数をカウントします。
- 次回の定期点検 DESMO SERVICE (C) までの走行距離が 1000 km (600 mi) を切るまで、残りのキロ数 (マイル数) をカウントします。

点検までの正確な残りの走行距離、またはメンテナンス予定日を知るには、設定メニューに入り "SERVICE" を選択します ページ 197。

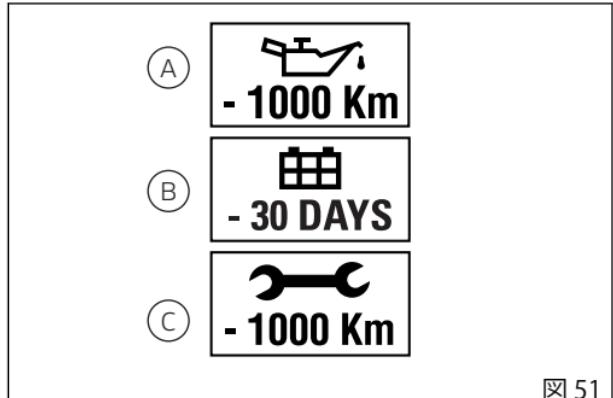


図 51

## OIL SERVICE、ANNUAL SERVICE、DESMO SERVICE 表示

メンテナンスを必要とする走行距離に達すると、次のおうち必要なメンテナンスが表示されます。

- Oil Service (A)
- Annual Service (B)
- Desmo Service (C)

実施するメンテナンスの種類が赤色アイコンで Key-ON 毎に 5 秒間大きく表示されます。その後 Ducati 正規サービスセンターでのメンテナンスの際に "リセット" されるまで常に小さく表示されます。

点検までの残りの走行距離、またはメンテナンス予定期日を知るには、設定メニューに入り "SERVICE" を選択します ページ 197。

アイコン表示は注意 / 警告の表示方法と同じです ("ページ 115")。

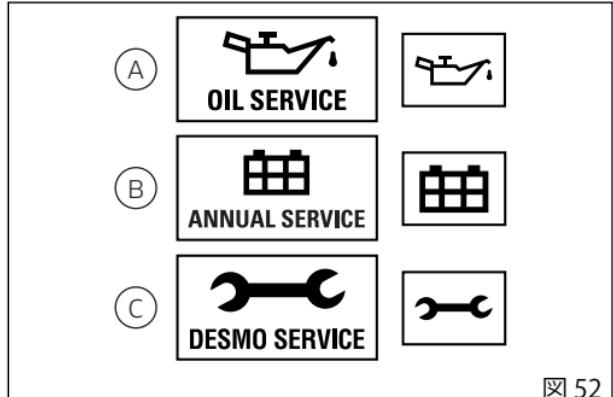


図 52

## **注意 / 警告 (WARNING)**

車両使用中にユーザーに有用な情報を提供するため、  
インストルメントパネルは一連の注意/警告  
(warnings) を管理します。

KEY-ON 時に警告が検知されると、インストルメント  
パネルのディスプレイに警告が表示されます。

車両の通常作動時に警告が検知されると、インストル  
メントパネルのディスプレイに警告が自動的に表示さ  
れます。警告が検知されると最初の 5 秒間はっきりと  
表示され(大きいアイコン)、その後小さく表示されま  
す(小さいアイコン)。

複数の警告が検知された場合、各警告アイコンが 3 秒  
ずつ順番に表示されます。

1 つ以上の "警告" が存在する場合、警告ランプは点灯  
しません。

## エンジンクーラント温度高 (High temperature)

この機能では、エンジンクーラント温度が 121° C (250° F) に達すると警告を表示します。

### 参考

この場合、速やかに車両を停止してエンジンを切ってください。ファンが作動していることを確認してください。

### 参考

図の表示モードは TRACK ですが、CORE および FULL モードでも同じようにアイコンが表示されます。

TRACK



図 53

## 凍結

この機能では、外気温が低いため路面凍結の危険があることを表示します。

温度が 4° C (39° F) に下がると表示され、6° C (43° F) に上がると表示が消えます。



## 警告

気温が 4° C (39° F) 以上でも道路が氷結している可能性があります。外気温が "低い" 時、特に日陰や橋の上では細心の注意を払って運転してください。



## 参考

図の表示モードは TRACK ですが、CORE および FULL モードでも同じようにアイコンが表示されます。

## TRACK



## 日付の入力

この機能は設定メニューから日付を入力する必要があることを通知します。



### 参考

この場合は一旦停車し、"日付の設定(DATESET)"機能から日付を入力してください。

TRACK



図 55

## バッテリーレベルLOW(LOW BATTERY)インジケーター

この機能は車両のバッテリー充電レベルが低下していることを通知します。

バッテリー電圧が約11.0V以下になると表示されます。

### 参考

この場合、車両を始動できなるおそれがありますので、正規チャージャーで速やかにバッテリーを充電してください。

TRACK



図 56

## エラー表示

インストルメントパネルは車両の不具合をリアルタイムに識別するためにエラー信号を管理します。

車両 Key-ON 時にエラーが検知された場合、インストルメントパネルのディスプレイに MIL ランプ(B)(エンジンコントロールユニットに直接関連するエラー)もしくは一般的エラー警告灯(A)(その他エラー全般)が点灯します。

車両の通常作動時にエラーが検知されると、インストルメントパネルには MIL (B) ランプもしくは一般的エラー警告灯 (A) が点灯します。



### 警告

ひとつ以上のエラーが表示される場合には、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにお問い合わせください。

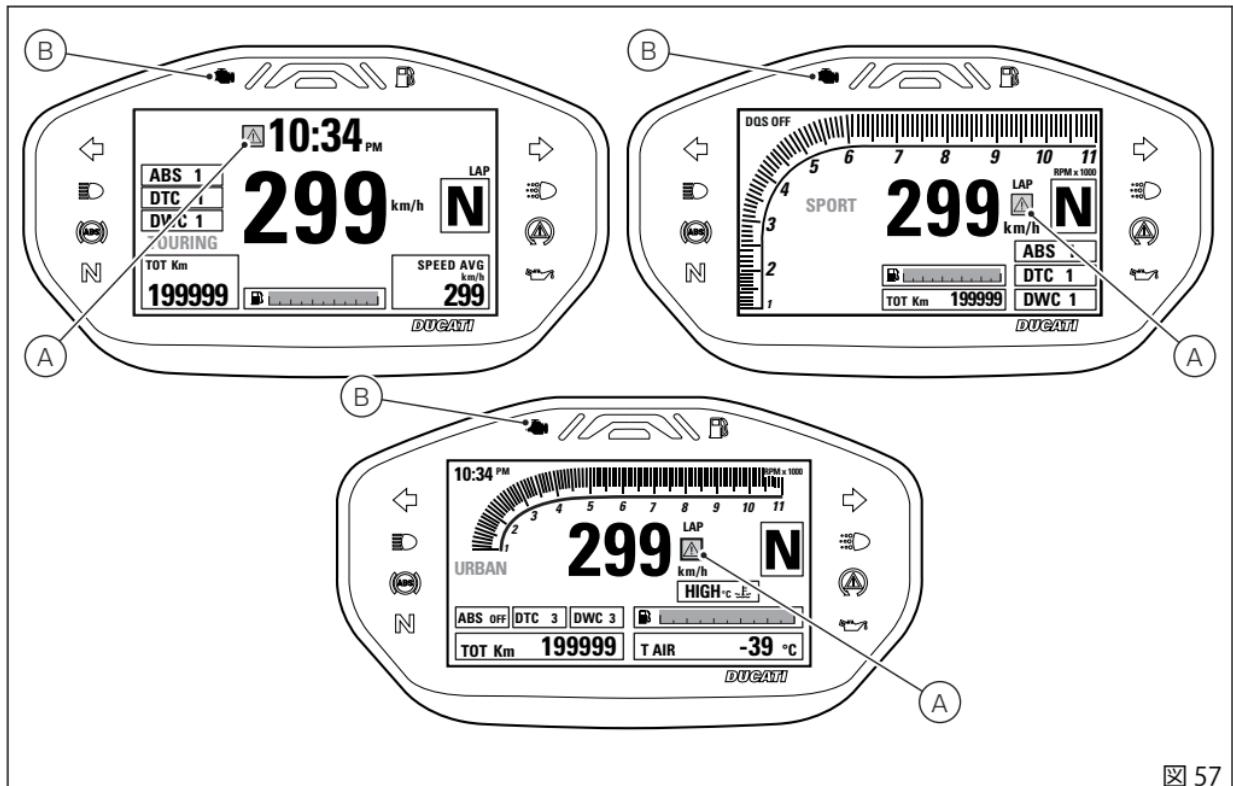


图 57

## サイドスタンドの状態の表示

インストルメントパネルはスタンドの状態を表示します。サイドスタンドが下りている/開いている場合には、赤色の背景に "SIDE STAND" アイコンがディスプレイに表示されます。

サイドスタンドセンサーエラーが検知されると、インストルメントパネルはサイドスタンドエクステンド/オープンを表示し、MIL ランプを点灯します。

インストルメントパネルがサイドスタンドの状態に関するデータを受信しない場合、スタンドが下りている/開いている場合の "SIDE STAND" の表示が点滅し、不明の状態を表します。

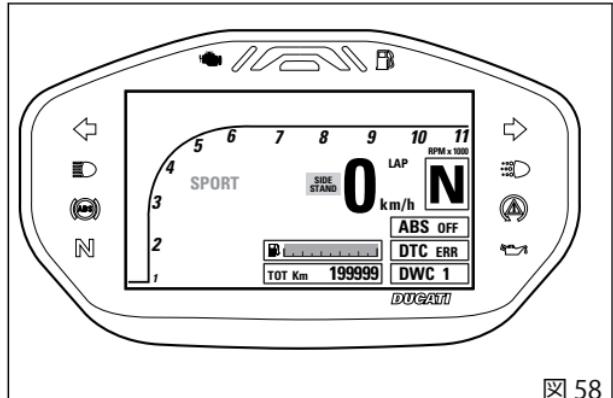


図 58

### 参考

サイドスタンドが下りていてギアが入った状態では車両を始動することはできません。ギアがニュートラルの状態で車両を始動し、次にサイドスタンドが下りている状態でギアを入れると、車両は停止します。

## 設定メニュー

このメニューではいくつかの車両機能の ON/OFF および設定を行います。

設定メニューに入るには、KEY-ON の状態で車両実速度が 5 km/h (3 mph) 以下時にボタン (2) を 3 秒間押します。設定メニューの表示中は他の機能を表示することはできません。

設定メニューには以下の機能が表示されます。

- RIDING MODE
- DISPLAY
- PIN CODE
- DRL CONTROL
- LAP
- UNIT SETTING
- DATE & CLOCK
- BLUETOOTH
- SERVICE
- INFO
- TIRE SETTING



**重要**  
安全のために、このメニューは車両が停止している状態で使用してください。

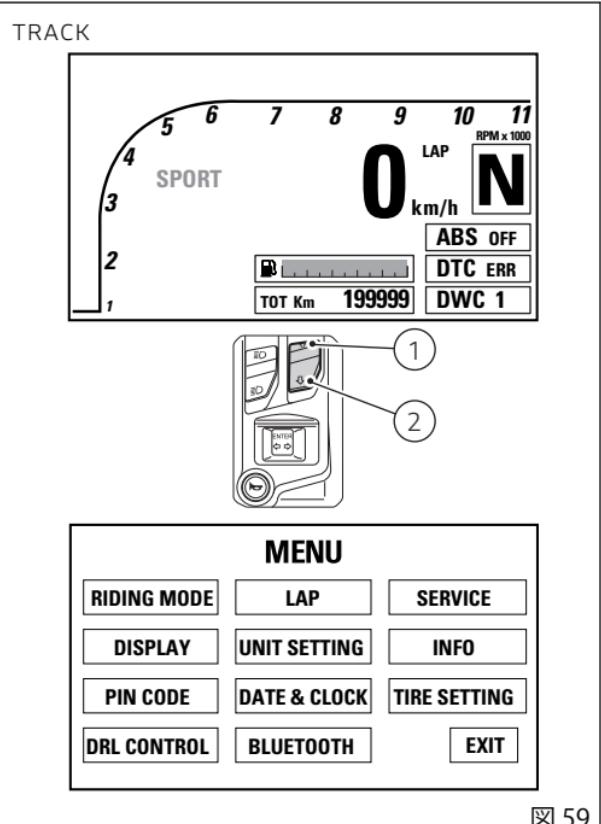


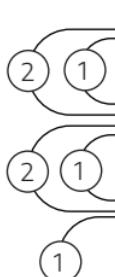
図 59

ボタン(1)および(2)を押すとパーソナライズ可能なパラメーターを一つずつ強調表示することができます。ボタン(1)を押すと次のパラメーターが、ボタン(2)を押すと前のパラメーターが強調表示されます。希望のパラメーターを強調表示した後、ボタン(4)を押すと、選択したパラメーターに対応するメニューページが開きます。

機能が装備されていない場合や一時的に解除される場合は、メニューページにアクセスできません。設定メニューを終了するには、"EXIT"を強調表示し、メニュー決定ボタン4を押します。

TRACK

# MENU



RIDING MODE

LAP

SERVICE

DISPLAY

UNIT SETTING

INFO

PIN CODE

DATE & CLOCK

TIRE SETTING

DRL CONTROL

BLUETOOTH

EXIT

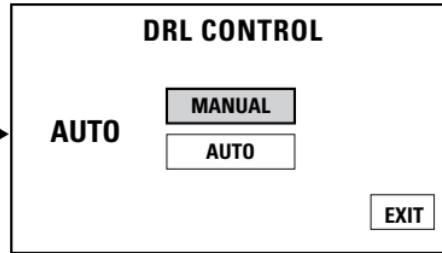
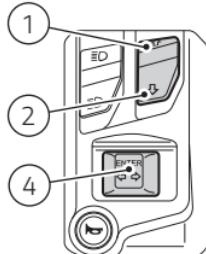


図 60

## ライディングモードのパーソナライズ (RIDING MODE)

各ライディングモードのそれぞれの設定をパーソナライズすることができます。  
設定メニューに入ります。

ボタン(1)または(2)を押して "RIDING MODE" を選択します。機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。

"RIDING MODE" メニューに入ります。ボタン(1)または(2)を押して、希望のライディングモード (SPORT、TOURING、URBAN) を選択します。希望のライディングモードが強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。選択したライディングモードのパーソナライズメニューに入ります。

"EXIT" の文字が強調表示された状態でボタン(4)を押すと、サブメニューを終了し前の画面に戻ります。

各ライディングモードについて以下のパラメーターをパーソナライズすることができます。

- ABS
- DTC
- DWC
- ENGINE
- DQS (装備する場合)
- DEFAULT

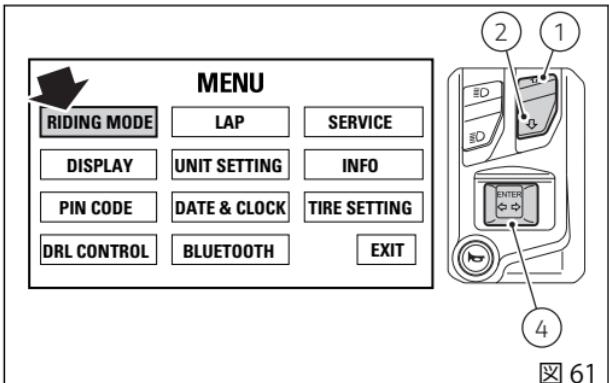


図 61

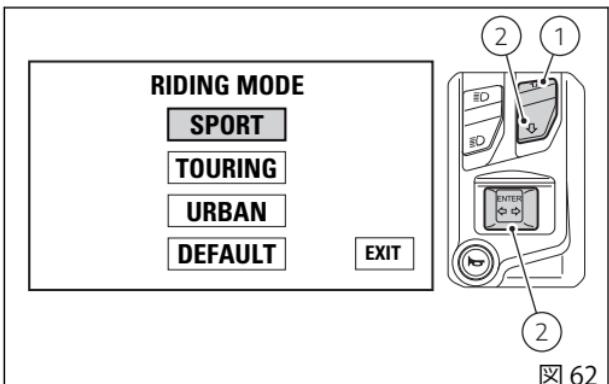


図 62

ボタン(1)および(2)を押すとパーソナライズ可能なパラメーターを一つずつ強調表示することができます。ボタン(1)を押すと次のパラメーターが、ボタン(2)を押すと前のパラメーターが強調表示されます。希望のパラメーターを強調表示した後、ボタン(4)を押すと、選択したパラメーターに対応するメニューページが開きます。

変更したパラメーターはバッテリーを切り離してもリセットされません。

それぞれのライディングモードを Ducati 初期設定に戻すには、"DEFAULT" 機能を使用します。

"EXIT" の文字が強調表示され、ボタン(4)を押すと、サブメニューを終了して前の画面に戻ります。



## 警告

パラメーター変更は、車両のセットアップに充分慣れている方のみにお勧めします。意図せず変更してしまった場合は、"DEFAULT" 機能を使用してパラメーターを修復してください。

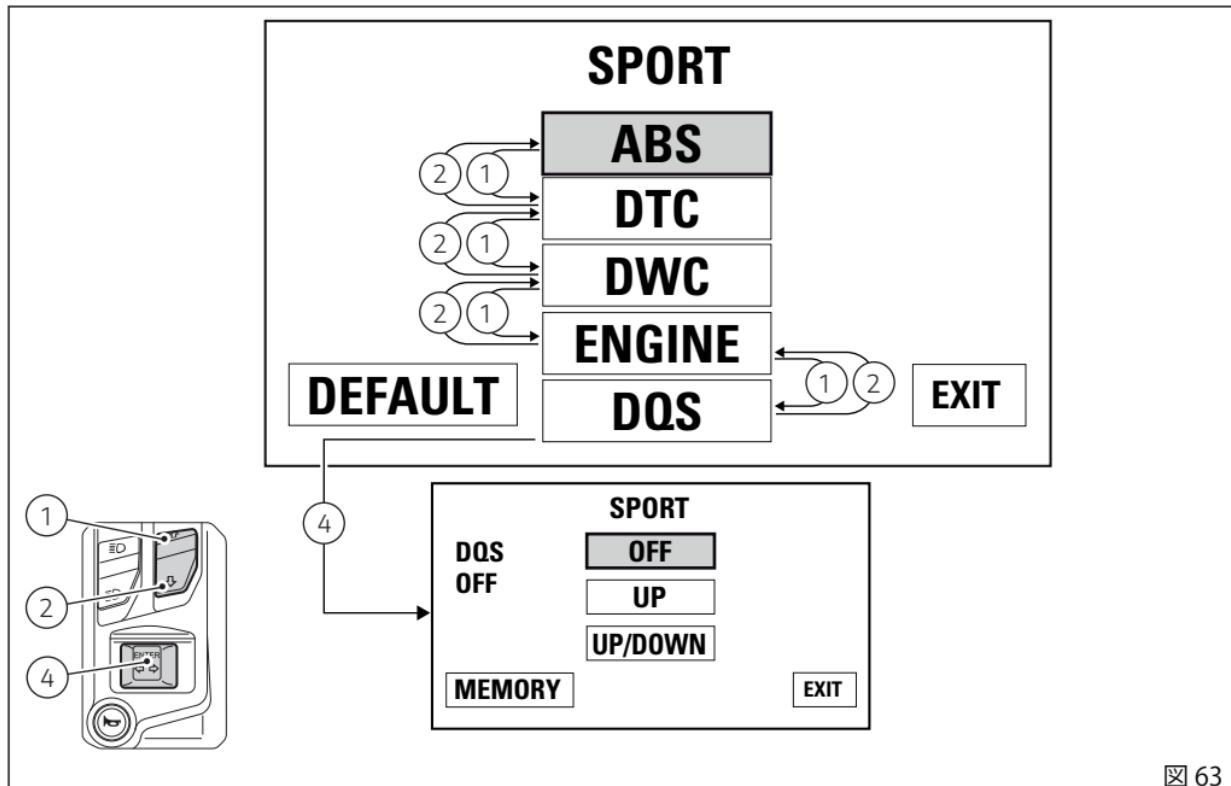


図 63

## ライディングモードのパーソナライズ： ABSの調整

この機能では一つのライディングモードのABSシステム介入レベルの設定、またはABSシステムの解除を行うことができます。設定メニューに入ります。

ボタン(1)または(2)を押して "RIDING MODE" を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。

"RIDING MODE" メニューに入ります。ボタン(1)または(2)を押して、希望のライディングモード (SPORT、TOURING、URBAN)を選択します。

希望のライディングモードが強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。選択したライディングモードのパーソナライズメニューに入ります。ボタン(1)または(2)を押して、パーソナライズするパラメーター(ABS)を選択します。希望のパラメーターが強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。

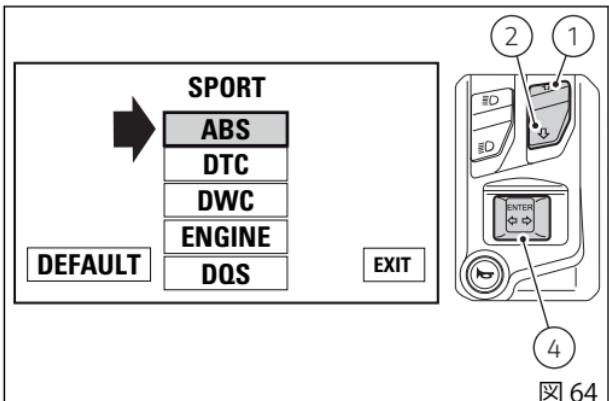


図 64

この機能に入ると、左側に現在設定されているABSレベル、または状態が表示されます(例: ABS 1)。

中央にはレベル1から3、およびOFFのパーソナライズ可能な内容が表示されます。

ボタン(1)および(2)を押すと希望の介入レベルを一つずつ強調表示することができます。ボタン(1)を押すと次のレベルが、ボタン(2)を押すと前のレベルが強調表示されます。

希望のレベルを選択したら、メニュー決定ボタン(4)を押して"MEMORY"の文字を強調表示します。

新しい設定を保存するには、"MEMORY"の文字がオレンジ色に強調表示された状態でボタン(4)を2秒間押します。保存が正しく完了すると、"MEMORIZED"の文字が1秒間緑色に強調され、レベルまたは設定状態が更新されます(更新は緑色で表示)。その後、"EXIT"の文字が緑色で強調表示されます。

メニューを終了して前の画面に戻るには、"EXIT"の文字を強調表示し、ボタン(4)を押します。

## 参考

この機能を使用してABSシステムを起動または解除する場合、すなわちシステムのステータスを解除から起動、起動から解除へ変更する場合、ABSシステムの起動・解除プロセスが実施されます。ABSコントロールユニットのステータス変更は瞬時に反映されません。

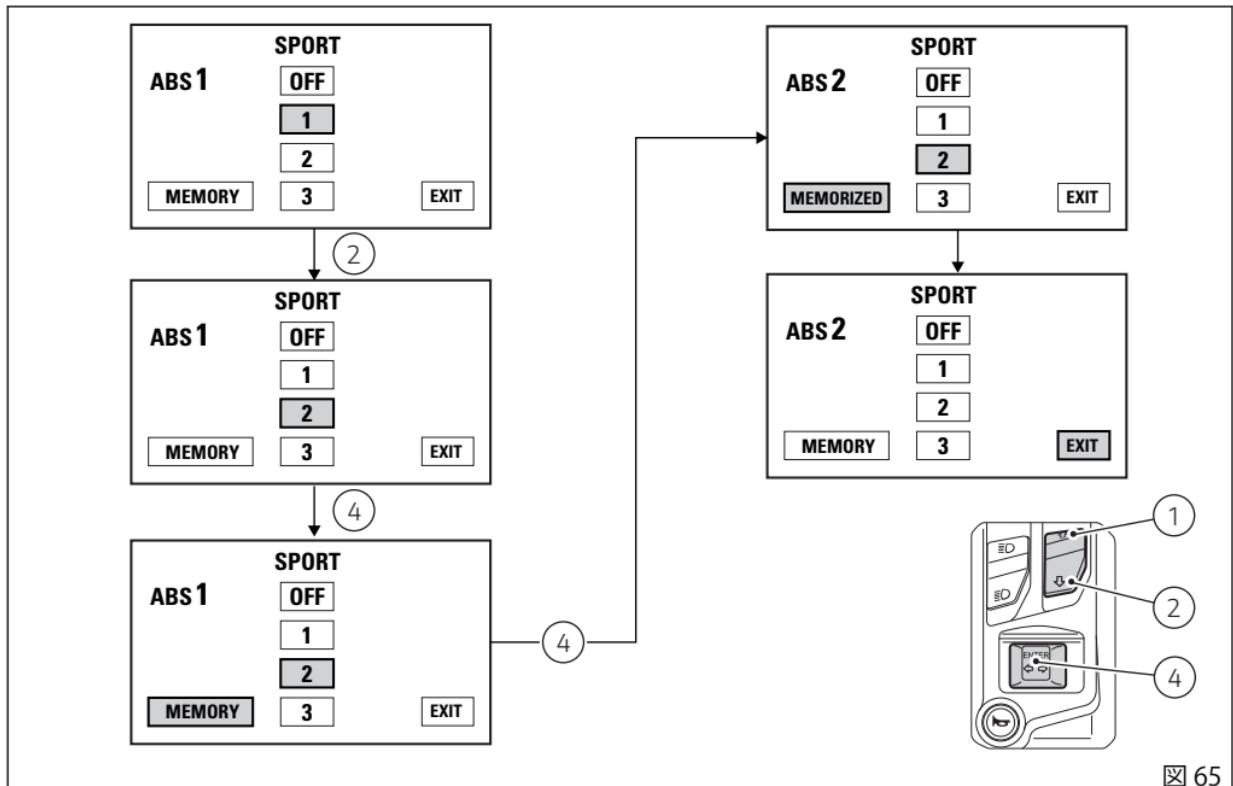


図 65

## ライディングモードのパーソナライズ： DTC レベルの設定

ここでは各ライディングモードに運動したDTC介入レベルの設定または解除を行うことができます。

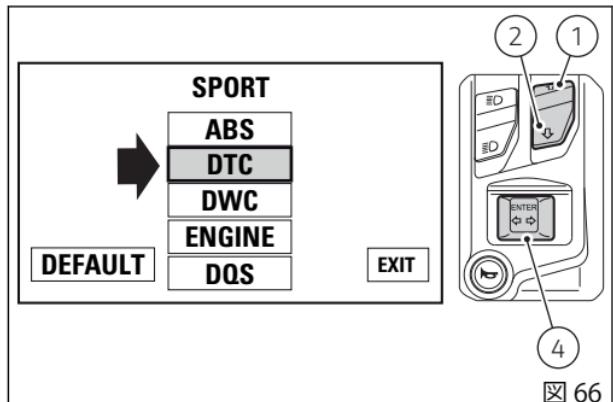
設定メニューに入ります。ボタン(1)または(2)を押して "RIDING MODE" を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。

"RIDING MODE" メニューに入ります。ボタン(1)または(2)を押して、希望のライディングモード (SPORT、TOURING、URBAN) を選択します。

希望のライディングモードが強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。

選択したライディングモードのパーソナライズメニューに入ります。



この機能に入ると、左側に現在設定されているDTCレベル、または状態が表示されます(例:DTC 3)。

中央にはレベル1から8、およびOFFのパーソナライズ可能な内容が表示されます。

ボタン(1)または(2)を押して、パーソナライズするパラメーター(DTC)を選択します。

希望のパラメーターが強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。

新しい設定を保存するには、"MEMORY"の文字がオレンジ色に強調表示された状態でボタン(4)を2秒間押します。

保存が正しく完了すると、"MEMORIZED"の文字が1秒間緑色に強調され、レベルまたは設定状態が更新されます(更新は緑色で表示)。その後、"EXIT"の文字が緑色で強調表示されます。

メニューを終了して前の画面に戻るには、"EXIT"の文字を強調表示し、ボタン(4)を押します。

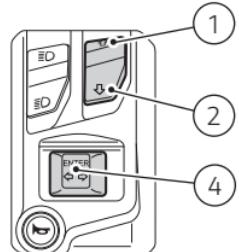
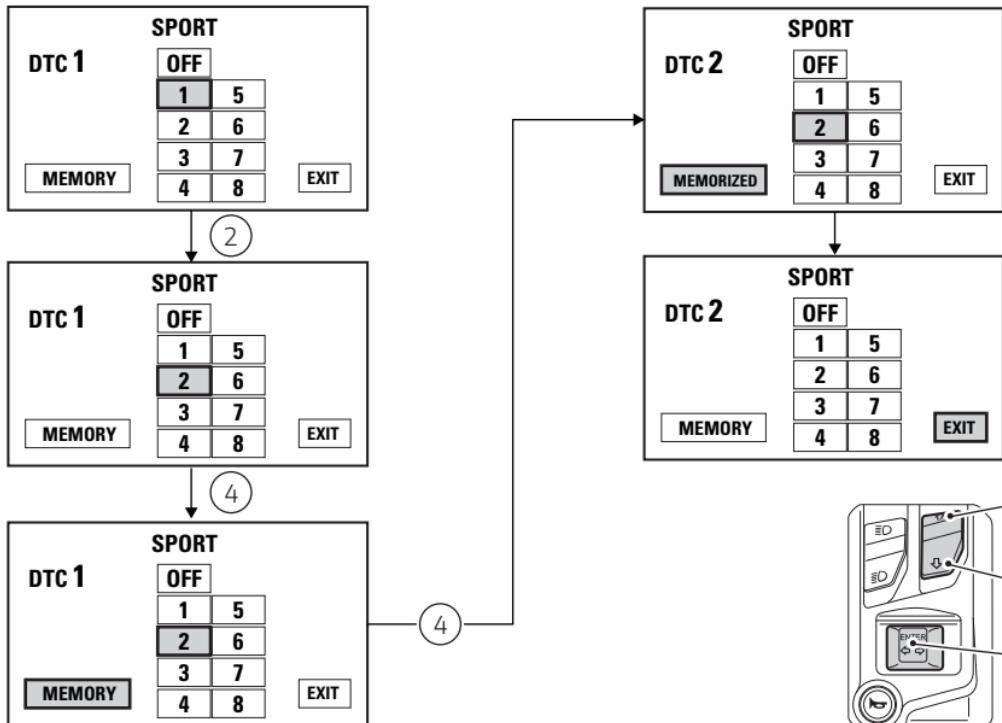


図 67

## ライディングモードのパーソナライズ： DWC レベルの設定

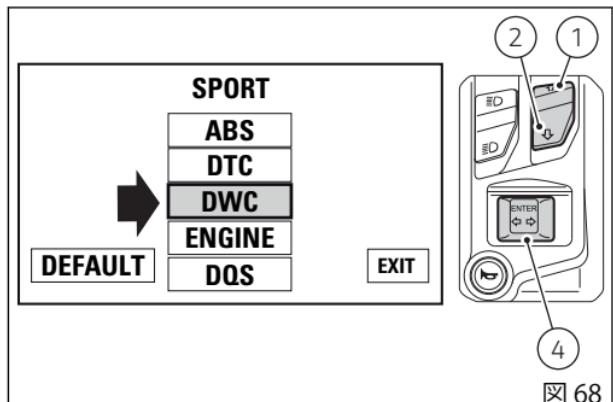
この機能では各ライディングモードに連動した DWC 介入レベルの設定または解除を行うことができます。設定メニューに入ります。ボタン(1)または(2)を押して "RIDING MODE" を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。

"RIDING MODE" メニューに入ります。ボタン(1)または(2)を押して、希望のライディングモード (SPORT、TOURING、URBAN) を選択します。

希望のライディングモードが強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。

選択したライディングモードのパーソナライズメニューに入ります。



この機能に入ると、左側に現在設定されている DWC レベル、または状態が表示されます。中央にはレベル 1 から 8、および OFF のパーソナライズ可能な内容が表示されます。

ボタン(1) および (2) を押して、新しく設定したいレベル、もしくは "OFF" を選択します。ボタン(4) を押して選択を決定し、"MEMORY" の文字を強調表示します。

選択したレベルを保存しない場合は、ボタン(1) または (2) を一回押すと "MEMORY" 枠のオレンジ色の強調表示が消えて、ひとつ前かひとつ先の枠に移ります。新しい設定を保存するには、"MEMORY" の文字がオレンジ色に強調表示された状態でボタン(4) を 2 秒間押します。文字が "MEMORIZED" に変わり、色が緑色に変わります。

保存が正しく完了すると、"MEMORY" の枠が最初の状態に戻り ("MEMORY" の文字、強調表示なし)、新しいレベルまたは状態に設定が更新されます。その後 "EXIT" の文字が緑色で強調表示されます。

メニューを終了してパラメーターの保存を行う前画面に戻るには、"EXIT" の文字を強調してボタン(4) を押します。インストルメントパネルは、メニュー内のひとつ上の画面に戻ります。

DTC 機能が解除されている、すなわち OFF に設定されている場合は、DWC は強制的に OFF 設定になり、

パラメーターを変更することはできません。このため設定メニューへ入ることはできません。

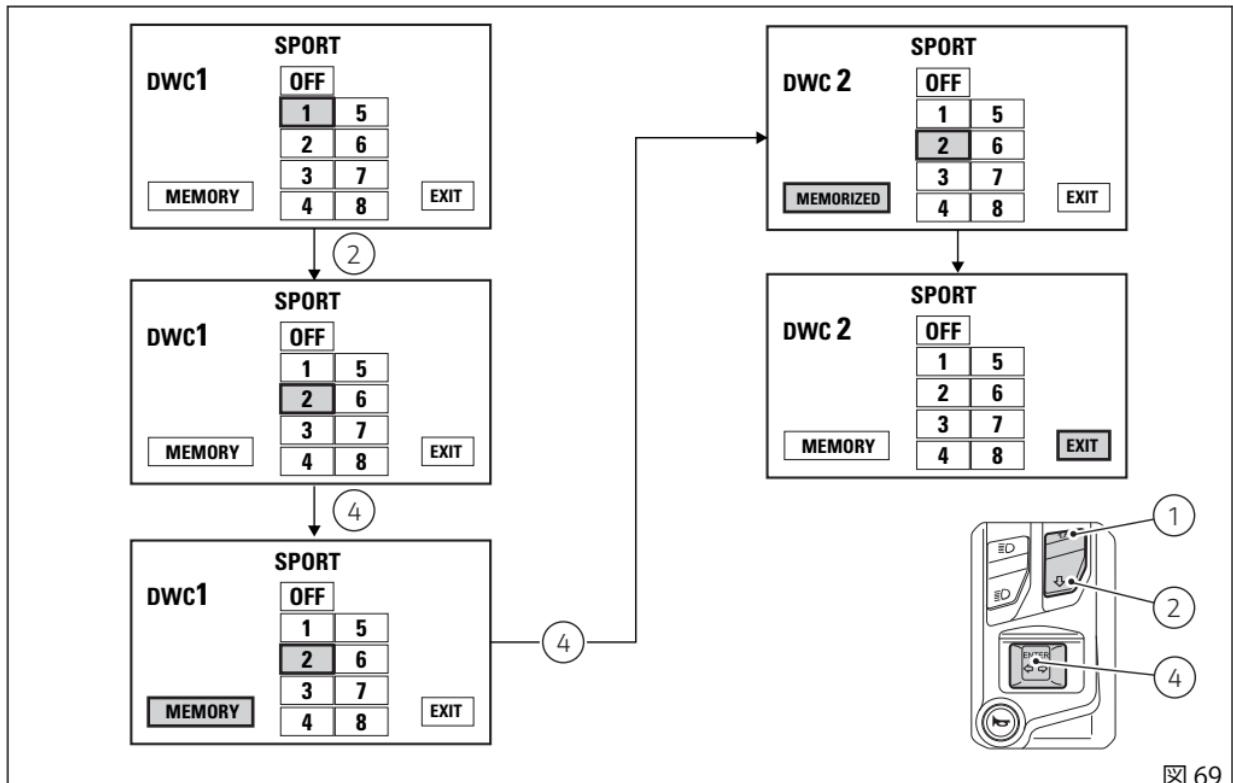


図 69

## ライディングモードのパーソナライズ：エンジンの調整

ここでは各ライディングモードに連動したエンジン出力を設定することができます。

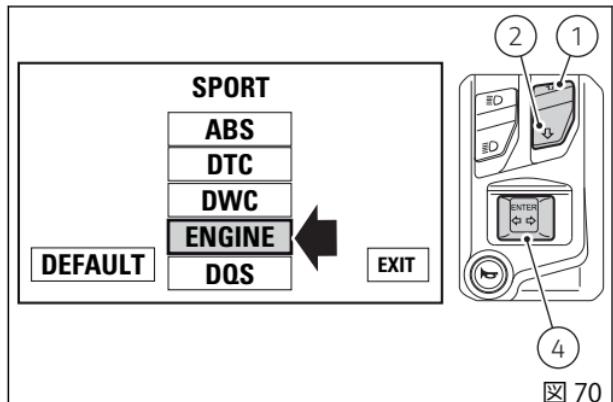
設定メニューに入ります。ボタン(1)または(2)を押して "RIDING MODE" を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。"RIDING MODE" メニューに入ります。

ボタン(1)または(2)を押して、希望のライディングモード (SPORT, TOURING, URBAN) を選択します。希望のライディングモードが強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。

選択したライディングモードのパーソナライズメニューに入ります。

ボタン(1)または(2)を押して、パーソナライズするパラメーター (ENGINE) を選択します。希望のパラメーターが強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。



この機能に入ると、左側に現在設定されているエンジン出力が表示されます(例:ENGINE HIGH)。

中央には、以下のパーソナライズ可能な内容が表示されます。

- HIGH
- MED
- LOW

ボタン(1)および(2)を押すと希望のエンジン出力を一つずつ強調表示することができます。ボタン(1)を押すと次のパラメーターが、ボタン(2)を押すと前のパラメーターが強調表示されます。

希望のエンジン出力を選択したら、メニュー決定ボタン(4)を押して "MEMORY" の文字を強調表示します。新しい設定を保存するには、"MEMORY" の文字がオレンジ色に強調表示された状態でボタン(4)を 2 秒間押します。

保存が正しく完了すると、"MEMORIZED" の文字が 1 秒間緑色に強調され、設定したエンジン出力が更新されます(更新は緑色で表示)。その後、"EXIT" の文字が緑色で強調表示されます。

メニューを終了して前の画面に戻るには、"EXIT" の文字を強調表示し、ボタン(4)を押します。

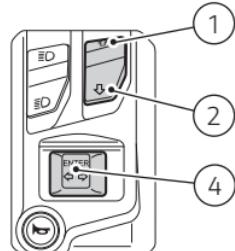
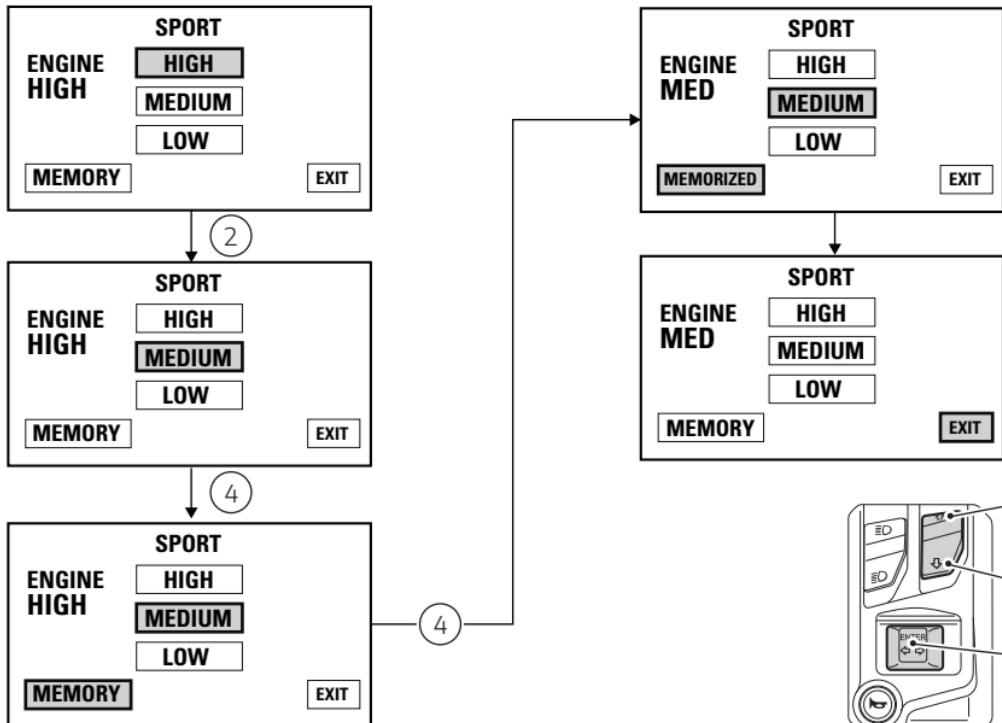


图 71

## ライディングモードのパーソナライズ： DQS の起動/解除

DQS のパーソナライズを行うページは、DQS 装置を装備している車両でのみご利用になります。

この機能ではライディングモード毎に DQS 装置の起動または停止を設定することができます。

設定メニューに入ります。ボタン(1)または(2)を押して "RIDING MODE" を選択します。

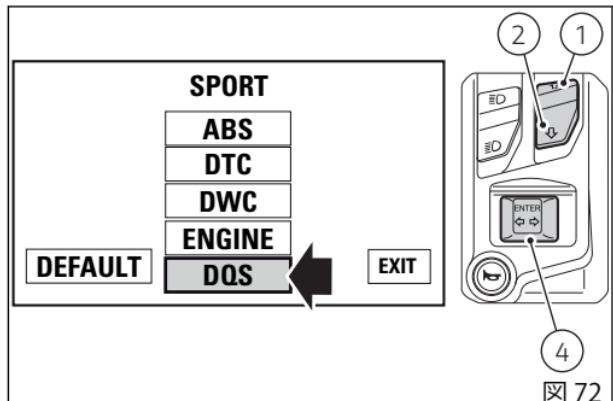
機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。

"RIDING MODE" メニューに入ります。ボタン(1)または(2)を押して、希望のライディングモード (SPORT、TOURING、URBAN) を選択します。

希望のライディングモードが強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。

選択したライディングモードのパーソナライズメニューに入ります。ボタン(1)または(2)を押して、パーソナライズするパラメーター (DQS) を選択します。

希望のパラメーターが強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。



この機能に入ると、左側に現在設定されている DQS のステータスが表示されます(例:DQS ON)。

中央には UP、UP-DOWN、OFF のパーソナライズ可能なステータスが表示されます。

ボタン(1)および(2)を押すと希望のステータスを一つずつ強調表示することができます。ボタン(1)を押すと次のパラメーターが、ボタン(2)を押すと前のパラメーターが強調表示されます。

希望のステータスを選択したら、メニュー決定ボタン(4)を押して "MEMORY" の文字を強調表示します。

新しい設定を保存するには、"MEMORY" の文字がオレンジ色に強調表示された状態でボタン(4)を 2 秒間押します。

保存が正しく完了すると、"MEMORIZED" の文字が 1 秒間緑色に強調され、ステータス設定が更新されます(更新は緑色で表示)。その後、"EXIT" の文字が緑色で強調表示されます。

メニューを終了して前の画面に戻るには、"EXIT" の文字を強調表示し、ボタン(4)を押します。

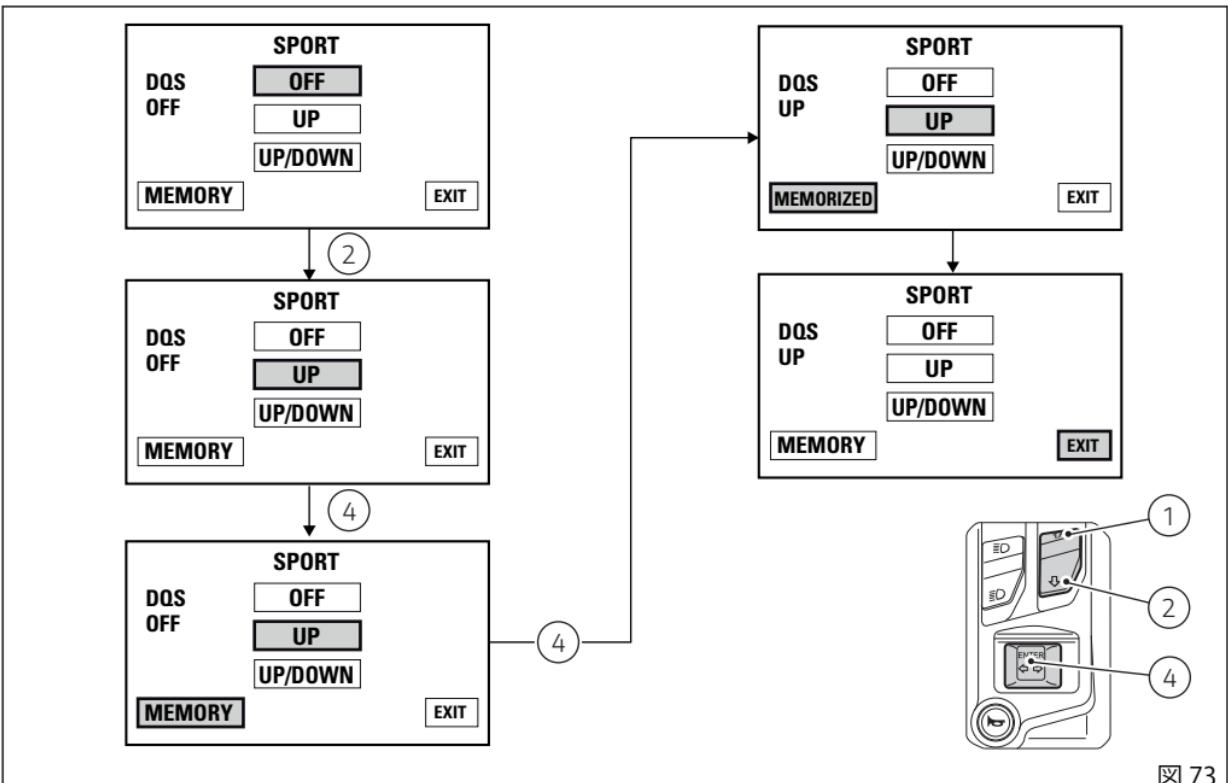


図 73

## ライディングモードのパーソナライズ：デフォルト設定の回復

ここではそれぞれのライディングモードに運動したパラメーターをドゥカティが設定したデフォルト値に回復させることができます。設定メニューに入ります。ボタン(1)または(2)を押して "RIDING MODE" を選択します。機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。"RIDING MODE" メニューに入ります。ボタン(1)または(2)を押して、希望のライディングモード (SPORT, TOURING, URBAN) を選択します。希望のライディングモードが強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。選択したライディングモードのパーソナライズメニューに入ります。ボタン(1)または(2)を押して、パーソナライズするパラメーター (DEFAULT) を選択します。希望のパラメーターが強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。

パラメーターの回復には 3 を要し、この間 "PLEASE WAIT...." の文字がディスプレイに表示されます。手順が終了すると、ディスプレイに 2 秒間 "DEFAULT OK" の文字が表示され、パラメーターが回復されたことを表します。その後、自動的にライディングモードのパーソナライズメニューの最初のページに戻り、"EXIT" の文字が表示されます。

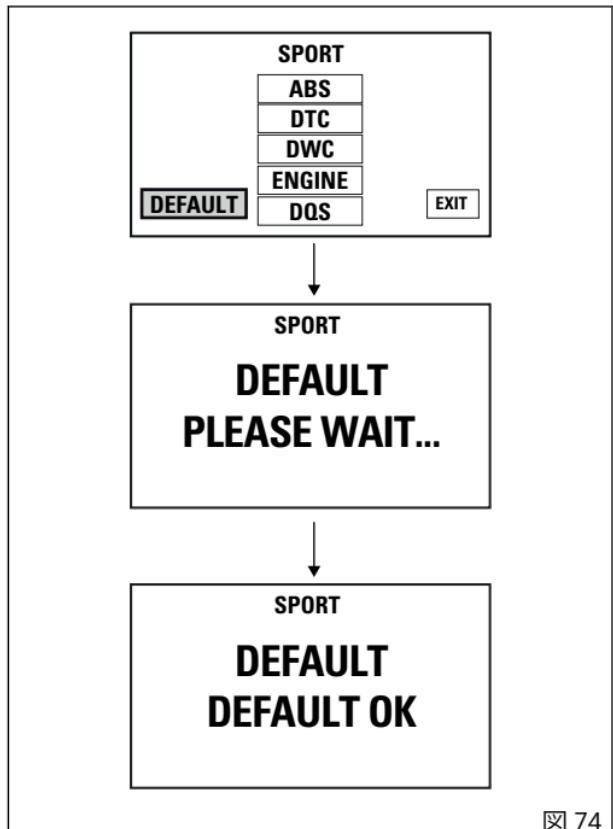


図 74

メニューを終了して設定メニューの最初のページに戻るには、"EXIT"の文字を強調表示し、ボタン(4)を押します。

## 表示モードの設定

表示モードをパーソナライズすることができます。CORE、FULL、TRACKの3種類の表示モードがあります。それぞれ一つのライディングモードに連動しており、"デフォルト"モードではライディングモード変更時に表示モードも変更されます。ライディングモード"URBAN"には"CORE"モードが、"TOURING"には"FULL"モード、"SPORT"には"TRACK"モードが連動します。しかし、選択したライディングモードを変更してもインストルメントパネルが同じモードを使用するよう特定のモードを選択することができます。

設定メニューに入ります。ボタン(1)または(2)を押して"DISPLAY"を選択します。機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。

ボタン(1)または(2)を押して"INFO MODE"を選択します。機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。

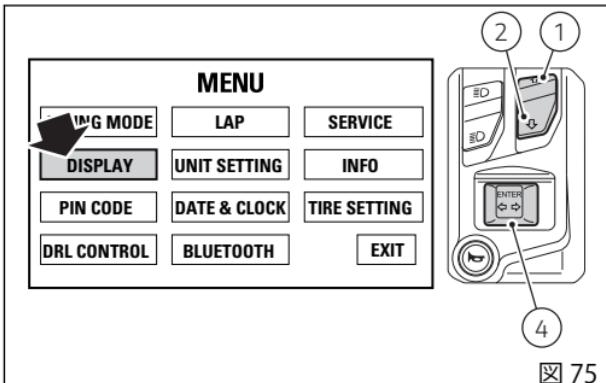


図 75

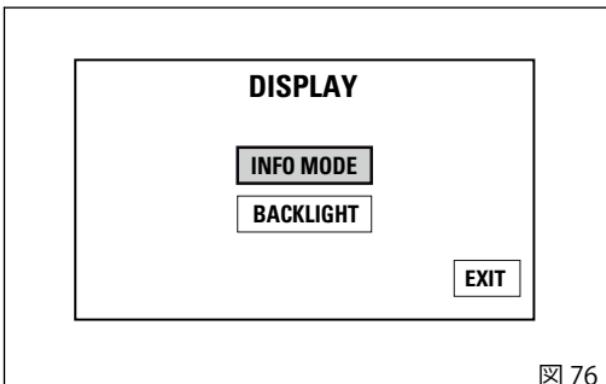


図 76

この機能に入ると、左側に現在設定されている表示モードが表示されます。中央には選択可能な以下の表示モードが表示されます。CORE、FULL、TRACK、DEFAULT。

ボタン(1)または(2)を押して、希望の表示モード(CORE、FULL、TRACK)を選択します。希望のモードが強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。選択内容が保存され、現在の表示モードが更新されます。自動的に"EXIT"ボタンが強調表示されます。ボタン(4)を押すと前の表示に戻ります。

"DEFAULT"モードを選択すると、選択される各ライディングモードで初期設定の表示モードを適用します。一方、特定の表示モードを選択した場合は、どのライディングモードが選択されているかに関係なく、選択した表示モードが維持されます。

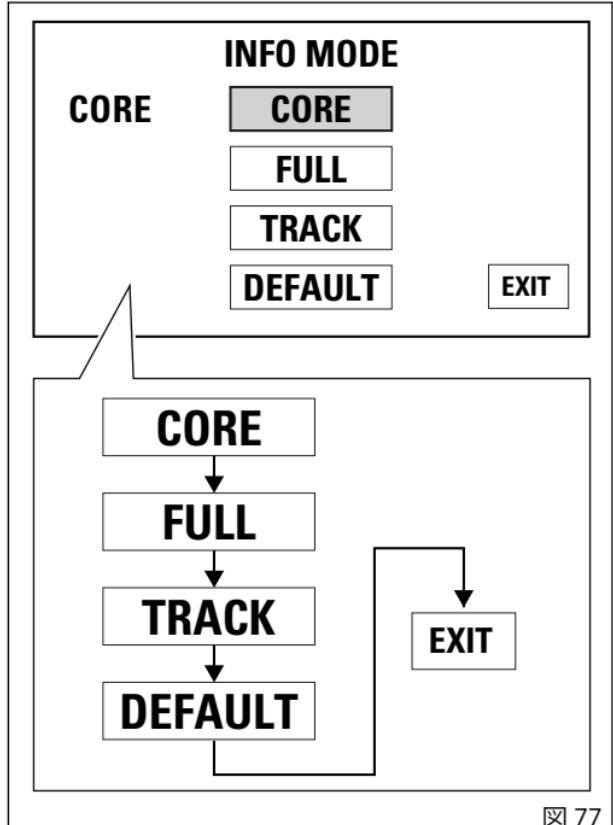


図 77

## ディスプレイ背景の設定

この機能では、インストルメントパネルの背景を選択することができます。

設定メニューに入ります。ボタン(1)または(2)を押して "DISPLAY" を選択します。機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。

ボタン(1)または(2)を押して "BACKLIGHT" を選択します。機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。

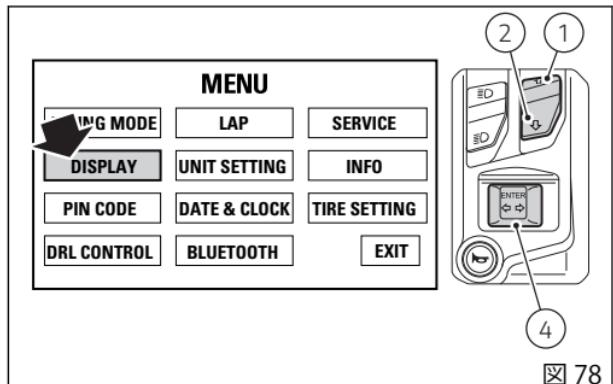


図 78

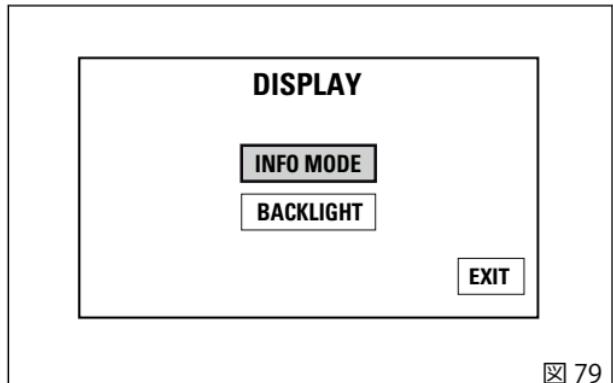


図 79

この機能に入ると、左側に現在設定されているバックライトのステータスが表示されます。中央には選択可能な以下のバックライト設定が表示されます。DAY、NIGHT、AUTO。

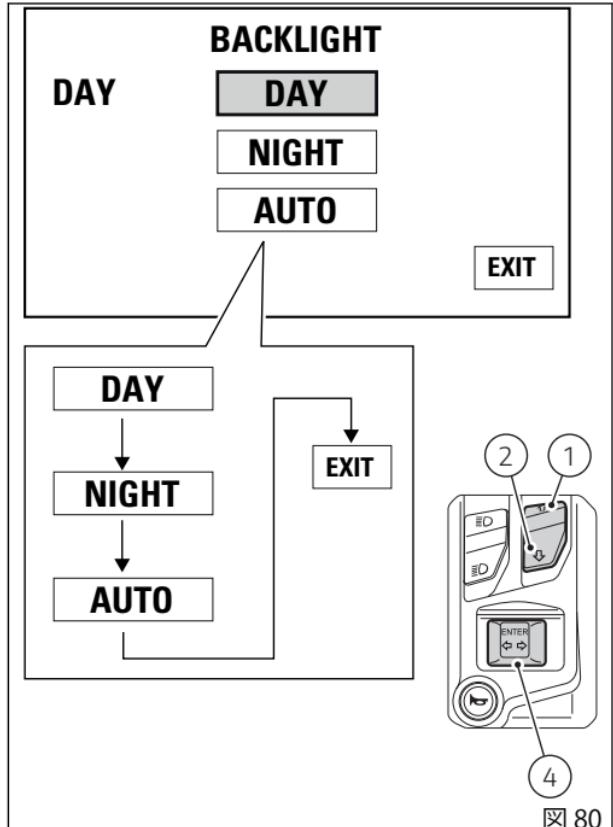
ボタン(1)および(2)を押すとインストルメントパネルの背景の種類を一つずつ強調表示することができます。ボタン(1)を押すと次のパラメーターが、ボタン(2)を押すと前のパラメーターが強調表示されます。希望の背景を選択したら、メニュー決定ボタン(4)を押して決定します。インストルメントパネルは直ちにユーザーが選択したバックライトをONにし、該当する文字が自動的に強調表示されます。

DAY設定(昼間モード)を選択すると、ディスプレイの背景が読み取りやすい"白"に常時設定されます。強い外光下での使用に適します。

NIGHT設定(夜間モード)を選択すると、ディスプレイの背景がソフトなコントラストの"黒"に常時設定されます。弱い外光下または暗い環境での使用に適します。

AUTO設定(自動モード)を選択すると、ディスプレイの背景が外光の強さ(センサーが感知)に応じて自動的に調整されます。

外光が強い場合ディスプレイの背景は白になり、外光が弱い場合はディスプレイの背景が黒になります。



メニューを終了して前の画面に戻るには、"EXIT"の文字を強調表示し、ボタン(4)を押します。

## PIN CODE

この機能は、E-Lock システムに不具合が生じた場合に車両を一時的に起動します(ステアリングロック解除が OFF で、E-Lock システムに問題がある場合)。

PIN CODE は最初車両に登録されていませんので、ユーザーが 4 衔の PIN をインストルパネルに入力して有効にします。これを行わないと、不具合が生じた場合に一時起動することができません。起動するには "PIN CODE の入力" の手順に従います。

PIN を変更するには "PIN CODE の変更" の手順に従います。

E-Lock システムに不具合が生じた際に車両を一時的に起動するには、車両のブロック解除の手順に従います。



### 警告

PIN CODE は車両の所有者が設定(登録)しなければなりません。PIN がすでに設定されている場合には、Ducati 正規ディーラーに本機能の "リセット" を依頼してください。その際 Ducati 正規ディーラーは、車両の所有者確認をさせていただくことがあります。

## PIN CODE の入力

PIN CODE 機能を有効にし、PIN CODE を入力するには、設定メニューに入ります。  
ボタン(1)または(2)を押して "PIN CODE" を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。  
"PIN CODE" メニューに入ります。

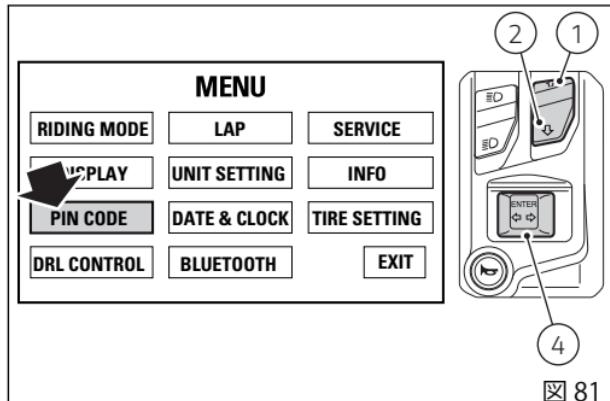


図 81

この機能に入ると、ディスプレイに "INSERT PIN CODE" の文字、その下に緑色で強調された点線 "----" が表示されます。

コードの入力：

- 1) ボタン(4)を押すと、"0"で表示される1桁のみが緑色で強調表示されます。
- 2) ボタン(2)を押す度に数字が9までひとつずつ大きくなり(+1)、その後"0"に戻ります。
- 3) ボタン(1)を押す度に数字が1までひとつずつ小さくなり(-1)、その後"0"に戻ります。
- 4) ボタン(4)を押して数字を決定します。

この手順を繰り返し、PIN CODEの4桁すべての数字を決定します。

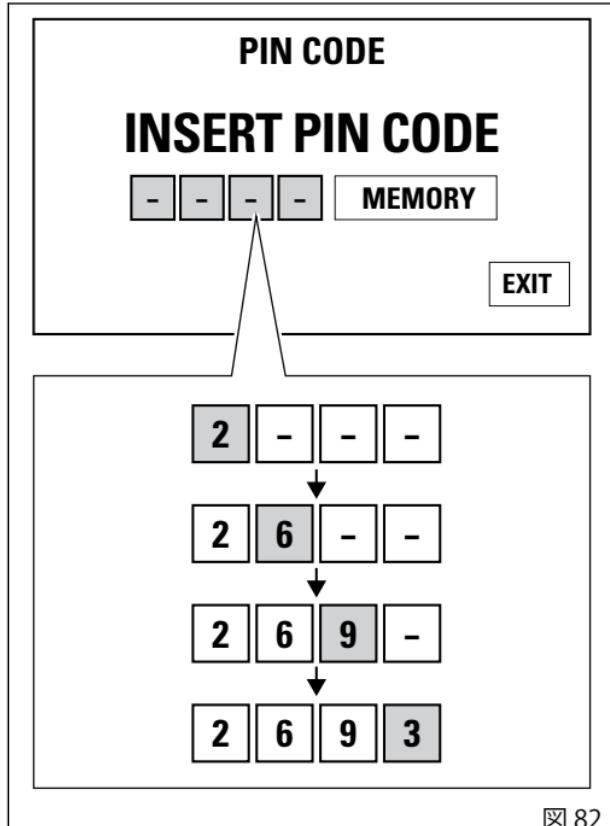


図 82

ボタン(4)を押して最後の桁を決定すると、"MEMORY" の文字が強調表示されます。新しい設定を保存するには、"MEMORY" の文字がオレンジ色に強調表示された状態でボタン(4)を 3 秒間押します。保存が正しく完了すると、"MEMORIZED" の文字が 1 秒間緑色に強調され、その後 "EXIT" の文字が緑色で強調表示されます。最初の PIN CODE を設定して以降は、メニューから PIN CODE 登録ページに入ることができなくなり、代わりに PIN CODE の変更のページになります。PIN CODE 機能がリセットされた場合 (Ducati 正規ディーラーのみ行うことが可能) に限り、最初の PIN CODE の登録ページが有効になり、メニューから入ることができます。

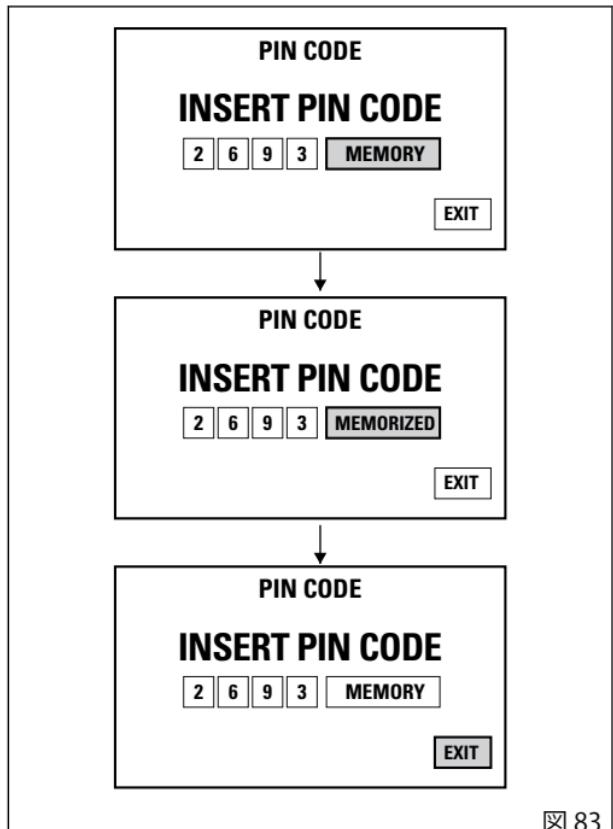


図 83

## PIN CODE の変更

すでに登録されている PIN を変更し、新しい PIN を有効にするには、設定メニューに入ります。

ボタン(1)または(2)を押して "PIN CODE" を選択します。機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。"PIN CODE" メニューに入ります。この機能に入ると、ディスプレイに "OLD CODE" の表示とその隣には緑色で強調された点線 "----" が表示され、下には "NEW CODE" の表示が表れます。

旧コードの入力：

- 1) ボタン(4)を押すと、"0" で表示される 1 衍のみが緑色で強調表示されます。
- 2) ボタン(2)を押す度に数字が 9 までひとつずつ大きくなり (+1)、その後 "0" に戻ります。
- 3) ボタン(1)を押す度に数字が 1 までひとつずつ小さくなり (-1)、その後 "0" に戻ります。
- 4) ボタン(4)を押して数字を決定します。

この手順を繰り返し、PIN CODE の 4 行すべての数字を決定します。

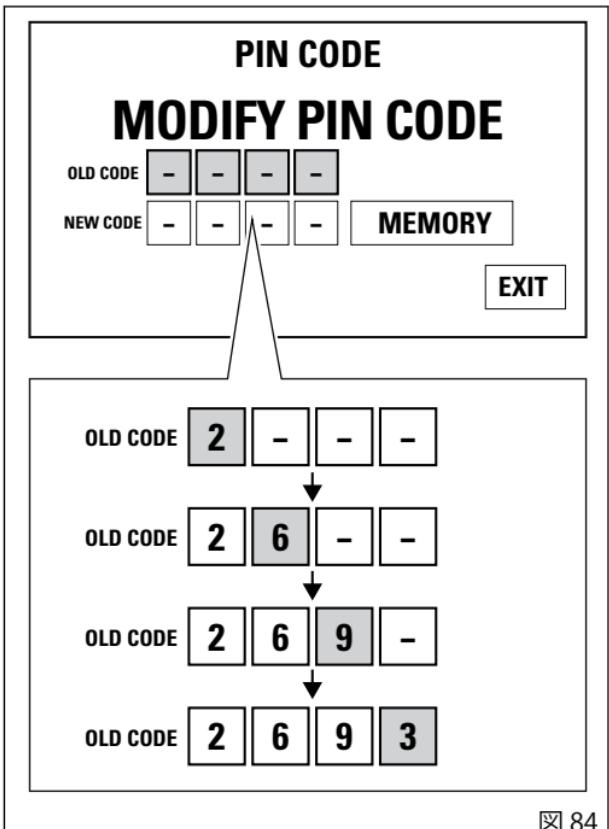


図 84

ボタン(4)を押して4桁すべての数字を決定した際、

- PIN CODE が正しくない場合、インストルメントパネルは "WORNG" を3秒間表示し、その後 OLD PIN を入力する点線 "----" を強調表示します。もう一度 PIN CODE を入力してください。
- PIN CODE の確認中に問題が発生した場合、インストルメントパネルは "ERROR" を3秒間表示し、その後 "EXIT" の文字を強調表示します。
- 正しいPIN CODEが入力されると、インストルメントパネルは "CORRECT" を3秒間表示します。その後、NEW PINを入力する点線 "----" が表示されます。

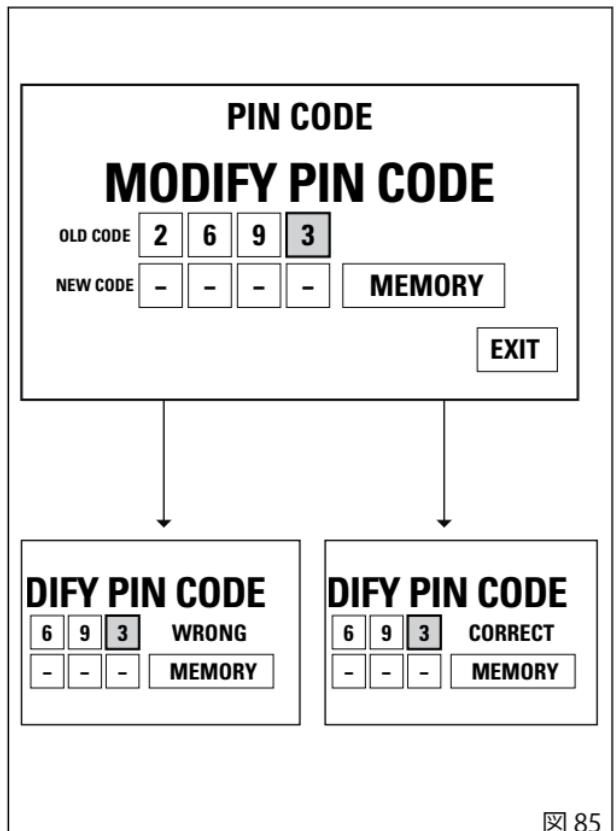


図 85

新しいコードの入力：

- 1) ボタン(4)を押すと、"0"で表示される1桁のみが緑色で強調表示されます。
- 2) ボタン(2)を押す度に数字が9までひとつずつ大きくなり(+1)、その後"0"に戻ります。
- 3) ボタン(1)を押す度に数字が1までひとつずつ小さくなり(-1)、その後"0"に戻ります。
- 4) ボタン(4)を押して数字を決定します。

この手順を繰り返し、PIN CODE の4桁すべての数字を決定します。

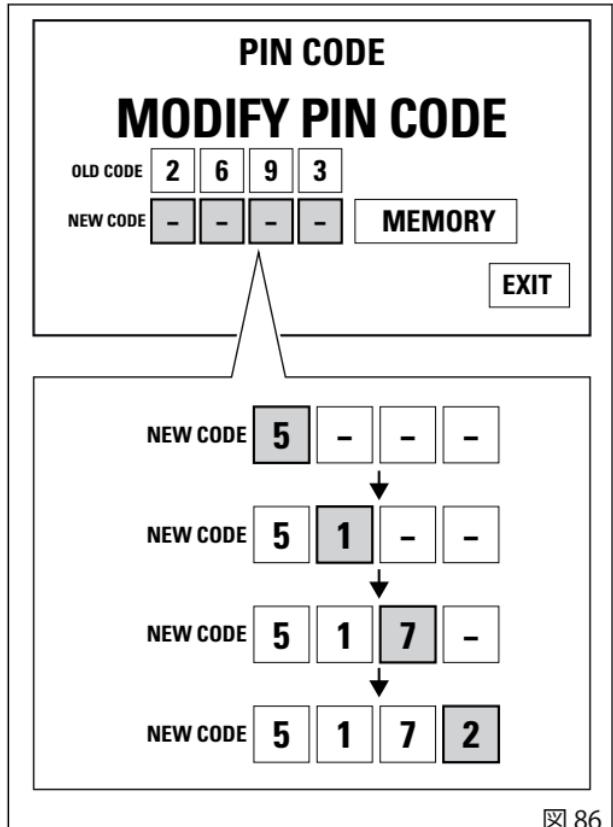


図 86

ボタン(4)を押して最後の桁を決定すると、"MEMORY" の文字が強調表示されます。新しい設定を保存するには、"MEMORY" の文字がオレンジ色に強調表示された状態でボタン(4)を 3 秒間押します。

保存が正しく完了すると、"MEMORIZED" の文字が 1 秒間緑色に強調され、その後 "EXIT" の文字が緑色で強調表示されます。

保存に失敗した場合、インストルメントパネルは NEW PIN を入力する点線"----"を強調表示します。もう一度新しい PIN CODE を入力してください。

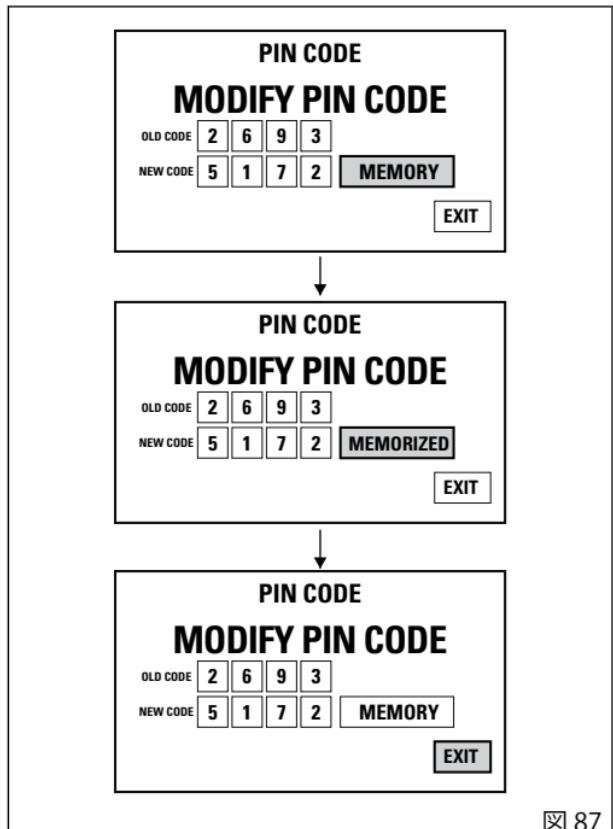


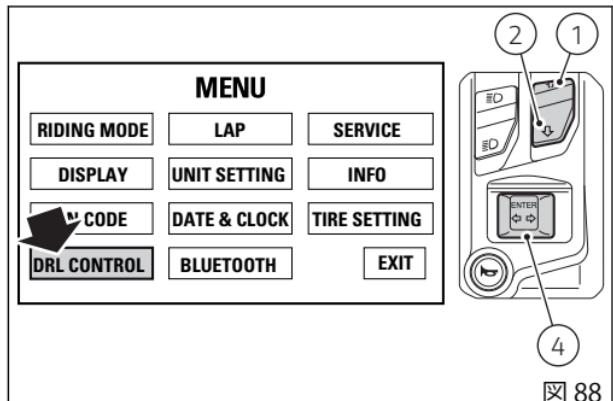
図 87

## DRL モード設定

DRL ステータス：AUTO または MANUAL を選択します。DRL が搭載されている場合にのみ有効です。

設定メニューに入ります。ボタン(1)または(2)を押して "DRL CONTROL" を選択します。機能が強調表示されたら、ボタン(4)を押します。

"DRL CONTROL" メニューに入ります。



この機能に入ると、左側に現在設定されているDRLのステータスが表示されます。中央には、以下のパーソナライズ可能な内容が表示されます。AUTO、MANUAL。

ボタン(1)および(2)を押すと希望のDRLステータスタイプを一つずつ強調表示することができます。ボタン(2)を押すと次のパラメーターが、ボタン(1)を押すと前のパラメーターが強調表示されます。希望のタイプを選択したら、ボタン(4)を押して決定します。インストルメントパネルはユーザーが選択したモードをONにし、該当する文字が強調表示されます。

AUTOタイプを選択すると、DRL、ハイビームライト、ロービームライトは外光の明るさに応じて昼間モードと夜間モードの間で自動的に切り替わります。

メニューを終了して前の画面に戻るには、"EXIT"の文字を強調表示し、ボタン(4)を押します。

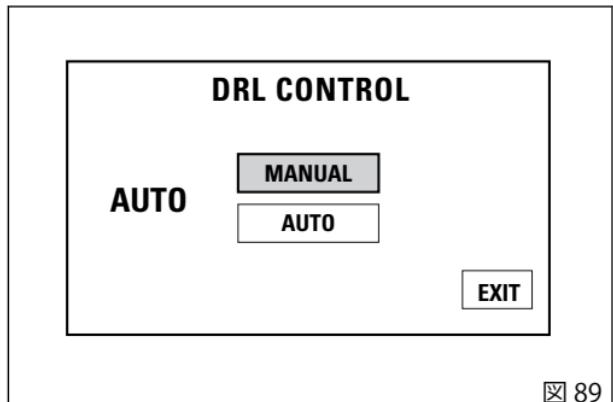


図 89

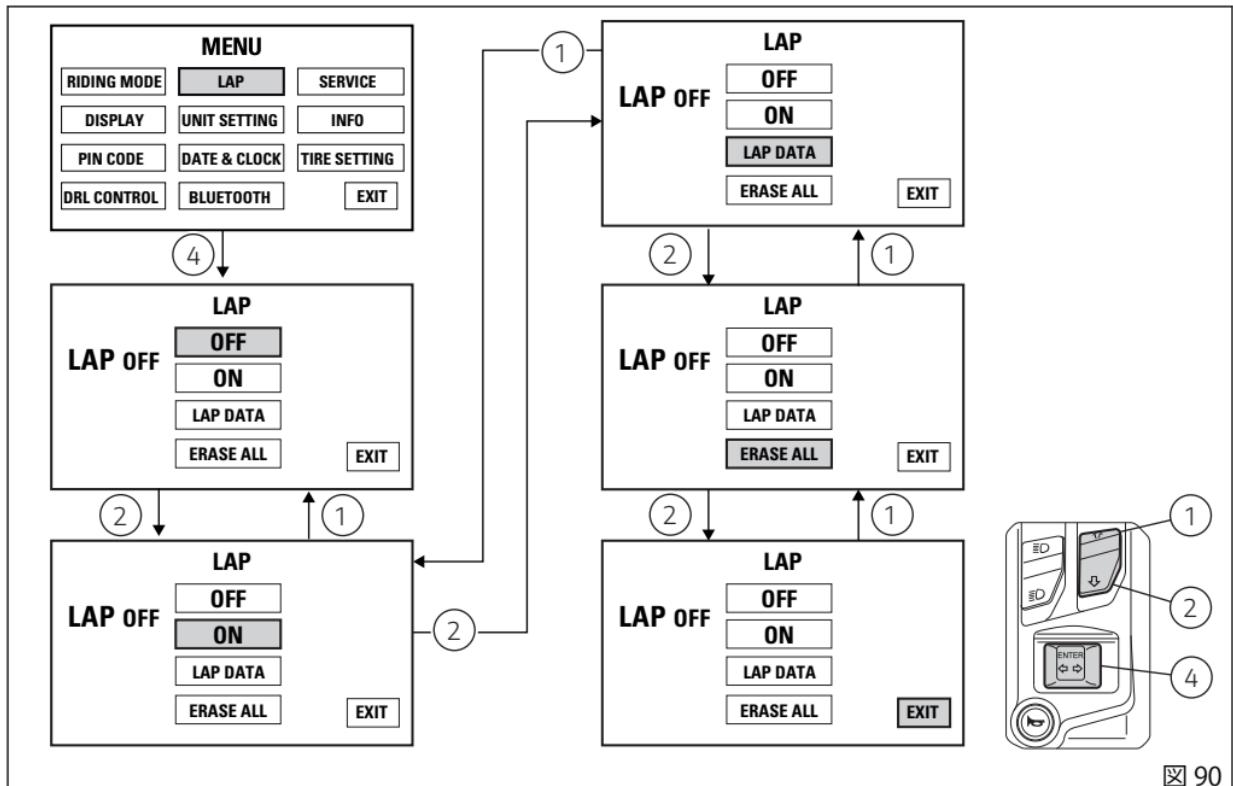
## LAP

LAP 機能メニューに入るには、設定メニューに入ります。ボタン(1)または(2)を押して "LAP" を選択します。機能が強調表示されたら、ボタン(4)を押します。

"LAP" メニューに入ります。

メニューでは以下の操作が可能です。

- "OFF" ボタンでの LAP 機能の OFF
- "ON" ボタンでの LAP 機能の ON
- "LAP DATA" ボタンですでに記録されている LAP の表示 ("LAP 登録" 機能)
- "ERASE ALL" ボタンで記録済み LAP を削除します。



## 記録済み LAP の表示

記録済み LAP を表示するには、"LAP" メニューに入ります。

ボタン(1) または(2)を押して "LAP DATA" を選択します。機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。

機能に入ると以下の内容が表示されます。

- "LAP" の文字の後、LAP 数(例：LAP 01)
- "TIME" の文字の後、記録済みラップタイム
- "SPEEDMAX" の文字の後、ラップ中に記録された最高速度
- ラップ中に記録された RPM 値の後、"RPMMAX" の文字

ボタン(1) および(2)を押すとメモリーされた LAP をひとつずつ表示することができます。特に以下のように表示されます。ボタン(2)を押すと、次のラップが表示されます (LAP 01 ... LAP 02 ... LAP 03 ... LAP 30 のようにラップを昇順で表示)、その後 "EXIT" の文字が表示されます。ボタン(1)を押すと前のラップが表示され (LAP 30 ... LAP 29 ... LAP 28 ... LAP 01)、その後 "EXIT" の文字が表示されます。

メニューを終了して前の画面に戻るには、"EXIT" の文字を強調表示し、ボタン(4)を押します。



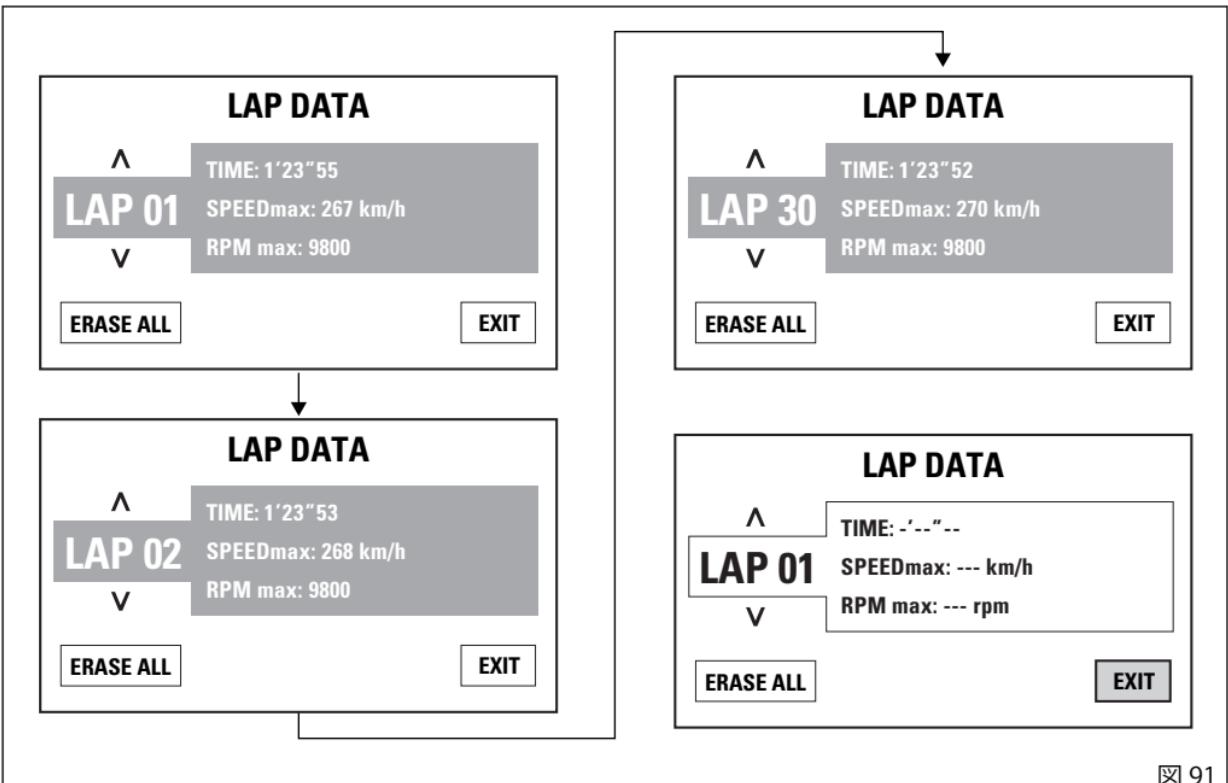
### 参考

記録最高スピードはラップ中に到達した速度です(5 % 増大させたもの)。



### 参考

メモリーにデータが記録されていない場合、ストップウォッチ "----"、最大回転数 MAX = ----、最高スピード MAX = ---- が表示されます。



## LAP 記録の削除

記録済み LAP を削除するには、"LAP" メニューに入ります。

LAP メニューまたは LAP 表示ページ (LAP DATA) に入ることで LAP を削除することができます。

ボタン(1)または(2)を押して "ERASE ALL" を選択します。機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。

ボタン(4)を 3 秒間押して削除を決定します。

3秒後、インストルメントパネルのディスプレイには次のように表示されます。

- "ERASE LAP PLEASE WAIT..." の文字が 3 秒間、
- その後、"ERASE OK" の文字が 2 秒間表示され、削除されたことを表します。

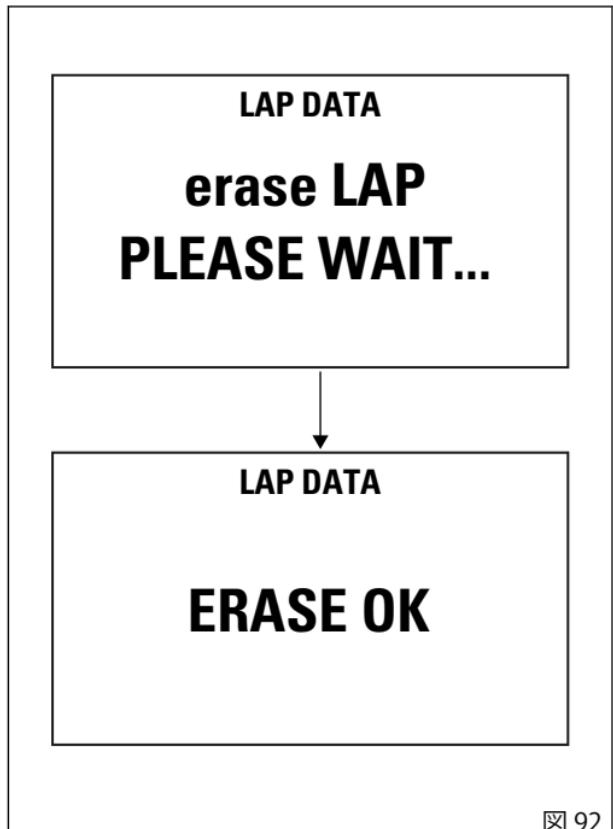


図 92

メモリーされているすべてのラップが一度に削除されます。

削除終了後、ラップ01から30のパラメーターはすべて空白表示"-"されます(ラップタイム=---"--、回転数=-----、スピード=---)。

メニューを終了して前の画面に戻るには、"EXIT"の文字を強調表示し、ボタン(4)を押します。

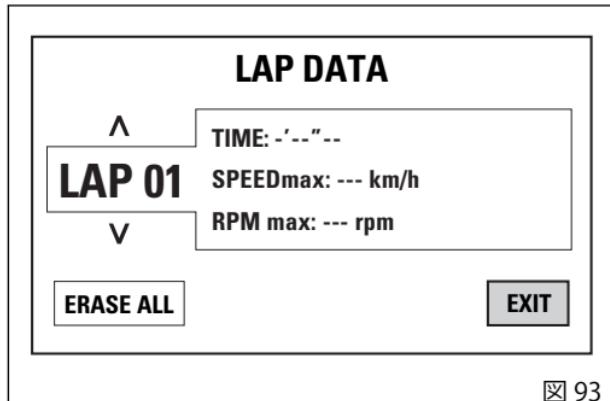


図 93

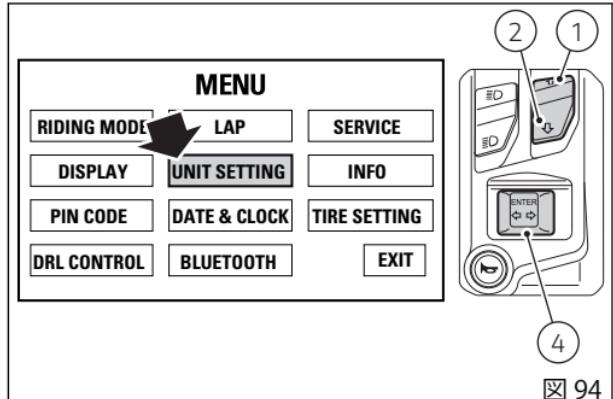
## 単位の設定

この機能では、使用する国に関わらず、表示される単位を変更することができます。

手動で単位の設定を行うには、設定メニューに入ります。

ボタン(1)または(2)を押して "UNIT SETTING" を選択します。機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。

"UNITS SETTING" メニューに入ります。



この機能に入ると、左側に単位の設定が可能な項目の一覧が表示されます。

- スピード (SPEED)
- 温度 (TEMPERATURE)
- 燃費 (CONSUMPTION)
- 自動設定回復 (DEFAULT)

メニューを終了して前の画面に戻るには、"EXIT"の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。

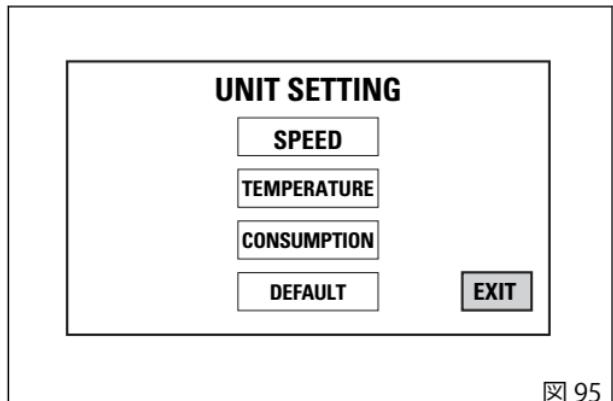


図 95

## 単位の設定スピード

この機能では速度の単位を変更することができます(走行距離の単位も同時に変更します)。

前のページの記載に従い、"UNITS SETTING" メニューに入ります。

ボタン(1)または(2)を押して "SPEED" を選択します。機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。"SPEED" メニューに入ります。

機能に入ると現在使用している単位が表示され、その後使用可能な単位のリスト km/h、mph が表示されます。

ボタン(1)および(2)を押すと、希望の単位を強調表示することができます。ボタン(1)を押すと次の単位が、ボタン(2)を押すと前の単位が強調表示されます。希望の単位を選択したら、メニュー決定ボタン(4)を押して決定します。選択した単位は保存され、"EXIT" の文字が自動的に強調表示されます。

選択した単位はインストルメントパネルで以下の測定に使用されます。

- 車両スピード、平均スピード (km/h または mph)
- オドメーター、TRIP1、TRIP2、TRIP FUEL (km または mi)

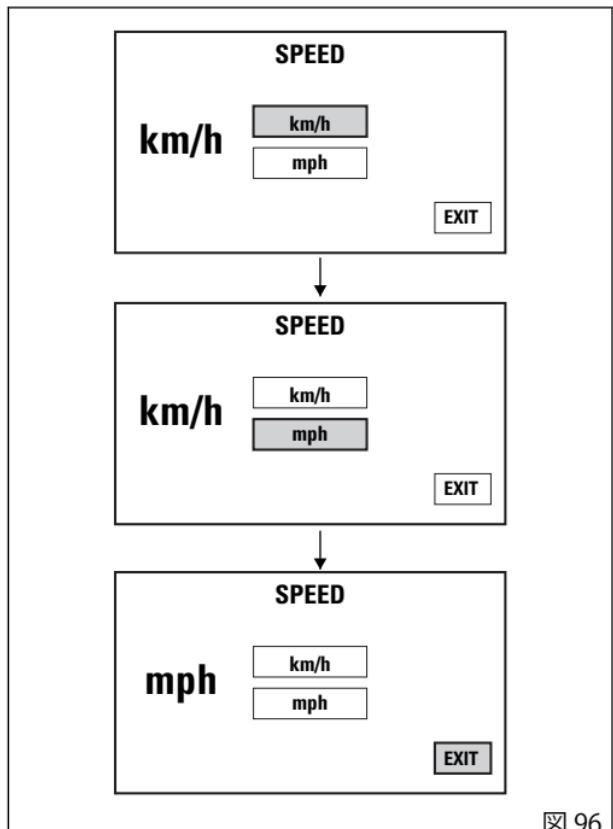


図 96

## 単位の設定温度

この機能では温度の単位の変更が可能です。前のページの記載に従い、"UNITS SETTING" メニューに入ります。

ボタン(1)または(2)を押して "TEMPERATURE" を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。

"TEMPERATURE" メニューに入ります。機能に入ると現在使用している単位が表示され、その後使用可能な単位のリスト °C、°F が表示されます。

ボタン(1)および(2)を押すと、希望の単位を強調表示することができます。ボタン(1)を押すと次の単位が、ボタン(2)を押すと前の単位が強調表示されます。希望の単位を選択したら、メニュー決定ボタン(4)を押して決定します。選択した単位は保存され、"EXIT" の文字が自動的に強調表示されます。

選択した単位はインストルメントパネルで以下の測定に使用されます。

- エンジンクーラント温度および外気温

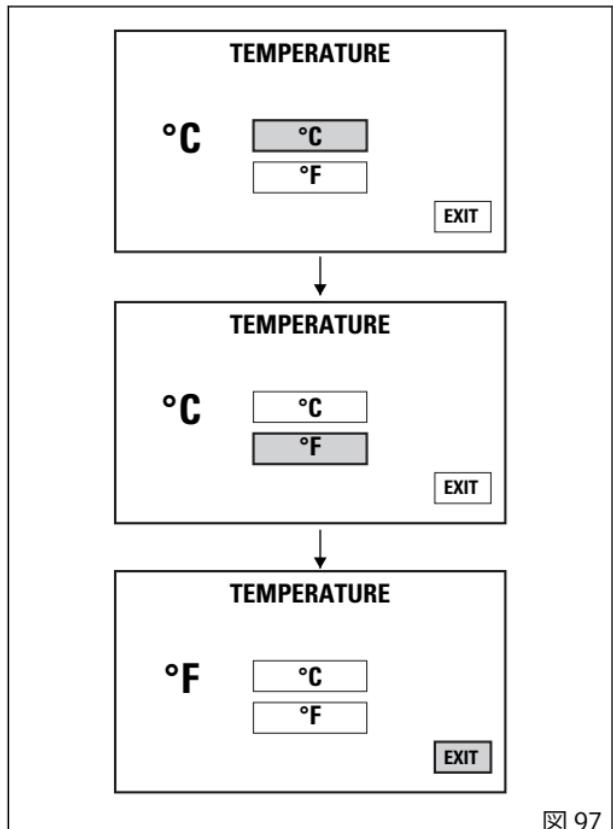


図 97

## 単位の設定燃費

この機能では燃費の単位を変更することができます。前のページの記載に従い、"UNITS SETTING" メニューに入ります。

ボタン(1)または(2)を押して "CONSUMPTION" を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。"CONSUMPTION" メニューに入ります。機能に入ると現在使用している単位が表示され、その後使用可能な単位のリスト L / 100km, km / L, mpg (UK), mpg (USA) が表示されます。

ボタン(1)および(2)を押すと、希望の単位を強調表示することができます。ボタン(1)を押すと次の単位が、ボタン(2)を押すと前の単位が強調表示されます。

希望の単位を選択したら、メニュー決定ボタン(4)を押して決定します。選択した単位は保存され、"EXIT" の文字が自動的に強調表示されます。

選択した単位はインストルメントパネルで以下の測定に使用されます。

- 瞬間燃費および平均燃費

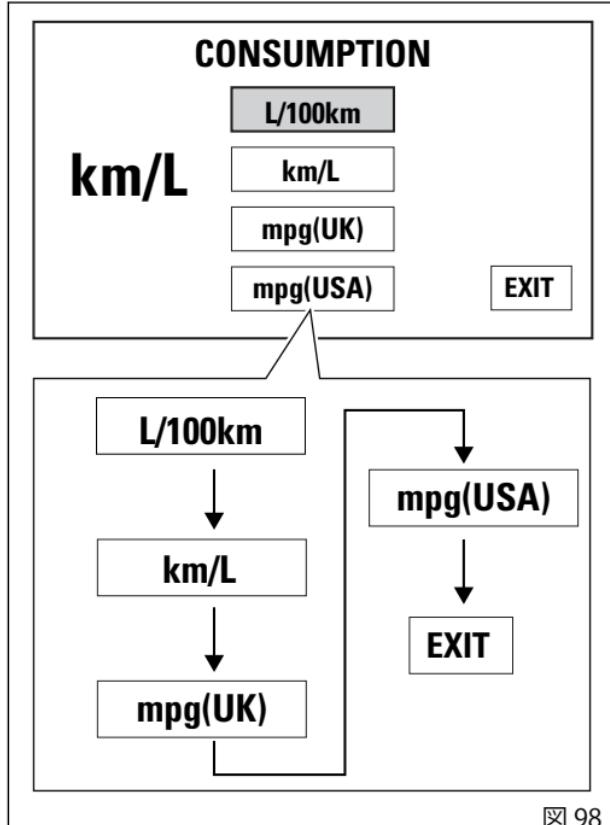


図 98

## 単位の設定自動設定回復

この機能では、インストルメントパネルに表示されるすべての測定単位の自動設定を回復することができます。

前のページの記載に従い、"UNITS SETTING" メニューに入ります。ボタン(1)または(2)を押して"DEFAULT"を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を2秒間押します。ディスプレイに"PLEASE WAIT..."の文字が3秒間、その後"DEFAULT OK"が2秒間表示されます。最後に"UNITS SETTING" メニューページに移り、"EXIT"の文字が強調表示されます。

メニューを終了して前の画面に戻るには、"EXIT"の文字を強調表示し、ボタン(4)を押します。

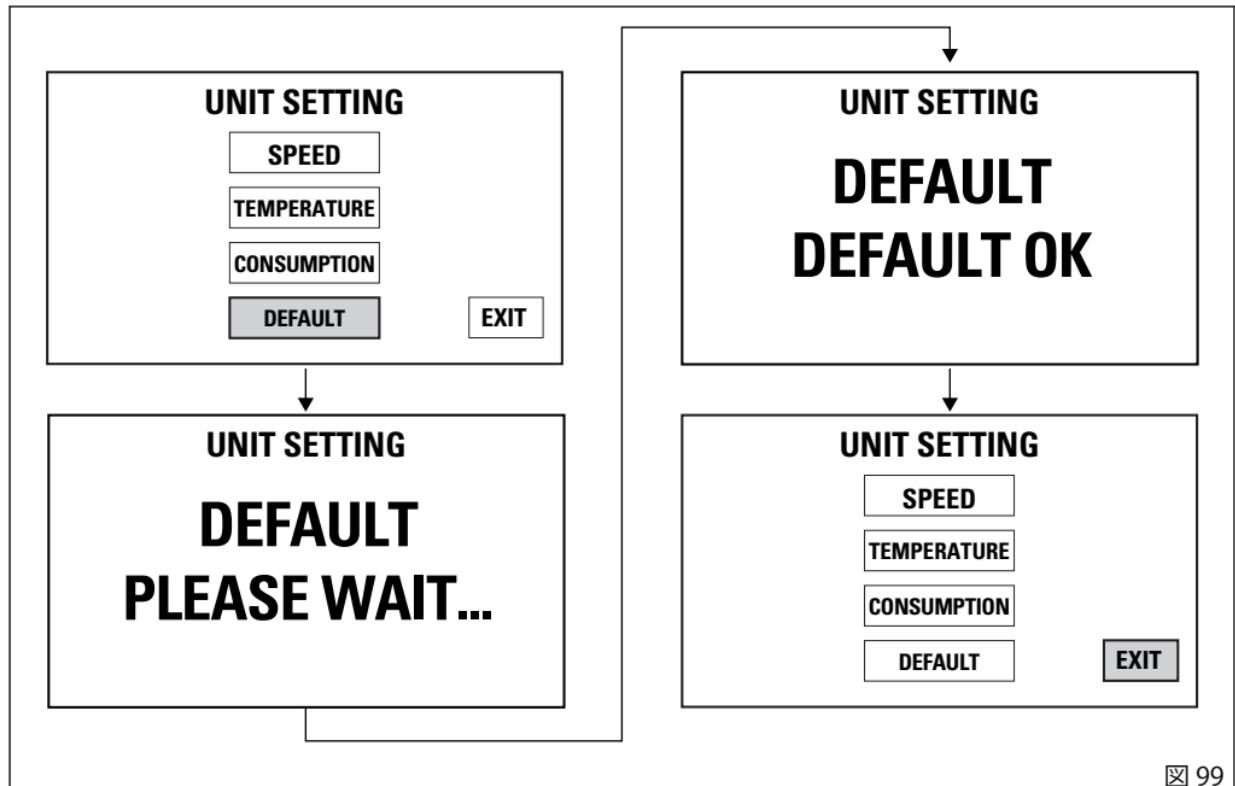


図 99

## 日付の設定

この機能は日付の表示、設定/変更を行います。

設定メニューに入ります。

ボタン(1)または(2)を押して "DATE & CLOCK" を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。

ボタン(1)または(2)を押して "DATE" を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。

### 重要

バッテリーが切り離されるたびに日付はリセットされますので、その都度設定する必要があります。

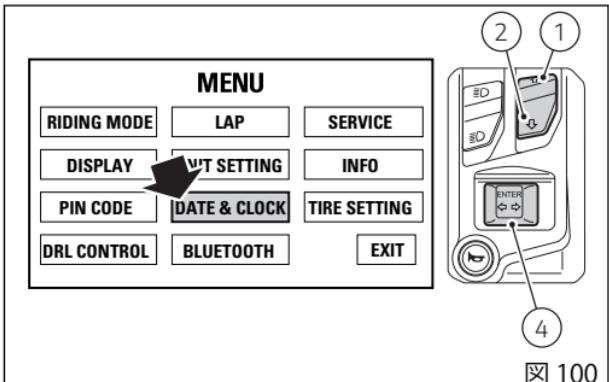


図 100

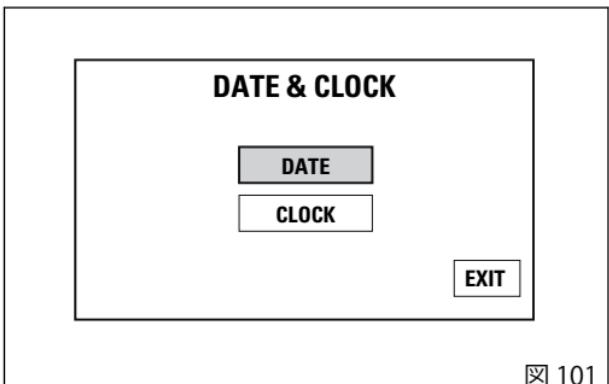


図 101

メニューに入ると、左側に調整が可能な内容、YEAR、MONTH、DAYが表示され、右側には設定された日付が表示されます(例: 2014/08/02)。

### 年の調整

ボタン(1)または(2)を押して"YEAR"を選択します。強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。

年のデータが点滅し始めます。

ボタン(1)を押すと、年の値が以下のように1ずつ小さくなります。2099, 2098, ..., 2000, 2099。

ボタン(2)を押すと、年の値が以下のように1ずつ大きくなります。2000, 2001, ..., 2099, 2000。

希望の値に達したら、ボタン(4)を押します。設定された年の値が固定表示に変わります。

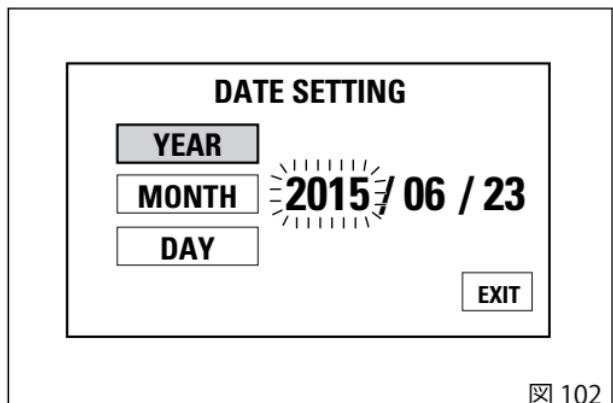


図 102

## 月の調整

ボタン(1)または(2)を押して "MONTH" を選択します。  
強調表示されたら、ボタン(4)を押します。

月のデータが点滅し始めます。

ボタン(1)を押すと、月の値が以下のように 1 ずつ小さくなります。12, 11, ..., 01, 12。

ボタン(2)を押すと、月の値が以下のように 1 ずつ大きくなります。01, 02, ..., 12, 01。

希望の値に達したら、ボタン(4)を押します。設定された月の値が固定表示に変わります。

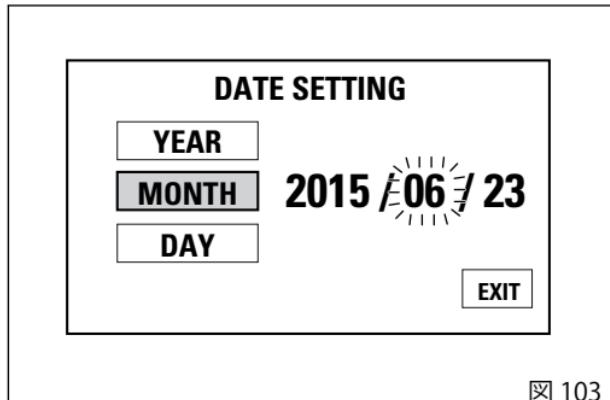


図 103

## 日の調整

ボタン(1)または(2)を押して "DAY" を選択します。  
強調表示されたら、ボタン(4)を押します。  
日のデータが点滅し始めます。  
ボタン(1)を押すと、日の値が以下のように 1 ずつ小さくなります。31, 30, ..., 01, 31。  
ボタン(2)を押すと、日の値が以下のように 1 ずつ大きくなります。01, 02, ..., 31, 01。  
希望の値に達したら、ボタン(4)を押します。設定された日の値が固定表示に変わります。

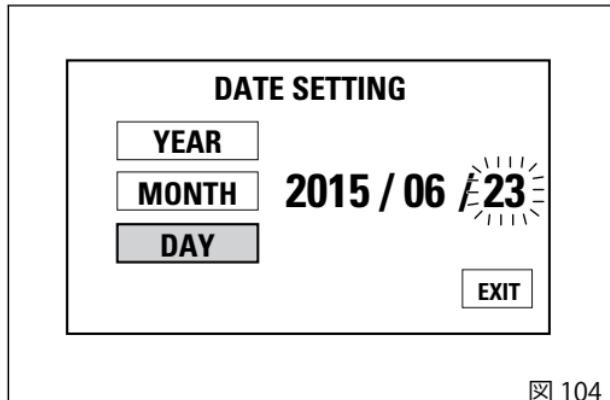


図 104

## 日付の保存

設定もしくは変更した日付を保存するには、ボタン(1)および(2)を押して "MEMORY" を選択し、ボタン(4)を2秒間押します。インストルメントパネルは "MEMORIZED" を2秒間表示し、自動的に "EXIT" の文字を強調表示します。

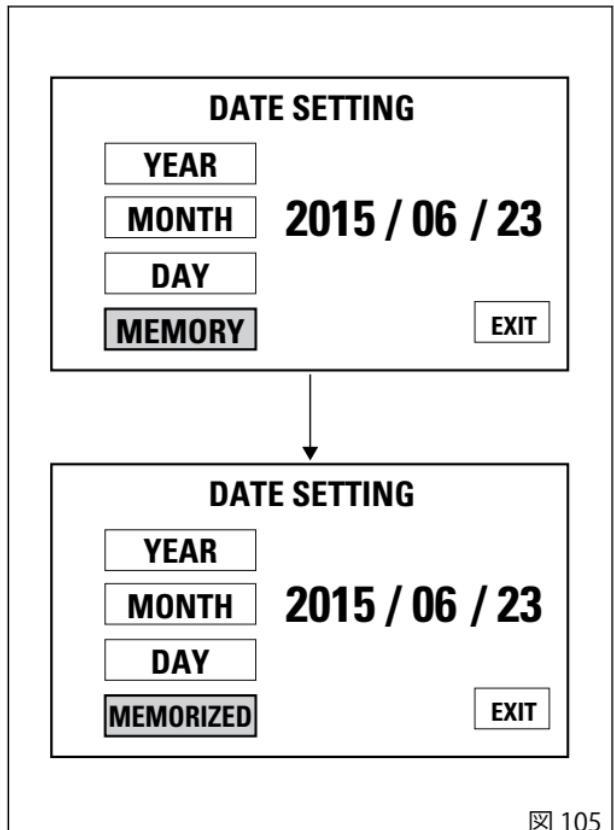


図 105

日付が正しくない場合、インストルメントパネルは "WRONG DATE" を3秒間点滅表示した後、日付に点線 "---- / -- / --" を表示して自動的に "EXIT" の文字を強調表示します。この場合も新しく別の日付を設定することができます。

前の画面(設定メニューページ)に戻るには、"EXIT" の文字が強調表示されている状態でボタン(4)を押します。

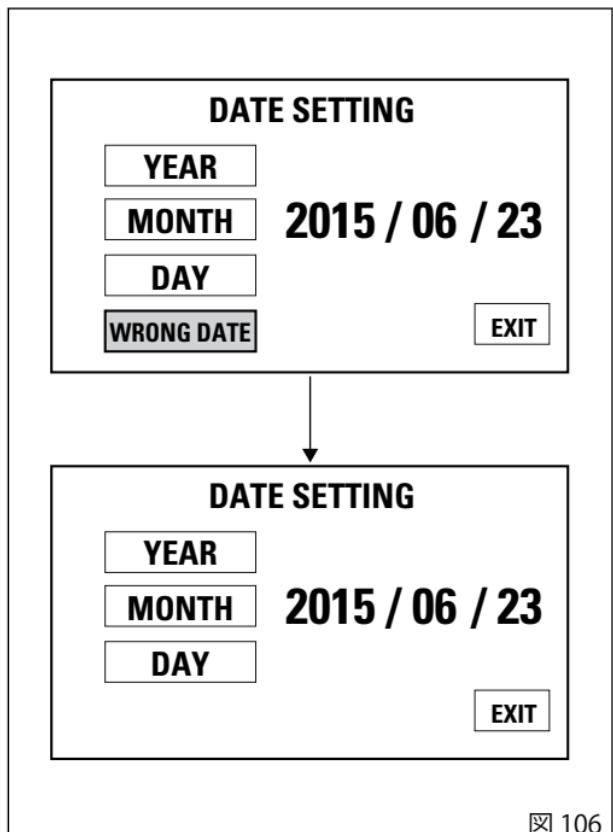


図 106

## 時計の調整

この機能は日付の表示、設定/変更を行います。

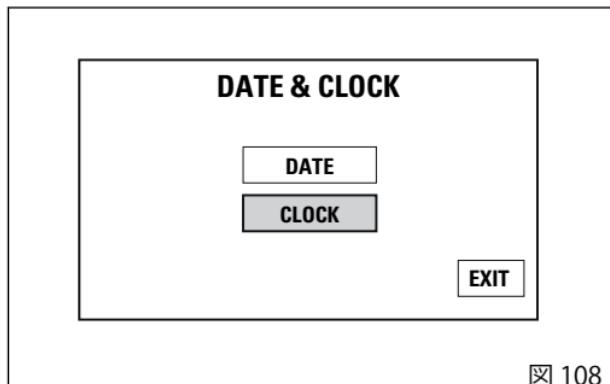
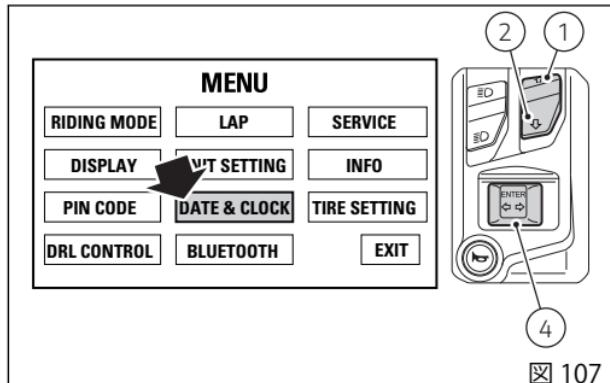
設定メニューに入ります。

ボタン(1)または(2)を押して"DATE & CLOCK"を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。

ボタン(1)または(2)を押して"CLOCK"を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。



メニューに入ると、左側に調整が可能な内容、HOUR、MINUTE、AM / PM が表示され、右側には現在の時刻が表示されます(例：10:57 a.m.)。

## 時間の調整

ボタン(1)または(2)を押して "HOUR" を選択します。強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。時間のデータが点滅し始めます。

ボタン(1)を押すと、時間の値が1ずつ小さくなります。12から01まで小さくなり、再び12に戻ります。

ボタン(2)を押すと、時間の値が1ずつ大きくなります。01から12まで大きくなり、再び01に戻ります。

ボタン(1)またはボタン(2)を1秒以上長押しすると、ボタンを離すまで自動的に減少または増加します。

希望の値に達したら、メニュー決定ボタン(4)を押します。設定された時間の値が固定表示に代わります。

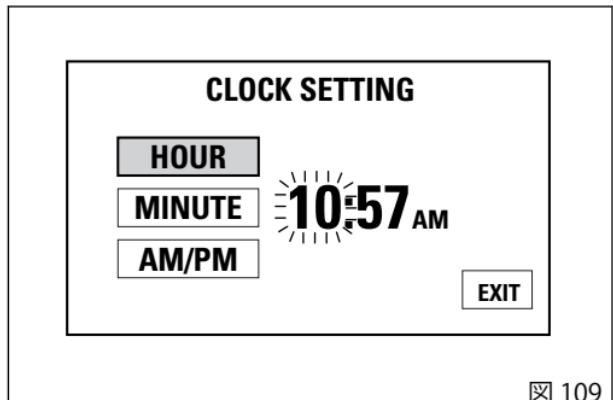


図 109

## 分の調整

ボタン(1)または(2)を押して "MINUTE" を選択します。強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。

分のデータが点滅し始めます。

ボタン(1)を押すと、分の値が以下のように 1 ずつ小さくなります。59, 58, ..., 00, 59。

ボタン(2)を押すと、分の値が以下のように 1 ずつ大きくなります。00, 01, ..., 59, 00。

ボタン(1)またはボタン(2)を 1 秒以上長押しすると、ボタンを離すまで自動的に減少または増加します。

希望の値に達したら、メニュー決定ボタン(4)を押します。設定された分の値が固定表示に代わります。

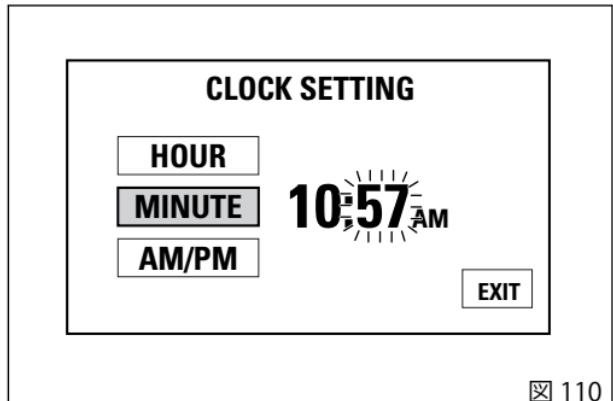


図 110

## AM/PM の調整

ボタン(1)または(2)を押して "AM/PM" を選択します。強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。

データが点滅し始めます。

ボタン(1)または(2)を押してそれぞれに対応する AM または PM を選択します。

希望の値に達したら、メニュー決定ボタン(4)を押します。設定されたデータが固定表示に代わります。

メニューを終了して前の画面に戻るには、"EXIT"の文字を強調表示し、ボタン(4)を押します。



バッテリーが切断される度に時計の情報はリセットされますので、ユーザーは再度設定する必要があります。

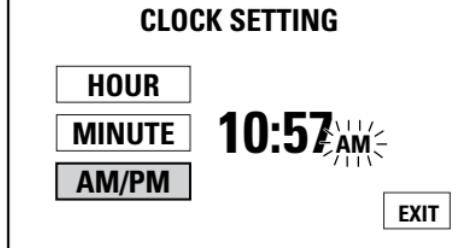


図 111

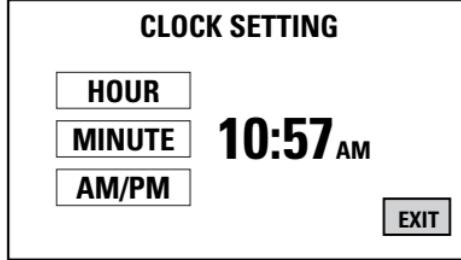


図 112

## Bluetooth デバイス設定

この機能では Bluetooth デバイスのペアリング、およびその解除を行います。

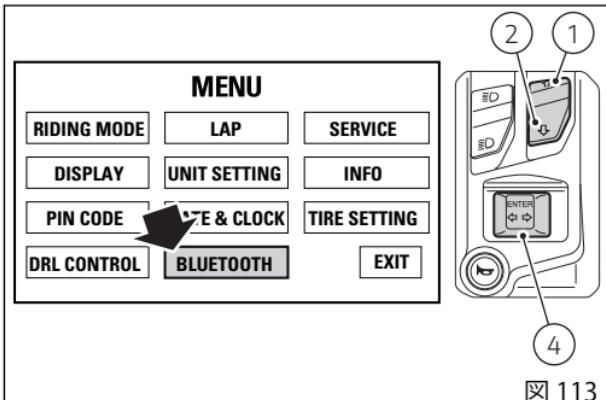
これらを実行するには、設定メニューに入ります。ボタン(1)または(2)を押して "BLUETOOTH" を選択します。機能が強調表示されたら、ボタン(4)を押します。

"BLUETOOTH" メニューには Bluetooth 機能が起動しているときのみ入ることができます。

プレーヤーの作動中や操作中、あるいは着信中、通話中、再呼び出し中には "BLUETOOTH" メニューに入ることはできません。

デバイスのペアリング方法は "新しいデバイスのペアリング" を参照してください。

デバイスのペアリング解除方法は "ペアリングデバイスの削除" を参照してください。



## 新しいデバイスのペアリング

この機能ではひとつ以上のBluetooth デバイスを "PAIRING" コマンドを使用してペアリングすることができます。

Bluetooth デバイスをコントロールユニットが検出してアクセスできるように設定します。

検出モードにあるとき、Bluetooth デバイスはワイヤレスシグナルを送信し他のデバイスから検出されるようになります。このモードは、ペアリングモードと呼ばれることもあります。

車両にはBluetooth コントロールユニットが装備されています。これにより Bluetooth に対応する電子機器間での通信が可能になります。

## !**警告**

Bluetooth ヘッドセットの製造メーカーは、デバイスの寿命期間中に標準プロトコルに変更を加えることがあります(スマートフォン、ヘッドセット)。

## !**警告**

ドゥカティ社はこれらの変更に関与していませんので、こうした変更が Bluetooth ヘッドセット(音楽共有、マルチメディア再生など)の各種機能やいくつかのタイプのスマートフォン(Bluetooth 対応プロファイルによる)に影響を与える可能性があります。このためドゥカティ社は、以下についてのマルチメディア再生を保証していません。

- "Kit Ducati キット(部品番号: 981029498)" に付属しないヘッドセット。
- 必要な Bluetooth プロファイルに対応していないスマートフォン("Ducati キット 部品番号: 981029498" に付属するヘッドセットとペアリングできる場合でも)

## !**警告**

外的環境の特殊な状況に起因する干渉が起こった場合には、Ducati キット(部品番号: 981029498)ではライダーヘルメットからパッセンジャーヘルメットへの再生音楽の共有機能を使用することができます(詳しくは Ducati キット(部品番号: 981029498)に付属のヘッドセット取扱説明書を参照)。

## 参考

Ducati キット (部品番号 : 981029498) は、  
Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにてお  
求めいただけます。

BLUETOOTH 設定メニューにアクセスすると、最初に  
デフォルトとして "PAIRING" が強調表示されます。左  
側にはすでにペアリングされているデバイスのリスト  
が表示されます。

ボタン(4)を押してペアリング機能を起動すると、  
Bluetooth デバイスの検索を始めます。デバイス検索  
中のマークが点灯し、"WAIT..." の文字が表示されま  
す。

近くにあるデバイスを検出した時点でペアリングは自  
動的に終了し、検出されたデバイスが右側に一覧表示  
されます。

ペアリングに失敗した場合は、"PAIRING  
LOST.PLEASE EXIT" の文字が表示されます。この場合  
は BLUETOOTH 設定メニューを一旦終了し、もう一度  
メニューに入りペアリングをやり直してください。  
ペアリングが正常に終了した場合は、Bluetooth デバ  
イスクを検出した時点でデバイス名が右側のデバイス一  
覧に表示されます。

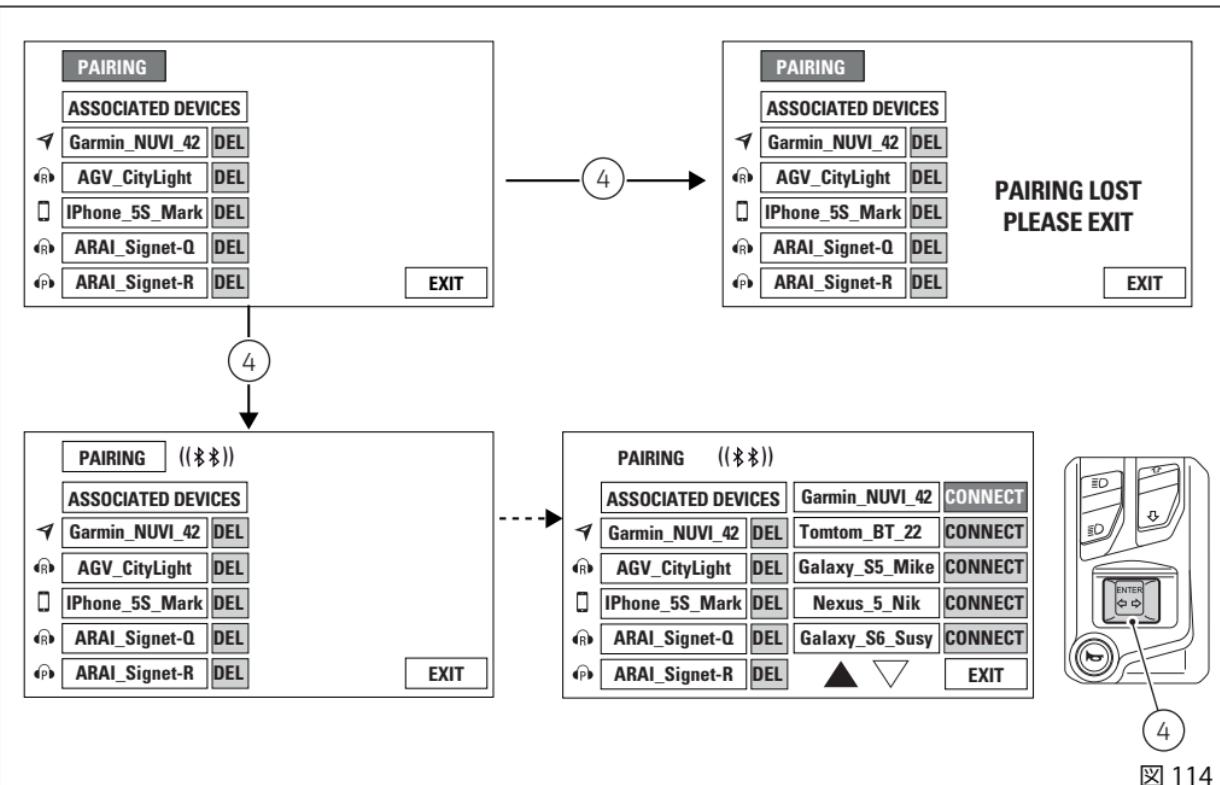
ペアリング中に検出されたデバイス一覧には、左側の  
リストに表示されているペアリング済みデバイスは表  
示されません。

二つ以上のデバイスが同じデバイス名を持っている場  
合は、検出デバイス一覧には同じ名前のラベルが二つ  
以上表示されます。

検出されたデバイスにデバイス名が存在しない場合  
は、検出デバイス一覧には表示されません。

ボタン(1)および(2)を押して、検索中に右側の検出デ  
バイス一覧をスクロールすることができます。  
ペアリングしたいデバイスに該当するラベル  
"CONNECT" を選択し、ボタン(4)を押してペアリング  
を実行します。

ペアリングを終了するには "EXIT" の文字を選択し、ボ  
タン(4)を押します。



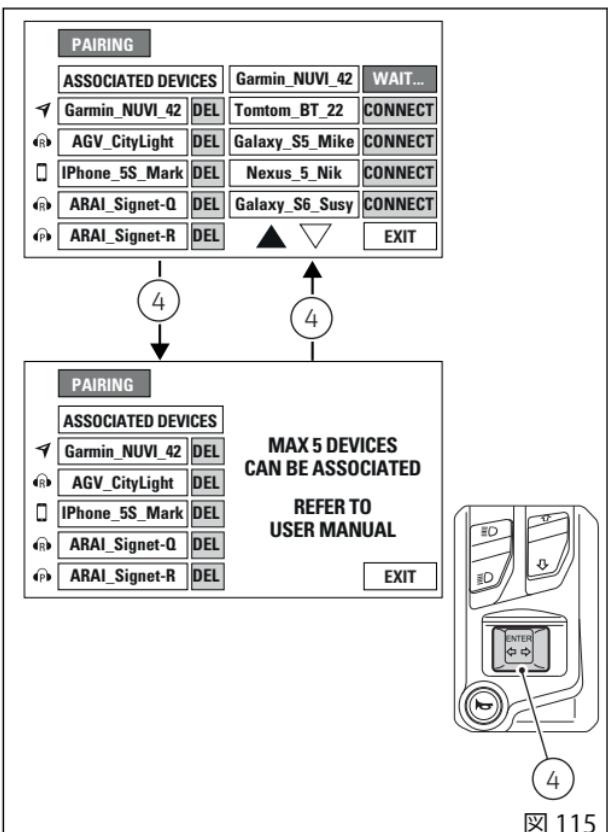
114

ペアリングが可能な最大デバイス数は以下のとおりです。

- スマートフォン 2台
- ナビゲーター 1台
- ライダーヘルメット 1個
- パッセンジャーへルメット 1個

すでに5つのデバイスがペアリングされている場合にユーザーが新たにペアリングしようとすると、"MAX 5 DEVICES CAN BE ASSOCIATED" と "REFER TO USER MANUAL" の文字が表示されます。

一番目のペアリングされたデバイスに該当する "DELETE" が自動的に強調表示されます。ひとつ以上のデバイスを解除するか("ペアリングデバイスの削除"を参照)、もしくは "EXIT" から Bluetooth 設定メニューを終了することができます。

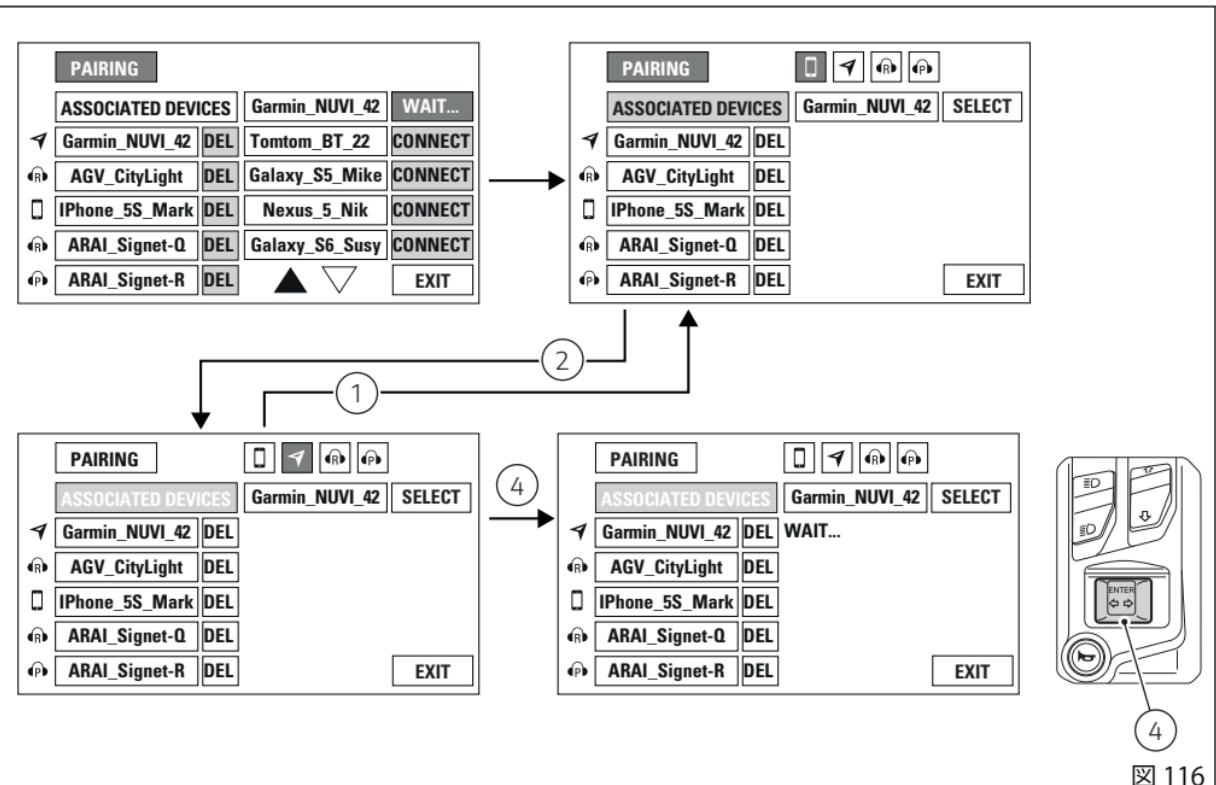


ペアリングするデバイスを選択すると、選択したデバイスに該当するラベルが "CONNECTED" から "WAIT" に代わり、ペアリングしたいデバイスのタイプを選択する必要があります。選択可能なデバイスタイプに相当する 4 つのアイコンが表示されます。

デバイスタイプは順番に次のとおりです。

- スマートフォン
- ライダーヘルメット
- パッセンジャーヘルメット
- ナビゲーター

ボタン(1)および(2)を押してデバイスタイプを選択します。ボタン(4)を押し、選択を決定します。



## スマートフォン

スマートフォンをペアリングする場合には、Bluetooth コントロールユニットとペアリングするためのペアリングコード(0000)の入力が必要になります。デバイスを Bluetooth コントロールユニットにペアリングする初回のみコードを入力します。

この場合、ペアリング段階で PIN 入力の指示 "INSERT PIN ON SMARTPHONE: 0000" が表示されます。

ユーザーがスマートフォンに PIN を入力すると、デバイスがペアリングされ、左側の一覧に表示されます。

## ナビゲーター

Bluetooth ナビゲーターをペアリングする場合は、ナビゲーター本体側で車両の Bluetooth コントロールユニットとの接続を選択してペアリングプロセスを完了する必要があります。

この場合、ペアリング中に "CONNECT ON NAVI" の文字が表示されます。コントロールユニットとナビゲーターとの接続に成功した時点でこの文字は消え、ナビゲーター名が左側の一覧に表示されます。



万一90秒以内にユーザーがナビゲーター側のペアリングを完了しないときは、インストルメントパネルのペアリング画面が終了し、Bluetooth 設定メニューのメイン画面に戻ります。

ナビゲーターのペアリングが 90 秒以上作動している場合、すなわちプロセス中にエラーが発生した場合には、検出されたデバイスを選択することはできません。ペアリングを中止するのが適切だと判断された時点で "EXIT" ボタンのみの選択が可能です。

ペアリングが終了すると、ペアリングされたデバイス名が左側のデバイス一覧に表示されます。デバイス名は最初の数文字だけが表示されます。

ペアリングは Bluetooth 設定メニューを終了するか、検出された Bluetooth デバイスが他に存在しないと終了します。



以下のキットに付属しない Bluetooth 対応のナビゲーターは、ドゥカティマルチメディアシステムに正しく接続できない場合があります。

- Ducati Zumo 350 衛星ナビゲーターキット
- Ducati Zumo 390 衛星ナビゲーターキット
- Ducati Zumo 395 衛星ナビゲーターキット



## 参考

上記Ducati キットは、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにてお求めいただけます。

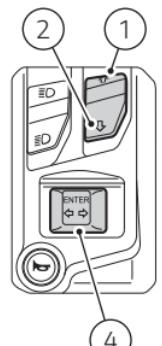
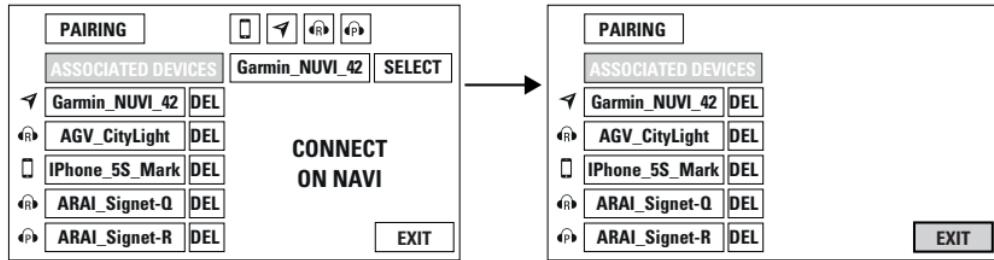
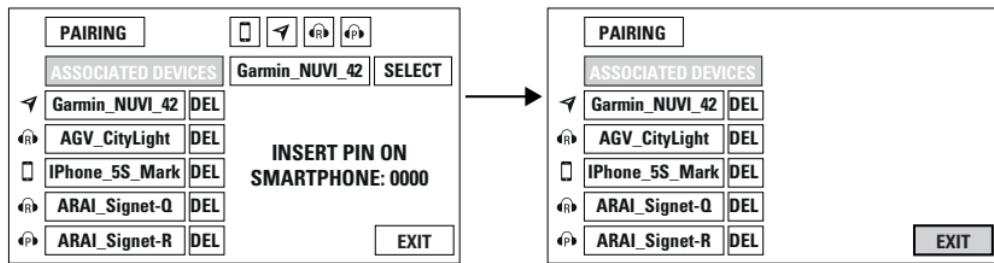


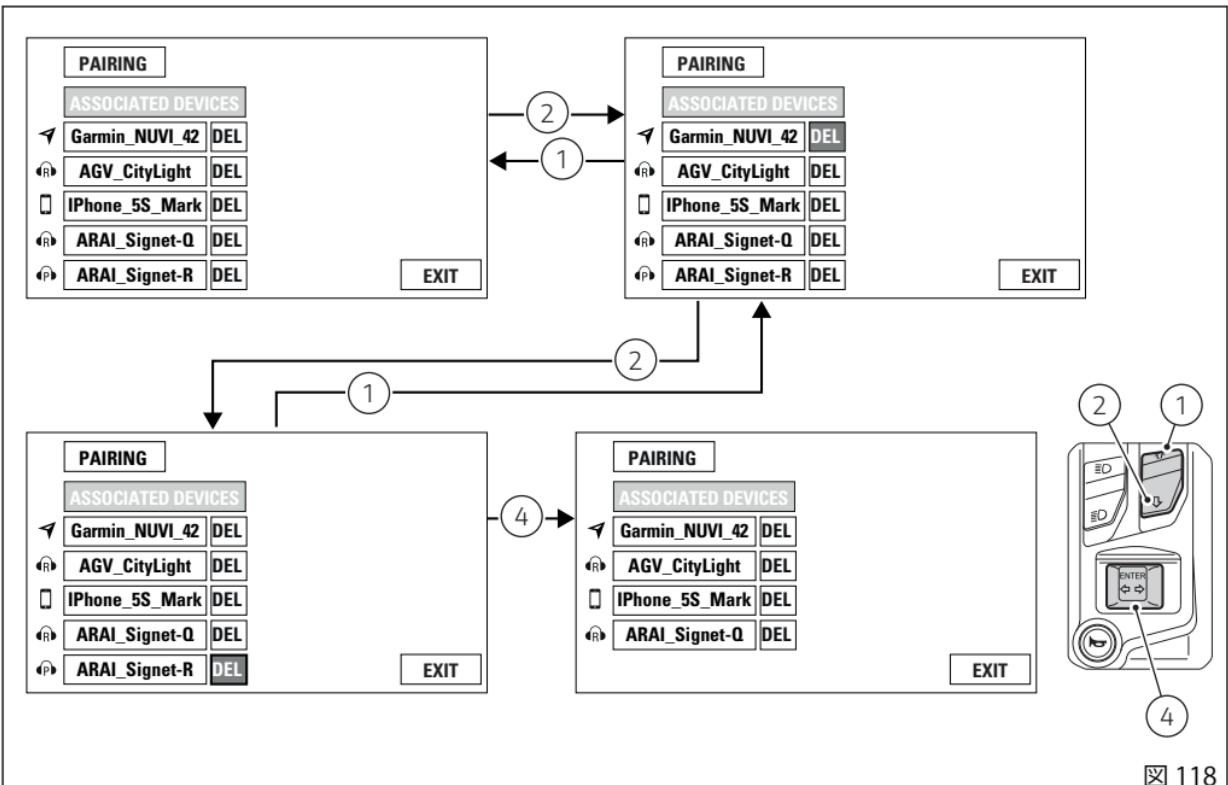
图 117

## ペアリングデバイスの削除

Bluetooth設定メニューから、左側のペアリングデバイス一覧にアクセスすることができます。

ボタン(1)またはボタン(2)を押して、ペアリングデバイス一覧から削除したいデバイスを選択することができます。デバイスに対応するラベル"DEL"を緑色に選択したら、ボタン(4)を少なくとも2秒間押します。デバイスがペアリングデバイス一覧から削除されます。

ボタン(1)またはボタン(2)で"EXIT"機能を選択し、ボタン(4)を押すと、Bluetooth設定メニューを終了して設定メニューのメイン画面に戻ります。



118

## サービス情報

この機能では、定期点検Oil Service、Desmo Service、Annual Service 期限に関する情報を表示することができます。

サービスの期限を表示するには、まず設定メニューに入ります。ボタン(1)および(2)で "SERVICE" を表示してボタン(4)を押します。

次の情報を見ることができます。

- OIL SERVICE : OIL SERVICE 期限に到達するまでの残りの走行距離(キロ または マイル)をカウントダウン表示します。
- DESMO SERVICE : DESMO SERVICE 期限に到達するまでの残りの走行距離(キロ または マイル)をカウントダウン表示します。
- ANNUAL SERVICE : ANNUAL SERVICE 期限の日付を表示します。

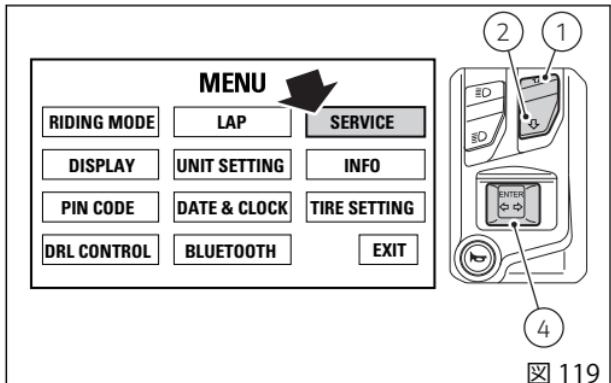


図 119

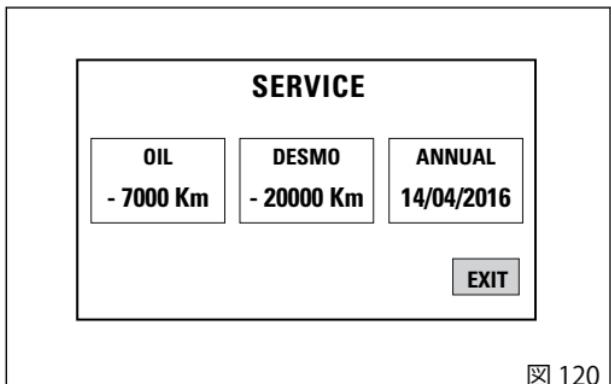


図 120

## インフォメーション(INFO)

この機能では役に立つ各種情報を表示します。

"INFO" を表示するには、まず設定メニューに入ります。ボタン(1)および(2)で "INFO" を表示してボタン(4)を押します。

次の情報を見ることができます。

- BATTERY (バッテリー電圧)
- RPM (エンジン回転数表示)
- BLUETOOTH version (Bluetooth モジュールバージョン) (Monster 1200 Sのみ)

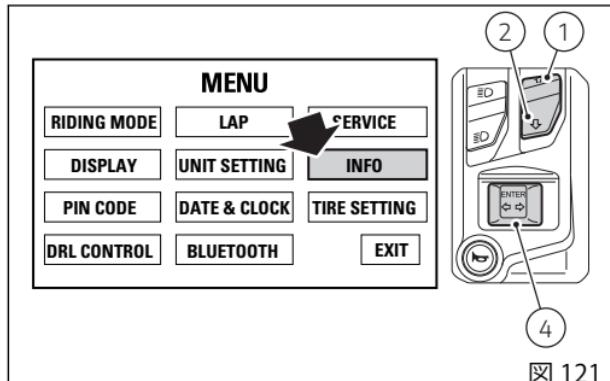


図 121

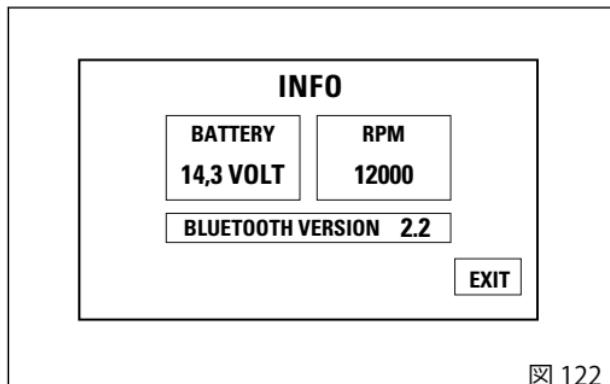


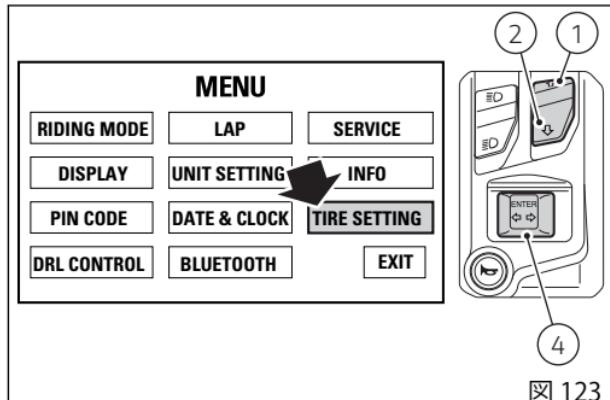
図 122

## タイヤ設定

この機能は、ユーザーがドゥカティ指定のサイズクラスはそのままで標準装備とは異なるタイヤを装着する場合に、システムの再キャリブレーションを行います。またリアスプロケットとフロントスプロケットを交換した場合に、新たに導入された変更を考慮して車両に搭載されている制御装置(DTC DWC)のパラメーターを再設定するために新しいギア比の確認を行います。ユーザーは設定メニューから、新しいタイヤ周長および最終減速比の自己学習プロセスの開始、またはOEM装備用ドゥカティデフォルト設定の回復を行うことができます。

これらを実行するには、設定メニューに入ります。ボタン(1)または(2)を押して "TIRE SETTING" を選択します。機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン(4)を押します。

"TIRE SETTING" メニューに入ります。



ボタン(1)および(2)を使用し、"START" または "DEFAULT" の文字を選択します。"DEFAULT" は車両の設定がドゥカティデフォルト設定でない場合にのみ選択することができます。

メニューを終了して前の画面に戻るには、"EXIT" の文字を強調表示し、ボタン(4)を押します。

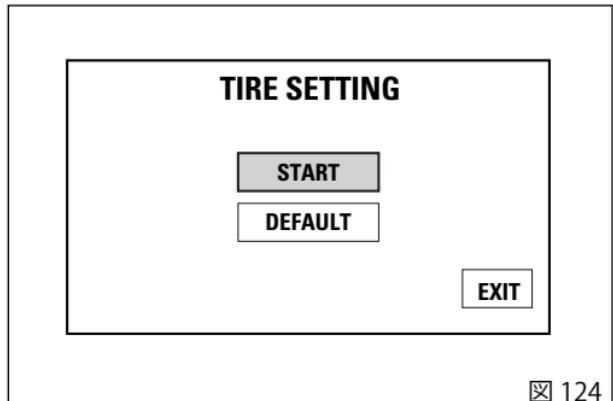


図 124

## 自己学習プロセス

この機能に入ると、右側に車両速度と挿入ギアが表示されたまま、キャリブレーション操作を実施するため維持する速度範囲と使用するギアが画面中央に表示されます。

速度範囲：48～52 km/h (単位設定が mph の場合は相当する速度が mph 単位で表示されます)

ギア：2

最初の画面にはディスプレイ上部に "READY" の文字が赤色で表示され、システムはキャリブレーションを実行する準備ができていることをユーザーに知らせます。

ユーザーが車両の状態をディスプレイに表示されている車両速度とギアの状態にあわせたとき、システムのキャリブレーションが開始されます。ディスプレイ上部には "IN PROGRESS" の文字がオレンジ色で表示されます。

プロセスが正常に終了すると、ディスプレイ上部に "COMPLETED" の文字が緑色で表示され、数秒後自動的にメインスクリーンに戻ります。

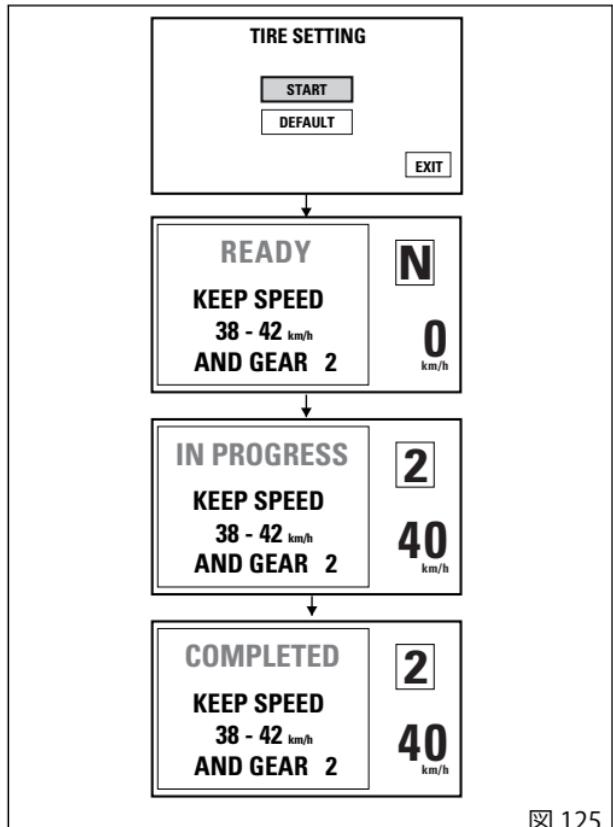


図 125

"START" を決定した時点でプロセスが開始できない場合、数秒後に自動的に強調表示が "EXIT" の文字に移ります。

万一キャリブレーションの進行中にエラーや不具合が検知されると、ディスプレイ上部に "FAILED" の文字が赤色で表示され、自動的にメインスクリーンに切り替わります。

ユーザーは "READY" の時点でも "IN PROGRESS" の時点でも、ボタン(1)を 2 秒間押してプロセスを中断することができます。インストルメントパネルはディスプレイ上部に "ABORTED" の文字を赤色で表示し、数秒後自動的にメインスクリーンに戻ります。

図中に表示されている速度範囲およびギアの表示は参考として記載されているものであり、実際の車両設定値を示すものではありません。

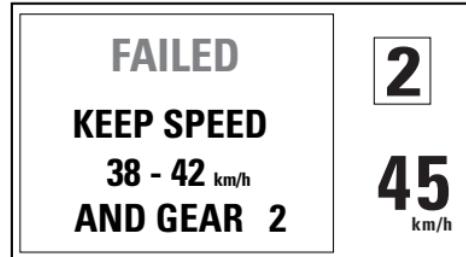


図 126

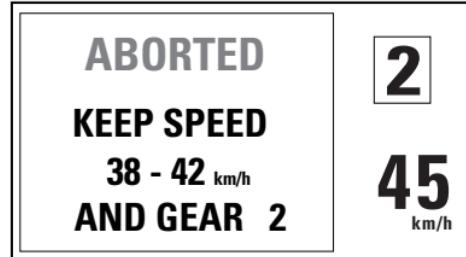


図 127

## デフォルト設定の回復

"TIRE SETTING" メニューに入ります。

ボタン(1)または(2)を使用して "DEFAULT" を選択し、  
ボタン(4)を 3 秒間押します。

ディスプレイには "PLEASE WAIT...." の文字が数秒間表示されます。

デフォルト値の回復プロセスが正常に終了すると、ディスプレイに "DEFAULT OK" の文字が 2 秒間表示され、数秒後自動的にメインスクリーンに戻ります。

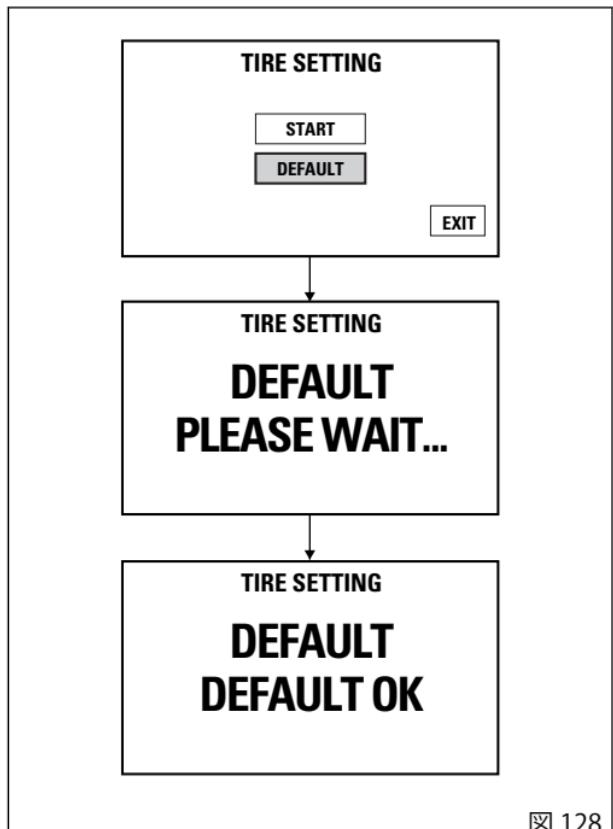


図 128

万一デフォルト設定の回復プロセスが正常に終了しなかった場合、ディスプレイには"ABORTED"の文字が2秒間表示されたのち、インストルメントパネルは "TIRE SETTING" メニューの最初の画面に戻り "EXIT" の文字が強調表示されます。

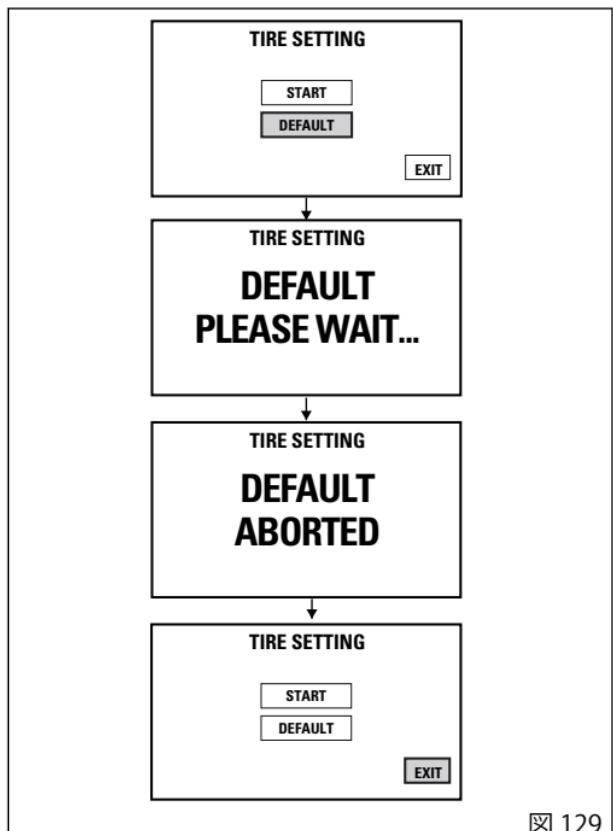


図 129

## ディスプレイ背景の色

インストルメントパネルは外光の強さに応じて自動的にディスプレイの背景の色を調整することができます。BACKLIGHT-AUTO機能がONの場合、センサーが"弱い光"(夜)を検出するとインストルメントパネルは黒の背景の表示モード(NIGHT)に変わります。逆に"強い光"(昼)を検出するとインストルメントパネルは白の背景の表示モード(DAY)に変わります。

この機能は設定メニューからパーソナライズが可能です。"BACKLIGHT"機能を選択し、"BACKLIGHT"メニューに入ります。

- NIGHT または DAY モードのどちらかを常時設定するか、あるいは
- 自動表示モード AUTO に設定します。

("ディスプレイ背景の設定" ページ 148) を参照してください。

### 参考

供給電源が 16V を超えている場合はバックライトは OFF になり、8V 未満の場合はバックライトが消えます。



図 130

## ライトコントロール

### ロービーム/ハイビームランプ(DRL 非搭載バージョン)

Key-ON 時、ロービームランプおよびハイビームランプは消灯(OFF)したままパーキングランプのみが点灯します。

エンジンを始動するとロービームランプが自動的に点灯します。ボタン(7)のポジション(B)と(A)でロービームとハイビームの切り替えを行います。Key-ON した後にエンジンを始動しない場合でも、左側スイッチのボタン(7)をポジション(B)と(A)に押してロービーム/ハイビームランプを起動することができます。

ロービーム/ハイビームランプを手動で起動してから 60 秒以内にエンジンを始動しないと、ランプは再び消灯(OFF)します。

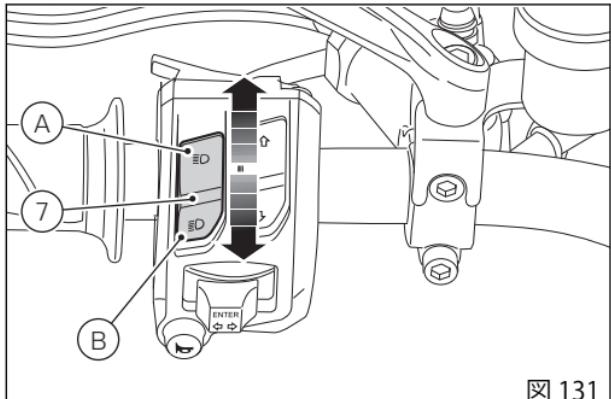


図 131

## ロービーム/ハイビームランプ(DRL搭載バージョン)

Key-ON 時、ロービームランプおよびハイビームランプは消灯(OFF)したままパーキングランプおよびDRLのみが点灯します。

エンジンを始動した時、AUTO モードに設定されておりインストルメントパネルが外光の弱い状況(NIGHT)を検出した場合はロービームランプが自動的に点灯します。一方、外光の強い状況(DAY)を検出した場合にはDRLが点灯を続け、ロービームランプは消灯したままになります。ボタン(5)を使用して、DRLとロービームランプの切り替えが可能です。

ロービームランプが点灯した場合、ボタン(7)のポジション(A)でハイビームランプも点灯することができます。Key-ON した後にエンジンを始動しない場合でも、左側スイッチのボタン(7)をポジション(B)と(A)に押してロービーム/ハイビームランプを起動することができます。

ロービーム/ハイビームランプを手動で起動してから60秒以内にエンジンを始動しないと、ランプは再び消灯(OFF)します。

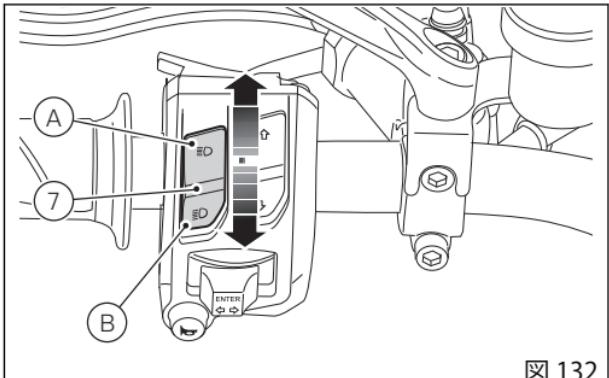


図 132

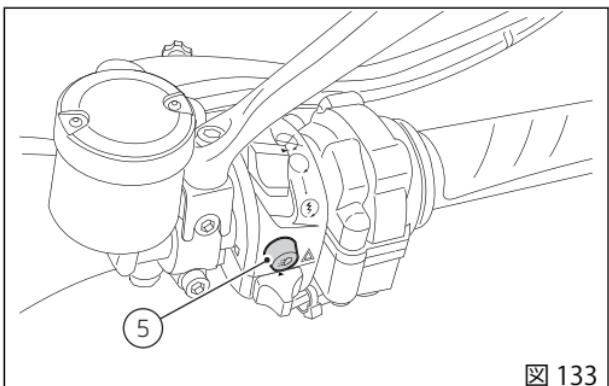


図 133

## エンジン始動時のロービーム/ハイビームランプ 消灯 (DRL 非搭載バージョン)

車両のバッテリー充電状態を維持するため、ハイビームランプ、ロービームランプが点灯(ON)している場合にはエンジン始動時にヘッドライトは自動的に消灯します。エンジンが完全に始動した時点で再び点灯します。

## エンジン始動時のロービーム/ハイビームランプ 消灯 (DRL 搭載バージョン)

車両のバッテリー充電状態を維持するため、ハイビームランプ、ロービームランプ、DRLのいずれかが点灯(ON)している場合にはエンジン始動時にヘッドライトは自動的に消灯します。エンジンが完全に始動した時点で再び点灯します。

## DRL(デイタイムランニングライト) — DRL搭載バージョンのみ

Key-On のたびに DRL が点灯します。左側スイッチにあるボタン(5)を使用して、DRL を消灯することができます。ボタン(5)をもう一度押すと、DRL は再び点灯します。

### 参考

ボタン(5)が押されると、DRL は自動的に MANUAL モードに設定されます。AUTO モードに戻すには Key-OFF / Key-ON を実行するか、設定メニューの "DRL CONTROL" 機能から AUTO モードに設定します。

ボタン(7)を押すと、ハイビームランプとロービームランプが点灯し、DRL が消灯します。ランプボタン(7)を離すと、DRL が再び自動的に点灯します。

### DRL AUTO モード

DRL がこのモードにある時、エンジン始動時にインストルメントパネルが外光が弱い状況(NIGHT)を検出した場合は DRL が自動的に消灯し、ロービームランプが点灯します。一方、インストルメントパネルが外光の強い状況(DAY)を検出した場合は、DRL が点灯し続け、ロービームランプが消灯したままになります。こ

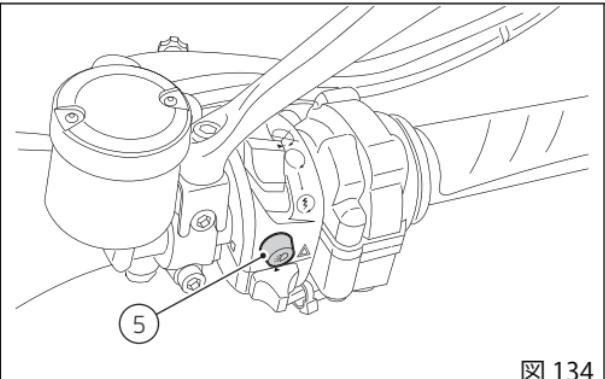


図 134

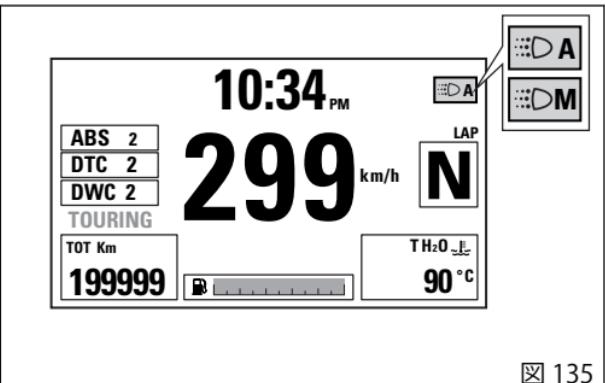


図 135

のモードでは、インストルメントパネルが検出した外光の明るさに応じて、DRLとロービームを自動的に切り替えます。ディスプレイには緑色のロゴと "A" の文字が表示されます。

## 警告

外光の弱い状況下、特に霧や曇りの時に DRL を AUTO(自動)モードで使用すると、非常に危険な場合があります。このような場合には、ロービームランプを自動で点灯するようにしてください。

### DRL MANUAL モード

DRL がこのモードにある時は、エンジンを始動しても DRL ステータスは変更されません。DRL を停止 / 点灯するにはボタン(5)を押してください。ディスプレイには黄色のロゴと "M" の文字が表示されます。

## 警告

外光の特に弱い状況下(暗闇)で DRL を使用すると、運転中の視界を損なう危険だけでなく、対向車のドライバーの目をくらませるおそれがあります。

## 参考

日中であれば対向車のドライバーはロービームランプに比べて DRLの方が知覚しやすいため、DRL の日中の使用は視認性を高めます。

## ターンインジケーター

インストルメントパネルはターンインジケーターの自動リターンを行います。

2つのうち、どちらかのターンインジケーターを点けた後、左側スイッチにあるボタン(4)で解除することができます。

ターンインジケーターコマンドの手動解除が行われなかった場合、起動してから 500 m (0.3 マイル) 走行すると、インストルメントパネルは自動的にターンインジケーターを停止します。自動解除の際、走行距離のカウントは 80 km/h (50 mph) 以下でのみ行なわれます。

自動解除の走行距離カウントがスタートしてから速度が 80 km/h (50 mph) を上回った場合、カウントは中断されます。その後、前述の速度を下回るとカウントが再開されます。

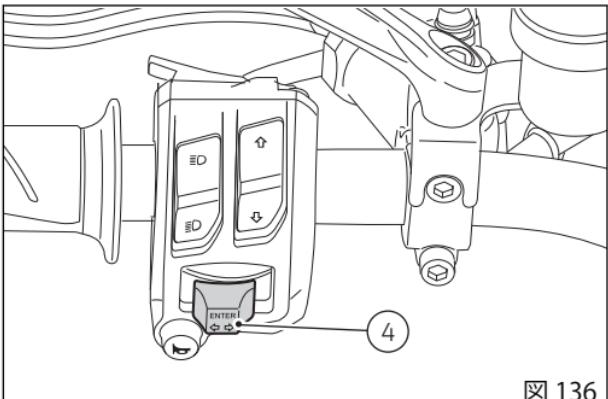


図 136



### 警告

自動解除システムは、ライダーがターンインジケーターをより快適に操作できるように助ける、ライダー支援システムです。こうしたシステムは、ほとんどの運転において動作するように開発されていますが、ライダー自身がターンインジケーターの動作に注意を払わなくてよくなる機能ではありません（必要に応じて手動で作動/停止）。

## ハザード機能(ターンインジケーターすべて点滅)

"ハザード"機能は、非常事態を知らせるために4つのターンインジケーターすべてを同時に起動します。ボタン(6)を押して"ハザード"機能を作動することができます。車両が起動している場合にのみ、この機能を起動することができます(エンジンの起動/停止状態に関係なく、キーが"ON"の位置にある時)。"ハザード"機能の作動中は、4つのターンインジケーターおよびインストルメントパネルの警告灯(7)が同時に点滅します。"ハザード"機能は、車両が起動している状態(キーを"ON"位置に回す)でも車両が停止している状態(キーを"OFF"位置に回す)でも、ボタン(6)を押して解除することができます。

"ハザード"機能を起動してから車両を停止した場合は(キーを"OFF"位置に回す)、ハザード機能は手動で解除しない限り2時間作動を続けます。バッテリーを保護するため、2時間後ターンインジケーターは自動的に消灯します。

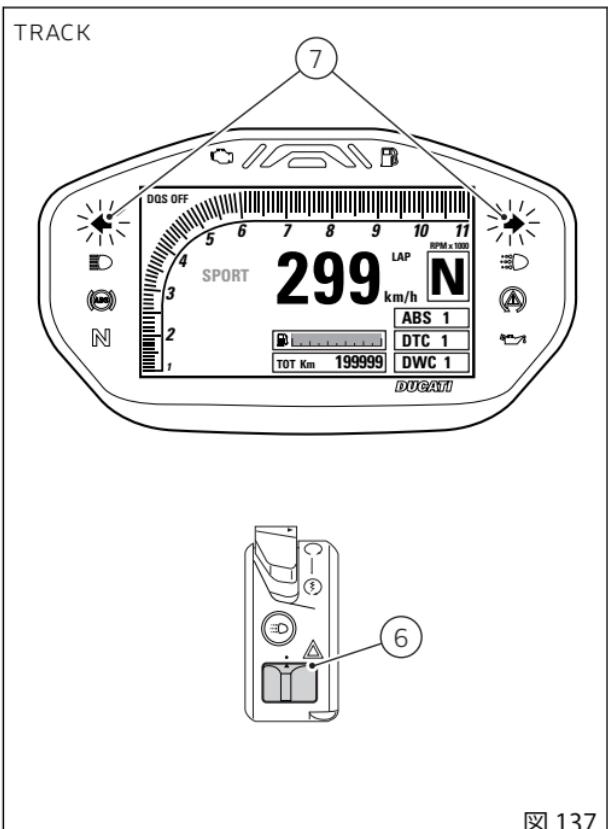


図 137



## 参考

"ハザード"機能の作動中に車両をKey-ONした場合、ハザード機能は作動し続けます(ただし、インストルメントパネルの初期点検中にハザード機能が一時的に中断される場合があります)。



## 参考

パーキング機能作動中に突然バッテリーからの電源が遮断された場合、電源回復時にインストルメントパネルは機能を停止します。



## 参考

"ハザード"機能は、ターンインジケーターの通常機能より優先されます。そのため、"ハザード"機能が作動している場合は左右インジケーターを個別に起動することはできません。

## イモビライザーシステム

盗難防止機能を高めるため、車両にはエンジンをロックする電子システム(イモビライザー)が装備されており、インストルメントパネルを消す度に自動的に起動します。

各キーには電子装置が内蔵されており、スイッチ内に組み込まれた特殊アンテナが起動時に発する信号を変調します。

変調された信号は起動毎に異なる"パスワード"から構成され、これによりコントロールユニットはキーを識別します。正常に識別された場合のみエンジンを始動させることができます。

## キー

車両には2個のキーが付属しています。  
キーには"イモビライザーシステムの暗号"が含まれています。  
キー(B)は通常時に使用し、以下の操作に必要です。

- 起動
- フィラープラグの開閉
- シートロックの解除



### 警告

キーは別々に保管し、車両を使用する際は2本のキーのどちらか一方を使用してください。

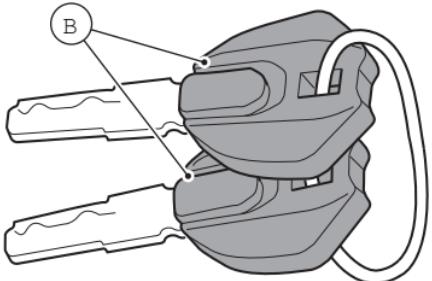


図 138

## **動作値**

キースイッチをONからOFFに回す度にプロテクションシステムのエンジンブロックが起動します。それでもなおエンジンを始動できない場合には、Ducati アシスタンスネットワークにお問い合わせください。



### **警告**

強い衝撃を受けるとキー内部の電子部品が破損するおそれがあります。作業中は常に同じキーを使用してください。異なるキーを使用した場合、挿入したキーの暗号をシステムが識別できない場合があります。

## キーの複製

追加のキーが必要な場合は、Ducati アシスタンスネットワークにご連絡ください。その際、お手持ちのすべてのキーをお持ちいただく必要があります。

Ducati アシスタンスネットワークでは新しいキーとお手持ちのキーすべての登録を行います。

Ducati アシスタンスネットワークではお客様に車両の所有者確認をさせていただく場合があります。

登録作業中に提示されなかったキーの暗号はメモリーから削除されます。これは、紛失したキーでエンジンを始動できなくなるためです。

### 参考

車両の所有者を変更した場合は、必ず新規所有者にすべてのキーを譲渡してください。

## PIN CODE による車両の解除

キー認識システムの不具合、またはキーの不具合の場合、車両ブロックの一時解除のため PIN CODE の入力ができるようになります。

PIN CODE 機能が有効でない場合、インストルメントパネルはブロック解除コード入力ページを表示せずスタンダードスクリーンを表示し、E-Lock エラーでキー読み取り/識別エラーがあることをユーザーに知らせます。また設定メニューに入ることができないになります。

次の KEY-OFF まで E-Lock エラーが表示されたままになります。

PIN CODE 機能が起動している場合、インストルメントパネルはブロック解除のコード入力ページを表示し、"INSERT PIN CODE" の文字とその下に緑色で強調表示された 4 本の点線 "----" が表示されます。

コードの入力：

- 1) ボタン(4)を押すと、"0"で表示される1桁のみが緑色で強調表示されます。
- 2) ボタン(2)を押す度に数字が"9"までひとつずつ大きくなり(+1)、その後"0"に戻ります。
- 3) ボタンA(1)を押す度に数字が"1"までひとつずつ小さくなり(-1)、その後"0"に戻ります。
- 4) ボタン(4)を押して数字を決定します。

この手順を繰り返し、PIN CODE の4桁すべての数字を決定します。

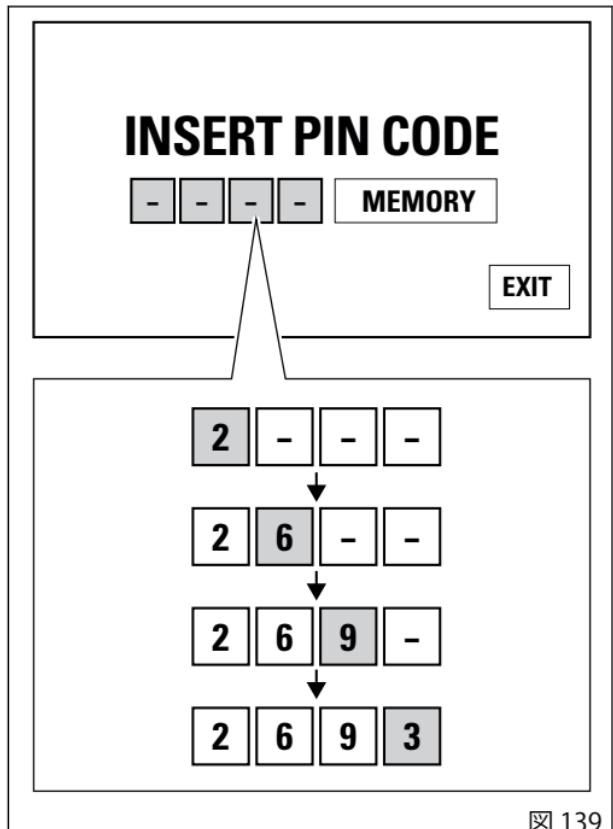


図 139

ボタン(4)を押して4桁すべての数字を決定した後、

- PIN CODEが正しくない場合、インストルメントパネルは"WRONG"を3秒間表示し、その後再び点線"---"を強調表示します。もう一度PIN CODEを入力してください。入力可能時間は2分間に設定しています。入力可能時間が過ぎるとスタンダードスクリーンに戻り、E-Lockエラーを起動します。設定メニューへアクセスできなくなります。
- PIN CODEの検証中に問題が発生した場合、インストルメントパネルに"ERROR"の文字が3秒間表示され、その後"WRONG"が表示される場合と同じになります。
- PIN CODEが正しい場合、インストルメントパネルは"CORRECT"を3秒間表示します。その後スタンダードスクリーンに移りますが、E-Lockエラーを起動してキーの読み取り/識別に問題があることをユーザーに通知します。

## **!** 重要

車両を起動するために上記のプロセスを踏まなければならぬ時は、早めに Ducati 正規サービスセンターにご連絡ください。

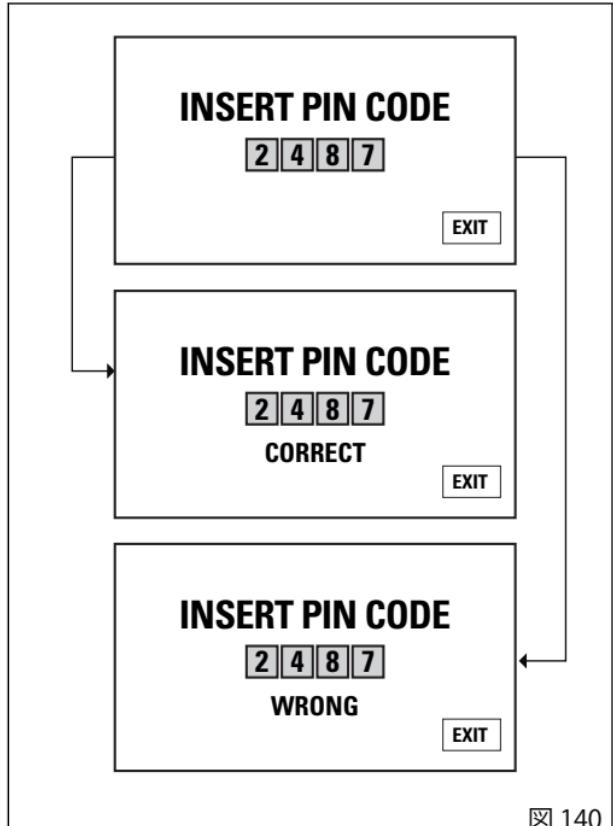


図 140

# 運転時に必要なコマンド

## コマンド類の配置



### 警告

この章では車両を運転する上で必要なすべてのコマンド機能と配置を詳しく説明しています。コマンドを使用する前によくお読みください。

- 1) インストルメントパネル
- 2) エンジニッシュョンスイッチ / ステアリングロック
- 3) 左側スイッチ
- 4) クラッチレバー
- 5) 右側スイッチ
- 6) スロットルグリップ
- 7) フロントブレーキレバー
- 8) ギアチェンジペダル
- 9) リアブレーキペダル

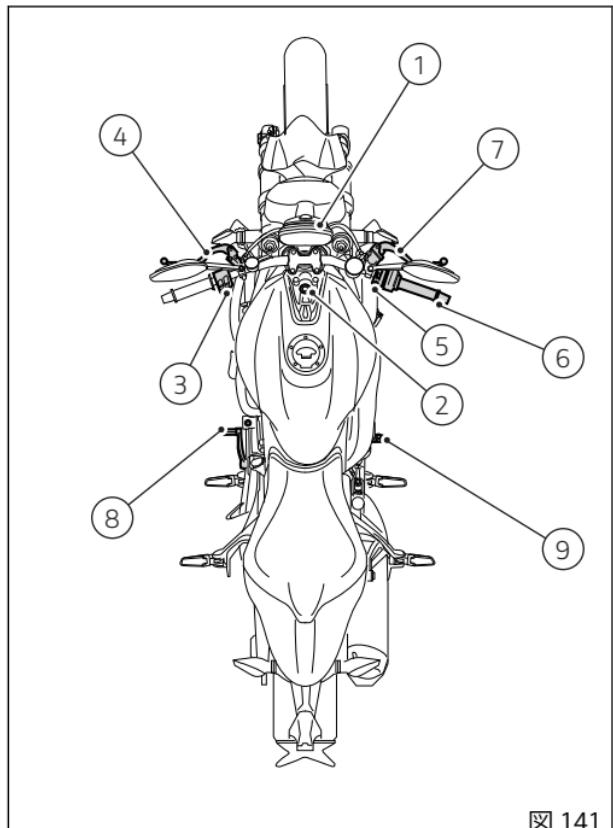


図 141

## イグニッションスイッチ / ステアリングロック

燃料タンクの前にあり、4つのポジションがあります。

- A) ON : エンジンおよびランプを ON にする
- B) OFF : エンジンおよびランプを OFF にする
- C) LOCK : ステアリングロック状態
- D) P : パーキングランプおよびステアリングロック



キーを上記の下二つの位置に合わせるには、キーを押してから回してください。(B)、(C)、(D)の位置でキーを引き抜くことができます。

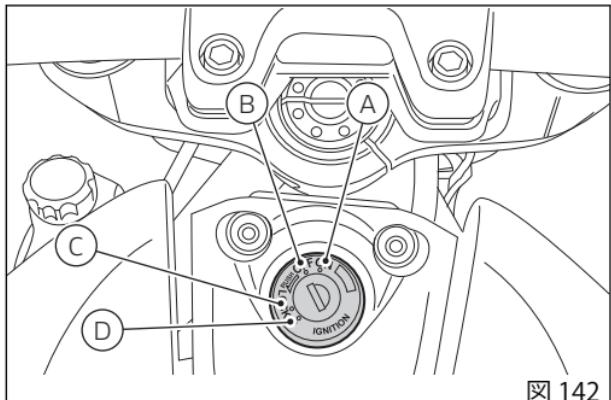


図 142

## ハンドルバー左側スイッチ

- 1) ボタン(フラッシュ)、"START-STOP LAP" 機能
- 2) ライトスイッチ、2 ポジション：
  - ハイビームライト(  )
  - ロービームライト(  )
- 3) メニュー操作ボタン
  - メニュー ▲(UP)
  - メニュー ▼(DOWN)
- 4) メニュー(ENTER)、ターンインジケーター(3 ポジション)ボタン(  )：
  - センター位置 = OFF
  - ポジション ⇧ = 左折
  - ポジション ⇩ = 右折

- ボタンを押す = メニュー決定(ENTER)
- 5) ホーンボタン(  )

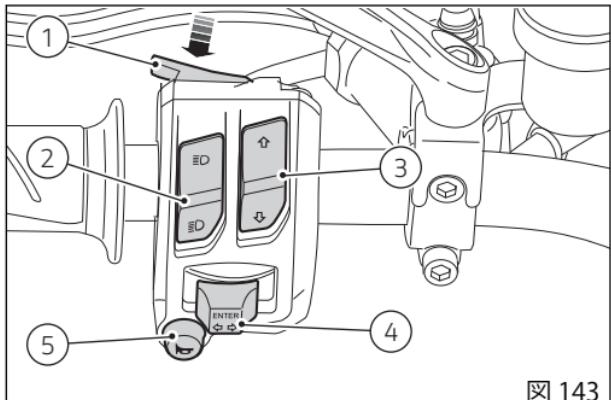


図 143

## クラッチレバー

レバー(1)でクラッチの接続を操作します。レバーにはアジャスター(2)がついており、レバーとグリップとの間隔を調整することができます。

レバーの間隔はアジャスター(2)の10クリックで調整できます。時計回りに回すとレバーはスロットルグリップから離れます。アジャスターを反時計回りに回すと近づきます。

レバー(1)を操作すると、エンジンの回転がトランスミッションおよび駆動輪に伝わらなくなります。クラッチの適切な操作は、スムーズなライディング、特に発進時に重要です。

### 警告

クラッチおよびブレーキレバーの調整は停車時に行ってください。

### 重要

クラッチレバーを正しく操作することで、トランスマッisionの損傷を避け、エンジンの寿命を延ばすことができます。

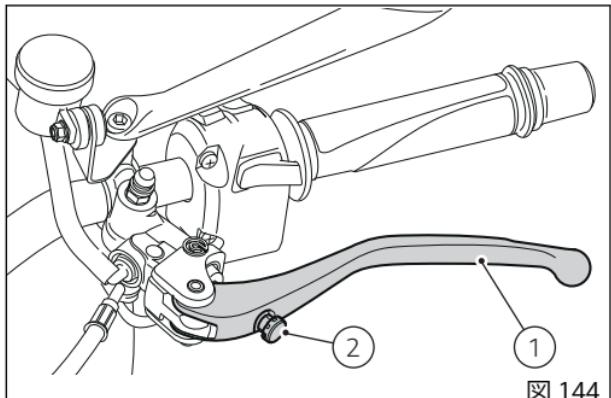


図 144

### 参考

サイドスタンドを下ろし、ギアがニュートラルの状態でエンジンを始動することができます。ギアが入った状態で始動する時は、クラッチレバーを引いた状態で行ってください（この時サイドスタンドは上がっていなければなりません）。

## ハンドルバー右側スイッチ

1) 赤スイッチ ON/OFF

2) DRL ボタン

3) ハザードボタン

スイッチ (1) には 3 つのポジションがあります。

上側位置：エンジンの停止

中央位置：エンジンを ON にする

下に押す：エンジンの始動

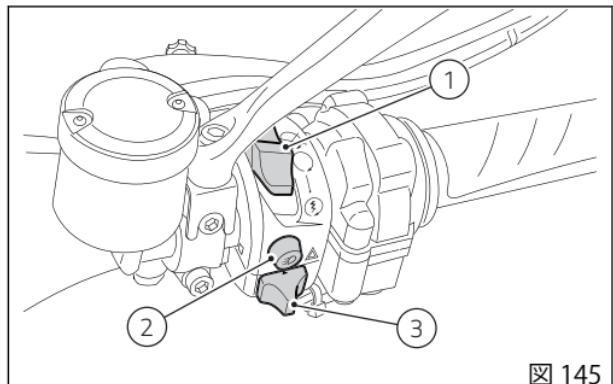


図 145

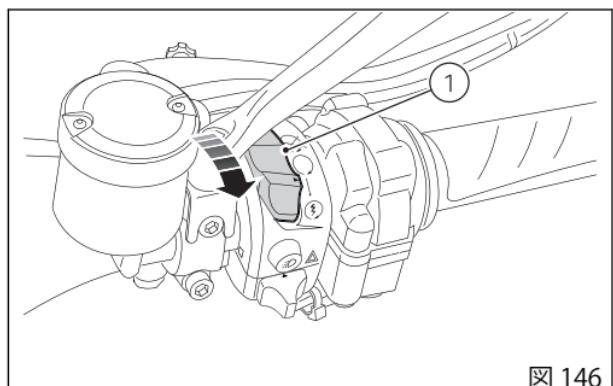


図 146

## スロットルグリップ

ハンドルバー右側のスロットルグリップ(1)は、スロットルボディのバルブ開閉を制御します。グリップを離すと、自動的に元の位置(アイドリング状態)に戻ります。

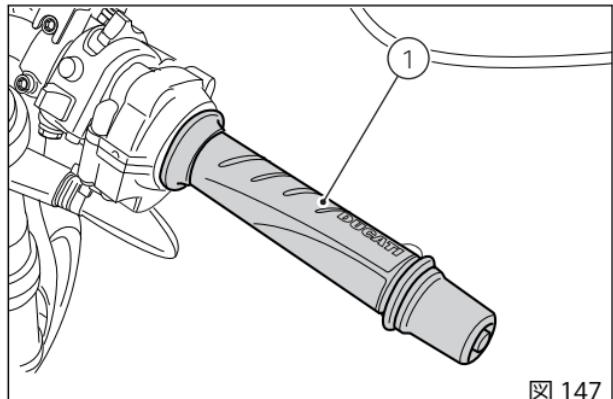


図 147

## フロントブレーキレバー

レバー(1)をスロットルグリップの方向へ引くと、フロントブレーキがかかります。このレバーは油圧で作動するため、軽く握るだけで作動します。

コントロールレバーにはアジャスター(2)が付いており、レバーとグリップとの間隔を調整することができます。レバーの間隔はアジャスター(2)の10クリックで調整できます。時計回りに回すとレバーはスロットルグリップから離れます。アジャスターを反時計回りに回すと近づきます。



### 警告

これらのコマンドを使用する前に "車両の起動および走行" に記載されている内容をお読みください。



### 警告

フロントブレーキレバーの調整は停車時に行ってください。

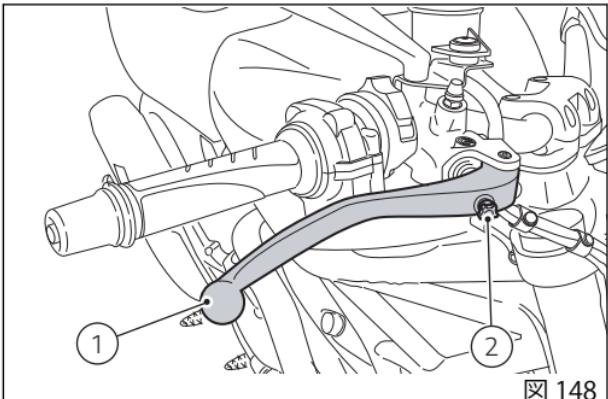


図 148

## リアブレーキペダル

リアブレーキをかけるには、ペダル(1)を足で下に押してください。

制御システムは油圧式です。

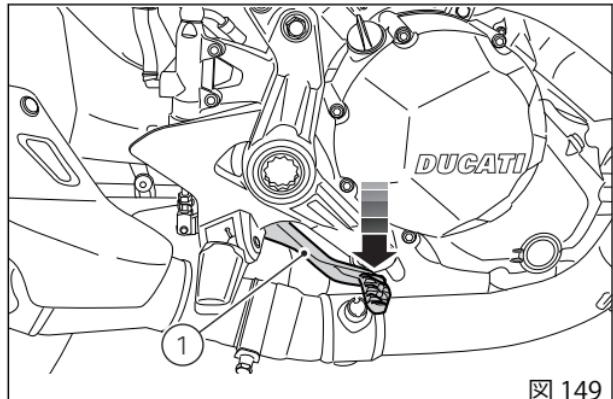


図 149

## ギアチェンジペダル

ギアチェンジペダルには2つの動作があり、中央のニュートラルのポジションNに自動的に戻ります。

- 下へ=シフトダウンおよび1速へのチェンジは、ペダルを下に押します。この時、インストルメントパネルのランプNが消えます。
- 上へ=ペダルを上へ上げることで、2速から順次3、4、5、6速へとチェンジします。

一回の操作が一速分のチェンジに相当します。

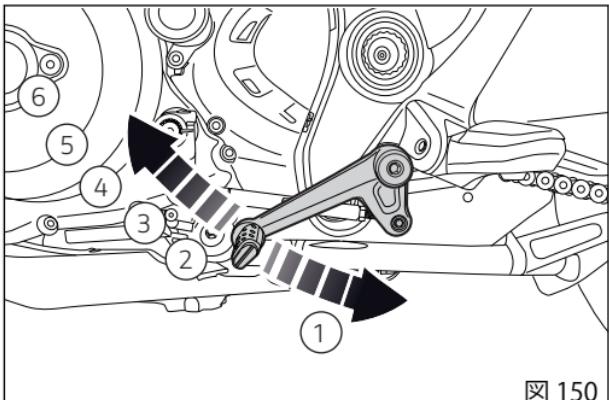


図 150

## ギアチェンジペダルとリアブレーキペダルの調整

ギアチェンジペダルとリアブレーキペダルのポジションは、ライダーのライディングスタイルとフットペグの位置に合わせて調整することができます。

### ギアチェンジペダル (Monster 1200)

ギアチェンジペダルの位置を調整するには以下のよう  
に操作します。ロッド(1)を固定し、ロックナット(2)  
および(3)を緩めます。



#### 参考

ナット(2)は、逆ネジになっています。

ギアチェンジペダルを好みの位置に定めながら、スパ  
ナでロッド(1)の六角部分を回します。ロッドに両口  
ックナットを締め付けます。

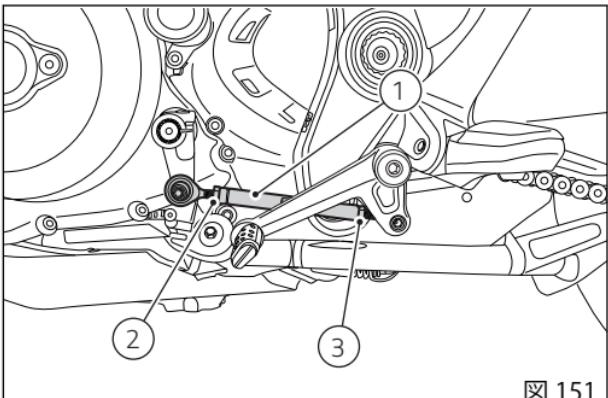


図 151

## ギアチェンジペダル (Monster 1200 S)

スクリュー (A) を操作してロッド (1) の位置を調整します。

ギアチェンジペダルを好みの位置に調整します。

スクリュー (A) を締め付けます。

調整が終了したら、距離 (B) の値が 140 mm (5.51 in)  
+0-3 mm (0-0.12 in) であることを確認してください。



### 警告

緩み値が規定の範囲内にない場合は、上記の調整作業を最初から繰り返してください。

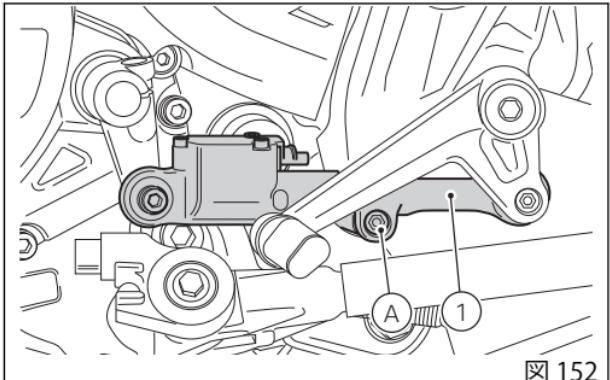


図 152

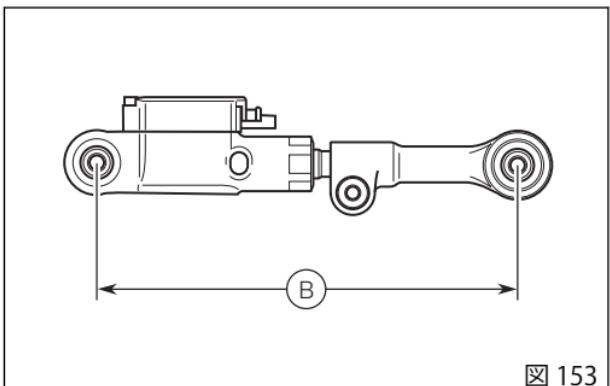


図 153

## リアブレーキペダル

リアブレーキペダルの位置を調整するには、ロックナット(4)を緩め、ペダルが好みの位置になるまで、調整スクリュー(5)を回します。ロックナット(4)を締め付けます。

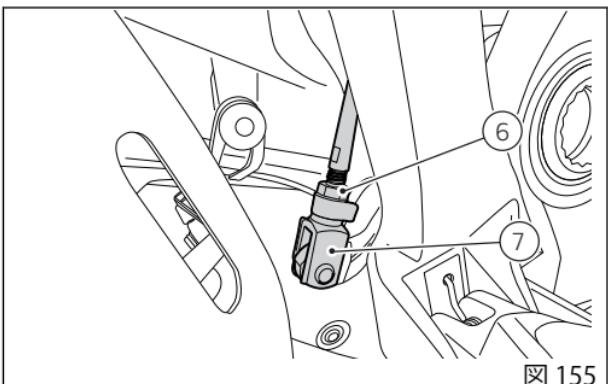
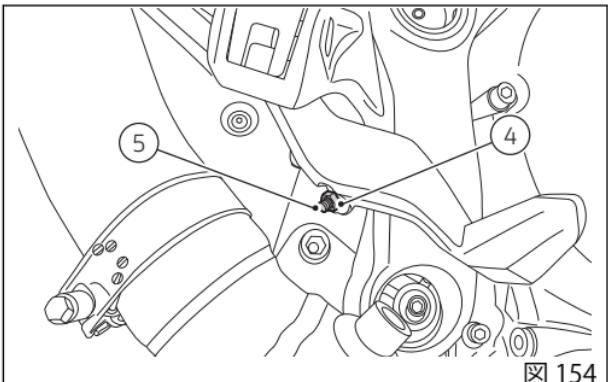
ペダルを手で押しながら、ブレーキがかかり始めるまでに約1.5~2 mm (0.06~0.08 in) の遊びがあるかを確認します。

上記のような遊びが確認できない場合は、以下の記載に従いマスターシリンダーのロッドの長さを調整します。

マスターシリンダーのロッドのロックナット(6)を緩めます。

フォーク(7)のロッドをねじ込んで遊びを増加させるか、緩めて遊びを減少させます。

ロックナット(6)を締め付け、再度遊びを点検します。



# 主要構成部品 / 装备

## 車両上の配置

- 1) フィラープラグ
- 2) シートロック
- 3) ヘルメットホルダーケーブル用ピン
- 4) サイドスタンド
- 5) リアビューミラー
- 6) フロントフォークアジャスター
- 7) リアショックアブソーバーアジャスター
- 8) 触媒コンバーター
- 9) エキゾーストサイレンサー

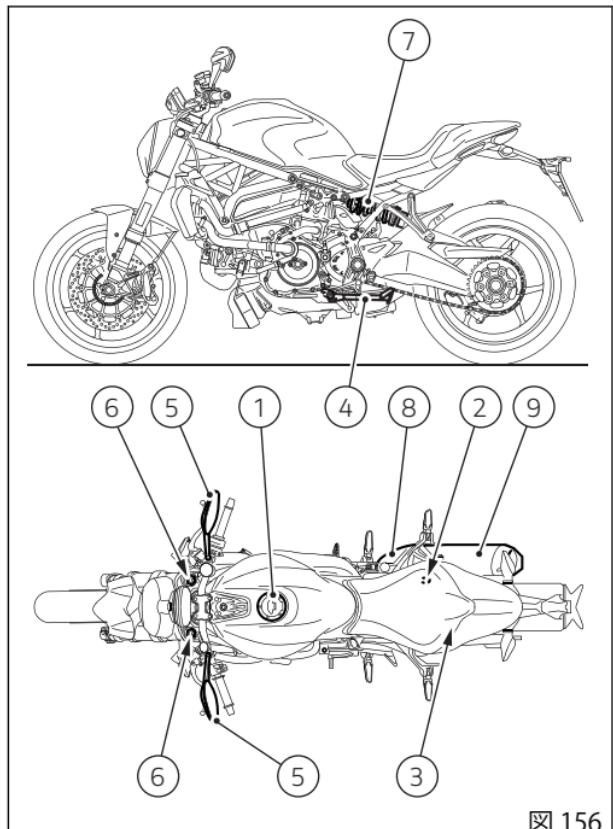


図 156

## 燃料フィラープラグ

### 開け方

保護カバー(1)を持ち上げ、キーをロックに挿入します。キーを時計回りに1/4回転させ、ロックを解除します。

### 閉じ方

キーを挿入してキャップを閉じ、所定の位置でキャップを押します。キーを反時計回りに元の位置まで回し、抜き取ります。ロック保護カバー(1)を閉じます。



キーが挿入された状態でのみキャップを閉めることができます。



燃料補給後は、必ずキャップが確実に閉じていることを確認してください。

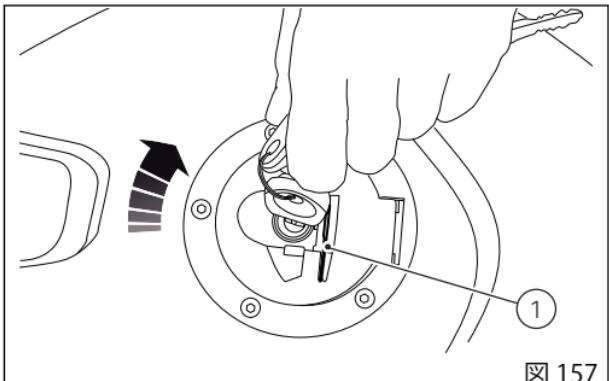


図 157

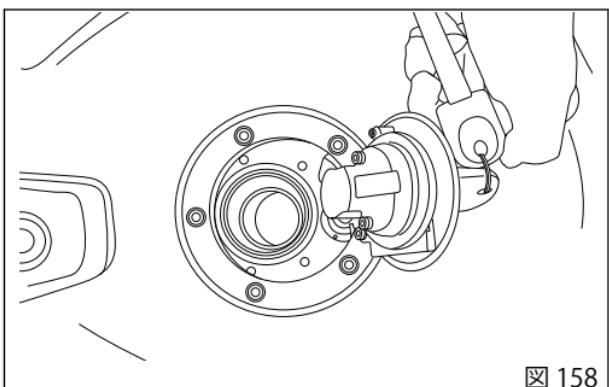


図 158

## シートロック

### 開け方

ロック(1)にキーを差し込み、時計回りに回します。同時にラッチ付近を下に押し、ピンを外しやすくします。シート(2)を後ろに引っ張りながらフロントリテナーから抜き取ります。

### 閉じ方

すべての部品が正しく配置され、シート下ボックス(2)に固定されていることを確認します。シート底部の前部先端にあるタブ(A)をリアサブフレームに固定されているタンクマウントブラケット(B)に挿入します。シート後部を持ち上げ、中央部の固定部品の上部を押して挿入します。シート後部先端をロックのラッチがカチッとはまるまで押します。シートがしっかりとフレームに固定されていることを確認し、ロックからキーを取り外します。

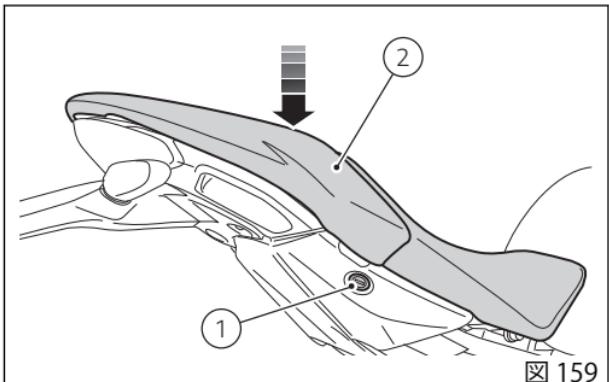


図 159

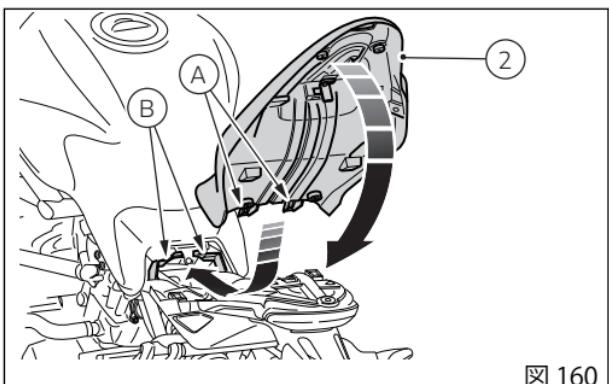


図 160

## シート高の調整

本モーターサイクルはハイポジションシートを標準装備します。シートを下げることで高さの調整が可能です。

シートを下げるには、シート(1)を対応するシートカバーと一緒に取り外します。

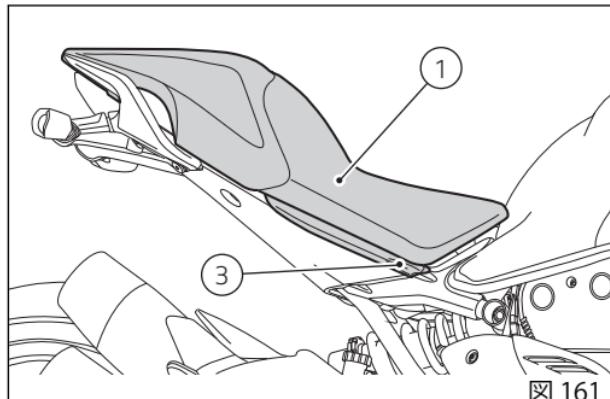


図 161

シート(1)下に取り付けられている4個のパッド(4)を取り外します。

ゴムと一緒に留め金(5)を下部取り付け位置に配置します。

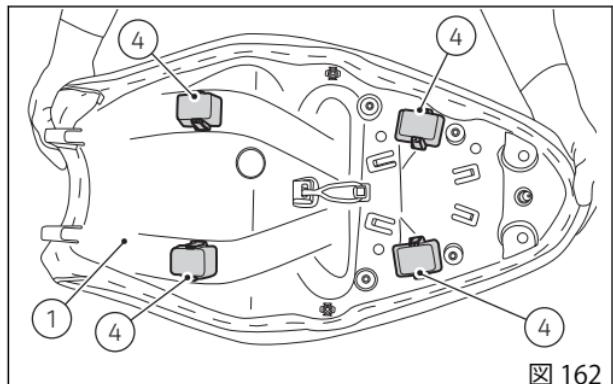


図 162

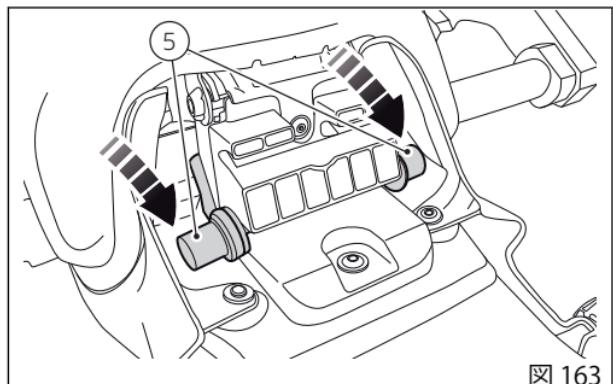


図 163

シートを対応するシートカバーと一緒に車両に配置します。この時点でシートの位置が下がりました。

シートを上げるには、シート(1)を対応するシートカバーと一緒に取り外します。

シート(1)の下に4個のパッド(4)をそれぞれに対応する取り付け位置に配置します。

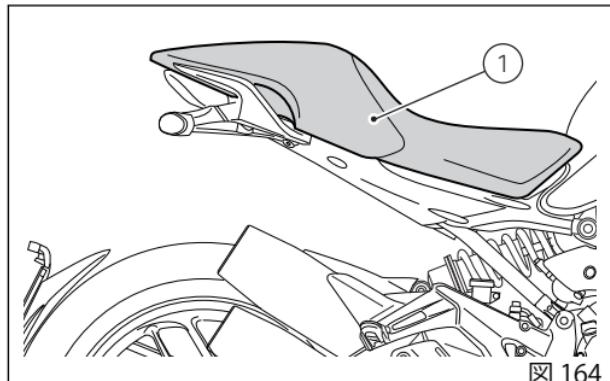


図 164

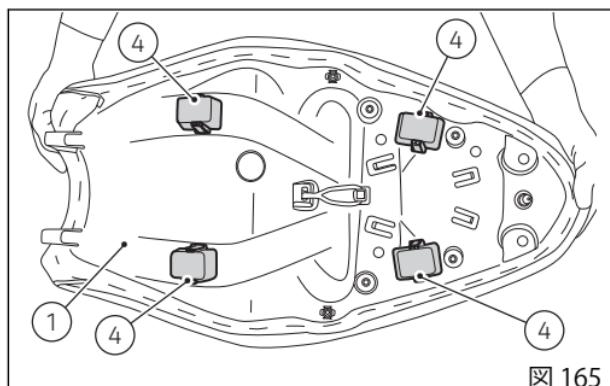


図 165

ゴムと一緒に留め金(5)を上部取り付け位置に配置します。

シートを対応するシートカバーと一緒に車両に取り付けます。

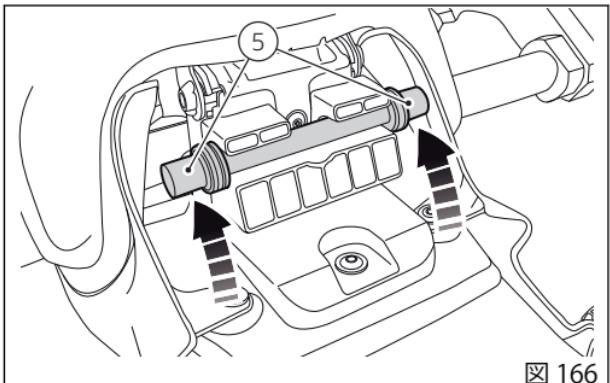


図 166

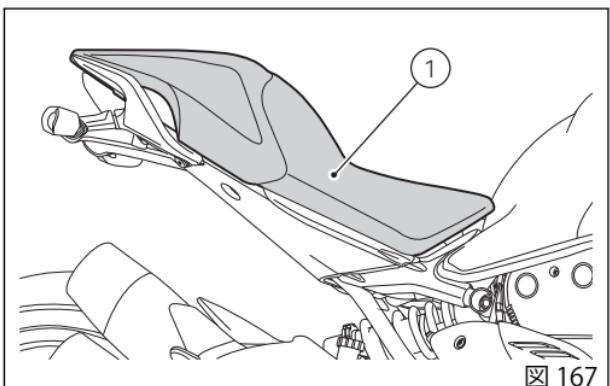


図 167

## ヘルメットキャリーケーブル

ヘルメットホルダーケーブル(1)はツールボックス内にあります。"付属アクセサリー"を参照してください  
ページ 268。ヘルメットにケーブルを通して、ピン(2)  
にケーブルの先端を挿入します。

ヘルメットを吊るした状態でシートを取り付け、固定します。



### 警告

本装置は駐車中のヘルメットの盗難予防に使用します。ヘルメットを取り付けた状態で走行しないでください。運転の妨げになるだけでなく、車両のコントロールを失うおそれがあります。

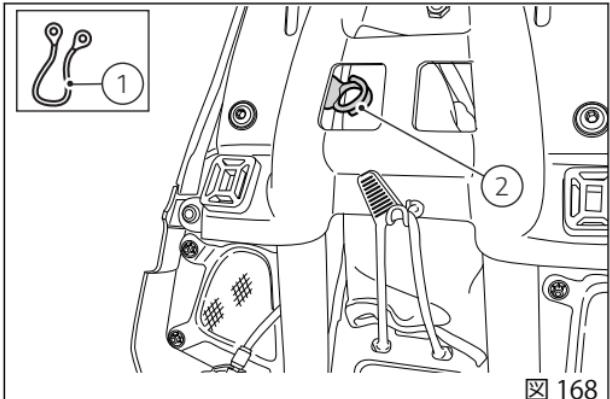


図 168

## サイドスタンド



### 警告

サイドスタンドを使用する前に、地面に十分な固さがあり平らであるかを確かめてください。

柔らかい地面、砂利、日光で柔らかくなつたアスファルト等に駐車すると、車両転倒の原因となります。傾斜面に停車する場合は、必ずリアホイールを斜面下側にして駐車してください。サイドスタンドを使用するには、ハンドルバーを両手で掴み、車体を支えながらスタンドのフック(1)を足でいっぱいに押します。次に、スタンドがしっかりと地面に着くまで、車体を徐々に傾けます。



### 警告

サイドスタンド使用時には、車両にまたがらないでください。

サイドスタンドを停止位置(水平位置)に戻すには、車両を右側に傾けながら足でスタンドのアーム(1)を持ち上げます。

サイドスタンドのジョイント部の円滑な動作を維持するには、汚れをきれいに取り除いた後、摩擦が起きる

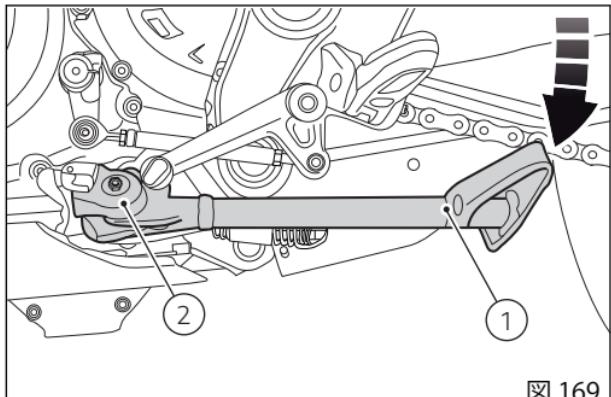


図 169

部分すべてにグリース SHELL Alvania R3 を塗布します。



### 参考

定期的にスタンド(内側と外側2つのスプリングの状態)と安全センサー(2)の作動を点検することをお勧めします。

 参考

サイドスタンドを下ろし、ギアがニュートラルの状態でエンジンを始動することができます。ギアが入った状態で始動する時は、クラッチレバーを引いた状態で行ってください(この時サイドスタンドは上がりていなければなりません)。

## **Bluetooth コントロールユニット**

車両にはBluetoothコントロールユニットを装備することができます。これによりBluetoothに対応する電子機器間での通信が可能になります。

Bluetoothコントロールユニットは、Ducati正規ディーラーまたはサービスセンターでお買い求めいただけます。

### **⚠ 警告**

Bluetoothヘッドセットの製造メーカーは、デバイスの寿命期間中に標準プロトコルに変更を加えることがあります(スマートフォン、ヘッドセット)。

### **⚠ 警告**

ドゥカティ社はこれらの変更に関与していませんので、こうした変更がBluetoothヘッドセット(音楽共有、マルチメディア再生など)の各種機能やいくつかのタイプのスマートフォン(Bluetooth対応プロファイルによる)に影響を与える可能性があります。このためドゥカティ社は、以下についてのマルチメディア再生を保証していません。

- "Kit Ducati キット(部品番号: 981029498)"に付属しないヘッドセット。
- 必要なBluetoothプロファイルに対応していないスマートフォン("Ducati キット 部品番号: 981029498"に付属するヘッドセットとペアリングできる場合でも)

### **⚠ 警告**

外的環境の特殊な状況に起因する干渉が起こった場合には、Ducati キット(部品番号: 981029498)ではライダーヘルメットからパッセンジャーへルメットへの再生音楽の共有機能を使用することができます(詳しくはDucati キット(部品番号: 981029498)に付属のヘッドセット取扱説明書を参照)。



## 参考

Ducati キット (部品番号 : 981029498) は、  
Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにてお  
求めいただけます。



## 警告

以下のキットに付属しない Bluetooth 対応のナ  
ビゲーターは、ドゥカティマルチメディアシステムに  
正しく接続できない場合があります。

- Ducati Zumo 350 衛星ナビゲーターキット
- Ducati Zumo 390 衛星ナビゲーターキット
- Ducati Zumo 395 衛星ナビゲーターキット



## 参考

上記Ducati キットは、Ducati 正規ディーラーま  
たはサービスセンターにてお求めいただけます。

スマートフォン本体が以下のプロファイルをサポート  
していることを確認します。

- MAP プロファイル : SMS および MMS 受信通知を  
正しく表示する。
- PBAP プロファイル : スマートフォンの電話帳デ  
ータを正しく表示する。

## USB コネクター

モーターサイクルには 5V USB コネクターが装備されています。USB コネクターは最大 1A の電流をサポートします。

USB コネクター(1)はパッセンジャーシート下に位置し、カバーで保護されています。カバーを持ち上げてコネクターを使用します。



### 重要

Key-ON 状態でエンジンを停止している時は、車両のバッテリーが上がるおそれがありますので、長時間装置を USB コネクターに接続したままにしないでください。

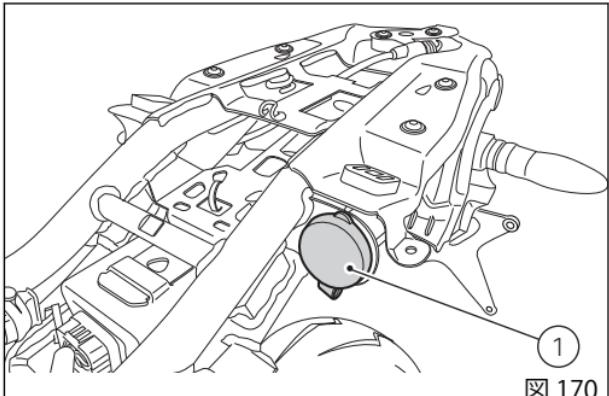


図 170



### 警告

USB コネクターを使用していないときは、USB コネクター保護キャップをいつも必ず閉じてください。



### 警告

雨天の場合は、決して USB ソケットを使用しないでください。

## フロントフォーク調整アジャスター

車両のフォークは、リバウンドダンピング(リターン)、コンプレッションダンピング、およびスプリングプリロードの調整が可能です。両レッグのスプリングプリロードは調整できますが、コンプレッションダンピングおよびリバウンドダンピングは右レッグのみ調整可能です。

調整はアジャスターを使用して行います。

- 1) リバウンドダンピングの変更
- 2) スプリングプリロードの変更
- 3) コンプレッションダンピングの変更。

車両をサイドスタンドで支え、安定した場所に駐車します。マイナスドライバーで右フォークレッグの先端にあるアジャスター(1)を回転させ、リバウンドダンピングを調整します。マイナスドライバーで右フォークボトムにあるアジャスター(3)を回転させ、コンプレッションダンピングを調整します。各レッグのスプリングプリロードを調整するには、六角形のアジャスター(2)を14 mm (0.55 in) の六角レンチで回転させます。

アジャスター(1)および(3)を回すとカチッと音がします。それぞれがダンピングの1クリックに相当します。

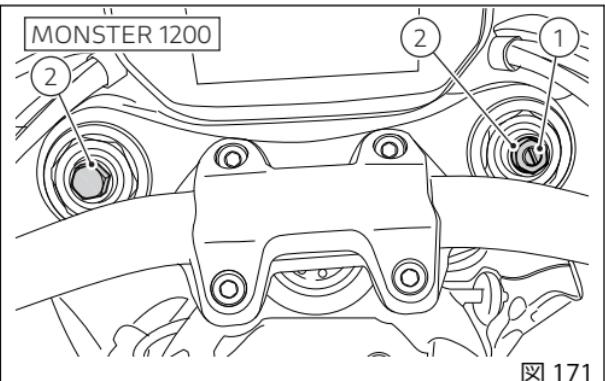


図 171

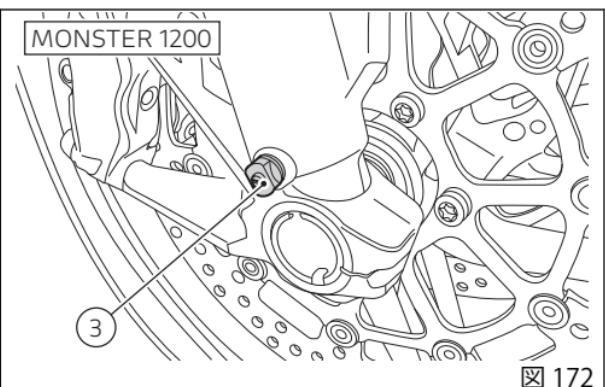


図 172

す。アジャスターをいっぱいに締め込むと "0" 位置になり、ダンピングが最強にセットされます。

この位置から反時計回りに回すとカチッと音がします。それぞれが "1"、"2"、…の位置に相当します。

標準設定は以下の通りです。

- コンプレッション：11 クリック (すべて閉じた位置から)
- リバウンド：7 クリック (すべて閉じた位置から)
- スプリングプリロード：5 回転(すべて緩めた状態から)。



**警告**  
スプリングプリロードアジャスターは両方のレッグで同じ位置に調整してください。

## フロントフォーク調整アジャスター

車両のフォークは、リバウンドダンピング(リターン)、コンプレッションダンピング、およびスプリングプリロードの調整が可能です。

両レッグのスプリングプリロードは調整できますが、コンプレッションダンピングは左レッグ、リバウンドダンピングは右レッグの調整が可能です。

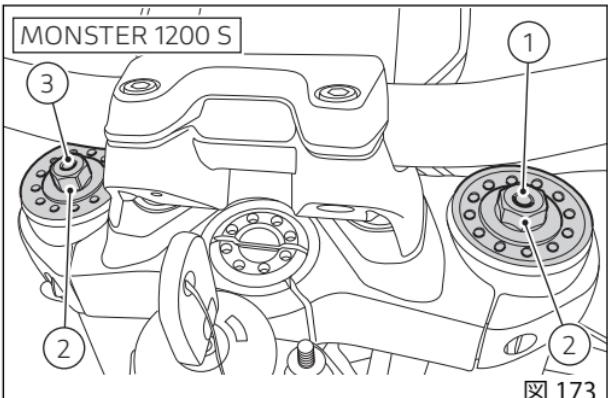
調整はアジャスターを使用して行います。

- 1) リバウンドダンピングの変更
- 2) スプリングプリロードの変更
- 3) コンプレッションダンピングの変更。

車両をサイドスタンドで支え、安定した場所に駐車します。所定のドライバーで右フォークレッグの先端にあるアジャスター(1)を回転させ、リバウンドダンピングを調整します。ドライバーで左フォークレッグの先端にあるアジャスター(3)を回転させ、コンプレッションダンピングを調整します。アジャスター(1)および(3)を回すと、カチッと音がします。それぞれがダンピングの1クリックに相当します。

アジャスターをいっぱいに締め込むと"0"位置になり、ダンピングが最強にセットされます。

この位置から反時計回りに回すとカチッと音がします。それぞれが"1"、"2"、…の位置に相当します。



標準設定は以下の通りです。

- コンプレッション：12 クリック (すべて閉じた位置から)
- リバウンド：10 クリック (すべて閉じた位置から)
- スプリングプリロード：10 回転 (すべて緩めた状態から)。

各レッグのスプリングプリロードを変更するには、アジャスター(2、図 173)を 17 mm (0.67 in) の六角レンチで反時計回りに完全に回し、すべて緩めた位置に合わせます。この位置からアジャスターを時計回りに

回し、プリロードを調整します。1回転がスプリング  
プリロード 1 mm (0.04 in) に相当します。



## 警告

アジャスターは両方のレッグで同じ位置に調整  
してください。

## リアショックアブソーバー調整アジャスター

リアショックアブソーバーは荷重に合わせてバランスを調整できるよう外付けアジャスターを装備しています。エンジンにショックアブソーバーの上部を固定している位置の左側にあるアジャスター(1)は、リバウンドダンピング(リターン)を調整します。

アジャスター(1)を時計回りに回すとダンピングが強くなり、反時計回りに回すと弱くなります。

ショックアブソーバー下部のリングナット(2)、(3)はスプリングプリロードを調整します。

スプリングプリロードを変更するには、下部固定リングナット(3)を緩めます。締めたり緩めたりすることで、上部リングナット(2)はプリロードを増大させたり減少させたりします。

希望のプリロードに調整したら、下部固定リングナット(3)を締め付けます。

すべて閉じた位置からの標準設定は以下の通りです(時計回り)。

- リバウンド：アジャスター(1)を1.5回転緩めます(すべて閉じた位置から)
- スプリングプリロード：15 mm (0.59 in) (すべて緩めた状態から)。

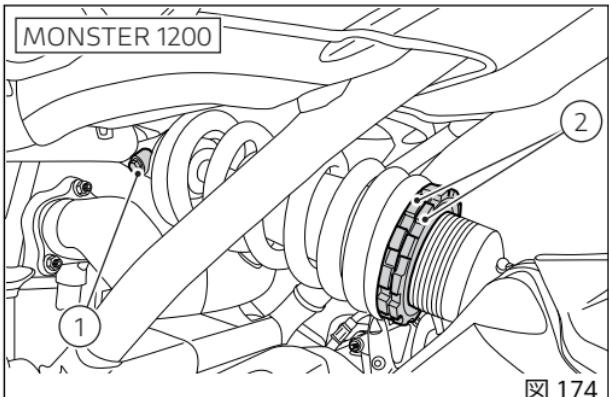


図 174

### 警告

!  
プリロードアジャスターを回すにはピンレンチを使用します。作動中にリングナットのすき間にレンチのソケット部分が急に落ちた場合に車両の他の部品に手を強くぶつけてケガをしないよう十分注意してください。

### 警告

!  
ショックアブソーバーには高圧のガスが充填されています。未経験者による分解作業は重大な損傷の原因となる恐れがあります。

## リアショックアブソーバー調整アジャスター

リアショックアブソーバーは荷重に合わせてバランスを調整できるよう外付けアジャスターを装備しています。リザーバータンクに設けられているアジャスター(1)は、コンプレッションダンピングを調整します。エンジンにショックアブソーバー上部を固定する位置に設けられているアジャスター(3)は、リバウンドダンピング(リターン)を調整します。  
つまみ(1)を時計回りに回すとダンピングが強くなり、反時計回りに回すと弱くなります。

つまみ(3)を反時計回りに回すとダンピングが強くなり、時計回りに回すと弱くなります。

ショックアブソーバー下部の2個のリングナット(2)はスプリングプリロードを調整します。

スプリングプリロードを変更するには、下部固定リングナットを緩めます。締めたり緩めたりすることで、上部リングナットはプリロードを増大させたり減少させたりします。

希望のプリロードに調整したら、下部固定リングナットを締め付けます。

すべて閉じた位置からの標準設定：

- リバウンド：アジャスター(3)を14クリック緩めます(すべて閉じた位置から)

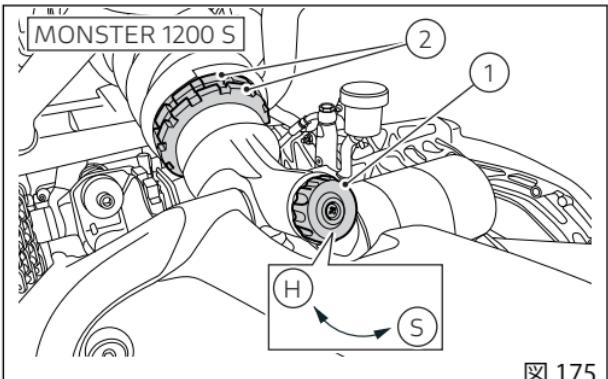


図 175

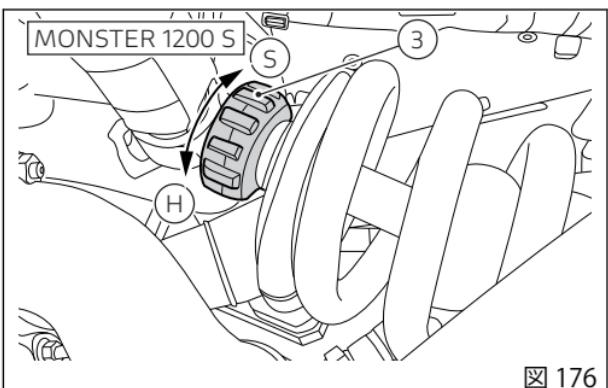


図 176

- コンプレッション：アジャスター(1)を12クリック緩めます(すべて閉じた位置から)
- スプリングプリロード：14 mm (0.55 in)。

## **警告**

ブリロードアジャスターを回すにはピンレンチを使用します。作動中にリングナットのすき間にレンチのソケット部分が急に落ちた場合に車両の他の部品に手を強くぶつけてケガをしないよう十分注意してください。

## **警告**

ショックアブソーバーには高圧のガスが充填されています。未経験者による分解作業は重大な損傷の原因となる恐れがあります。

## サスペンション設定の選択

表に記載されている値は、ライダーの衣類込みの体重を 80~90 kg、パッセンジャーの衣類込みの体重を 70~80 kg と想定した場合の値です。

### Monster 1200 - フロントフォーク

| パラメーター     | 範囲          | 標準      | スポーツ   | コンフォート  | ライダー+パッセンジャー |
|------------|-------------|---------|--------|---------|--------------|
| コンプレッション   | 0 ~ 16 クリック | 11 クリック | 3 クリック | 14 クリック | 11 クリック      |
| リバウンド      | 0 ~ 16 クリック | 7 クリック  | 5 クリック | 12 クリック | 5 クリック       |
| スプリングプリロード | 0 ~ 10 回転   | 5 回転    | 5 回転   | 5 回転    | 8 回転         |

### Monster 1200 - リアショックアブソーバー

| パラメーター     | 範囲                             | 標準              | スポーツ            | コンフォート          | ライダー+パッセンジャー    |
|------------|--------------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| コンプレッション   | —                              | —               | —               | —               | —               |
| リバウンド      | 0 ~ 3 回転                       | 1.5 回転          | 1 回転            | 3 回転            | 1.5 回転          |
| スプリングプリロード | 10 ~ 20 mm<br>(0.39 ~ 0.79 in) | 15 mm (0.59 in) | 15 mm (0.59 in) | 15 mm (0.59 in) | 19 mm (0.75 in) |

### Monster 1200 S - フロントフォーク

| パラメーター     | 範囲          | 標準      | スポーツ   | コンフォート  | ライダー + パッセンジャー |
|------------|-------------|---------|--------|---------|----------------|
| コンプレッション   | 0 ~ 25 クリック | 12 クリック | 4 クリック | 22 クリック | 10 クリック        |
| リバウンド      | 0 ~ 25 クリック | 10 クリック | 4 クリック | 10 クリック | 6 クリック         |
| スプリングプリロード | 0 ~ 15 回転   | 10 回転   | 10 回転  | 4 回転    | 13 回転          |

### Monster 1200 S - リアショックアブソーバー

| パラメーター     | 範囲                         | 標準              | スポーツ            | コンフォート          | ライダー + パッセンジャー  |
|------------|----------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| コンプレッション   | 0 ~ 21 クリック                | 12 クリック         | 4 クリック          | 20 クリック         | 5 クリック          |
| リバウンド      | 0 ~ 39 クリック                | 14 クリック         | 11 クリック         | 16 クリック         | 14 クリック         |
| スプリングプリロード | 4 ~ 16 mm (0.16 ~ 0.63 in) | 14 mm (0.55 in) | 14 mm (0.55 in) | 14 mm (0.55 in) | 16 mm (0.63 in) |

# 運転の方法

## 慣らし運転の方法

### エンジン最高許容回転数

慣らし運転期間中および通常使用においてのエンジン最高許容回転数：

- 1) 1,000 km (621 mi) まで
- 2) 1,000 km (621 mi) ~ 2,500 km (1,553 mi)

### 1,000 km (621 mi) まで

最初の 1,000 km (621 mi) まではタコメーターに注意し、5,500~6,000 rpm を決して超えないようにしてください。

最初の数時間は、規定回転数の範囲内でエンジン負荷と回転数を色々変えて走行することをお勧めします。エンジン、ブレーキ、サスペンションのより効果的な慣らしには、カーブが多く起伏に富んだ場所を走行することが理想的です。

最初の 100 km (61 mi) は、ブレーキディスクにパッドをよく慣らすために、優しくブレーキをかけ、急なブレーキングや長いブレーキングは避けてください。

すべての機械部分を互いに馴染ませるため、またエンジンの主要部分の寿命に悪影響を及ぼさないために、急な加速や、特に上り坂での長時間にわたるエンジン高回転は避けてください。

定期的にチェーンを点検し、必要であれば潤滑してください。

1,000 km (621 mi) ~ 2,500 km (1,553 mi)

この間エンジンからよりパワーを引き出す事は可能ですが、7,000 rpmを決して超えないようにしてください。

## !**重要**

慣らし運転期間は、保証書に指定されている点検、整備を必ず受けてください。この条件が遵守されなかった結果としてのエンジンの損傷や寿命の短縮については、Ducati モーター・ホールディング社はいかなる責任も負うものではありません。

慣らし運転の方法を守ることでエンジンの寿命を延ばし、調整やオーバーホールの回数を抑えることができます。

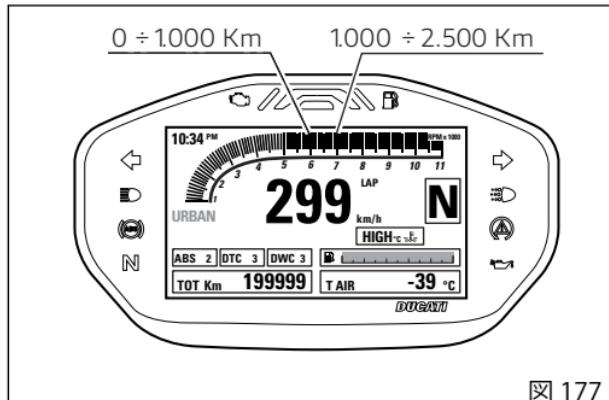


図 177

## 走行前の点検事項



### 警告

走行前にこれらの点検を怠ると、車両に損傷を与える、ライダーやパッセンジャーを危険に晒すおそれがあります。

走行前に以下の点検を実施してください。

#### - タンク内の燃料量

タンク内の燃料の残量を確認します。必要であれば給油してください ("燃料の補給" をご覧ください)。

#### - エンジンオイル量

点検窓からオイルパン内のレベルを点検します。必要であれば補充してください ("エンジンオイルレベルの点検" をご覧ください)。

#### - ブレーキおよびクラッチフルード量

各フルードタンクのフルードレベルを点検してください ("ブレーキ/クラッチフルードレベルの点検" をご覧ください)。

#### - クーラント量

リザーバータンク内のクーラントレベルを点検します。必要であれば補充してください ("クーラントレベルの点検および補充" をご覧ください)。

#### - タイヤコンディション

タイヤ空気圧と摩耗度を点検します ("チューブレスタイヤ" をご覧ください)。

#### - コマンド機能

ブレーキ、クラッチ、スロットルグリップ、ギアチェンジレバーまたはペダルを作動させて機能を確認します。

#### - ランプ類、インジケーター

ランプ、インジケーター、警告ホーンが正しく機能するかを確認します。電球が切れている場合には交換してください ("ヘッドライト電球の交換" をご覧ください)。

#### - ロック類

フィラープラグのロックを点検します ("燃料フィラープラグ" をご覧ください)。

#### - サイドスタンド

サイドスタンドがスムーズに作動し、適切な位置にあるかを確認します ("サイドスタンド" をご覧ください)。

## ABS ランプ

Key-ON後、走行速度が5 km/h(3.12 mph)を超えるとABSランプ(9、「インストルメントパネル」参照)は点灯したままになります。ランプが消灯すれば、ABSシステムが正常に作動していることを示します。



## 警告

異常が見つかった場合は車両の使用を中止し、Ducati正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。

## ABS 装置

フロントフォニックホイール(1)とリアフォニックホイール(2)が汚れていないことを確認します。



### 警告

汚れなどが付着して読み取り窓が詰まっていると、システムが正常に機能しないおそれがあります。泥道を走行する時にはABSシステムがうまく機能しない場合があります。システムをOFFにしておくことをお勧めします。



### 警告

ウィリー走行を長く続けると、ABSシステムが停止してしまうおそれがあります。

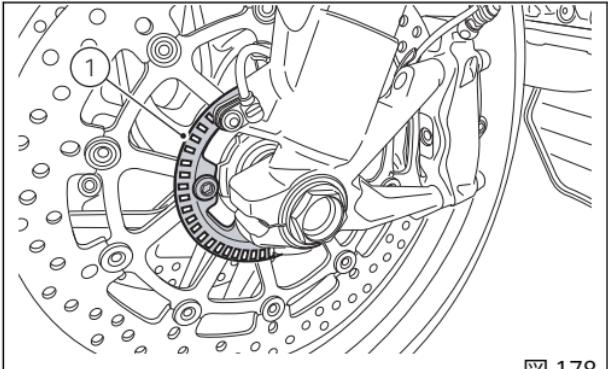


図 178

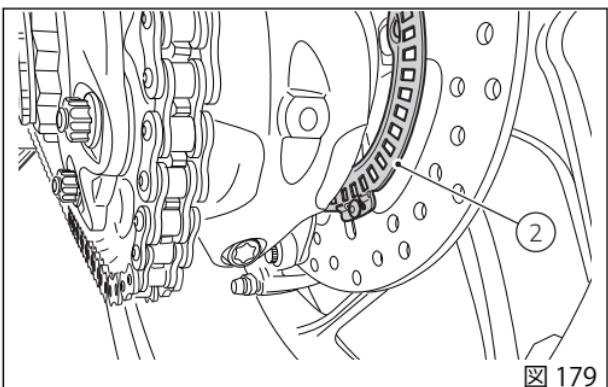


図 179

## エンジンの始動



### 警告

エンジンを始動する前に、運転に必要なコマンド類の取り扱いに十分慣れておいてください。



### 警告

屋内では絶対にエンジンをかけないでください。排出ガスは有毒です。短時間で意識を失ったり、さらには死に至る危険性があります。

イグニッションキーを(1、図180)の位置に回します。インストルメントパネルの緑のランプNと赤のランプ $\Delta$ が点灯していることを確認してください。



### 重要

オイル圧警告ランプはエンジンを始動してから数秒後に消えなければなりません。



### 警告

サイドスタンドが完全に上げられて(水平)いない場合は、安全センサーが作動してエンジンを始動することはできません。

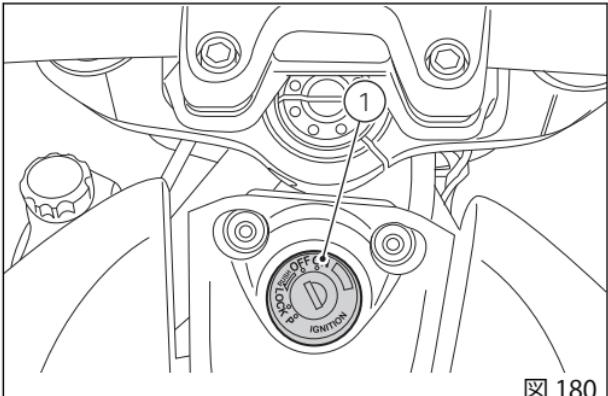


図 180



### 参考

サイドスタンドを下ろし、ギアがニュートラルの状態でエンジンを始動させることができます。または、ギアが入った状態で始動する時は、クラッチレバーを引いたままの状態で始動させてください(この時サイドスタンドは上がっていないければなりません)。

スイッチ(2、図181)を○位置(RUN)に動かします。  
スロットルコントロールを操作せず、車両が自然に起動するまで待ちます。

 **参考**

バッテリーが上がっている場合、システムは自動的にスターターモーターの起動を停止します。

 **重要**

エンジン冷間時は回転数を上げすぎないでください。潤滑が必要なすべての部分にオイルを行き渡らせるために、エンジンが温まるまで待ってください。

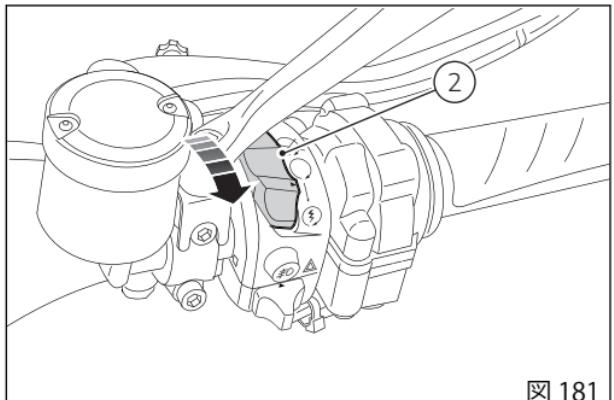


図 181

## 車両の発進

- 1) クラッチレバーを引いてクラッチを切れます。
- 2) ギアチェンジペダルをつま先でしっかりと押し下げてギアを1速に入れます。
- 3) スロットルグリップを回してエンジンの回転数を上げ、同時にクラッチレバーを徐々に放していくと、車両は発進し始めます。
- 4) クラッチレバーを完全に放し、エンジンの回転数を上げます。
- 5) シフトアップするには、スロットルを戻してエンジン回転を落とします。クラッチを切り、ギアチェンジペダルを上げ、クラッチをつなぎます。

シフトダウンは次のように行います。スロットルグリップを放し、クラッチレバーを引いてから、ギアを同調させやすくするためにエンジンを軽くふかしてシフトダウンし、クラッチレバーを放します。

これらの操作は適切に素早く行ってください。上り坂を走行する際には、車速が落ちてきたら直ちにシフトダウンし、車両への異常なストレスやエンジンのノッキングを避けてください。



### 警告

急な加速操作は、オーバーフローやトランスマッション機構のスナッチングを招くおそれがありますので避けてください。走行中にクラッチレバーを引いた状態が続くと、摩擦機構の過熱や異常な摩耗を引き起こすおそれがありますので避けてください。



### 警告

ウィリー走行を長く続けると、ABSシステムが停止してしまうおそれがあります。

## ブレーキ操作

時間に余裕を持って減速し、シフトダウンしてエンジンブレーキを使用し、両方のブレーキを操作してブレーキをかけます。車両が停止する前にクラッチを握り、エンジンが急に切れないようにします。

## ABS システム

困難な条件下でのブレーキ操作は、非常に慎重に行わなければなりません。ブレーキ操作は二輪車の運転で最も難しく危険な瞬間です。ブレーキ操作中に転んだり事故を起こす可能性が統計的に最も高くなっています。フロントホイールがロックされると、グリップによるバランス力を失うため車両のコントロールを失います。

アンチロックブレーキシステム(ABS)は、緊急時や悪路、悪天候下での走行時にブレーキ性能を最も効果的に発揮させるために開発されたものです。

ABSは電子制御油圧システムです。ホイールがロックしそうになると、ホイールのセンサーからコントローラユニットに信号が送られ、ブレーキ回路内の油圧を制御します。

一時的に油圧が下がることで、タイヤは理想的なグリップを維持したまま回転を続けることができます。コントローラユニットはブレーキ回路内の油圧を再び上げてブレーキを作動させます。ホイールロックのリスク

が完全になくなるまでこのサイクルを繰り返します。

ブレーキング時 ABS が作動状態に入ると、ブレーキレバーとブレーキペダルに軽く振動する抵抗を感じられます。

フロントとリアブレーキのコントロールシステムはそれぞれ独立していますので、ABSもフロントとリアブレーキに同時に作動するわけではありません。

このシステムを解除したい場合は、"ABS調整"機能(ページ 129 参照)を使用してインストルメントパネルから解除することができます。



## 警告

ABS システムが解除された状態では、車両のブレーキシステムは標準的なブレーキとして機能します。このため、2つのブレーキコマンドのうち片方だけを使用した場合、車両のブレーキ性能は低下します。急激に過度の力を掛けてブレーキコマンドを操作しないでください。ホイールがロックし、車両のコントロールを失うおそれがあります。雨天時や滑りやすい路面の走行ではブレーキ力が著しく低下します。このようなコンディションでは慎重に優しくブレーキ操作をしてください。急ブレーキを掛けると車両のコントロールを失う危険があります。長く急な下り坂を走行する際にはシフトダウンしてエンジンブレーキを使用し、ブレーキは短く断続的に使用するようしてください。ブレーキを長時間連続して使用すると、ブレーキパッドの過熱を招き、ブレーキ性能の著しい低下の原因となります。規定空気圧に満たないタイヤでの走行はブレーキ性能を低下させるだけでなく、正確な運転とカーブでの安定性を損ないます。

## 車両の停止

スロットルグリップを緩めると、車両は徐々にスピードを落とし始めます。

シフトダウンしながら1速まで落とし、最後にニュートラルに入れます。

スイッチ(3)を上に動かし、エンジンを停止します。キーを位置(2)に動かし、車両をKey-OFFします。



### 重要

エレクトリカル部品の破損を防ぐため、エンジンを切った状態でキーをON、(1)の位置のまま放置しないでください。

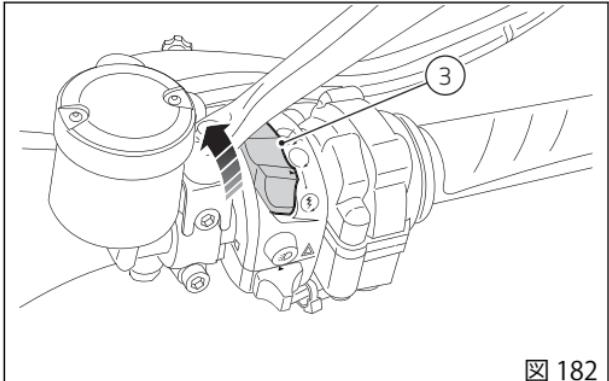


図 182

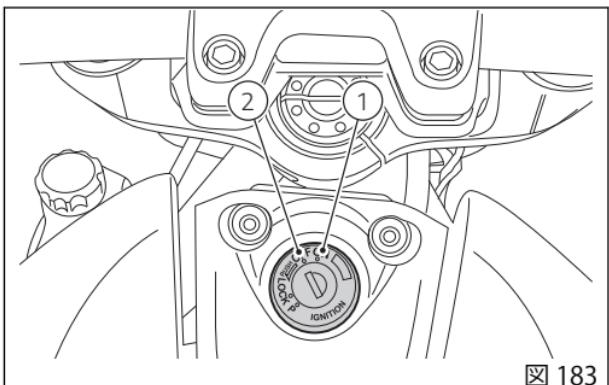


図 183

## 燃料の補給

給油の際、燃料の入れすぎに注意してください。燃料レベルはフィラープラグが収まる給油口より低くなければなりません。



### 警告

オクタン価が 95 以上の鉛含有量の低い燃料を使用してください。



### 警告

この車両にはエタノール含量が 10% 以下の燃料(E10)のみ使用することができます。

エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用することは禁じられています。こうした燃料を使用するとエンジンや車両の部品に重大な損傷をきたす恐れがあります。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用した場合は保証の対象外になります。

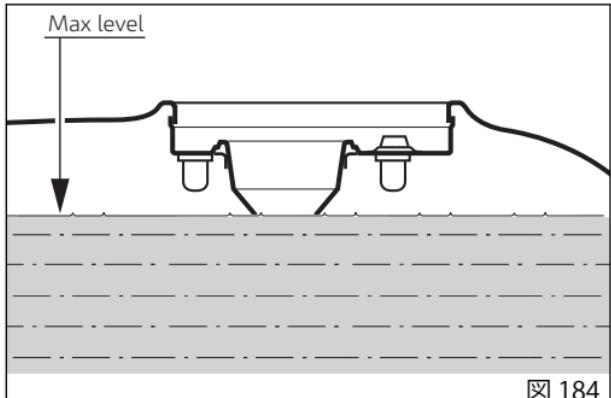


図 184

## 燃料の補給

給油の際、燃料の入れすぎに注意してください。燃料レベルはフィラープラグが収まる給油口より低くなければなりません。



### 警告

オクタン価が95以上の鉛含有量の低い燃料を使用してください。

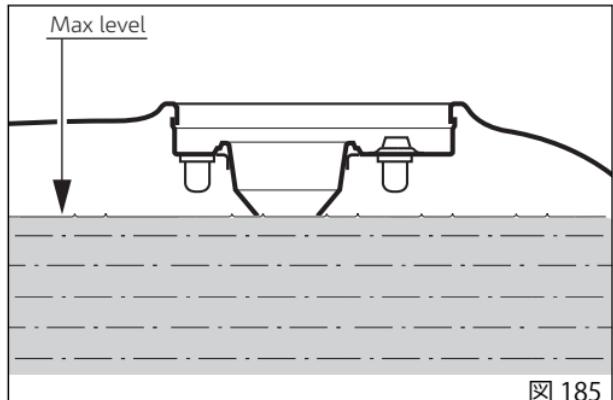


図 185

## パーキング

停止車両をサイドスタンド(ページ240)で支えて駐車します。

盗難防止のため、ハンドルを左に振りきり、キーを(3)の位置に回します。

車両をガレージやその他の建物内に駐車する際には、換気が充分され、車両の近くに熱源が無いことを確認してください。

必要に応じ、キーを(4)の位置に回してパーキングランプを点灯させたままにすることができます。

### 重要

長時間キーを(4)の位置のままにしないでください。バッテリーが上がってしまうおそれがあります。監視できない場所に停車するときは、キーを付けたままにしないでください。

### 警告

エンジン停止後でもエキゾーストユニットは高温の場合があります。身体が触れないよう十分注意し、車両を木材や木の葉などの可燃物のそばに駐車しないようにしてください。

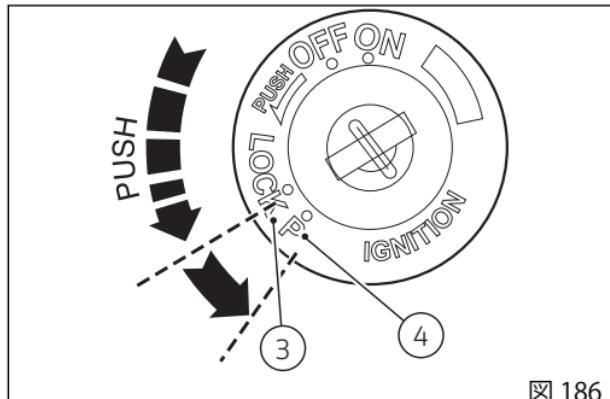


図186

### 警告

発進を妨げるタイプの盗難防止用ロック(ディスクロック、リアスプロケットロック等)は大変危険です。車両の機能だけでなく、ライダーとパッセンジャーの安全をも損なうおそれがあります。

## 付属アクセサリー

シート下にはツールキット(1)が装備されています。  
ツールキットに含まれる内容は以下の通りです。

- ヒューズ用ピンセット
- ヘルメット盗難防止ケーブル 2本
- プラス/マイナスドライバー
- ドライバーのハンドル
- パイプレンチ 14x16x145 mm (0.55x0.63x5.71 in)
- ロッド 6x120 mm (0.24x4.72 in)
- 六角レンチ 3 mm (0.12 in)
- 六角レンチ 4 mm (0.16 in)

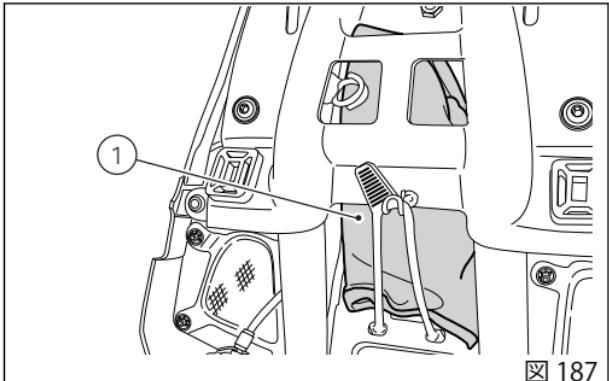


図 187

IMU ボックス(2)はシート下に設置されています。



### 警告

シート下のIMUボックスを小物入れボックス(手袋など)として絶対に使用しないでください。

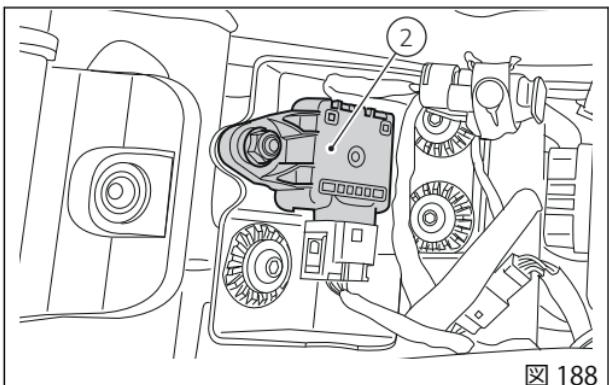


図 188

# 主な整備作業とメンテナンス

## クーラントレベルの点検および補充

ステアリングチューブ右側にあるリザーバータンク内のクーラントレベルを点検します。

ハンドルを左に振り切り、クーラントレベルがリザーバータンク脇にある MIN および MAX の目盛の間にありますことを確認します。

クーラントレベルが MIN より下の場合は補充します。フィラープラグ (1) を緩め、不凍液 ENI Agip

Permanent Spezial を薄めずに MAX のレベルになるまで補充します。

キャップ (1) を閉めます。

上記の混合液を使用することで最良のコンディションを保つ事ができます (-20° C/-4° F から凍結し始めます)。冷却回路の容量 : 2.5 リットル (0.66 ガロン)

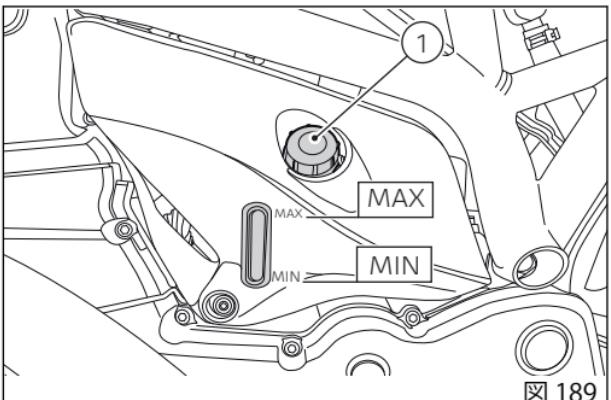


図 189



## 警告

この作業はエンジンが冷えた状態で実施します。エンジンが熱い状態で作業をおこなうと、クーラントや蒸気が吹き出して深刻なやけどを負うおそれがあります。

## エアフィルターの交換



## 重要

エアフィルターのメンテナンスは、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

## クラッチ/ブレーキフルードレベルの点検

ブレーキ/クラッチフルードのレベルは、絶対に各リザーバータンクの MIN 目盛以下になってはいけません。

フルードレベルが下がりすぎると、回路内にエアが混入し、システムの作動に悪影響を及ぼします。

また、保証書内の定期点検表で指定されているブレーキ/クラッチフルード補充および交換は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにお問い合わせください。

## クラッチシステム

クラッチレバーに過度の遊びがあり、ギアチェンジの際にエンジンがノックングしたり止まったりする場合、システム内にエアが混入していることを表します。

システムの点検とエア抜きを行う必要があるため、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。

### 警告

クラッチフルードレベルはクラッチディスクの磨耗材が消耗すると上昇する傾向があります。規定レベルを超えないようにしてください (最低レベルの 3 mm (0.12 in) 上)。

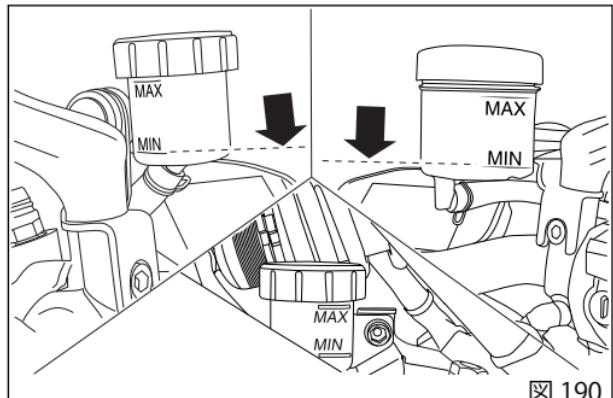


図 190

## ブレーキシステム

ブレーキパッドが磨耗していないのにブレーキレバー、ブレーキペダルに過度の遊びがある場合は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡いただき、システムの点検とエア抜きを行ってください。

## **⚠ 警告**

ブレーキ/クラッチフルードはプラスチック製部品や塗装部分に損傷を与えますので、これらの部分にフルードが触れないよう注意してください。  
これらの液体は腐食性ですの損傷やケガを引き起こすおそれがあります。異なる品質のオイルを混ぜないでください。ガスケットの状態を点検してください。

## ブレーキパッドの摩耗点検

キャリパー間の開口部からパッドの摩耗を点検します。

どちらか片方でもパッドの厚さが約1 mm (0.04 in)になっている場合は、両方のパッドを交換します。



### 警告

パッドが消耗しすぎると、ブレーキディスクと金属製サポートが接触することでブレーキ性能、ディスクの正常な状態、またライダーの安全を損なうおそれがあります。

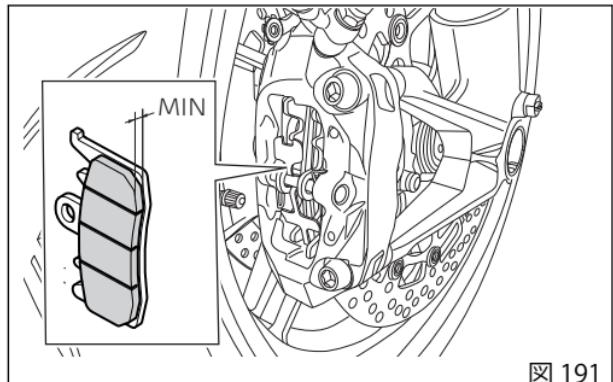


図 191



### 重要

ブレーキパッドの交換は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

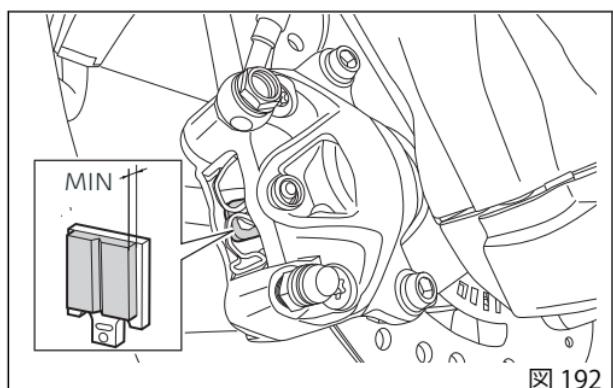


図 192

## バッテリーの充電



### 警告

バッテリーの取り外しは Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

バッテリーの作業を行うには、"バッテリーの取り外し" ページ 279 を参照してください。



### 警告

バッテリーは爆発性のガスを放出します。火花や炎、タバコを近づけないでください。バッテリー充電中、作業エリアが適切に換気されていることを確認してください。

充電は換気の良い場所で行ってください。  
端子に充電器のコンダクターを接続します。赤い端子がプラス (+)、黒い端子がマイナス (-) です。  
プラス極 (+) のスクリューとマイナス極 (-) のスクリューにグリースを塗布します。

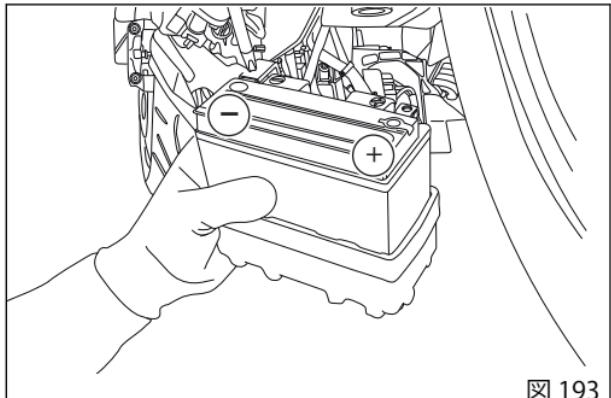


図 193

## **!** 重要

バッテリーを充電器に接続する前に充電器の電源を入れないでください。接続する際に火花が発生し、セル内の可燃性ガスに引火する恐れがあります。接続は常に赤のプラス(+)端子から行ってください。

バッテリーを0.9Aで5~10時間充電します。  
"バッテリーの取り付け"ページ286を参照し、バッテリーを車両に取り付けます。

## **!** 警告

バッテリーはお子様の手の届かないところに置いてください。

## 緊急時の始動

外部エンジンスターターを接続して車両を緊急始動する必要がある場合は、付属のレンチでスクリュー(2)を外し、バッテリーカバー(1)を取り外してください。

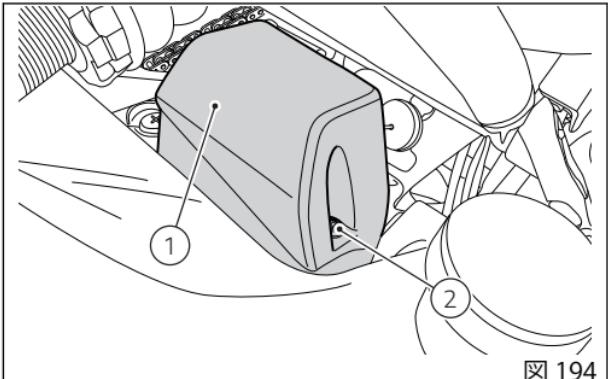


図 194

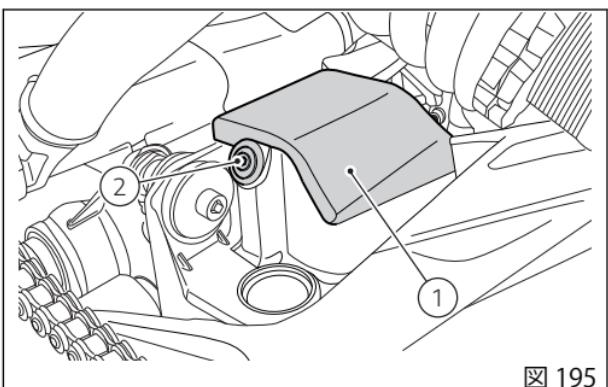


図 195

外部エンジンスターターのプラスをバッテリーのプラス極(3)に接続します。

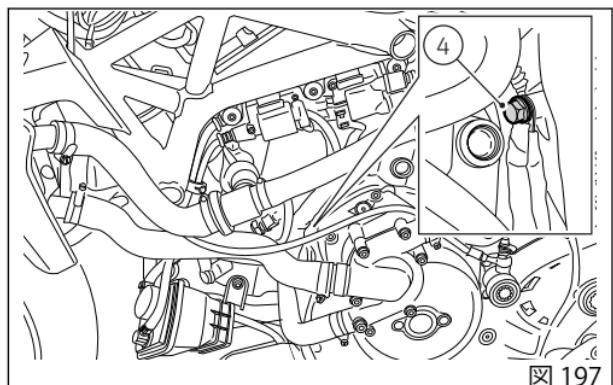
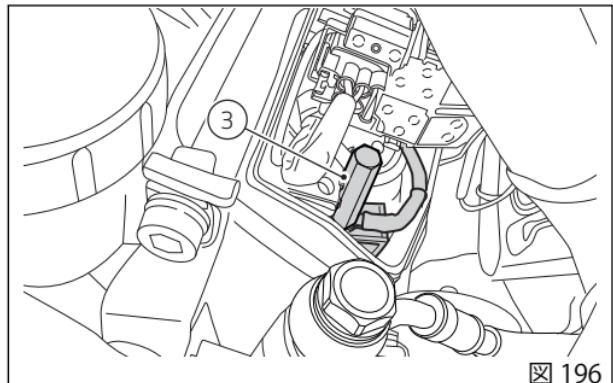
エンジン左側から両方のカバーとキャニスターを取り外したら、外部エンジンスターターのマイナスをエンジン連結部のスクリュー(4)に接続します。

カバーの取り外しは、"バッテリーの取り外し"ページ279を参照してください。



## 警告

外部エンジンスターターのプラスをバッテリーのプラス極(3)に接続する際、車両の他の金属部分に触れないよう注意してください。



## 冬季のバッテリー充電およびメンテナンス

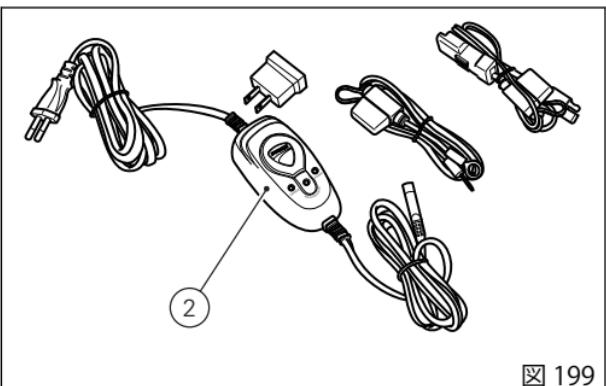
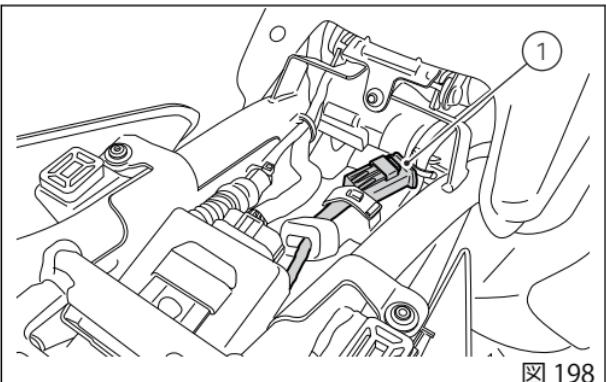
本車両のシート下にはコネクター(1)が装備されています。このコネクターには専用バッテリーチャージャー(2)(バッテリーメンテナーキット(部品番号:69924601A)(各国)またはバッテリーメンテナーキット(部品番号:69924601AX)(日本、中国、オーストラリアのみ))を接続することができます。専用バッテリーチャージャーは当社販売店にてお求めいただけます。



本モデルのエレクトリカルシステムはエンジン停止状態での消費電力を非常に低く抑えるよう設計されています。ただし、バッテリーは自然に放電しており、放電量は使用していない期間や環境条件によって変化します。



所定のメンテナーを介してバッテリー電力の最低値が維持されないと、修理が不可能なバッテリーの劣化を招くサルフェーション現象が生じます。





## 参考

Ducati 車両を使用しない期間 (およそ 30 日以上)、  
Ducati バッテリーメンテナー (バッテリーメンテナーキット、部品番号 : 69924601A - 多くの国、バッテリーメンテナーキット、部品番号 : 69924601AX - 日本、中国、オーストラリアのみ) の使用をお勧めします。  
電力をモニターする内部エレクトロニクスが搭載されており、充電電流は最大 1.5 A/h です。メンテナーを車両後部にある診断ソケットに接続します。



## 参考

Ducati が認可していないバッテリーメンテナーを使用すると、車両のエレクトリカルシステムに損傷を与えるおそれがあります。上記の理由でバッテリーが損傷した場合には、不適切なメンテナンスとみなしが保証の対象にはなりません。

## バッテリーの取り外し



### 重要

バッテリーの取り外しについては、必ず Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。

スクリュー(1)を緩めて外し、カバー(2)を取り外します。

スクリュー(3)および(4)を緩めて外し、カバー(5)を取り外します。この時、カバーに取り付けられているキャニスター(6)に注意してください。

ゴム(7)を所定のフックから外し、キャニスター(6)をカバー(5)から取り外します。この時、キャニスターは車両に接続したままにしてください。

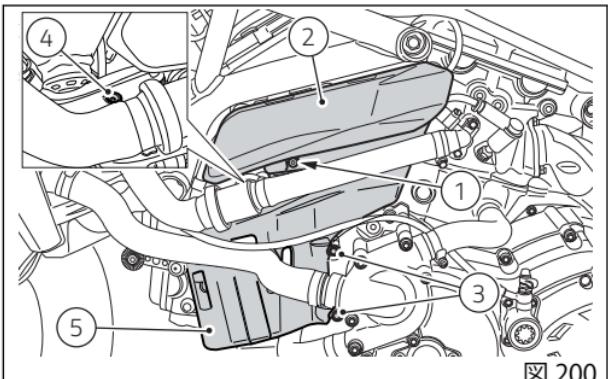


図 200

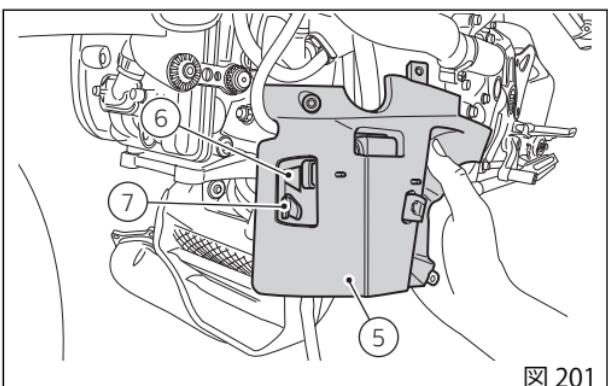


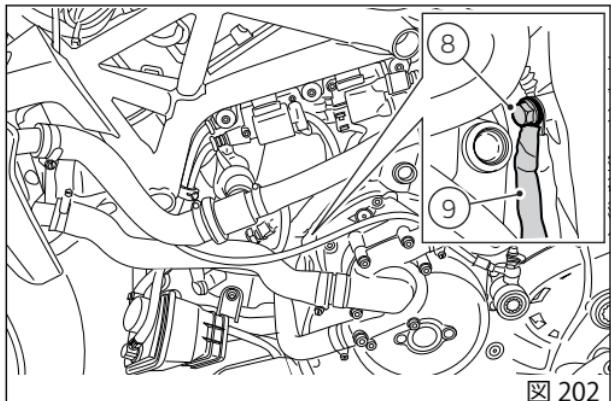
図 201

スクリュー(8)を外し、接地ケーブル(9)を切り離します。



## 警告

先ほど取り外した接地ケーブルの先端が車両に触れないよう絶縁します。



バッテリーカバー(11)のスクリュー(10)を緩めて外します。

バッテリーカバー(11)を取り外します。

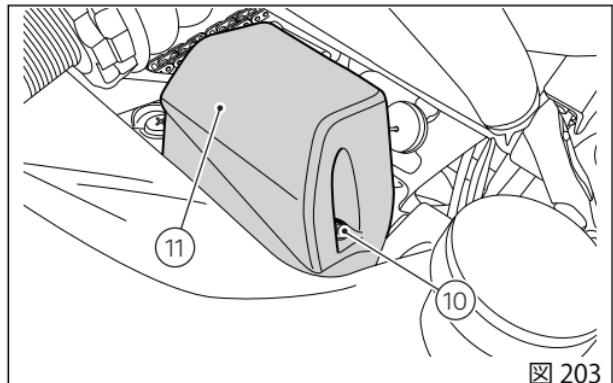


図 203

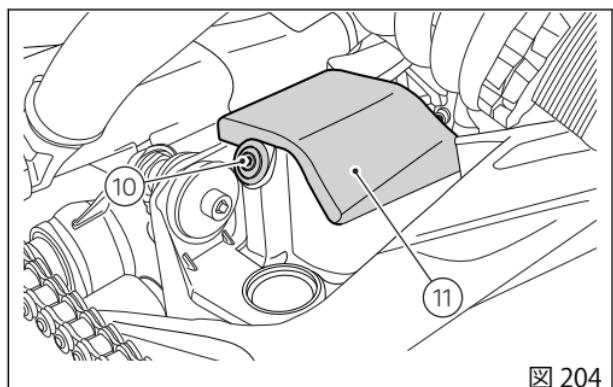


図 204

バッテリー陽極ケーブルの端子(13)およびABS 陽極ケーブルの端子(14)をバッテリープラス極に固定している専用スクリュー(12)を緩めて外します。  
バッテリーを交換するには、エレクトリック部品マウント(Q)の穴に作業用ピン(P)を取り付けます。

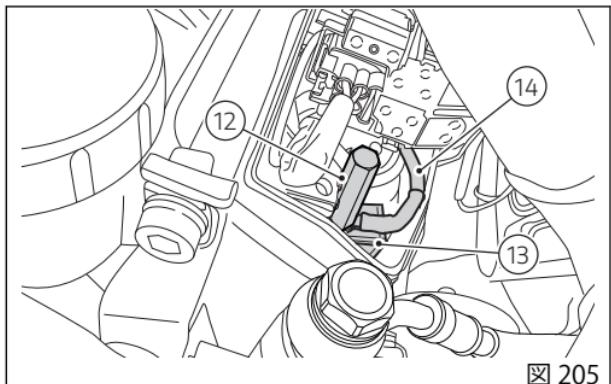


図 205

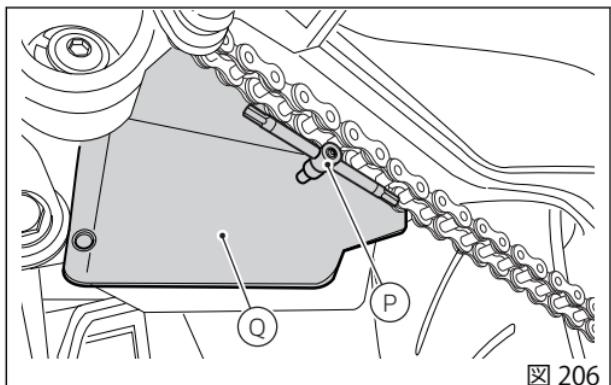


図 206

バッテリーマウントカバー(16)をエレクトリック部品マウントに固定しているスクリュー(15)を緩めて外します。

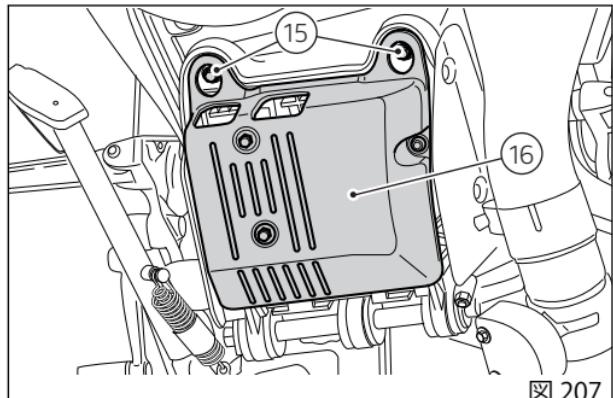


図 207

バッテリーマウントカバー(16)を下向きに回転させ、バッテリー(17)を手で支えながら作業用ピン(P)を抜き取ります。

下方向にゆっくりとバッテリー(17)を引き抜きます。このとき、配線に接続されているバッテリーマイナス極に注意してください。

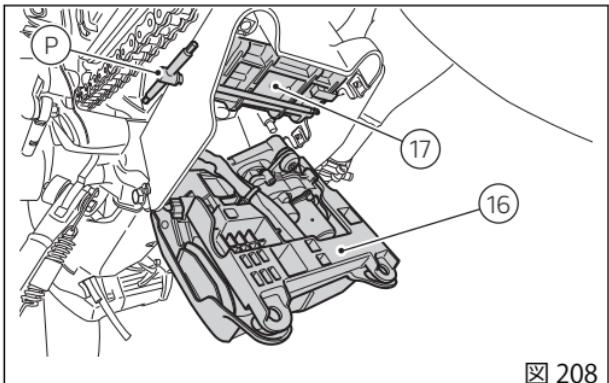


図 208

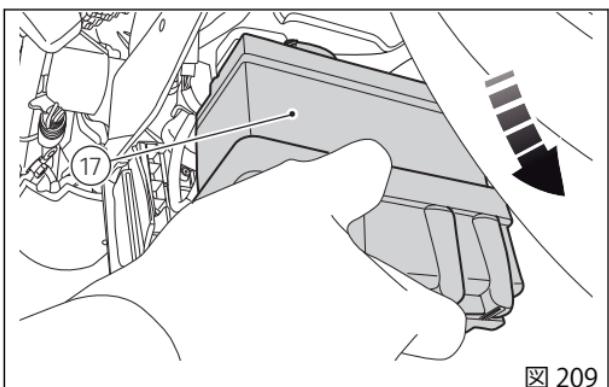


図 209

陰極ケーブル(19)をバッテリーマイナス極に固定しているスクリュー(18)を緩めて外し、バッテリーを取り外します。

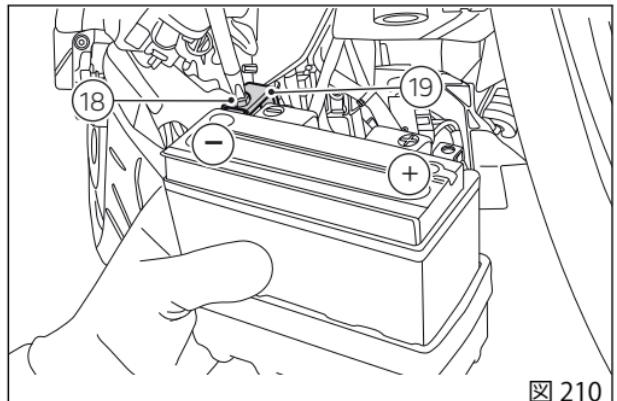


図 210

## バッテリーの取り付け



### 重要

バッテリーの取り外しについては、必ず Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。

バッテリー陰極ケーブル(19)をバッテリーのマイナス極に配置し、スクリュー(18)を  $2.5 \text{ Nm} \pm 10\%$  のトルクで締め付け、固定します。

バッテリー(17)をスイングアーム下部の取り付け位置に挿入します。

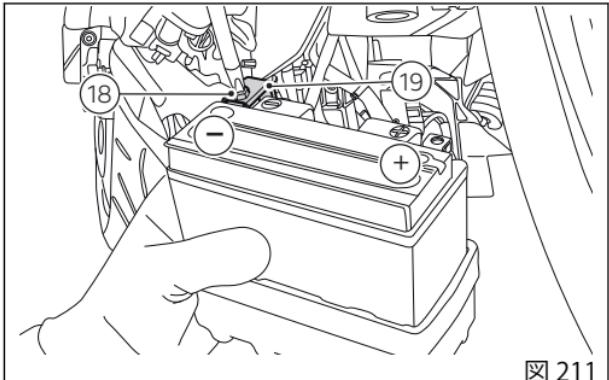


図 211

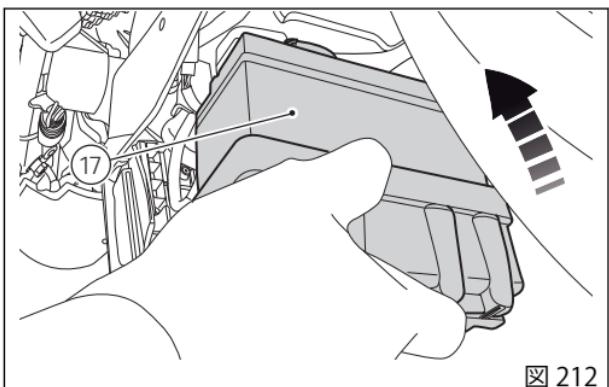


図 212

バッテリー(17)を配置したら、エレクトリック部品マウント(Q)の穴に作業用ピン(P)を取り付けてバッテリーを支えます。  
バッテリーマウントカバー(16)を持ち上げ、バッテリーにあてます。

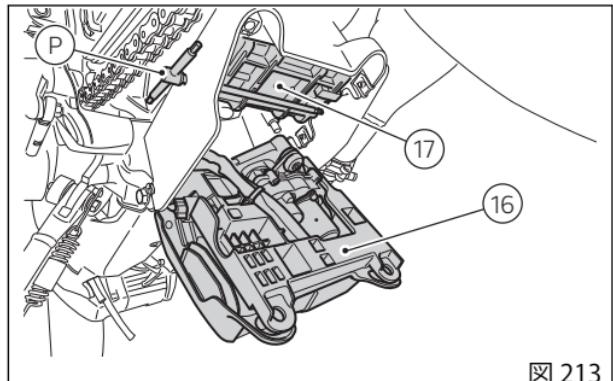


図 213

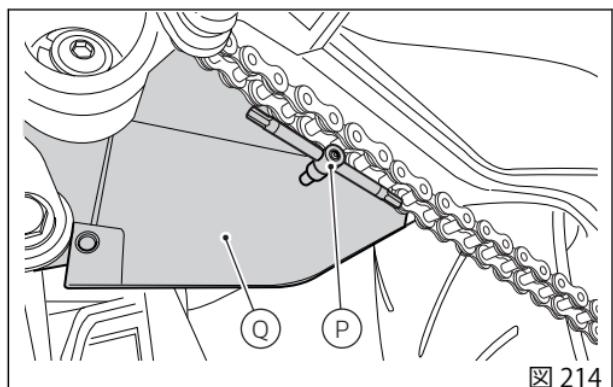


図 214

ピン(P)を抜き取ります。スクリュー(15)を5Nm±10%のトルクで締め付けて、バッテリーマウントカバー(16)を固定します。

陽極ケーブル(13)およびABS陽極ケーブル(14)をバッテリーのプラス極に配置し、スクリュー(12)を2.5Nm±10%のトルクで締め付けます。

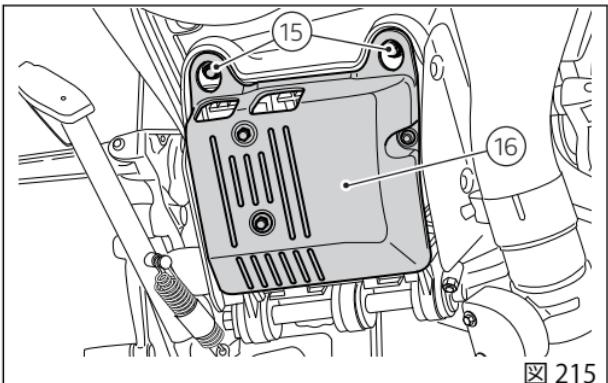


図 215

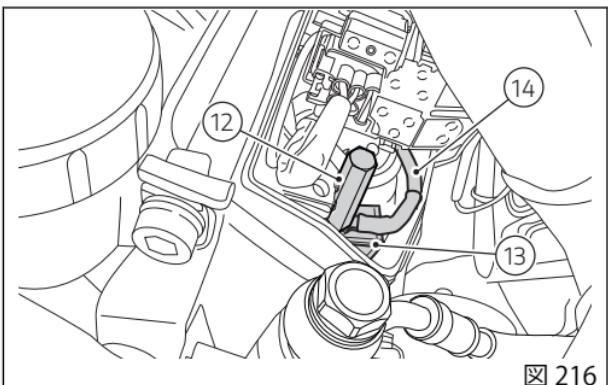


図 216

バッテリーカバー(11)をエレクトリック部品マウント  
上に配置します。

スクリュー(10)を差し込み、 $4\text{Nm} \pm 10\%$ のトルクで  
締め付けます。

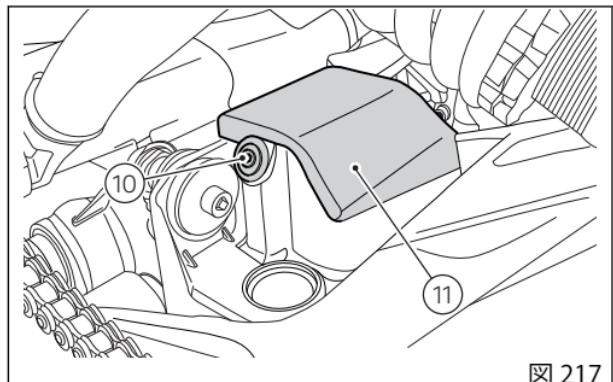


図 217

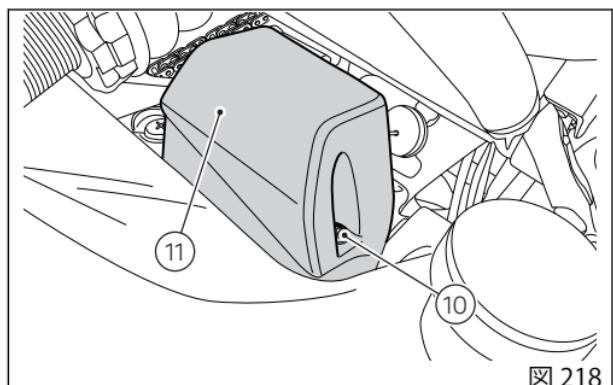


図 218

車両に接地ケーブル(9)を配置し、スクリュー(8)を  
10 Nm  $\pm$  10% のトルクで締め付けてケーブルを固定  
します。

キャニスター(6)をカバー(5)に取り付け、ゴム(7)で  
固定します。

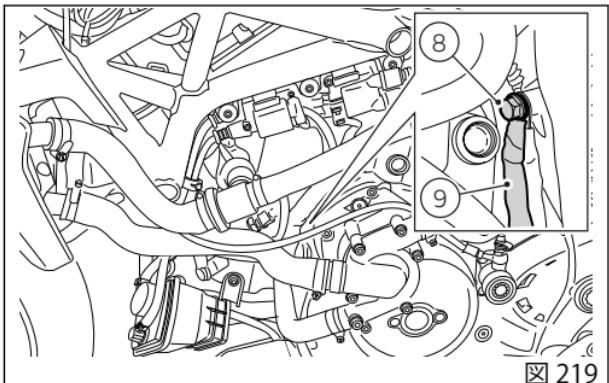


図 219

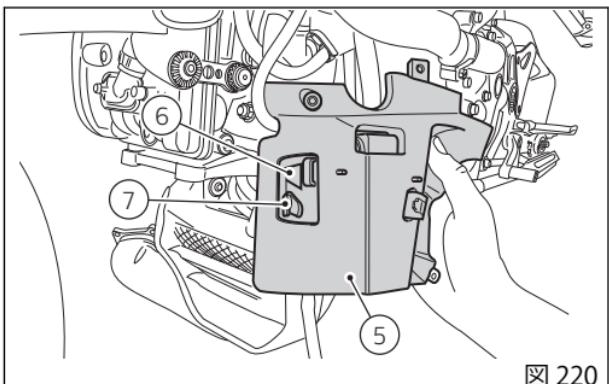


図 220

スクリュー(3)を $5\text{ Nm} \pm 10\%$ のトルクで、スクリュー(4)を $4\text{ Nm} \pm 10\%$ のトルクで締め付けて、カバー(5)を固定します。

カバー(2)を取り付け、スクリュー(1)を $3\text{ Nm} \pm 10\%$ のトルクで締め付けます。

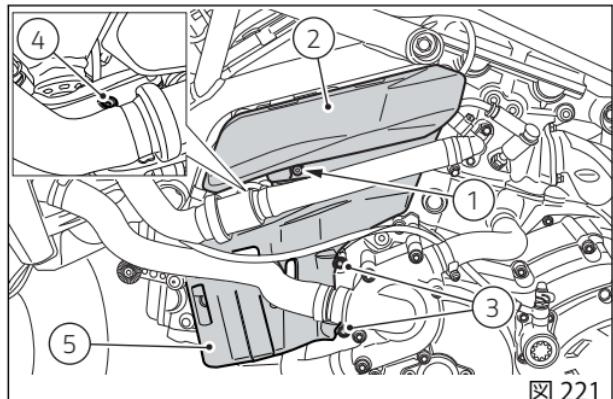


図 221

## トランスミッションチェーン張力の点検



### 重要

チェーン張力の調整は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

リアホイールを回転させ、チェーンが最も張る位置を探します。サイドスタンドで車両を支えて駐車します。チェーンの測定位置を指で一度だけ下に押し、放します。

チェーンピンの中心とスイングアームのアルミニウムとの間の距離(A)を測定します。A=36~38mm(1.41 ~ 1.50 in)でなければなりません。

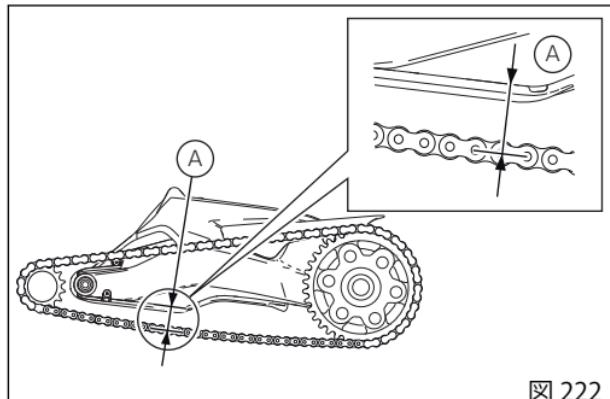


図 222



### 重要

この手順は、納車時と同じ標準設定の車両に対してのみ有効です。



### 重要

ドライブチェーンが張りすぎ、もしくは緩みすぎている場合は、測定値が指定の値になるように調整します。

## **!** 警告

安全な走行状態を維持するには、スイングアームのスクリュー (1) の正しい締め付けが重要です。

## **!** 重要

チェーンの張りが不適切だとトランスマッショ  
ン部品の磨耗を早めます。

## **!** 重要

チェーンが常に最高レベルの性能を維持し、か  
つ長持ちするようにするために、チェーンの洗浄、チ  
ェック、張りに関する情報に従うことを推奨します。

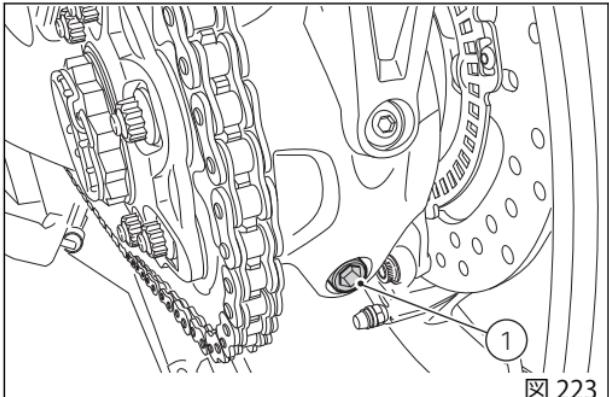


図 223

## チェーンの潤滑



### 重要

ドライブチェーンの清掃は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

#### ドライブチェーンの清掃および潤滑

本車両には、泥などの侵入を防ぎ、潤滑状態を長く保つOリングガスケット付きチェーンが装着されています。

チェーンの潤滑を行う前に、チェーンを正しく洗浄し、清掃することが重要です。

チェーンの清掃は、その寿命を伸ばすために非常に重要なことです。従って、チェーン上に泥や土、砂、その他一般的な汚れが見られる場合は、それらの汚れをウォータージェットで取り除き、その後すぐに30cm(11.81インチ)以上離れたところから圧縮空気で乾燥させてください。

## **!** 警告

蒸気やガソリン、溶剤、硬いブラシやその他、Oリングを傷つけるものは使用しないでください。さらにバッテリー電解液との接触を避けてください。図のように、リンクに小さなひび割れができるおそれがあります。

## **!** 警告

特にバイクをオフロードで使用する場合は、チェーンガイドスライダーとの接触により、リンクが過度に摩耗することがあります。摩擦によりチェーンが過熱し、チェーンの熱処理が損なわれ、その結果特にリンクがもろくなるおそれがあります。

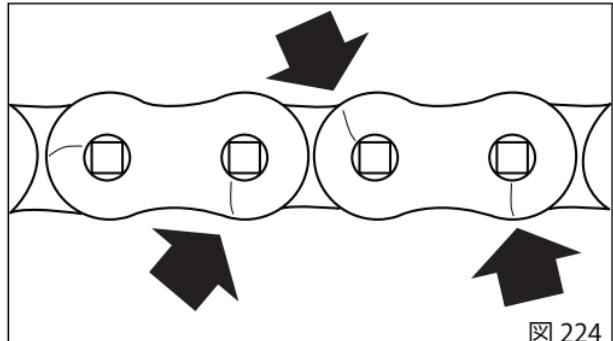


図 224

## ドライブチェーンの潤滑

### 重要

ドライブチェーンの清掃は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

### 警告

潤滑にはSHELL Advance Chainを使用してください。規定以外の潤滑剤を使用するとOリングや、それに伴ってトランスミッションシステム内部を損傷することがあります。

チェーンの潤滑は、新しい潤滑剤がリンク間の内外に染み込み、保護作用がより効果的に発揮されるよう、バイクの使用後、車両が冷えるのを待たずに行ってください。

リアパドックスタンドに車両を駐車します。リアホイールを進行方向とは逆の方向に速く回転させてください。

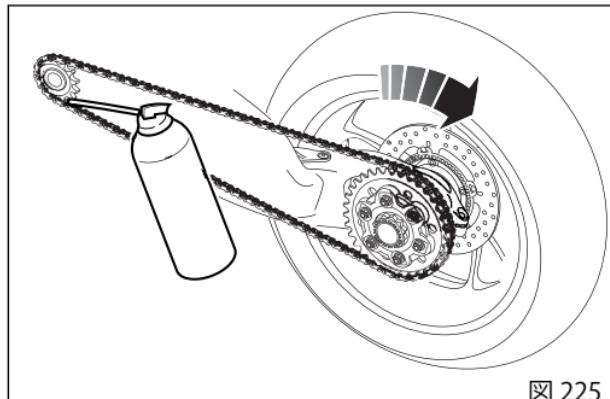


図 225

チェーン内部のリンクの内側と外側に、スプロケットとのかみ合わせの直前の箇所(2)で、潤滑剤(1)のジェットを噴射します。

遠心力によりスプレーの中身が液状になり、潤滑剤がピンとブッシュの間の作動部分に行き渡り、完璧な潤滑を保証します。

潤滑剤のジェットをチェーンの中央部(5)に配置して作業を繰り返し、図のようにニードルベアリング(4)および外側のプレート(6)を潤滑します。

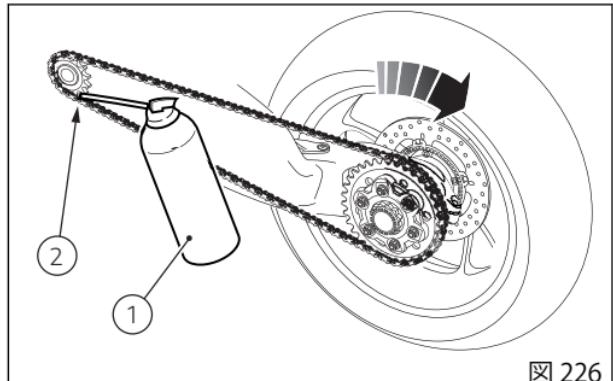


図 226

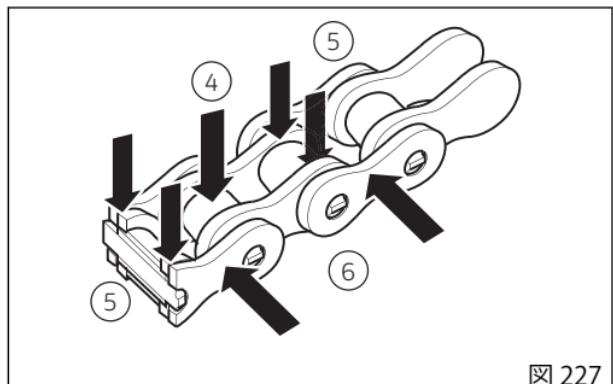


図 227

潤滑の終了後 10～15 分待ち、チェーンの内側と外側表面に潤滑剤を行き渡らせ、その後余分な潤滑剤を布でふき取ります。

### !**重要**

チェーンの潤滑後、すぐにバイクを使用しないでください。潤滑の直後は潤滑剤がまだ流れやすく、外側に向かって飛び散り、後輪やライダーフットペグを汚す可能性があります。

### !**重要**

チェーンのチェックを頻繁に行い、プログラムされた表に従って、少なくとも 1000 km (621 マイル) 每に行ってください。外気温度が高い(40° C) 土地での使用時、または長距離における高速道路での走行の後は、より頻繁(約 400 km (248 マイル) 每) に潤滑を行ってください。

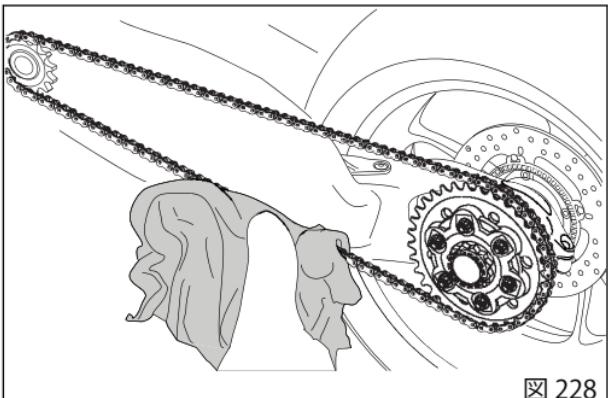


図 228

## 電球の交換

切れた電球を交換する前に、新しい電球がページ328の"エレクトリカルシステム"の段落に記載されている電圧、電力と同じであることを確認してください。



### 重要

電球の交換は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

#### Monster 1200

#### Monster 1200 S (USA バージョンのみ)

スクリュー (1) を緩めて外し、ターンインジケーターマウントからカバー (2) を取り外します。

電球は差し込み式になっています。引き抜くには押して反時計回りに回します。電球を交換し、新しい電球を押しながら時計回りにカチッという音がするまで回して取り付けます。バルブカバーを取り付けます。この時、突起部をマウントのスリットに挿入してください。スクリュー (1) をねじ込みます。

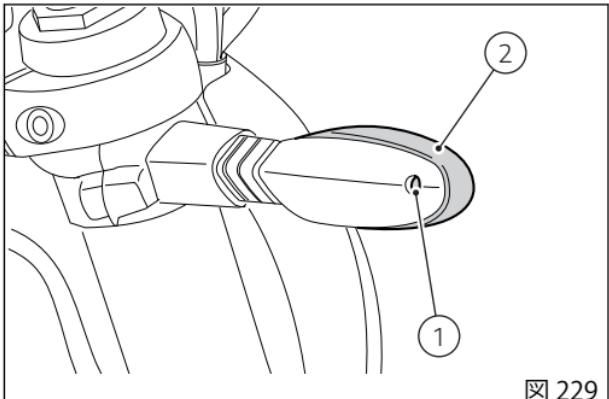


図 229

## ヘッドライトの光軸調整

正しいタイヤ空気圧に調整し、乗員1名がシートに乗った状態で、車両を壁面またはスクリーンの前10メートルの場所で縦軸に対して垂直に立て、ヘッドライトが正しい向きになっていることを確認します。壁にヘッドライトの中心と同じ高さで水平に線を引き、車体の縦軸に対応する垂直線も引きます。この点検は薄暗い場所で行ってください。ロービームランプを点灯します。照射領域の上限が、床面からヘッドライトの中心までの高さの9/10以下でなければなりません。



### 参考

この方法は、光軸の高さに関するイタリアの規則に準拠したものです。車両を使用する国、地域の法律に従い光軸調整を行ってください。

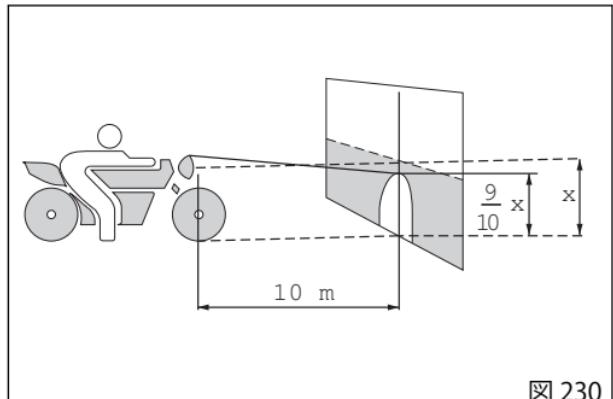


図 230

垂直方向のヘッドライト光軸調整はスクリュー(1)を操作して行います。

**!** 警告

雨天時または洗車後に車両を使用する際は、ランプレンズが曇っている場合があります。レンズ内の結露はランプを点灯すると短時間で消えます。

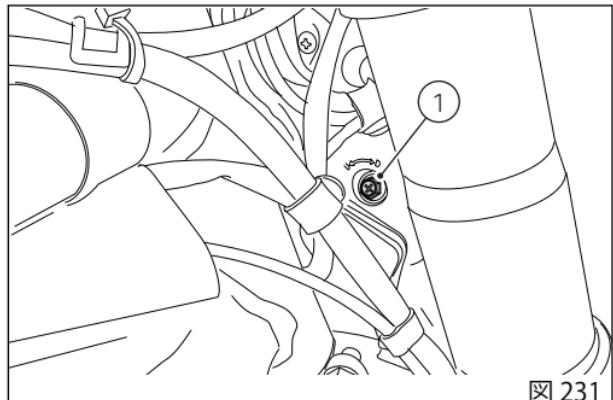


図 231

## タイヤ

フロントタイヤ空気圧：

2.3 bar (ライダーのみ) - 2.5 bar (ライダーおよびパッセンジャー)

リアタイヤ空気圧：

2.5 bar (ライダーのみ) - 2.8 bar (ライダーおよびパッセンジャー)

タイヤの空気圧は外気温や高度によっても変化します。標高の高い場所や気温差のある場所を走行する時は、その都度点検と調整を行ってください。

## 重要

!  
タイヤの空気圧はタイヤ冷間時に測定してください。フロントリムがダメージを受けないように、悪路を走行する時はタイヤの空気圧を 0.2~0.3 bar (2.9 ~4.35 PSI) 上げてください。

タイヤの修理または交換

タイヤに穴が開いた場合、チューブレスタイヤは空気の減り方が遅いため、気付くまでに時間がかかることがあります。タイヤの空気圧が下がってきた場合は、パンクの可能性をチェックします。

## 警告

!  
パンクしたタイヤは交換してください。交換する際は、標準装備タイヤと同じメーカー、タイプを指定してください。走行中のエア漏れを防ぐため、タイヤのバルブキャップがしっかりと締まっていることを確認してください。チューブタイプのタイヤは絶対に装着しないでください。突然タイヤが破裂し、ライダー、パッセンジャーに重大な危険を及ぼすおそれがあります。

タイヤ交換の後には、必ずホイールバランスの点検を行ってください。

## 警告

!  
ホイールのバランスウェイトを外したり、移動させたりしないでください。



## 参考

タイヤの交換ではホイールを正しく着脱することが重要です。タイヤ交換は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。ホイールにはセンサー、フォニックホイールなどのABSシステム部品が装着されており、特別の調整が必要になります。



## 警告

交換する際は、「タイヤ」の章のテクニカル仕様に記載されている標準装備タイヤと同じメーカー、タイプを指定してください。

## タイヤの摩耗限度

タイヤのトレッド面が一番摩耗している箇所(S)の溝の深さを測定します。溝の深さは2 mm (0.08 in)以上でなければならず、また現地法で定めた規定値以下であってはなりません。



### 重要

タイヤは定期的に点検し、特に側面に傷やヒビがないか、突起、広範囲のシミ、内部の損傷を表すような箇所がないかチェックしてください。損傷が著しい場合はタイヤを交換してください。トレッドに入り込んだ石や異物は取り除いてください。

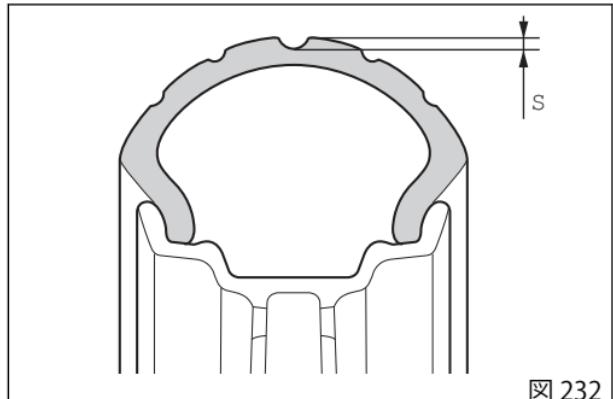


図 232

## エンジンオイルレベルの点検

エンジンオイルの量は、クラッチカバーにある点検窓(1)から見ることができます。

オイル液面は、点検窓の横に指示された目盛の間になければなりません。オイル量が不足している場合は、エンジンオイルを補充してください。

ドゥカティ社推奨オイルは Shell Advance 4T Ultra 15W-50 です (JASO : MA2、API : SN) です。

フィラーキャップ(2)を外し、指定オイルを規定のレベルまで補充してください。フィラーキャップ(2)を取り付けます。

### 重要

保証書に記載されている定期点検表に従い、エンジンオイルとオイルフィルターの交換は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

オイルレベルの正確な点検を実施するには、以下に記載する作業をよく読んで指示に従ってください。

1) オイルレベル点検はエンジンが熱い状態で実施します。そのため少なくとも 20~30 分間走行した後すぐに対応しなかった場合は、もう一度エンジンを温める必要があります。

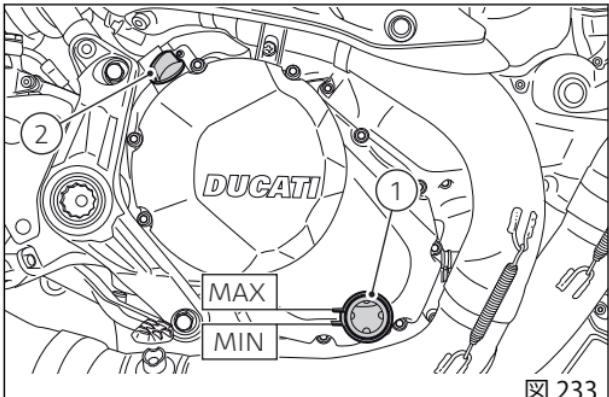


図 233

エンジンが冷めた状態であればエンジンを始動し、最低でもラジエーターファンが二回連続して作動するまでエンジンを温めてください (エンジンオイルがオイル通路に沿って潤滑にオイルパンまで到達するには、オイルが熱くなければなりません)。

エンジンを温めている間は、車両をサイドスタンドで駐車していてもかまいません。

2) エンジンを停止し、オイルが完全にオイルパンに戻るまで 10~15 分待ちます。

3) 平坦な場所に両方の車輪を地面に着け、直立に駐車します。

- 4) この時点で、エンジンオイル点検窓からオイルレベルを点検します。
- 5) オイルレベルが MIN と MAX 目盛りの中央より下であれば、MAX 目盛りまでオイルを補充してください。



## 警告

MAX 目盛りは絶対に超えないようにしてください。

## オイルに関する推奨事項

以下を満たすオイルの仕様が推奨されます。

- 粘度分類 SAE 15W-50
- API 規格 : SN
- JASO 規格 : MA2。

SAE 15W-50 は英数字のコード番号で、粘度を基にオイルの分類を特定し、W で分けられた 2 つの数字であらわされます。最初の数字は低温でのオイルの粘度を表し、二番目の数字は高温での粘度を表します。API(米国での分類)および JASO(日本標準)は、オイルが有する特徴を表します。

## スパークプラグの清掃と交換

スパークプラグはエンジンの重要な部品ですので、定期的な点検が必要です。

スパークプラグの交換は、Ducati正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

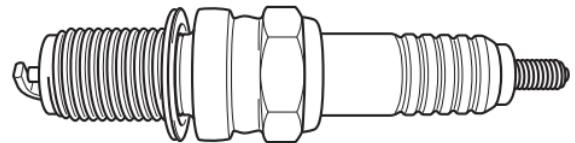


図 234

## 車両の清掃

塗装部分と金属部分の本来の艶を長期間保つため、使用状態や走行する道路の状態に合わせて、定期的に車両の清掃、洗車を行ってください。強力な洗剤や溶剤の使用は避け、可能であれば生分解性の専用洗剤を使用してください。

プレキシガラス部分やシートのお手入れには、水と中性洗剤を使用してください。アルミニウム製部品は定期的に手作業で清掃してください。研磨剤や水酸化ナトリウムが含まれていないアルミニウム専用洗剤を使用してください。

### 参考

研磨材付きスポンジやスチールワールは使用せず、柔らかい布のみを使用してください。

十分なメンテナンスが行われていない車両は保証の対象なりません。

### 重要

走行直後のボディがまだ熱い状態にあるときは、水染み等を防ぐため洗車は行わないでください。洗車には温水ジェットや高压洗浄機を使用しないでください。

洗浄機の使用は、フォーク、ホイールハブ、電装システム、フォークガスケット、エアインテーク、エキゾーストサイレンサーの故障や不具合、ランプ内部の結露(くもり)を引き起こし、結果として車両の安全性を損ねるおそれがあります。

エンジンに著しい汚れや油脂汚れが見られる場合は、脱脂剤を使用して洗浄してください。その際、トランスミッション系統(チェーン、フロント/リアスプロケット等)に脱脂剤が付着しないように注意してください。

車両をぬるま湯で良くすすぎ、表面全体をセーム革で拭いて乾かします。

### 警告

洗車後は、ブレーキ性能が低下することがあります。ブレーキディスクには絶対にグリースや潤滑剤を塗布しないでください。ブレーキ性能が失われるおそれがあります。ディスクは非油性の溶剤で清掃してください。

## **警告**

洗浄、雨、湿気などにより、ヘッドラランプレンズにくもりが生じることがあります。レンズ内の結露はランプを点灯すると短時間で消えます。

ABSシステムが効率よく作動するように、フォニックホイールを入念に清掃してください。ホイールやセンターを傷めますので、強力な洗剤や溶剤の使用は避けしてください。

## **警告**

インストルメントパネルのクリアカバーにオイルや燃料が直接付着しないようにしてください。シミや損傷の原因となり情報を読み取りにくくなるおそれがあります。この部分の清掃にはアルコール系洗剤、溶剤や研磨剤入りの洗剤を使用しないでください。表面の硬いザラついたスポンジや布はキズが付くおそれがありますので使用しないでください。

## **参考**

インストルメントパネルのクリアカバーは、やわらかい布を使用して水と中性洗剤、もしくはクリアプラスチック部品専用の洗剤で清掃してください。

## **参考**

インストルメントパネルの清掃には、アルコールやアルコール由来の製品を使用しないでください。

ホイールリムにはアルミニウム加工が施されていますので、清掃には十分に注意してください。車両を使用するたびに、ホイールリムを清掃して乾燥させてください。

## **重要**

ドライブチェーンの清掃や潤滑は、「ドライブチェーンの潤滑」を参照してください。

## 長期間の保管

車両を長期間使用しない場合は、保管する前に以下の作業を行うようお薦めします。

- 車両を清掃します。
- 燃料タンクを空にします。
- スパークプラグの穴からシリンダー内に少量のエンジンオイルを注入し、エンジンを手で数回転させてシリンダー内壁に保護膜を形成させます。
- 車両をスタンドに立てかけて停車します。
- ケーブルを外し、バッテリーを取り外します。

1ヶ月以上車両を使用しなかった場合には、バッテリーの点検を実施し、必要であればバッテリーの充電または交換をおこなってください。

結露を防止し塗装を保護するため、車体をカバーで覆います。車体カバーは Ducati Performance にて取り扱っております。

## 重要注意事項

国によっては(フランス、ドイツ、イギリス、スイス等)排気ガス、騒音規制の基準を設けている場合があります。

法律で義務付けられている定期点検を実施し、交換が必要な部品については各国の規制に適合する Ducati 純正パーツと交換してください。

# メンテナンスプログラム

## メンテナンスプログラム：ディーラーでおこなうメンテナンス

### !**警告**

このメンテナンスプログラムは公道での使用を想定しています。サーキットで使用する場合、競技でなくとも車両のすべてのシステムに多大な負荷がかかりますので、定期点検をより頻繁におこなう必要があります。

### !**警告**

競技で使用するためのパーソナルアドバイスをお受けになられたい場合は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにお問い合わせください。

| メンテナンス項目/作業内容<br>(km/マイル 毎、または経過時間*)              | Km x1000  | 1   | 15 | 30 | 45 | 60 | 期間(月) |
|---|-----------|-----|----|----|----|----|-------|
|   | マイル x1000 | 0.6 | 9  | 18 | 27 | 36 |       |
| DDSによる不具合メモリーの読み取り、およびコントロールユニットのソフトウェアバージョンの更新確認 |           | ●   | ●  | ●  | ●  | ●  | 12    |
| テクニカルアップデートおよびリコールの有無の確認                          |           | ●   | ●  | ●  | ●  | ●  | 12    |
| エンジンオイルおよびフィルターの交換                                |           | ●   | ●  | ●  | ●  | ●  | 12    |
| エンジンオイルインタークフィルター清掃                               |           | ●   |    | ●  |    | ●  | -     |
| バルブクリアランスの点検と調整                                   |           |     |    | ●  |    | ●  | -     |
| タイミングベルトの交換                                       |           |     |    | ●  |    | ●  | 60    |

| メンテナンス項目/作業内容<br>(km/マイル毎、または経過時間*)         | Km x1000<br>マイル x1000 | 1   | 15 | 30 | 45 | 60 | 期間(月) |
|---|-----------------------|-----|----|----|----|----|-------|
|   |                       | 0.6 | 9  | 18 | 27 | 36 |       |
| スパークプラグの交換                                  |                       |     | ●  |    | ●  |    | -     |
| エアフィルターの清掃                                  |                       | ●   |    | ●  |    |    | -     |
| エアフィルターの交換                                  |                       |     | ●  |    | ●  |    | -     |
| ブレーキ / クラッチフルードレベルの点検                       | ●                     | ●   | ●  | ●  | ●  |    | 12    |
| ブレーキ/クラッチフルードの交換                            |                       |     |    |    |    |    | 36    |
| ブレーキパッドおよびディスクの摩耗点検必要な場合は交換                 | ●                     | ●   | ●  | ●  | ●  |    | 12    |
| ブレーキキャリパー、ブレーキディスクフランジスクリューの締め付け点検          | ●                     | ●   | ●  | ●  | ●  |    | 12    |
| フロント、リアホイールナットの締め付け点検                       | ●                     | ●   | ●  | ●  | ●  |    | 12    |
| エンジンへのフレーム固定部品の締め付け点検                       |                       | ●   | ●  | ●  | ●  |    | -     |
| ホイールハブベアリングの点検                              |                       |     | ●  |    | ●  |    | -     |
| リアホイールシャフトの点検と潤滑                            |                       |     | ●  |    | ●  |    | -     |
| リアスプロケットのダンパーの点検                            |                       |     | ●  |    | ●  |    | -     |
| ファイナルドライブのリアスプロケットのナット、フロントスプロケットのナット締め付け点検 | ●                     | ●   | ●  | ●  | ●  |    | 12    |

| メンテナンス項目/作業内容<br>(km/マイル毎、または経過時間*)                   | Km x1000<br>マイル x1000 | 1   | 15 | 30 | 45 | 60 | 期間(月) |
|---|-----------------------|-----|----|----|----|----|-------|
|   |                       | 0.6 | 9  | 18 | 27 | 36 |       |
| ファイナルドライブ(チェーン、フロントスプロケット、リアスプロケット)、およびチェーンスライダーの磨耗点検 |                       | ●   | ●  | ●  | ●  | ●  | 12    |
| ドライブチェーン張力の点検と潤滑                                      |                       | ●   | ●  | ●  | ●  | ●  | 12    |
| ステアリングベアリングの点検と潤滑                                     |                       |     |    | ●  |    | ●  | -     |
| フロントフォークオイルの交換  |                       |     |    | ●  |    | ●  | -     |
| フロントフォーク、リアショックアブソーバーのシーリング部品の目視点検                    |                       | ●   | ●  | ●  | ●  | ●  | 12    |
| サイドスタンド、センタースタンドの動作および締め付け点検(装備している場合)                |                       | ●   | ●  | ●  | ●  | ●  | 12    |
| フューエルホースの目視点検   |                       |     | ●  | ●  | ●  | ●  | 12    |
| フレキシブルケーブルと配線ケーブルの摩擦部分、遊びと動作、取り付け位置の目視点検              |                       | ●   | ●  | ●  | ●  | ●  | 12    |
| ハンドルレバー、ペダルコマンドの潤滑                                    |                       |     | ●  | ●  | ●  | ●  | 12    |
| クーラントの交換  |                       |     |    |    | ●  |    | 48    |
| クーラントレベルの点検、冷却回路の状態の点検                                |                       | ●   | ●  | ●  | ●  | ●  | 12    |
| タイヤ空気圧、磨耗点検   |                       | ●   | ●  | ●  | ●  | ●  | 12    |
| バッテリー充電レベルの点検   |                       | ●   | ●  | ●  | ●  | ●  | 12    |

| メンテナンス項目/作業内容<br>(km/マイル 毎、または経過時間*)                              | Km x1000<br>マイル x1000 | 1   | 15 | 30 | 45 | 60 | 期間(月) |
|---|-----------------------|-----|----|----|----|----|-------|
|   |                       | 0.6 | 9  | 18 | 27 | 36 |       |
| 電気安全装置の作動点検(サンドスタンドセンサー、フロント/リアブレーキスイッチ、エンジン停止スイッチ、ギア/ニュートラルセンサー) |                       | ●   | ●  | ●  | ●  | ●  | 12    |
| ランプ、インジケーター類、警告ホーン、コマンド類の点検                                       |                       | ●   | ●  | ●  | ●  | ●  | 12    |
| DDSを介したサービスインジケーターのリセット   |                       | ●   | ●  | ●  | ●  | ●  | -     |
| 安全装置(ABS、DTCなど)、エレクトリックファン、アイドリングの機能点検を兼ねた路上での走行テスト               |                       | ●   | ●  | ●  | ●  | ●  | 12    |
| 車両のソフトクリーニング  |                       | ●   | ●  | ●  | ●  | ●  | 12    |
| 定期点検実施の車載書類(サービスブック)への記入  |                       | ●   | ●  | ●  | ●  | ●  | 12    |

## メンテナンスプログラム：お客様がおこなうメンテナンス



### 重要

ぬかるみや乾燥したほこりっぽい環境など過酷な状況でモーターサイクルを使用すると、トランスミッション、ブレーキシステム、エアフィルター等の部品の摩耗を早める可能性があります。エアフィルターが汚れていると、エンジンが損傷するおそれがあります。そのため規定されている定期点検の間隔より早く、定期点検や摩耗しやすい部品の交換が必要な場合があります。

| メンテナンス項目/作業内容 (km/mile 毎、または経過時間 *) | Km x1000 | 1   |
|-------------------------------------|----------|-----|
|                                     | マイルx1000 | 0.6 |
| 月                                   | 月        | 6   |
| エンジンオイルレベルの点検                       | ●        |     |
| ブレーキ / クラッチフルードレベルの点検               | ●        |     |
| タイヤ空気圧、磨耗点検                         | ●        |     |
| チェーン張力の点検と潤滑                        | ●        |     |
| ブレーキパッドの点検必要であれば、ディーラーにて交換してください。   | ●        |     |

\* 走行距離 (km) または経過時間 (月) のうち、どちらか先に到達した時点で点検を実施してください。

# テクニカル仕様

## 重量

車両重量 (燃料 90% を含むすべての液体類を装備 -  
44/2014/EU Annex XI ガイドラインに準拠) :

211 kg – 465 lb (Monster 1200)

213 kg – 470 lb (Monster 1200 S)

車両重量 (液体類、バッテリーを含まない) :

185 kg – 408 lb (Monster 1200)

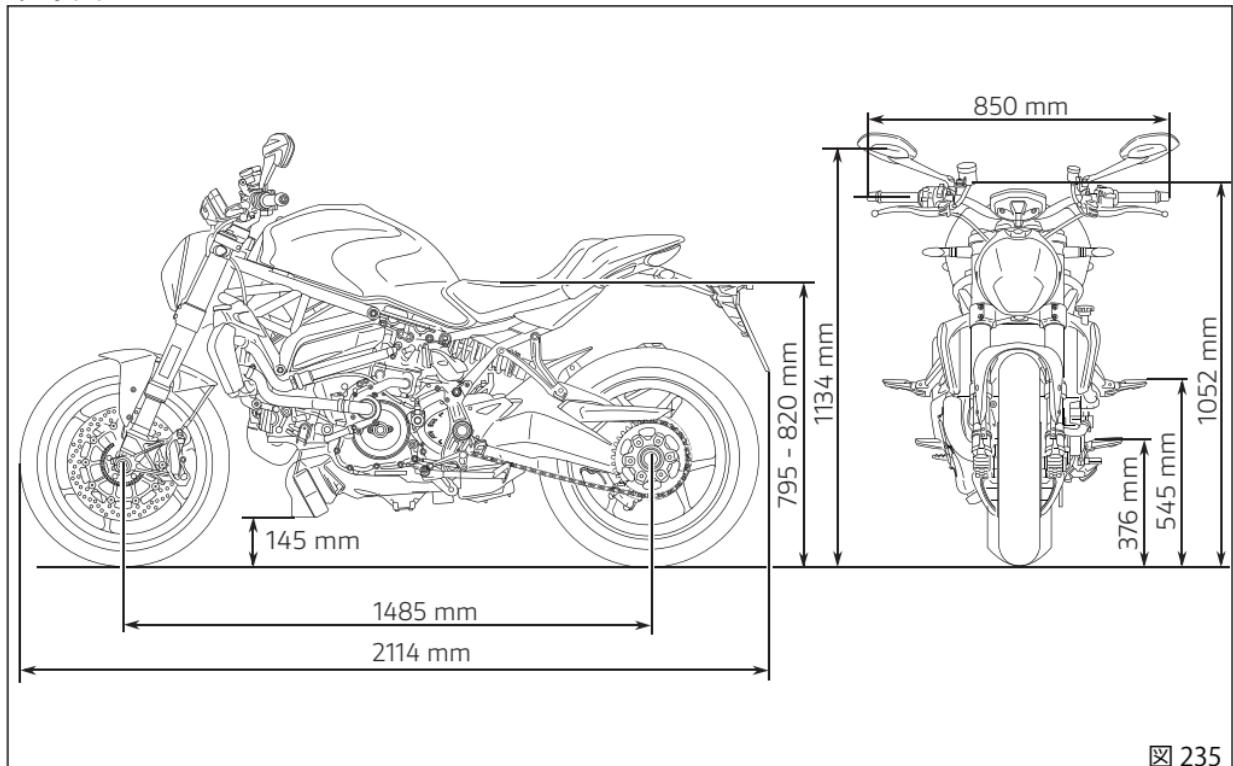
187 kg – 412 lb (Monster 1200 S)

車両総重量 (最大負荷) : 390 kg – 860 lb

## ! 警告

重量制限を遵守しない場合、操縦性と性能の低下を招き、車両のコントロールを失う原因となります。

## サイズ



## 補給

### 補給

### タイプ

燃料タンク、リザーブ 2.5 リットル(0.55 オクタン価が 95 以上の無鉛ガソリン SHELL 16.5 リットル  
UK ガロン)を含む V-Power を使用してください。 (3.63 UK ガロン)

エンジンクランクケースおよびフィルタ ドゥカティ社推奨オイルは SHELL Advance 3.9 リットル  
4T Ultra 15W-50 (JASO : MA2、API : SN) (0.86 UK ガロン)  
です。

フロント/リアブレーキシステム、クラッ DOT 4  
チ

-

|                           |  |  |
|---------------------------|--|--|
| 電極保護液                     | 電気系統の保護スプレー  | -  |
| フロントフォーク (Monster 1200)   | SHELL Donax TA                                       | 500 cc (0.132 ガロン) (右<br>レッグ)<br>506 cc<br>(30.88 cuin) (左レッグ) |
| フロントフォーク (Monster 1200 S) | SHELL Donax TA                                       | 587.5 cc<br>(35.85 cuin) (各レッグ)                                |
| 冷却システム                    | 不凍液 ENI Agip Permanent Spezial (薄めず 2.5 リットル<br>に使用) | (0.55 UK ガロン)  |

### 重要

燃料、潤滑液等には絶対に添加剤を加えないでください。このような燃料を使用すると、エンジンや車両  
の部品に重大な損傷をきたすおそれがあります。



## 警告

この車両にはエタノール含量が 10% 以下の燃料 (E10) のみ使用することができます。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用することは禁じられています。こうした燃料を使用するとエンジンや車両の部品に重大な損傷をきたす恐れがあります。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用した場合は保証の対象外になります。

## エンジン

テスタストレッタ 11°、"L"型 2 気筒、シリンダーごとに 4 バレブのデスマドロミックタイミングシステム、水冷式。

ボア : 106 mm (4.17 in)

ストローク : 67.9 mm (2.67 in)

総排気量 : 1,198.4 cm<sup>3</sup> (73.13 cuin)

圧縮比 : 13 ± 0.5:1

クランクシャフト最高出力、規制 (EU) No. 134/2014  
添付 X、kW / HP :

108 kW / 147 HP / 9,250 rpm

クランクシャフト最高出力、規制 (EU) No. 134/2014、  
添付 X、kW/HP、フランスバージョンのみ :

73 kW / 99 HP / 6,250 rpm

クランクシャフト最高出力、規制 (EU) No. 134/2014、  
添付 X、kW/HP、中国バージョンのみ :

90 kW / 122 HP / 8,750 rpm

クランクシャフト最大トルク、規制 (EU) No. 134/2014

添付 X :

124 Nm / 12.6 Kgm / 7,750 rpm

クランクシャフト最大トルク、規制 (EU) No. 134/2014、添付 X、フランスバージョンのみ :  
116 Nm / 11.8 Kgm / 6,000 rpm

クランクシャフト最大トルク、規制 (EU) No. 134/2014、添付 X、中国バージョンのみ :  
118 Nm / 12 Kgm / 7,000 rpm

最大回転数 : 10,400 rpm



### 重要

走行中いかなる状況においても、決して最高回転数を超えてはいけません。



### 参考

記載されている出力 / トルクデータは、基準適合規則に従って静的テストベンチを使用して測定されたもので、認証時に測定され車両登録証に記載されているデータと同じになります。

## タイミングシステム

8個のロッカーアーム(オープニングロッカーアーム4個、クロージングロッカーアーム4個)、およびダブルオーバーヘッドカムシャフトで制御されるシリンダーごとに4バルブのデスマドロミックシステム。スペーギア、ブーリー、コグドベルトを介してクランクシャフトで制御されます。

### デスマドロミックタイミングシステム

- 1) オープニング(アッパー)ロッカーアーム
- 2) オープニングロッカーシム
- 3) クロージング(ロア)ロッカーシム
- 4) クロージングロッカーアームリターンスプリング
- 5) クロージング(ロア)ロッカーアーム
- 6) カムシャフト
- 7) バルブ

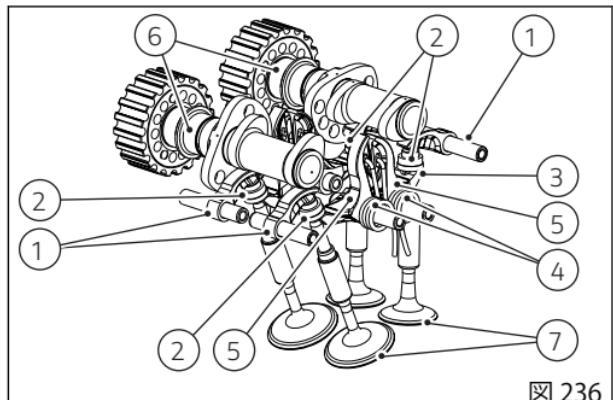


図 236

## 性能データ

各ギアにおける最高速度は、決められた慣らし期間を正しく守り、適切な定期点検整備を受けた場合にのみ出すことができるようになります。



### 重要

これらの条件が守られなかった結果としてのエンジンの損傷や寿命の短縮について、Ducati モーター ホールディング社は一切責任を負うものではありません。

## スパークプラグ

メーカー：NGK  
タイプ：MAR9-J

## 燃料供給

Synerject CONTINENTAL ECU M3D 間接式エレクトロニックインジェクションシステム  
MIKUNI 製楕円スロットルボディ、直径：56 mm (2.2 in) 相当

シリンダーごとのインジェクター数：1

インジェクター孔数：10  
ガソリン燃料：95-98 RON



### 警告

この車両にはエタノール含量が 10% 以下の燃料 (E10) のみ使用することができます。  
エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用することは禁じられています。こうした燃料を使用するとエンジンや車両の部品に重大な損傷をきたす恐れがあります。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用した場合は保証の対象外になります。

## ブレーキ

各ブレーキのアンチロックシステムは、両タイヤに装備されたフォニックホイールを読み取るホール効果センサーで制御されます。ABSの解除が可能です。

### フロント

タイプ：スチール製穴あきディスクディスク 2 枚

ディスク径：320 mm (12.6 in) (Monster 1200)

ディスク径：330 mm (13 in) (Monster 1200 S)

ディスク厚：4.5 mm (0.17 in) (Monster 1200)

ディスク厚：5 mm (0.2 in) (Monster 1200 S)

右側ハンドルレバーによる油圧コントロール

セパレートピストン付きモノブロックブレーキキャリパー

ブレーキキャリパー (M4.32) : シリンダー径 32 mm  
(1.26 in) (Monster 1200)

ブレーキキャリパー (M4.30) : シリンダー径 30 mm  
(1.18 in) (Monster 1200 S)

ブレーキパッド材質 : Toshiba TT2182FF

ポンプシリンダー径 (PR 18/21) : 18 mm (0.71 in)  
(Monster 1200)

ポンプシリンダー径 (PR 16/21) : 16 mm (0.63 in)  
(Monster 1200 S)

ブレーキ面積 : 263 cm<sup>2</sup> (16.05 cu in) (Monster 1200)

ブレーキ面積 : 264.5 cm<sup>2</sup> (16.14 cu in) (Monster 1200 S)

### リア

タイプ：スチール製穴あき固定ディスク

ディスク径 : 245 mm (9.65 in)

ディスク厚 : 5 mm (0.2 in)

車体右側ペダルによる油圧コントロール

ブレーキキャリパー : シリンダー径 34 mm (1.34 in)

メーカーおよびタイプ : Brembo P 34

ブレーキパッド材質 : Toshiba TT2172 HH

ポンプタイプ : PS 11

ポンプシリンダー径 : 11 mm (0.43 in)

ブレーキ面積 : 209 cm<sup>2</sup> (12.75 cu in)



### 警告

ブレーキフルードは腐食性があります。

万一目に入ったり肌に触れたりした場合は、流水でしっかりと洗い流してください。

## トランスマッision

湿式多板クラッチ、油圧式制御、左ハンドルレバーによる操作、セルフサーサー機構およびスリッパークラッチ機構付き。

エンジンとギアボックスメインシャフト間の駆動伝達。

エンジンスプロケット/クラッチスプロケット比：  
33/61

6速コンスタントギア、車体左側ペダルによる操作

ギアスプロケット/リアスプロケット比：15/41  
変速比：

1速 15/37

2速 17/30

3速 20/27

4速 22/24

5速 24/23

6速 25/22

チェーンによるギアボックスとリアホイール間の駆動  
伝達

メーカー：DID

タイプ：525 HV3

リンク数：105 + 1

## ⚠ 重要

上記のギア比は認可時の値ですので、いかなることがあっても変更してはいけません。

## ⚠ 警告

リアスプロケットの交換は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにお問い合わせください。

この部品の誤った交換は、ライダーおよびパッセンジャーの安全に深刻な危険をもたらし、車両に修復不能な損傷を与える恐れがあります。

## フレーム

スチール ALS 420 製トレリスパイプフレーム  
スチール ALS 420 製トレリスパイプリアサブフレーム  
ステアリングアングル(片側) : 30°

キャスター角 : 23.3°

## トレール :

86.5 mm (3.40 in) オフセット 36 mm (1.42 in)

## リーン角度 :

50°

## ホイール

10本スポーク軽合金キャストリム (Monster 1200)  
3本スポーク軽合金キャストリム (Monster 1200 S)

## フロント

寸法 : MT 3.50" x 17"

## リア

寸法 : MT 6.00" x 17"

## タイヤ

### フロント

チューブレスラジアルタイヤ Pirelli Diablo Rosso III  
寸法 : 120/70 ZR 17 M/C (58W) TL (D)

### リア

チューブレスラジアルタイヤ Pirelli Diablo Rosso III  
寸法 : 190/55 ZR 17 M/C (75W) TL (D)

## サスペンション

### Monster 1200

#### フロント

KAYABA 製油圧式倒立フォーク、スプリングプリロード、コンプレッションダンピング、リバウンドダンピングの調整が可能。

インナーチューブ径(レッグ) 43 mm (1.69 in)

フロントホイールトラベル : 130 mm (5.11 in)

#### リア

SACHS 製モノショックアブソーバー付きプログレッシブ、リバウンドダンピングおよびスプリングプリロードの調整が可能。

ショックアブソーバーストローク : 61.5 mm (2.42 in)

リアホイールトラベル : 149 mm (5.87 in)

### Monster 1200 S

#### フロント

OHLINS 製油圧式倒立フォーク、スプリングプリロード、コンプレッションダンピング、リバウンドダンピングの調整が可能。

インナーチューブ径(レッグ) 48 mm (1.84 in)

フロントホイールトラベル : 130 mm (5.11 in)

#### リア

OHLINS製モノショックアブソーバー付きプログレッシブサスペンション、コンプレッション、リバウンドダンピングおよびスプリングプリロードの調整が可能。  
ショックアブソーバーストローク：62 mm (2.44 in)  
リアホイールトラベル：149 mm (5.87 in)

## エキゾーストシステム

ステンレス製シングルサイレンサーとアルミニウム製エンドカバーを備えたエキゾーストシステム。触媒コンバーターおよびラムダーセンサー 2 個付き。

## カラーバリエーション

### Monster 1200

#### Ducati レッド

ベース(プライマー)アクリフレックスホワイト、部品番号：L0040652 (Lechler)  
ベース ドゥカティレッド、部品番号：473.101 (PPG)  
エナメル(Varnish) アクリプラストレッドストーナー SF、部品番号：LMC06017 (Lechler)

Ducati レッドフレーム、部品番号：81784 (Inver SPA)  
マットブラックパウダーエナメルリアサブフレーム、部品番号：CN201V (Akzo Nobel)  
グロッシーブラックリム、部品番号：VPCH03250 (Peter Lacke)

### Monster 1200 S

#### Ducati レッド

ベース(プライマー)アクリフレックスホワイト、部品番号：L0040652 (Lechler)

ベース ドゥカティレッド、部品番号：473.101 (PPG)  
エナメル(Varnish) アクリプラストレッドストーナー SF、部品番号：LMC06017 (Lechler)

Ducati レッドフレーム、部品番号：81784 (Inver SPA)  
マットブラックパウダーエナメルリアサブフレーム、部品番号：CN201V (Akzo Nobel)

グロッシーブラックリム、部品番号：VPCH03250 (Peter Lacke)

#### リキッドグレー

ベース(プライマー) 2K ブラック、部品番号：873.A002 (Palinal)

ベース(ベースコート) リキッドコンクリートグレー、部品番号：929.K079/2 (Palinal)

クリア(クリアコート) クリア、部品番号：923M1598 (Palinal)

## エレクトリカルシステム

主要構成部品は以下の通りです。

ヘッドライト：

ロービームランプ：

H7 (12 V - 55 W)

ハイビームランプ：

H1 (12 V - 55 W)

パーキングランプ：

LED 13.5V - 2.4W 14 個 (Monster 1200)

LED 13.5V - 3.5W 12 個 (Monster 1200 S)

DRL (Monster 1200 S のみ)

LED 13.5V - 15.5W 12 個

ハンドルバー上スイッチ

フロントターンインジケーター：

RY 10W 電球 (12 V - 10 W) (Monster 1200)

LED 13.5 V - 3.1 W (Monster 1200 S)

リアターンインジケーター：

RY 10W 電球 (12 V - 10 W) (Monster 1200)

LED 13.5 V - 3.1 W (Monster 1200 S)

警告ホーン

ストップランプスイッチ

バッテリー 12 V-10 AH

ジェネレーター 490 W - 14 V

電子レギュレーター、スターターコンタクター (D) 横

に設けられた 2 個の 30A ヒューズで保護。

スターターコンタクター 12 V-700 W

テールライト：パーキングランプ

LED 13.5V - 3.5W 12 個 (Monster 1200)

LED 13.5V - 0.45W 8 個 (Monster 1200 S)

テールライト：ストップランプ

LED 13.5V - 2.8W 12 個

ナンバープレートランプ：

LED 13.5V - 0.7W 3 個



### 参考

電球の交換については、"電球の交換" の章を参照してください。

## ヒューズ

エレクトリカル部品を保護するためにヒューズボックスには11個のヒューズが設置されています。各ヒューズボックス内には予備ヒューズが3個あります。スターターコンタクターには2個の30Aのヒューズがあり、スターターコンタクターの脇には2個のABSヒューズがあります。一方は25A、もう一方は30Aです。ヒューズボックスは右サイドカバー下の中央右に設置されています。ヒューズボックス(A)は左側、ヒューズボックス(B)は右側にあります。ヒューズを交換するには、各ヒューズの配置と定格が表記された保護力バーを外します。ヒューズが保護する装置、アンペア値については表を参照してください。

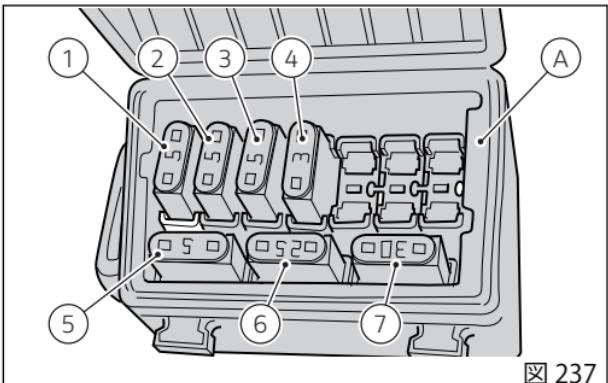


図 237

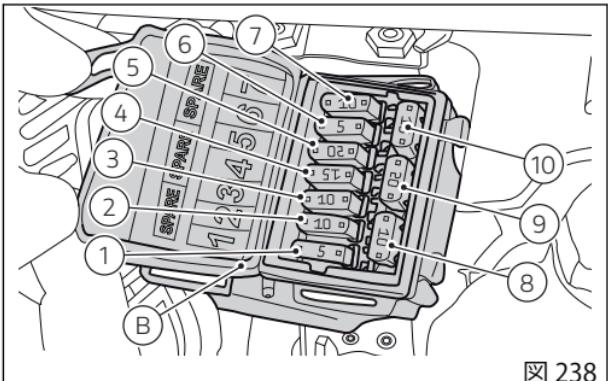


図 238

| ヒューズボックス (A) 凡例 |          |       |
|-----------------|----------|-------|
| 配置              | 保護装置     | 容量    |
| 1               | オプショナルキー | 5 A   |
| 2               | アラーム     | 5 A   |
| 3               | ストップ     | 5 A   |
| 4               | 診断       | 3 A   |
| 5               | スペア      | 7.5 A |
| 6               | スペア      | 25 A  |
| 7               | スペア      | 30 A  |

| ヒューズボックス (B) 凡例 |     |      |
|-----------------|-----|------|
| 7               | BBS | 10 A |
| 8               | スペア | 10 A |
| 9               | スペア | 20 A |
| 10              | スペア | 15 A |

| ヒューズボックス (B) 凡例 |             |      |
|-----------------|-------------|------|
| 配置              | 保護装置        | 容量   |
| 1               | ランプ         | 5 A  |
| 2               | インストルメントパネル | 10 A |
| 3               | キー 1        | 10 A |
| 4               | キー 2        | 15 A |
| 5               | リレー         | 20 A |
| 6               | コントロールユニット  | 5 A  |

2個のメインヒューズ (C) および (L) はスターターコンタクター (D) 上に設置されています。ヒューズの作業をおこなうには、両方のヒューズの保護キャップ (E) を取り外します。

切れたヒューズは、インナーフィラメント (F) が溶断しているかどうかで確認することができます。

スターターコンタクターの近くに2個のヒューズがあります。一方は25 Aのヒューズ (G)、もう一方は30 Aのヒューズ (H) です。



## 重要

回路のショートを防止するために、ヒューズ交換の前にイグニッションキーを OFF にしてください。



## 警告

表示されている規定以外のヒューズは決して使用しないでください。上記事項を守らなかった場合、エレクトリカルシステムの損傷や火災を引き起こすことがあります。

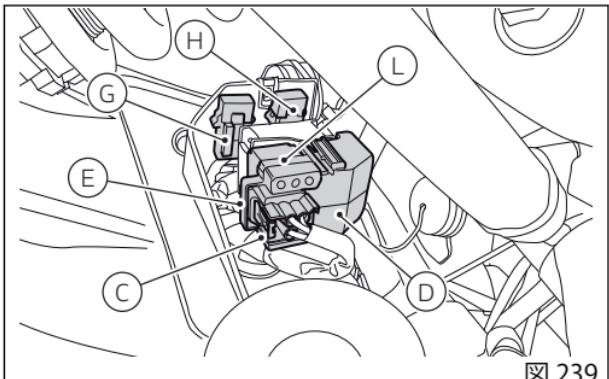


図 239

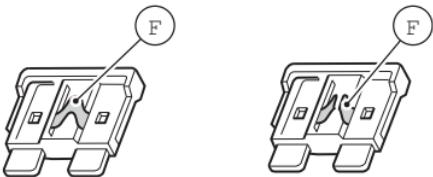


図 240

## インジェクション/エレクトリカルシステム配線 図凡例

- 1) イグニッショングループ (キーブロック)
- 2) 左ファン
- 3) 右ファン
- 4) ジェネレーター
- 5) レギュレーター
- 6) スターターコンタクター
- 7) バッテリー
- 8) 配線アース
- 9) エキゾーストバルブモーター
- 10) ABS コントロールユニット
- 11) フロントヒューズボックス
- 12) リアヒューズボックス
- 13) フロントスピードセンサー
- 14) リアスピードセンサー
- 15) 自己診断/DDA
- 16) 右リアターンインジケーター
- 17) テールライト
- 18) 左リアターンインジケーター
- 19) ナンバープレートランプ
- 20) BBS
- 21) アラーム(オプション)
- 22) ギアセンサー
- 23) サイドスタンドスイッチ

- 24) クラッチスイッチ
- 25) エンジン回転数/タイミングセンサー
- 26) MAP センサー
- 27) パージバルブ
- 28) エンジン温度
- 29) 外気温センサー(TIA)
- 30) ホリゾンタルエキゾーストラムダセンサー
- 31) バーチカルエキゾーストラムダセンサー
- 32) スロットルゲリップポジションセンサー(APS)
- 33) ホリゾンタルインジェクター
- 34) バーチカルインジェクター
- 35) ポテンシオメーター/ライドバイワイヤモーター(TPS/ETV)
- 36) セカンダリーエアアクチュエーター
- 37) ホリゾンタルコイル
- 38) ホリゾンタルコイル
- 39) フューエルポンプ
- 40) フューエルポンプリレー
- 41) インジェクション供給リレー
- 42) コントロールユニット A
- 43) コントロールユニット B
- 44) ハンドルバー左側スイッチ
- 45) 左フロントターンインジケーター
- 46) 警告ホーン
- 47) 気温センサー
- 48) インストルメントパネル

- 49) リアストップ
- 50) フロントストップ
- 51) 右フロントターンインジケーター
- 52) ヘッドライト
- 53) ハンドルバー右側スイッチ
- 54) スターターリレー
- 55) IMU
- 56) ABS ヒューズ
- 57) イモビライザー
- 58) 追加ソケット(オプション)
- 59) スターターモーター
- 60) USB
- 61) Bluetooth(オプション)
- 62) 燃料レベル
- 63) オイル圧センサー

G 緑  
Bn 茶  
O オレンジ  
P ピンク



### 参考

配線図はマニュアルの最後部にあります。

### 配線カラー記号

B 青  
W 白  
V 紫  
Bk 黒  
Y 黄  
R 赤  
Lb ライトブルー  
Gr グレー

# 定期点検メモ

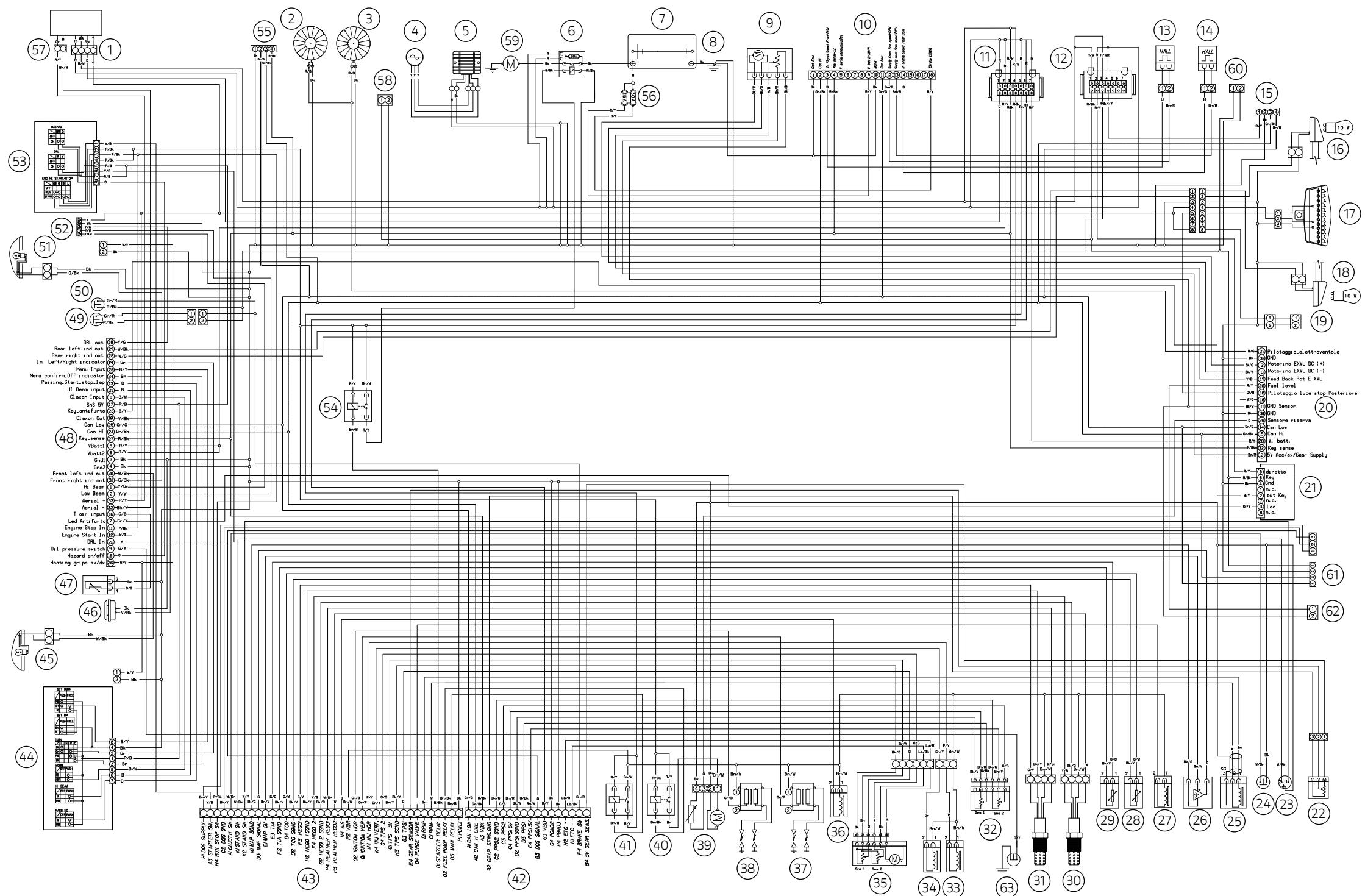
## 定期点検メモ

| KM    | DUCATI SERVICE<br>名 | 走行距離 | 日付 |
|-------|---------------------|------|----|
| 1000  |                     |      |    |
| 15000 |                     |      |    |
| 30000 |                     |      |    |
| 45000 |                     |      |    |
| 60000 |                     |      |    |



Stampato 04/2019

Cod. 913.7.394.1B Rev.02



Monster 1200 / Monster 1200 S

cod. 913.7.394.1B

**Ducati Motor Holding spa**  
[ducati.com](http://ducati.com)

Via Cavalieri Ducati, 3  
40132 Bologna, Italy  
Ph. +39 051 6413111  
Fax +39 051 406580

A Sole Shareholder Company  
A Company subject to the Management  
and Coordination activities of AUDI AG